

# 杉並区高齢者実態調査報告書

令和 2 年 3 月

杉 並 区



# 目 次

<b>第 1 章 調査の概要</b>	<b>1</b>
1. 調査実施の目的	3
2. 調査の種類	3
3. 調査方法と回収状況	3
4. 地域区分	4
5. 調査結果を見る上での注意事項	5
<b>第 2 章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果</b>	<b>7</b>
1. 対象者の属性	9
(1) 介護保険認定の状況及び性別	9
(2) 調査票の記入者	9
(3) 性別	10
(4) 年齢	10
2. 家族や生活の状況について	11
(1) 家族構成	11
(2) 介護・介助の必要性	12
(3) 主な介護者	13
(4) 経済的にみた暮らしの状況	14
(5) 昨年 1 年間の世帯収入	15
(6) 居住形態	15
3. からだを動かすことについて	16
(1) からだを動かすこと	16
(2) 外出を控える	19
(3) 外出を控えている理由	20
(4) 外出する際の移動手段	21
4. 食べることについて	22
(1) 身長・体重について（BMI）	22
(2) 半年前と比較した固いものの食べにくさ	22
(3) 歯の数と入れ歯の利用状況	23
(4) どなたかと食事をする機会	23
5. 毎日の生活について	24
(1) 毎日の生活	24
(2) 趣味の有無	26
(3) 生きがいの有無	27
6. 地域での活動について	28
(1) 会・グループ等の参加頻度	28
(2) 地域づくりを進める活動への参加意向	29

7. たすけあいについて .....	30
(1) 心配事や愚痴について .....	30
(2) 数日間寝込んだときの看病や世話について .....	31
(3) 相談相手や家族、友人・知人について .....	32
(4) 日中、ひとりになることの有無 .....	33
8. 健康について .....	34
(1) 現在の健康状態 .....	34
(2) 幸福度 .....	35
(3) この1か月間の気持ち .....	37
(4) 喫煙状況 .....	38
(5) 現在治療中または後遺症のある病気 .....	39
(6) 認知症がある人の有無と相談窓口の把握 .....	40
(7) 通院、訪問診療（往診含む）の状況 .....	41
(8) 訪問診療の認知 .....	41
9. 仕事について .....	42
(1) 就労の有無 .....	42
(2) 勤務形態 .....	43
(3) 仕事をしている理由 .....	43
(4) 働きたい日数 .....	44
10. 長寿応援ポイント事業について .....	45
(1) 長寿応援ポイント事業の認知度 .....	45
(2) 長寿応援ポイント事業登録団体による活動への参加状況 .....	46
(3) 参加する主な目的 .....	47
(4) 参加したことがない理由 .....	48
(5) ここ半年間の高齢者在宅サービスの利用 .....	49
(6) 介護予防のために最も必要だと思う福祉用具等の給付や助成サービス .....	50
11. 介護保険サービスの利用や制度について .....	51
(1) 現在の認定状況 .....	51
(2) 介護保険サービスの利用状況 .....	51
(3) 介護保険サービスを利用していない理由 .....	52
(4) 介護保険サービスと介護保険料のあり方 .....	53
(5) 高齢者のために充実させたいと思う施策 .....	54
(6) (介助・介護者が) 介護のことで困ったときの相談相手 .....	55
12. 社会的孤立の状況について .....	56
13. 経年比較 .....	57
(1) 昨年1年間の世帯収入 .....	57
(2) 居住形態 .....	58
(3) 外出の頻度 .....	59
(4) 生きがいの有無 .....	60
(5) 主観的な健康観について .....	61



(6) 長寿応援ポイント事業の認知度	62
1 4. 自由意見	63

### 第3章 要介護認定者に関する実態調査結果 67

1. 対象者の属性	69
(1) 居住先及び性別	69
(2) 調査票の記入者	69
(3) 居住先	70
(4) 性別	70
(5) 年齢	70
(6) 家族構成	71
(7) 要介護度	72
(8) 相談先	73
(9) 通院、訪問診療（往診含む）の状況	74
(10) 訪問診療の認知	74
2. サービスの利用状況について	75
(1) 介護保険サービスの利用状況	75
(2) 介護保険サービスを利用していない理由	76
(3) 高齢者在宅サービスの利用状況	77
(4) 購入助成による最も必要な福祉用具	78
3. 住まいについて	80
(1) 居住形態	80
(2) 居住先の介護を受けながらの生活に対する適正の有無	81
(3) 適していると思わない理由	82
4. 施設の入所について	83
(1) 特別養護老人ホームなどへの入所（居）希望	83
(2) 入所したい理由	84
5. 介護保険制度について	85
(1) 介護保険サービスの満足度	85
(2) 介護保険料の負担感	85
(3) 介護サービスと介護保険料に対する考え	86
(4) 介護サービス利用費用のお知らせの内容確認状況	86
(5) 区が注力していくべきと思うもの	87
6. 主な介護者について	88
(1) 主な介護者の性別	88
(2) 主な介護者の年齢	88
(3) 対象者との続柄	89
(4) 同居の状況	89
(5) 介護の時間帯	90
(6) 介護をしている年数	90

(7) 介護や家事以外に行っていること	91
(8) 子どもの年齢	92
(9) 介護休暇制度などの利用状況	93
(10) 就労と介護の両立	94
(11) 主な介護者以外の介護者の有無	96
(12) 介護保険サービスによる介護負担の軽減感	97
(13) 主な介護者からみる介護保険サービスの満足度	98
(14) 主な介護者の相談先	99
(15) 主な介護者が必要とするサービス	100
(16) 最近6か月の間の主な介護者と対象者との衝突	100
(17) 在宅介護の継続	101
7. 社会的孤立の状況について	102
8. 経年比較	103
(1) 家族構成	103
(2) 介護保険サービスの利用状況	104
(3) 居住先の介護を受けながらの生活に対する適正の有無	105
(4) 主な介護者の年齢	106
(5) 対象者との続柄	106
(6) 主な介護者以外の介護者の有無	107
(7) 在宅介護の継続	108
9. 自由意見	109

#### 第4章 在宅介護実態調査結果 111

---

(1) 世帯類型	113
(2) 介護の頻度	113
(3) 主な介護者	114
(4) 主な介護者の性別	114
(5) 介護を理由とした退職状況	115
(6) 施設等への入所・入居の検討状況	116
(7) 主な介護者の勤務形態	117
(8) 介護と就労の両立	119

#### 第5章 特別養護老人ホーム入所希望者実態調査結果 121

---

1. 対象者の属性	123
(1) 性別	123
(2) 年齢	123
(3) 要介護度	124
(4) 区の第一次評価	124
(5) 入所申込をしてからの期間	125
(6) 居住先	126

(7) 同居形態	127
(8) 世帯年収	127
2. 入所に関わる意識・状態について	128
(1) 入所希望時期	128
(2) 入所申込をした理由	131
(3) 入所可能連絡の有無	133
(4) 入所できなかった理由	134
(5) 希望する施設形態	135
(6) 多床室を選んだ理由	136
(7) ユニット型個室を選んだ理由	137
(8) 医療的処置の有無	137
(9) 具体的な医療処置	138
(10) 希望する入所場所	139
(11) 入所判断を行う上で重視してほしい点	139
3. 主な介護者について	140
(1) 主な介護者の性別	140
(2) 主な介護者の年齢	140
(3) 主な介護者の就労状況	141
(4) 働いていない理由	142
(5) 就労と介護の両立	142

## 第6章 居宅介護支援事業所実態調査結果 143

1. 事業所に関するデータ	145
(1) 介護支援専門員の人数	145
(2) 主任介護支援専門員の人数	145
2. 利用者に関するデータ	146
(1) 利用人数	146
(2) 介護度別の利用者人数	147
(3) 利用している介護保険サービスの種類	148
3. 地域密着型サービスに関するデータ	149
(1) 地域密着型サービスを勧めた経験	149
(2) サービスに繋がった人数と繋がらなかった理由	150
4. 在宅生活に関するデータ	151
(1) 在宅生活を続けていくうえで必要だと思うサービス	151
(2) 在宅生活を続けていくうえで、区内全域で不足していると思うサービス	152
(3) 在宅生活を続けていくうえで、サービス利用範囲内で不足していると思うサービス	153
5. 介護保険サービスに関するデータ	155
(1) 相談や利用希望が多いサービスと充足しているサービス	155
6. 特別養護老人ホームに関するデータ	156
(1) 特別養護老人ホームの入所を勧めたことの有無	156

(2) 特養を勧めた理由 .....	157
--------------------	-----

資料 調査票 .....	159
--------------	-----

---

## 第1章 調査の概要

---



## 1. 調査実施の目的

令和2年度策定予定の「杉並区高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画」及び「杉並区特別養護老人ホーム等整備方針」の基礎資料とすることを目的として、高齢者の方の生活実態と意向を把握する調査を実施しました。

## 2. 調査の種類

調査名	調査対象
ア. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	①要支援・要介護認定以外の65歳以上の区民から7地域別※に無作為抽出した2,500名 ②要支援1・2の65歳以上の区民から7地域別※に無作為抽出した2,500名 計5,000名
イ. 要介護認定者に関する実態調査	要介護認定を受けている区民から7地域別※に無作為抽出した2,500名
ウ. 在宅介護実態調査	介護保険の認定更新申請及び区分変更申請の区民600名
エ. 特別養護老人ホーム入所希望者実態調査	令和元年5月29日時点で特別養護老人ホーム入所申込書を提出している736名
オ. 居宅介護支援事業所実態調査	区内の146事業所

※7地域別の区分については、「4. 地域区分」を参照

## 3. 調査方法と回収状況

調査名	調査方法	調査期間
ア. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	郵送によるアンケート調査	令和元年11月27日（水）～12月13日（金）
イ. 要介護認定者に関する実態調査	郵送によるアンケート調査	令和元年8月28日（水）～9月18日（水）
ウ. 在宅介護実態調査	認定調査員により聞き取り調査	平成31年4月1日（月）～令和元年9月30日（月）
エ. 特別養護老人ホーム入所希望者実態調査	郵送によるアンケート調査	令和元年6月26日（水）～7月23日（火）
オ. 居宅介護支援事業所実態調査	郵送によるアンケート調査	令和元年11月15日（金）～11月29日（金）

## 第1章 調査の概要

### <回収状況>

調査名	発送数	有効回答数	有効回答率
ア. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	5,000件	3,338件	66.8%
	(要支援・要介護認定以外)		
	2,500件	1,619件	64.8%
	(要支援1・2)		
	2,500件	1,681件	67.2%
イ. 要介護認定者に関する実態調査	2,500件	1,372件	54.9%
ウ. 在宅介護実態調査	(聞き取り件数) 600件	600件	100.0%
エ. 特別養護老人ホーム入所希望者実態調査	736件	444件	60.3%
オ. 居宅介護支援事業所実態調査	146件	126件	86.3%

## 4. 地域区分

本調査で用いた地域区分は以下の7区域です。



地域名	地域の説明
井草地域	西武新宿線沿線の上井草、井荻、下井草の3駅を中心とした地域
西荻地域	JR中央線の西荻窪駅を中心とした地域
荻窪地域	JR中央線の荻窪駅を中心とした地域
阿佐谷地域	JR中央線の阿佐ヶ谷駅を中心とした地域
高円寺地域	JR中央線の高円寺駅を中心とした地域
高井戸地域	京王井の頭線の久我山、富士見ヶ丘、高井戸、浜田山の4駅を中心とした地域
方南・和泉地域	京王井の頭線の西永福、永福町の2駅と地下鉄丸ノ内線の方南町を中心とした地域



## 5. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。
- ・百分率（％）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しました。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ設問）においても、四捨五入の影響で、％を足し合わせて100％にならない場合があります。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい設問）においては、％の合計が100％を超える場合があります。
- ・クロス集計で示している表、グラフの「n」は無回答を除いているため、全体の「n」と合致しない場合があります。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合があります。



## **第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果**

---



## 1. 対象者の属性

### (1) 介護保険認定の状況及び性別

本調査は、令和元年11月11日現在、杉並区にお住まいの65歳以上の方5,000人（介護保険認定なし2,500人、要支援1・2認定あり2,500人）を対象に行いました。

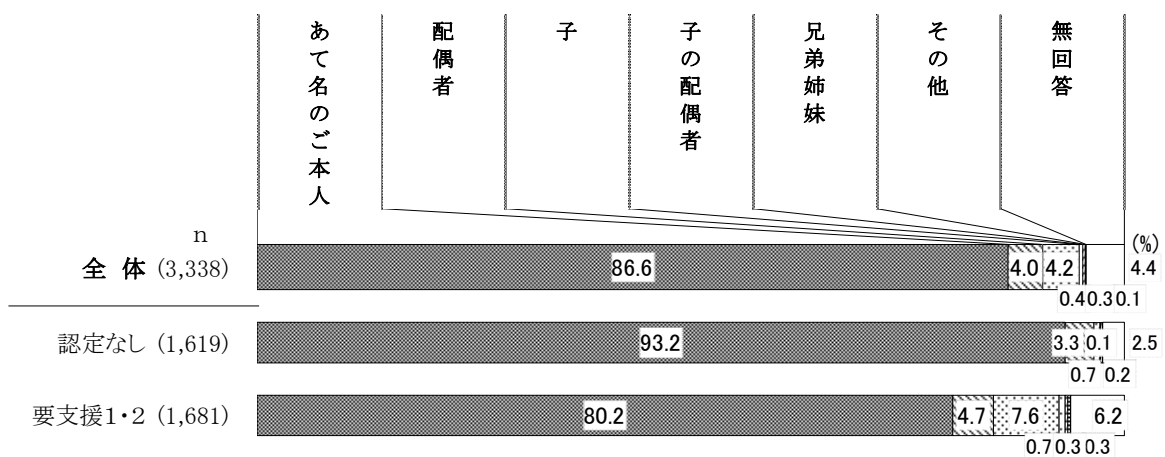
図表1-1 介護保険認定の状況及び性別

			構成		
			男性	女性	性別不明
全体	3,338人	100.0%	1,213人	2,062人	63人
介護保険認定なし	1,619人	48.5%	725人	874人	20人
介護保険要支援1・2認定あり	1,681人	50.4%	478人	1,161人	42人
認定の有無不明	38人	1.1%	10人	27人	1人

### (2) 調査票の記入者

問1 調査票を記入される方は、どなたですか。封筒のあて名のご本人からみた関係でご回答ください。2人以上で記入される場合は主に記入される方をご記入ください。  
(○はひとつ)

図表1-2 調査票の記入者

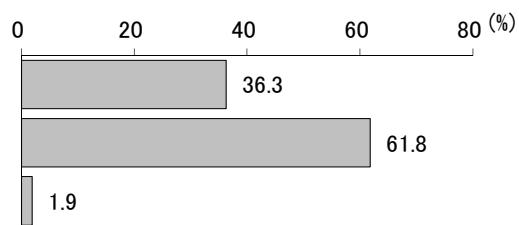


(3) 性別

問2 あなた（封筒のあて名ご本人）の性別を教えてください。（○はひとつ）

図表1-3 性別

	人数	構成比
男性	1,213	36.3%
女性	2,062	61.8%
無回答	63	1.9%

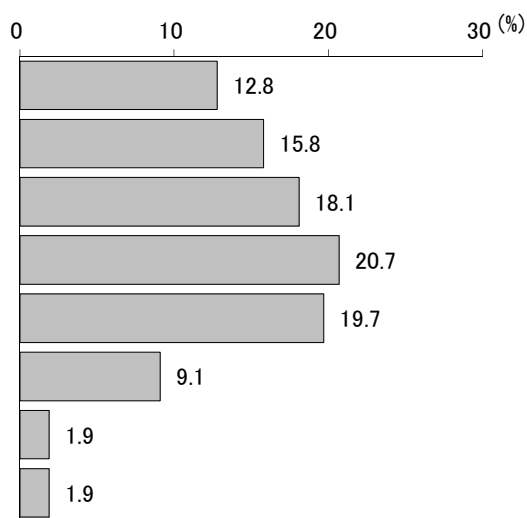


(4) 年齢

問3 あなたの年齢を教えてください。（○はひとつ）

図表1-4 年齢

	人数	構成比
65～69歳	427	12.8%
70～74歳	528	15.8%
75～79歳	603	18.1%
80～84歳	691	20.7%
85～89歳	656	19.7%
90～94歳	304	9.1%
95歳以上	65	1.9%
無回答	64	1.9%



2. 家族や生活の状況について

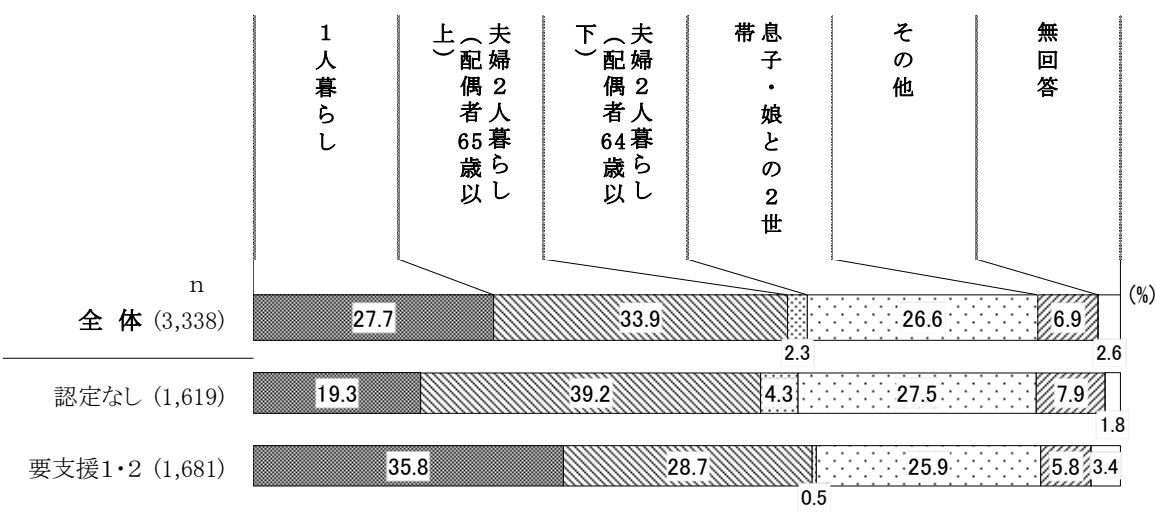
(1) 家族構成

問4 あなたのご家族や生活状況についてお伺いします。

問4 (1) 家族構成を教えてください。(〇はひとつ)

家族構成としては「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が33.9%、「1人暮らし」が27.7%、「息子・娘との2世帯」が26.6%などとなっています。(図表2-1)

図表2-1 家族構成

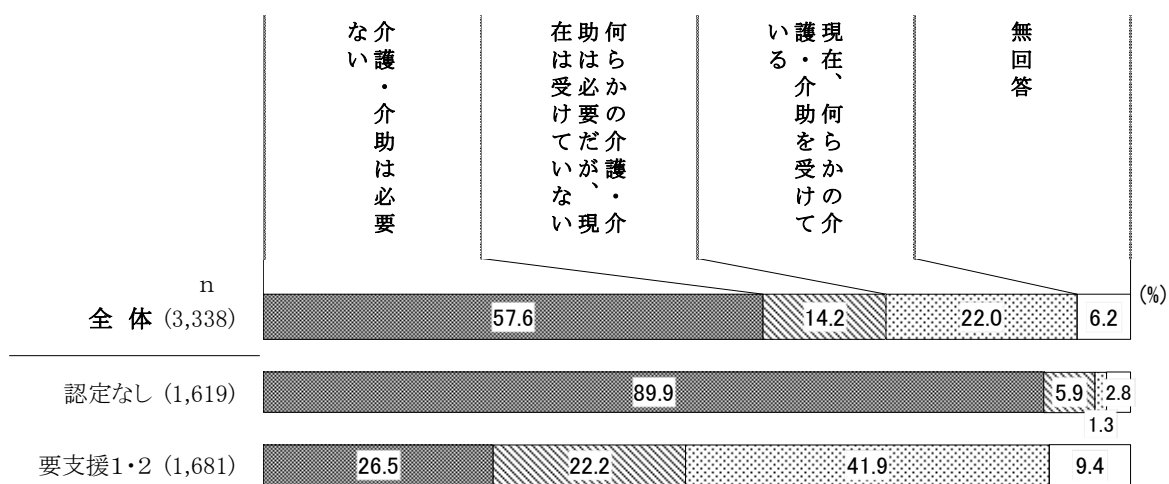


(2) 介護・介助の必要性

問4 (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○はひとつ)

介護・介助の必要性としては、全体で「介護・介助は必要ない」が57.6%ですが、“認定なし”では89.9%となっています。(図表2-2)

図表2-2 介護・介助の必要性





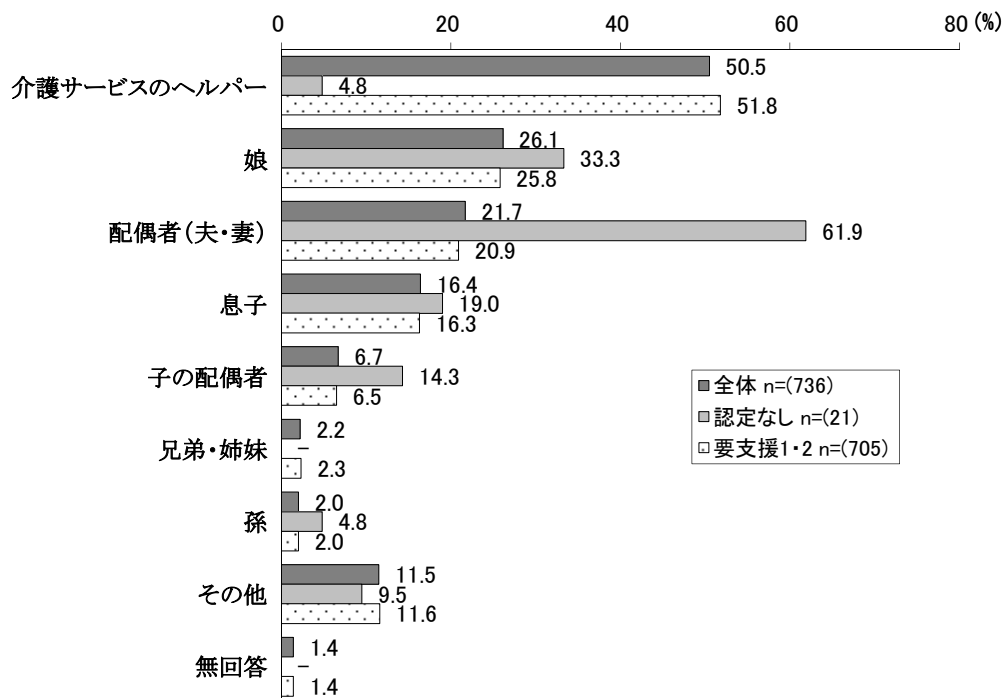
## (3) 主な介護者

【「3 現在、何らかの介護・介助を受けている」を選んだ方にお伺いします。】

問4(2)-1 主にどなたの介護、介助を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

主な介護者としては「介護サービスのヘルパー」が50.5%で最も多く、以下「娘」(26.1%)、「配偶者(夫・妻)」(21.7%)、「息子」(16.4%)の順となっています。(図表2-3)

図表2-3 主な介護者

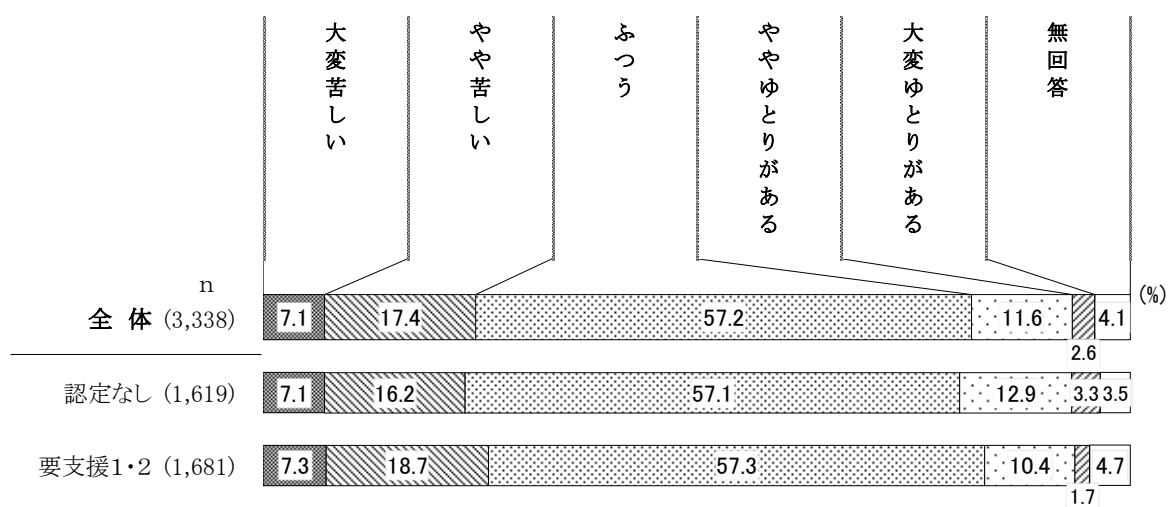


#### (4) 経済的にみた暮らしの状況

問4 (3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇はひとつ)

経済的にみた暮らしの状況としては「ふつう」(57.2%)が最も多くなっています。(図表2-4)

図表2-4 経済的にみた暮らしの状況

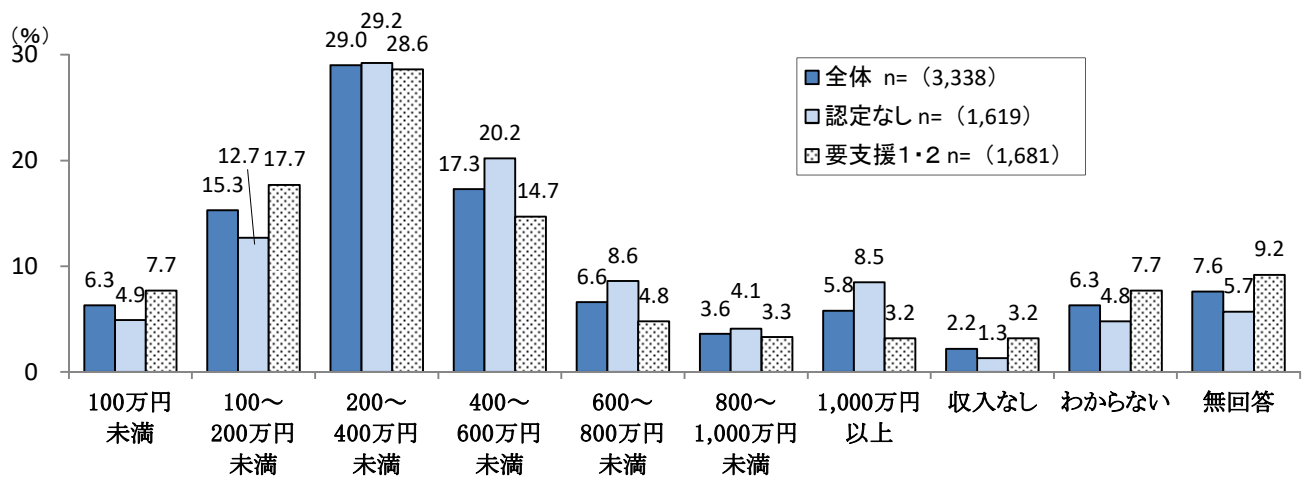


(5) 昨年1年間の世帯収入

問4 (4) 昨年1年間の世帯（同居するご家族すべてを含む）の収入はどのくらいでしたか。（○はひとつ）

昨年1年間の世帯収入としては「200～400万円未満」が29.0%で最も多く、以下「400～600万円未満」（17.3%）、「100～200万円未満」（15.3%）の順となっています。（図表2－5）

図表2－5 昨年1年間の世帯収入

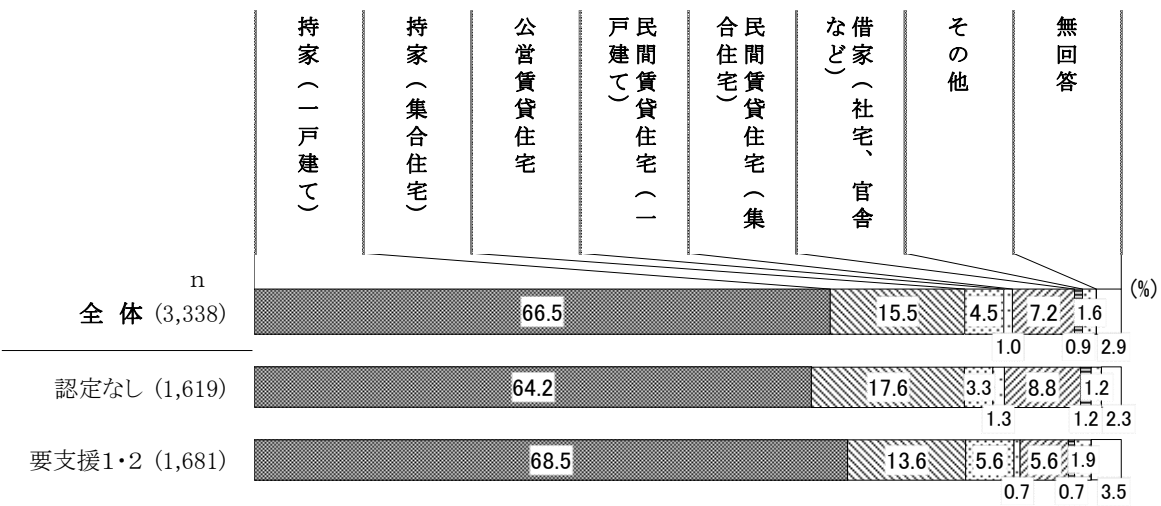


(6) 居住形態

問4 (5) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。（○はひとつ）

居住形態としては「持家（一戸建て）」が66.5%を占めており、以下「持家（集合住宅）」が15.5%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が7.2%の順になっています。（図表2－6）

図表2－6 居住形態



### 3. からだを動かすことについて

#### (1) からだを動かすこと

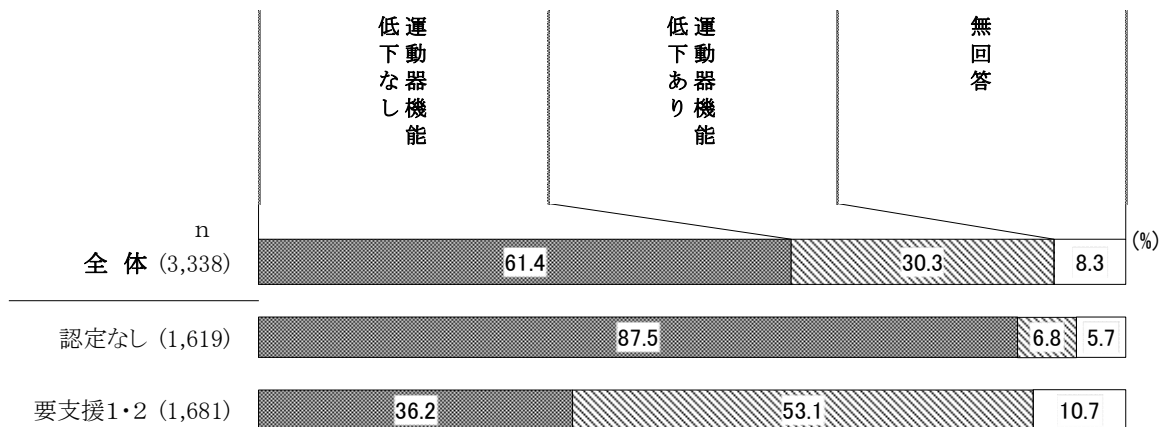
問5 からだを動かすことについてお伺いします。次の(1)～(7)の全ての項目について、あてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

設問項目	選択肢
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない
(3) 15分位続けて歩いていますか。	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。	1 何度もある 2 1度ある 3 ない
(5) 転倒に対する不安は大きいですか。	1 とても不安である 2 やや不安である 3 あまり不安でない 4 不安でない
(6) 週に1回以上は外出していますか。	1 ほとんど外出しない 2 週1回 3 週2～4回 4 週5回以上
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。	1 とても減っている 2 減っている 3 あまり減っていない 4 減っていない

からだを動かすことについて、全7項目をうかがいました。

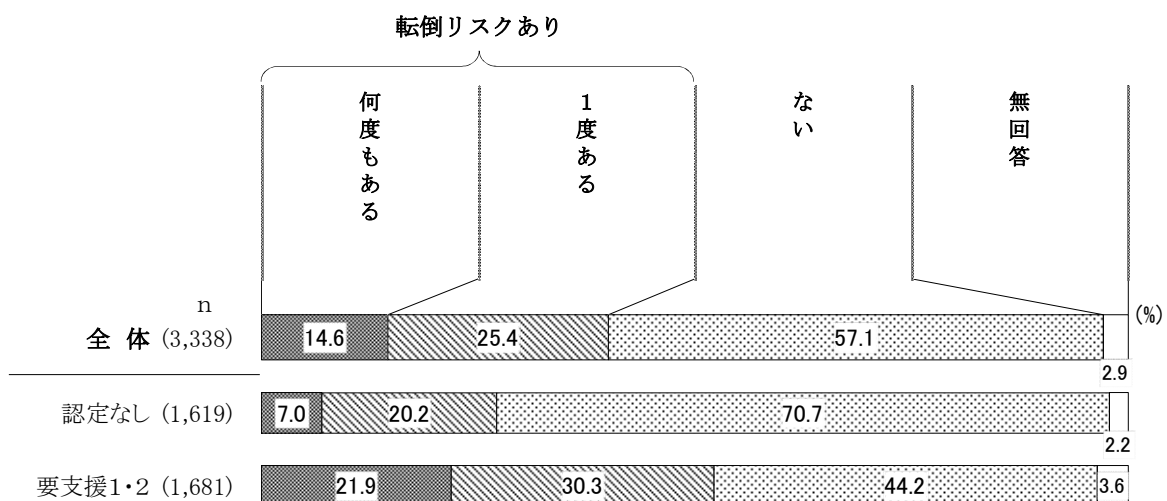
(1)～(5)の設問で、それぞれ      の該当選択肢を計3つ以上回答した場合は、運動器機能が低下している目安となります。※「運動器機能低下なし」は61.4%、「運動器機能低下あり」が30.3%でした。(図表3-1)

図表3-1 運動器機能低下の有無



(4)について「何度もある」(14.6%)または「1度ある」(25.4%)を回答した場合は、転倒リスクがあるという目安となります※全体の40.0%となります。(図表3-2)

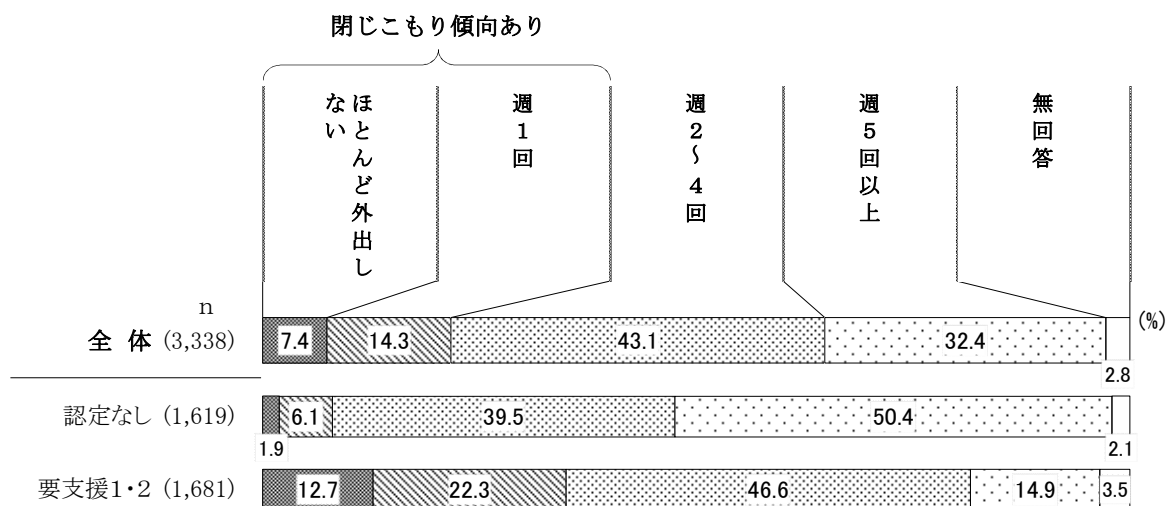
図表3-2 (4) 過去1年間で転んだ経験



※「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き／厚生労働省」より

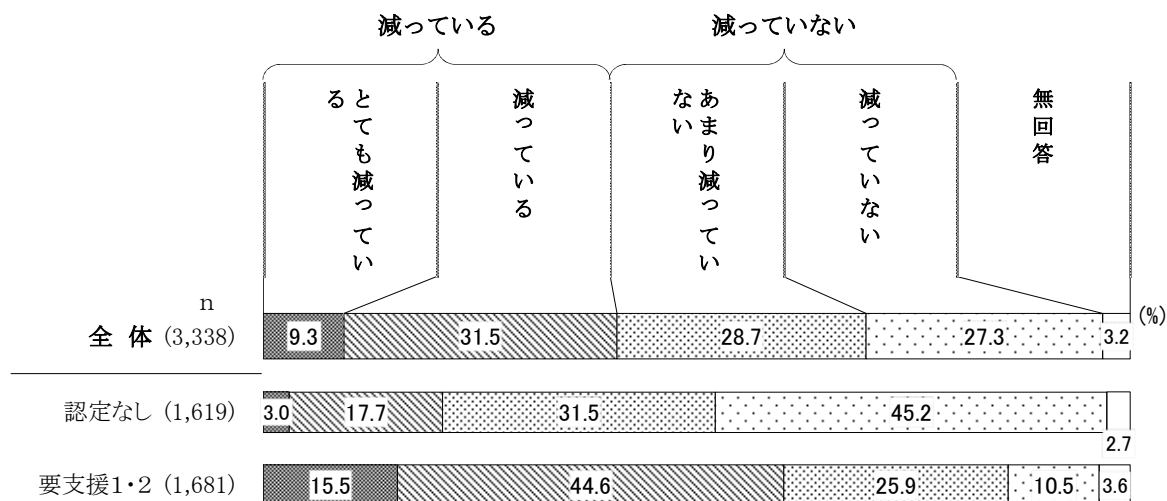
(6) について「ほとんど外出しない」(7.4%) または「週1回」(14.3%) を回答した場合は、閉じこもり傾向があるという目安となり※ 全体の21.7%となっています。(図表3-3)

図表3-3 (6) 週に1回以上の外出



(7) について「とても減っている」(9.3%) と「減っている」(31.5%) を合わせた『減っている』は40.8%となっています。「あまり減っていない」(28.7%) と「減っていない」(27.3%) を合わせた『減っていない』は56.0%になっています。(図表3-4)

図表3-4 (7) 昨年と比較した外出の回数



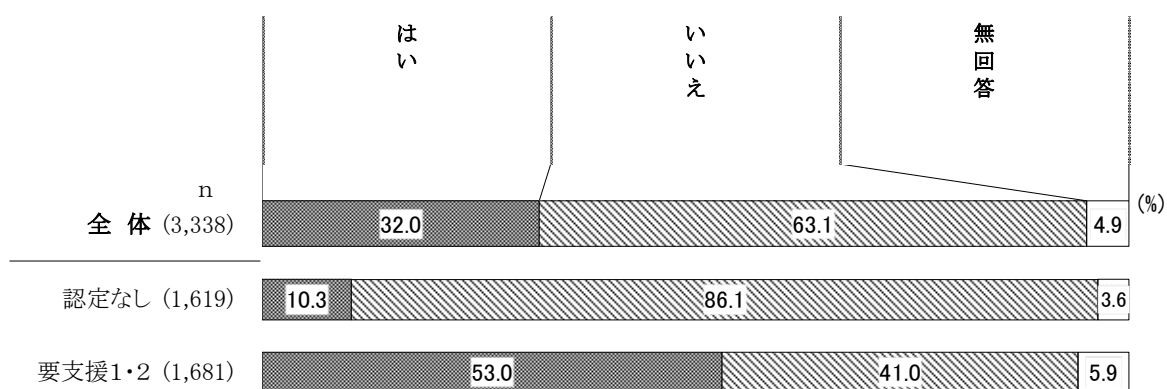
※「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き／厚生労働省」より

## (2) 外出を控える

問5 (8) 外出を控えていますか。(○はひとつ)

外出を控えているかについては、全体では「はい」が32.0%、「認定なし」では10.3%となっています。(図表3-5)

図表3-5 外出を控える



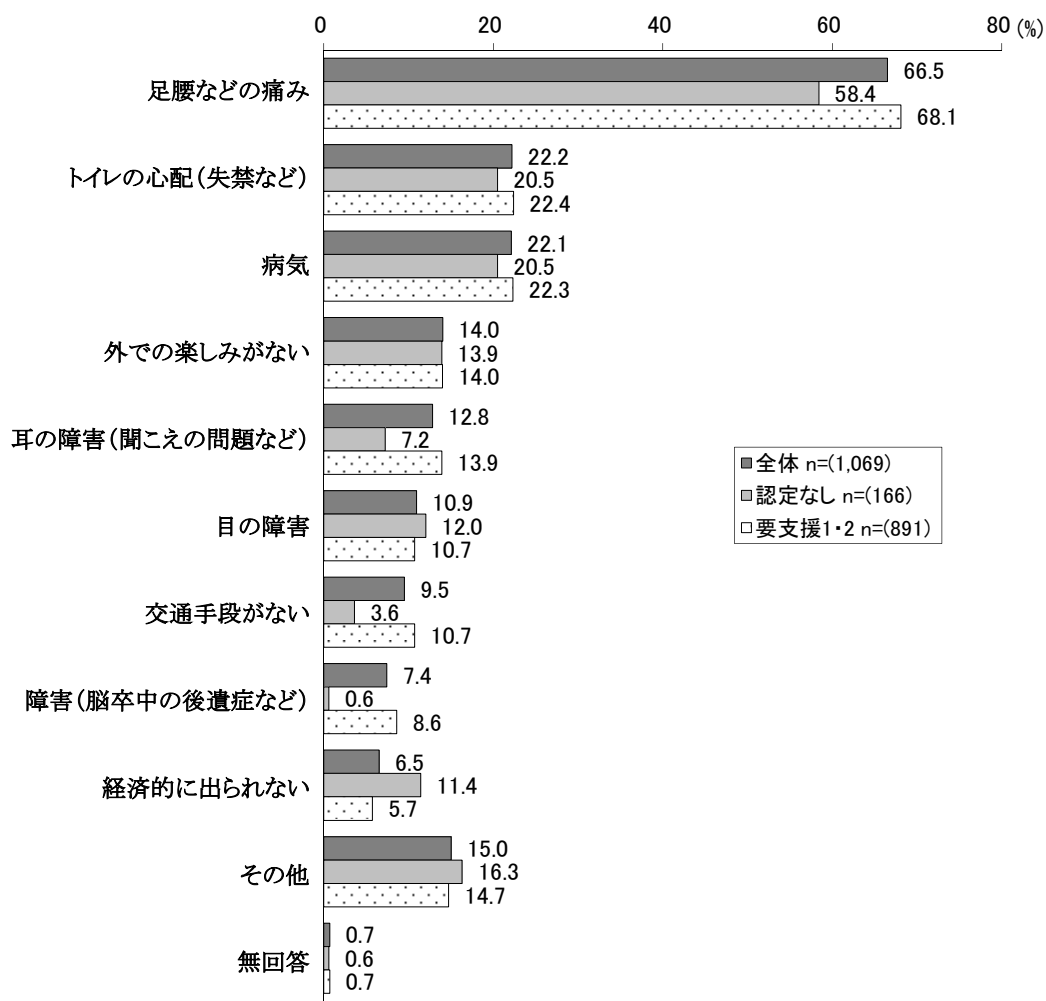
(3) 外出を控えている理由

【「1 はい」を選んだ方にお伺いします。】

問5(8)－1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

外出を控えている理由としては、「足腰などの痛み」が66.5%で最も多く、以下「トイレの心配(失禁など)」(22.2%)、「病気」(22.1%)の順となっています。(図表3－6)

図表3－6 外出を控えている理由



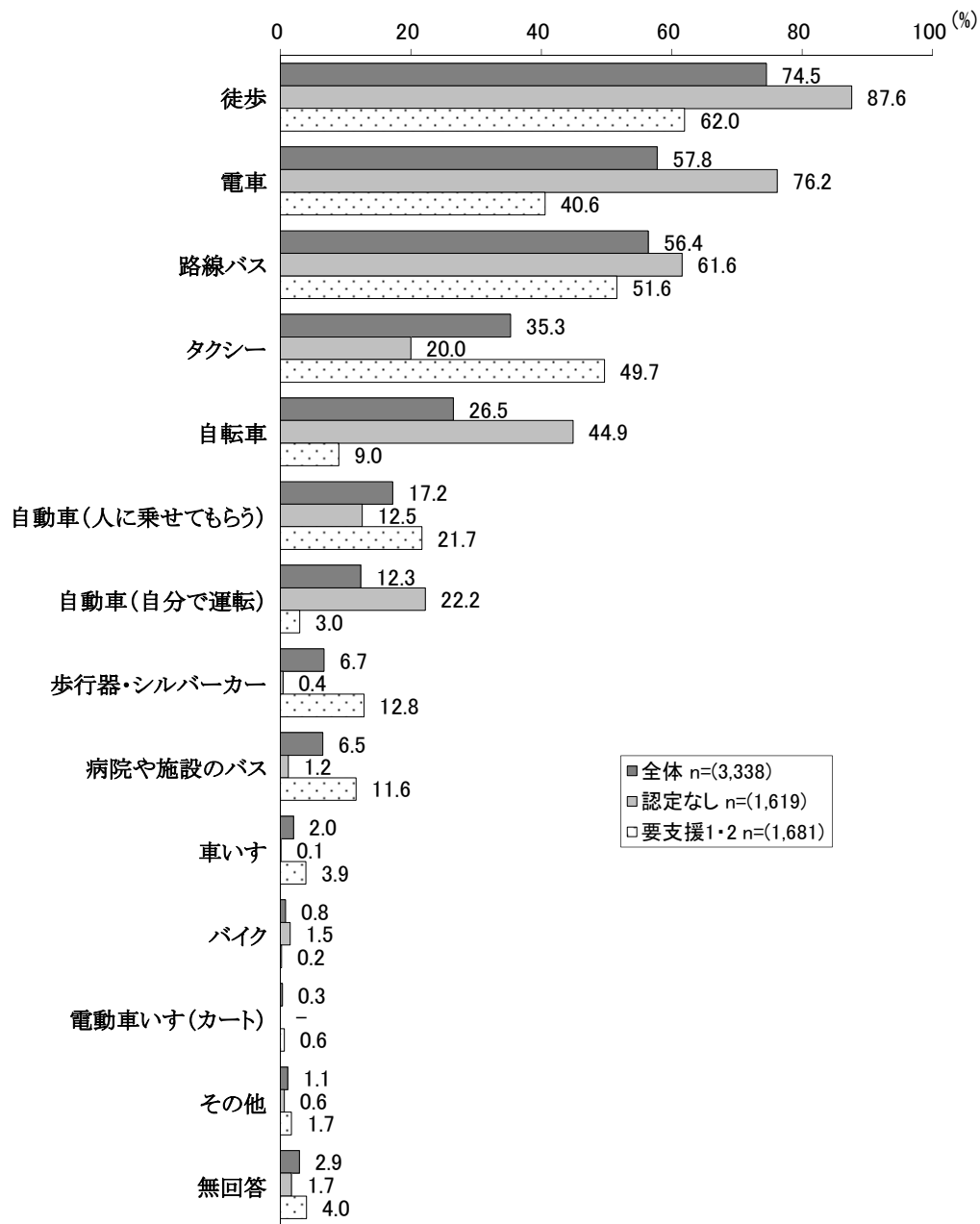


## (4) 外出する際の移動手段

問5 (9) 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

外出する際の移動手段としては、「徒歩」が74.5%で最も多く、以下「電車」(57.8%)、「路線バス」(56.4%)、「タクシー」(35.3%)、「自転車」(26.5%)の順となっています。(図表3-7)

図表3-7 外出する際の移動手段



## 4. 食べることについて

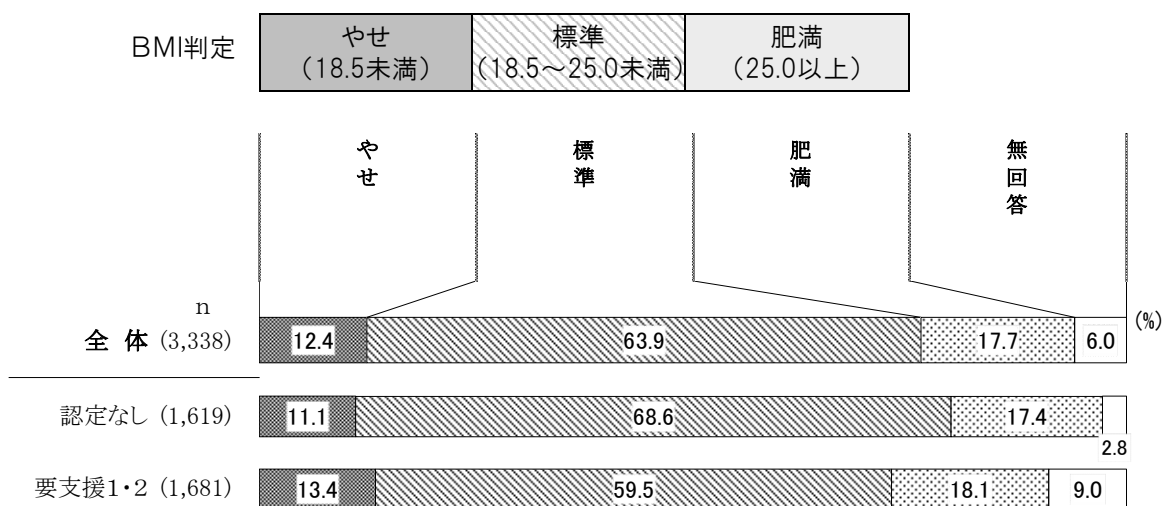
### (1) 身長・体重について (BMI)

問6 食べることについてお伺いします。

問6 (1) 身長・体重をご記入ください。(整数でお答えください)

身長・体重から算出したBMIをみると、「標準」が63.9%、「肥満」が17.7%、「やせ」が12.4%となっています。(図表4-1)

図表4-1 BMI



### (2) 半年前と比較した固いものの食べにくさ

問6 (2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○はひとつ)

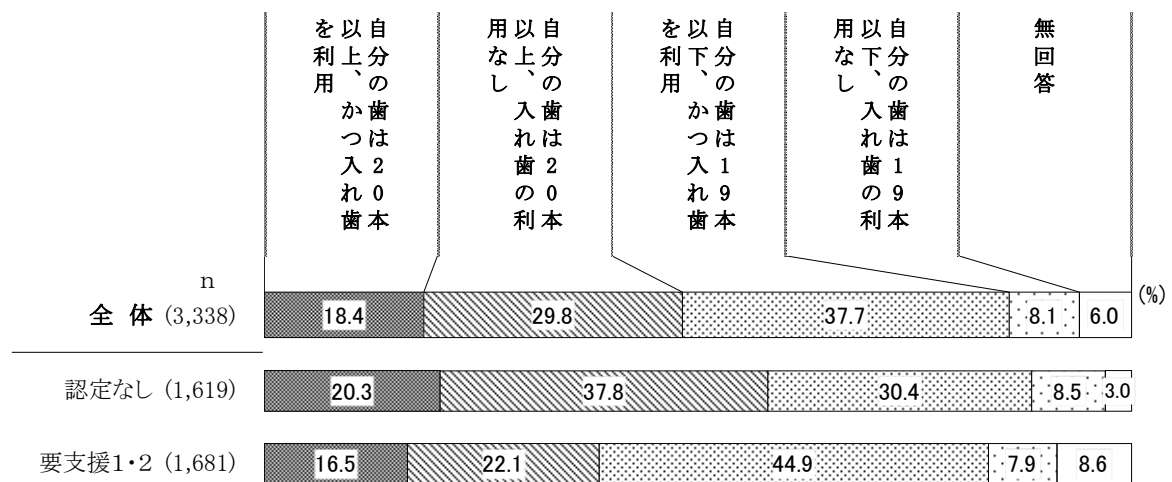
半年前と比較して固いものが食べにくくなっているかをきいたところ、「はい」が33.2%、「いいえ」が62.0%となっています。

## (3) 歯の数と入れ歯の利用状況

問6 (3) 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)(○はひとつ)

歯の数と入れ歯の利用状況としては、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が37.7%、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が29.8%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が18.4%の順となっています。(図表4-2)

図表4-2 歯の数と入れ歯の利用状況

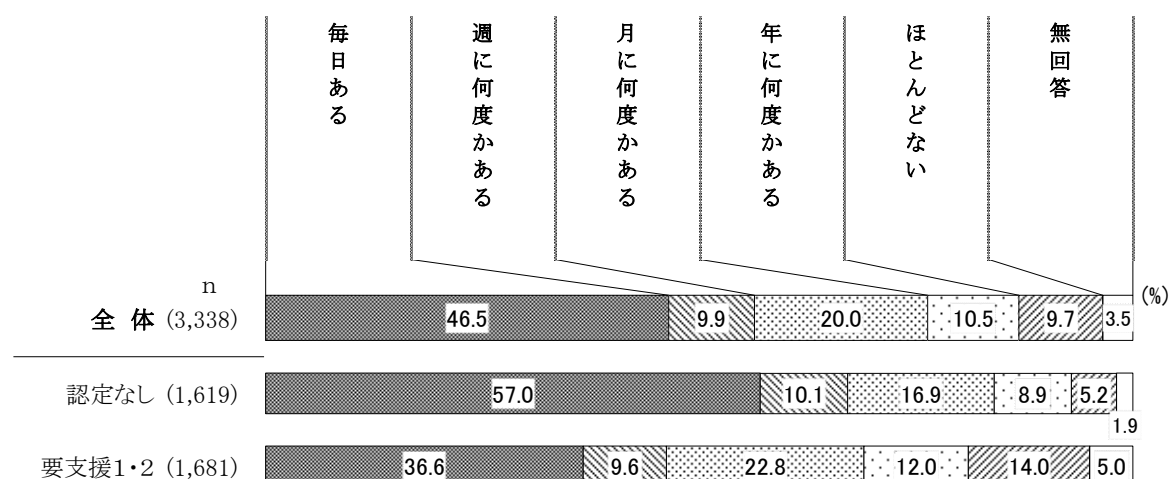


## (4) どなたかと食事をする機会

問6 (4) どなたかと食事をともにする機会がありますか。(○はひとつ)

どなたかと食事をともにする機会としては、「毎日ある」が46.5%となっている一方、「ほとんどない」は9.7%となっています。(図表4-3)

図表4-3 どなたかと食事をする機会



## 5. 毎日の生活について

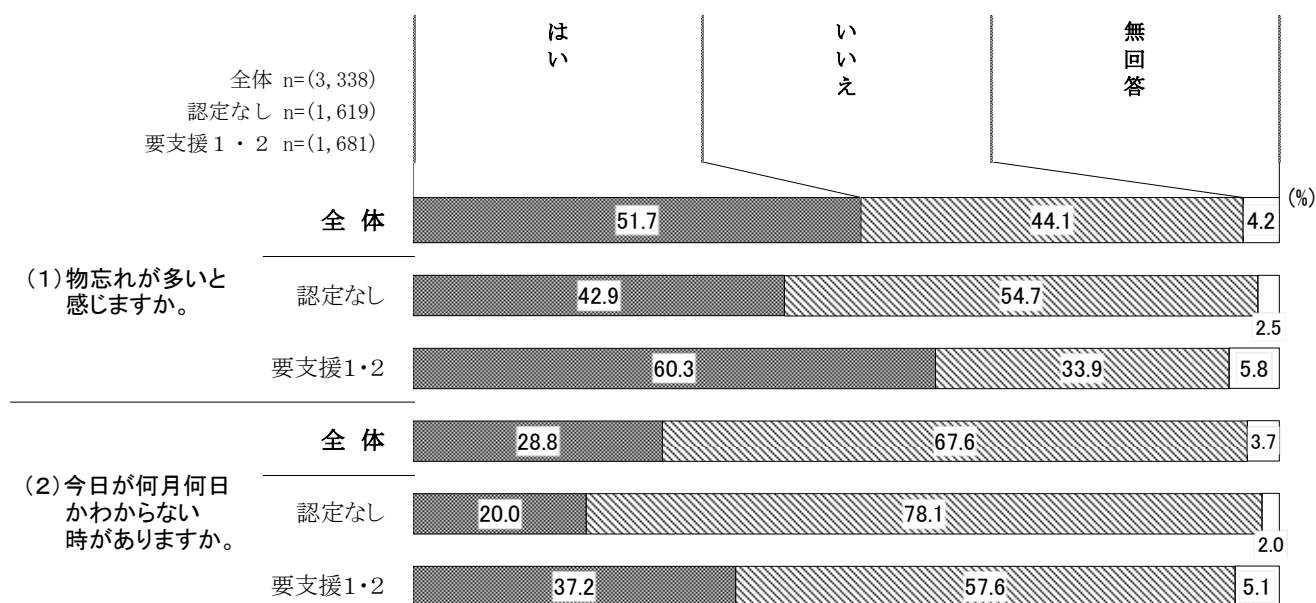
### (1) 毎日の生活

問7 毎日の生活についてお伺いします。次の(1)～(8)の全ての項目について、あてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

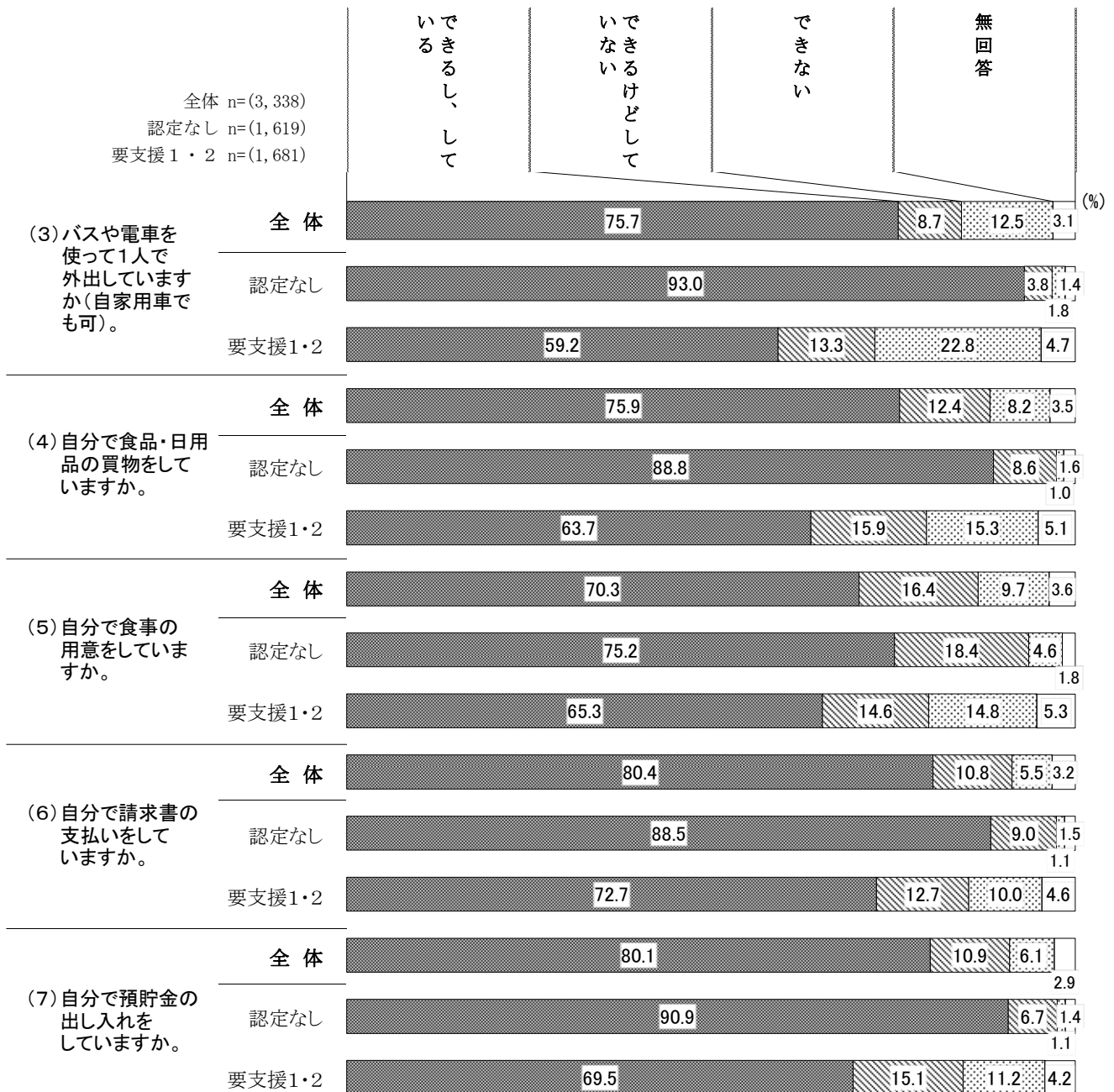
毎日の生活において、全8項目をうかがいました。

「(1) 物忘れが多いと感じますか」は、「はい」が全体の51.7%、「(2) 今日が何月何日かわからない時がありますか」は、「はい」が全体の28.8%、「(3) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)」は、「できない」が全体の12.5%、「(4) 自分で食品・日用品の買物をしていますか」は、「できない」が全体の8.2%、「(5) 自分で食事の用意をしていますか」は、「できない」が全体の9.7%、「(6) 自分で請求書の支払いをしていますか」は、「できない」が全体の5.5%、「(7) 自分で預貯金の出し入れをしていますか」は、「できない」が全体の6.1%、「(8) 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか」は「いいえ」が全体の10.9%となっています。(図表5-1～3)

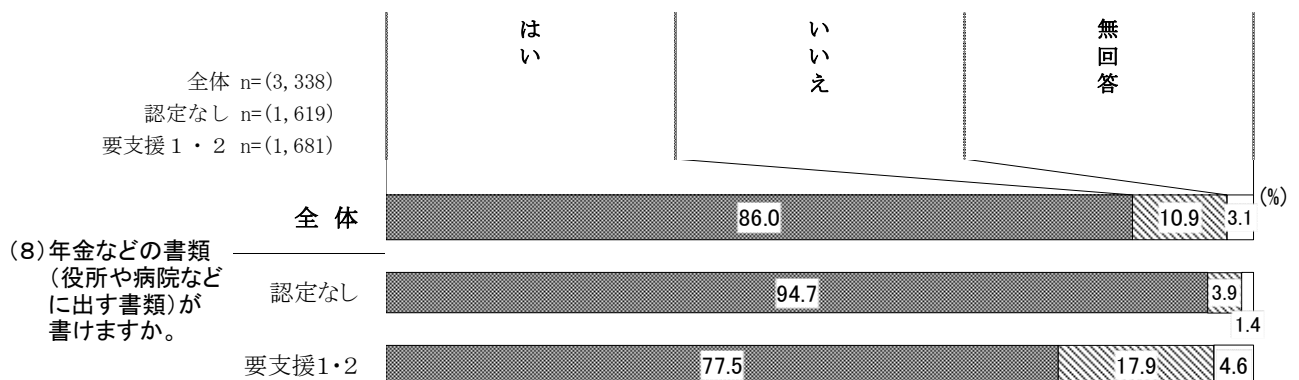
図表5-1 毎日の生活①



図表5-2 毎日の生活②



図表5-3 毎日の生活③

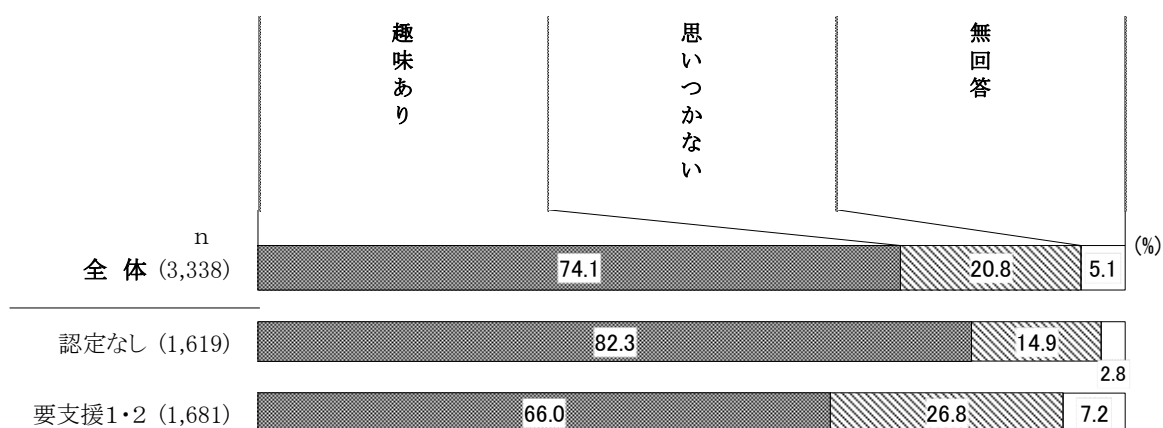


## (2) 趣味の有無

問7 (9) 趣味はありますか。(○はひとつ)

趣味の有無としては、「趣味あり」が74.1%、「思いつかない」が20.8%となっています。(図表5-4)

図表5-4 趣味の有無



趣味の内容については、「読書、勉強」(431件)、「音楽鑑賞、テレビ」(234件)、「楽器演奏、コーラス、歌唱」(227件)などが多くなっています。(図表5-5)

図表5-5 趣味の内容(上位10項目)

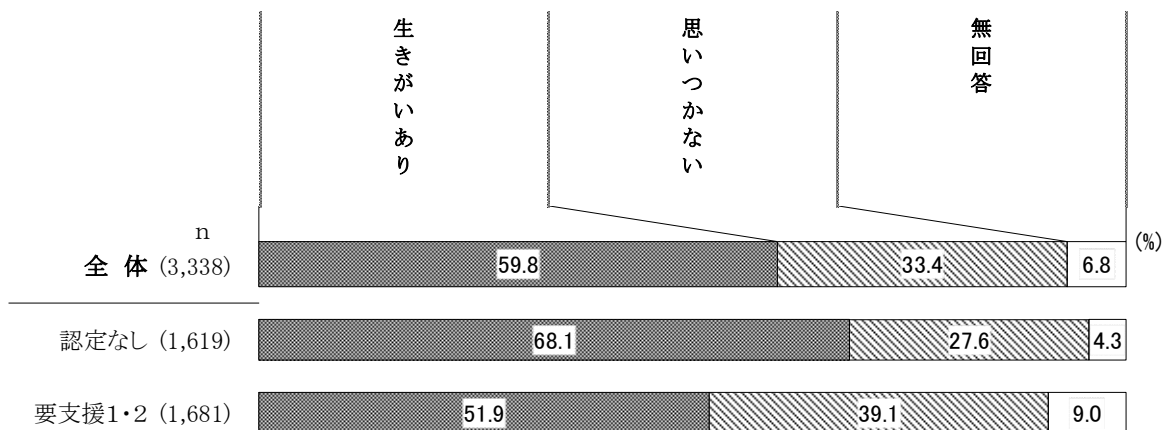
項目	件数
読書、勉強	431
音楽鑑賞、テレビ	234
楽器演奏、コーラス、歌唱	227
ダンス、体操、フィットネス、ヨガ、ジム	184
手芸	170
園芸	167
散歩、ウォーキング	143
旅行	135
ゴルフ	134
工作、陶芸、洋裁	120

## (3) 生きがいの有無

問7 (10) 生きがいはありますか。(○はひとつ)

生きがいの有無としては、「生きがいあり」が59.8%、「思いつかない」が33.4%となっています。  
(図表5-6)

図表5-6 生きがいの有無



生きがいの内容を記入してもらったところ、「孫、ひ孫のこと」(314件)、「家族、親族のこと(孫、ひ孫以外)」(232件)、「旅行」(112件)、「仕事」(110件)などが多くなっています。(図表5-7)

図表5-7 生きがいの内容(上位10項目)

項目	件数
孫、ひ孫のこと	314
家族、親族のこと(孫、ひ孫以外)	232
旅行	112
仕事	110
友人、知人	94
ダンス、体操	80
趣味(と回答した人)	71
酒、食事	58
読書、勉強、研究	55
目的、生きがいをもつ、知的好奇心、人の役に立つ	50

## 6. 地域での活動について

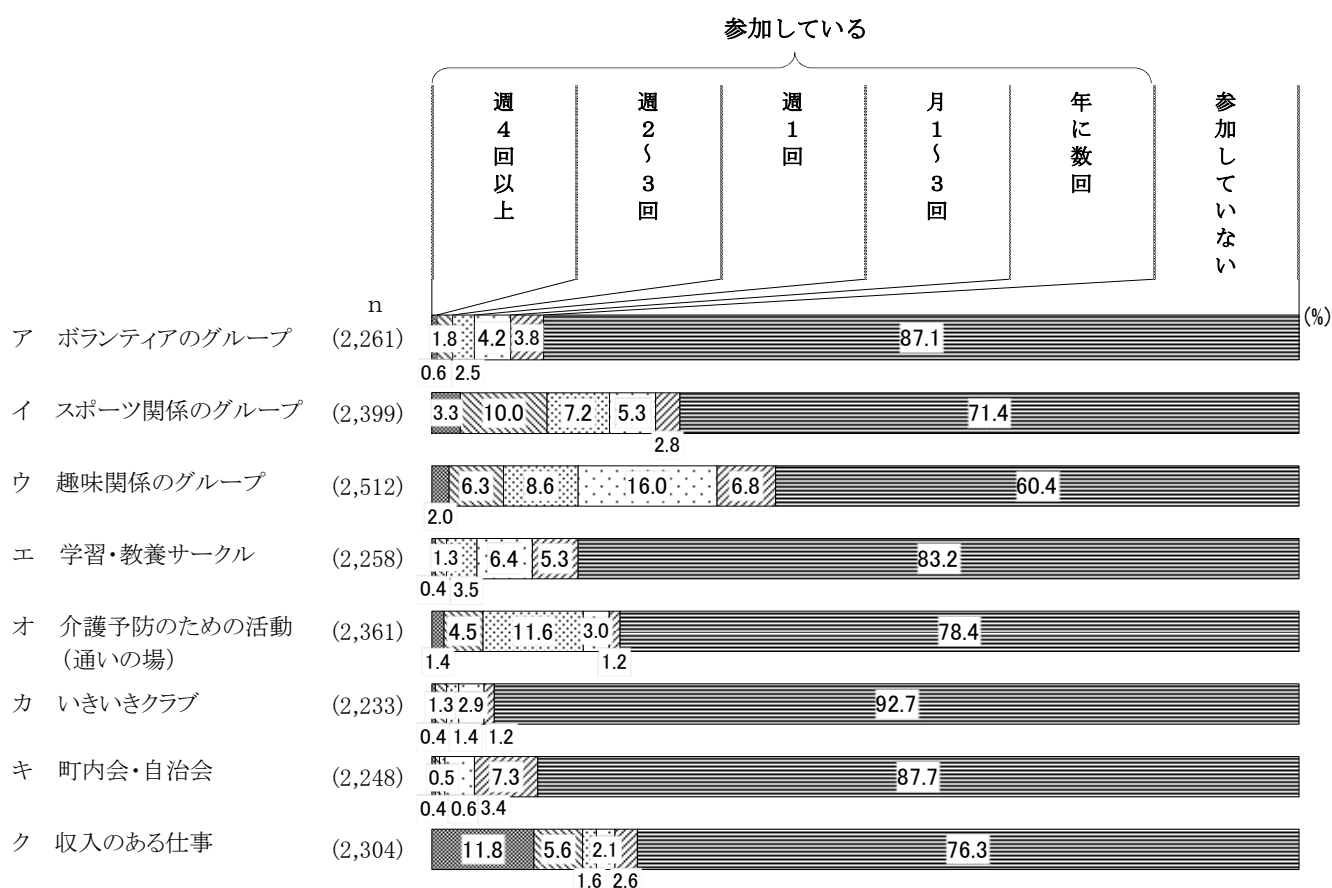
### (1) 会・グループ等の参加頻度

問8 地域での活動についてお伺いします。

問8 (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。  
※ア～ク、それぞれに1つずつ回答してください。

会・グループ等の参加状況については、「参加していない」が最も多くなっていますが、『参加している』ものでは、「ウ 趣味関係のグループ」が39.7%で最も多く、「イ スポーツ関係のグループ」(28.6%)の順になっています。(図表6-1)

図表6-1 会・グループ等の参加頻度





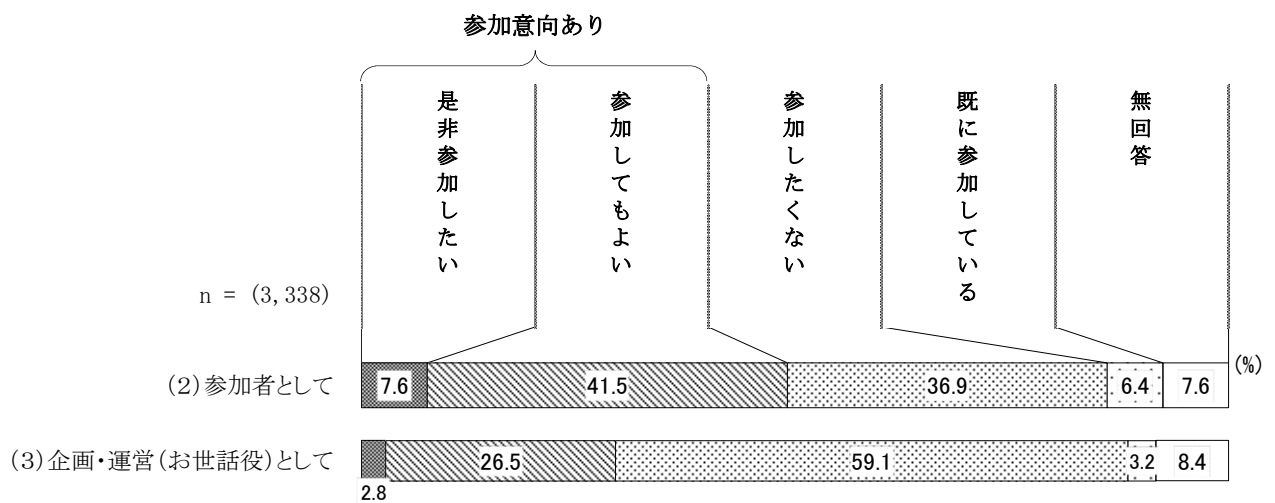
## (2) 地域づくりを進める活動への参加意向

問8 (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇はひとつ)

問8 (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(〇はひとつ)

地域づくりを進める活動へ参加したいかについて、「是非参加したい」(7.6%)と「参加してもよい」(41.5%)を合わせると49.1%となっています。企画・運営(お世話役)として参加したいについては、「是非参加したい」(2.8%)、「参加してもよい」(26.5%)を合わせると29.3%となっています。(図表6-2)

図表6-2 地域づくりを進める活動への参加意向



## 7. たすけあいについて

### (1) 心配事や愚痴について

問9 たすけあいについてお伺いします。(あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします。)

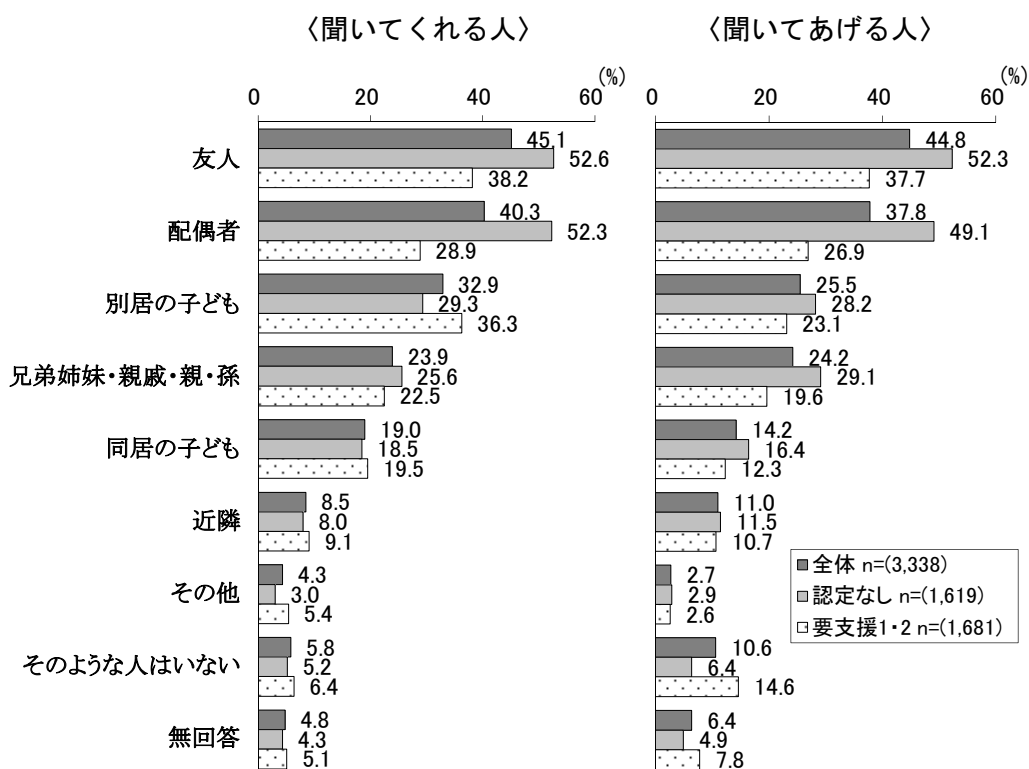
問9 (1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人を教えてください。  
(あてはまるものすべてに○)

問9 (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人を教えてください。  
(あてはまるものすべてに○)

心配事や愚痴を聞いてくれる人としては、「友人」が45.1%と最も多く、以下「配偶者」(40.3%)、「別居の子ども」(32.9%)の順となっています。

また、心配事や愚痴を聞いてあげる人としては、「友人」が44.8%と最も多く、「配偶者」(37.8%)、「別居の子ども」(25.5%)の順になっており、(1)(2)ともに上位の順位が同じになっています。(図表7-1)

図表7-1 心配事や愚痴



## (2) 数日間寝込んだときの看病や世話について

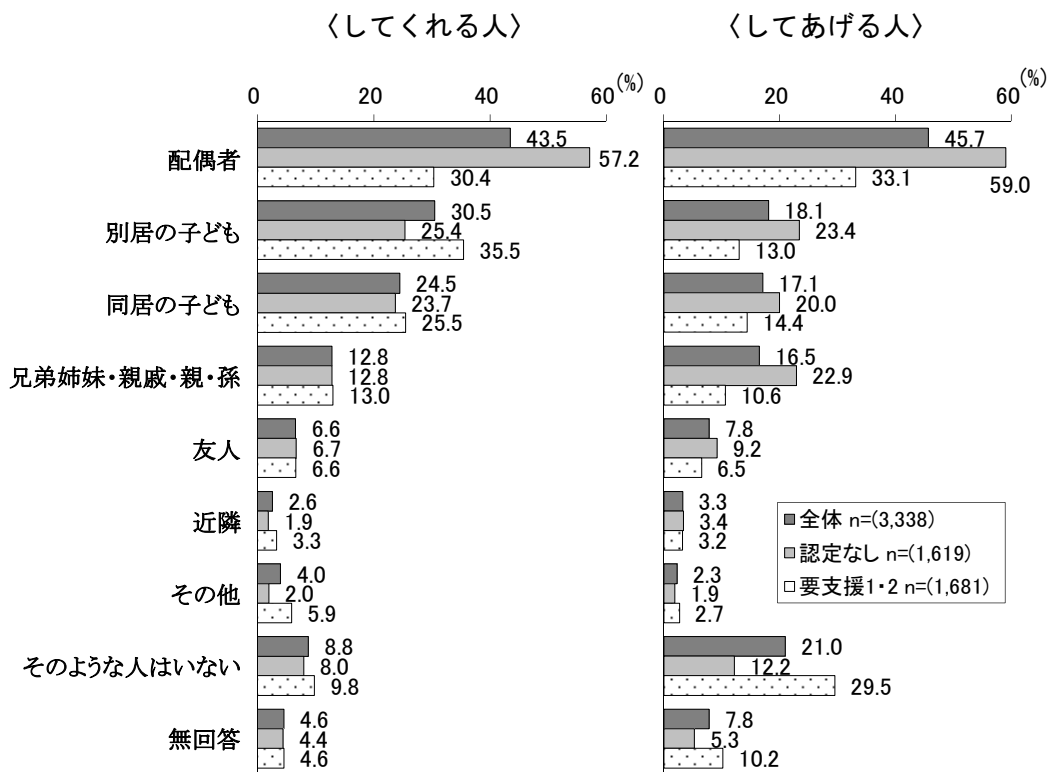
問9 (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

問9 (4) 反対に、看病や世話をしてあげる人を教えてください。  
(あてはまるものすべてに○)

数日間寝込んだときに看病や世話をしてくれる人としては、「配偶者」が43.5%と最も多く、以下「別居の子ども」(30.5%)、「同居の子ども」(24.5%)の順となっています。

また、看病や世話をしてあげる人としては、「配偶者」が45.7%と最も多く、以下、「別居の子ども」(18.1%)、「同居の子ども」(17.1%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(16.5%)の順となっています。(図表7-2)

図表7-2 数日間寝込んだときの看病や世話



## (3) 相談相手や家族、友人・知人について

問9 (5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。  
(あてはまるものすべてに○)

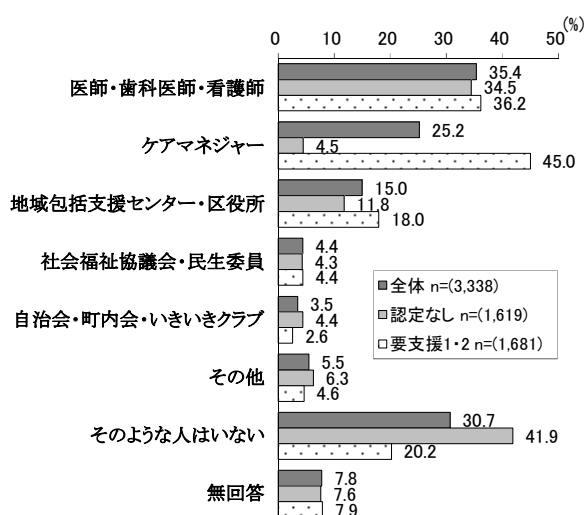
問9 (6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいか教えてください。(○はひとつ)

問9 (7) よく会う友人・知人はどんな関係の人か教えてください。(あてはまるものすべてに○)

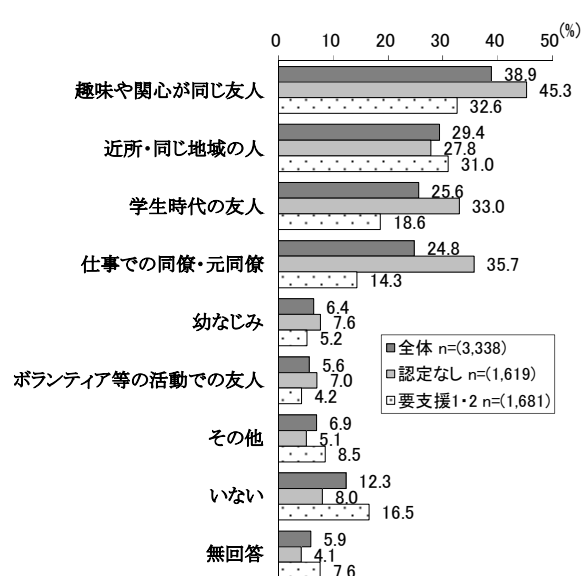
家族や友人・知人以外の相談相手については、全体では「医師・歯科医師・看護師」が35.4%、「認定なし」では、「そのような人はいない」が41.9%、「要支援1・2」では、「ケアマネジャー」が45.0%と最も多くなっています。(図表7-3)

よく会う友人・知人との関係としては、「趣味や関心が同じ友人」が38.9%で最も多く、以下「近所・同じ地域の人」(29.4%)、「学生時代の友人」(25.6%)、「仕事での同僚・元同僚」(24.8%)の順となっています。(図表7-4)

図表7-3 家族や友人・知人以外の相談相手

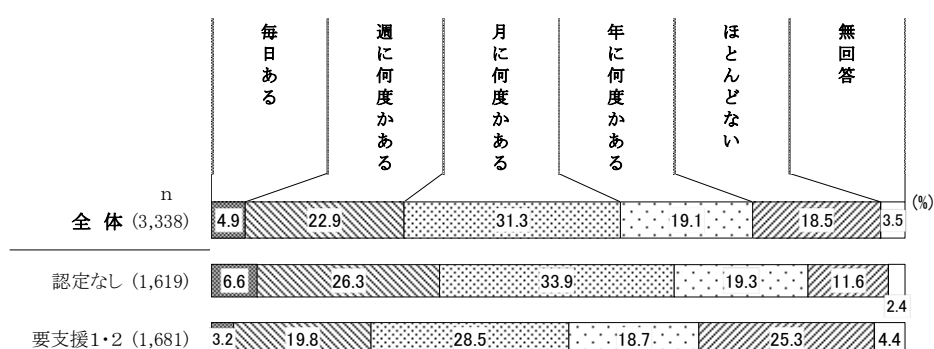


図表7-4 よく会う友人・知人との関係



友人・知人と会う頻度としては、「月に何度かある」が31.3%で最も多く、次に「週に何度かある」(22.9%)、「年に何度かある」(19.1%)の順になっています。(図表7-5)

図表7-5 友人・知人と会う頻度

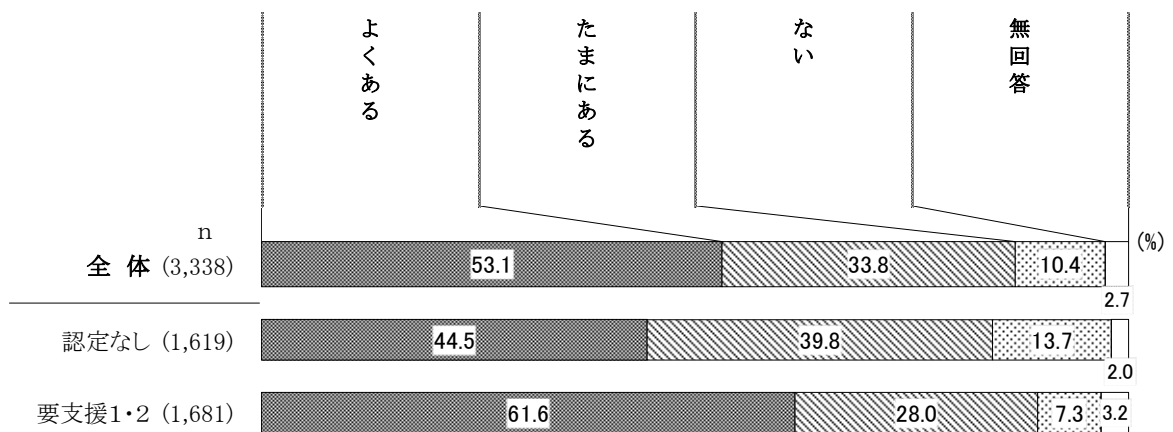


## (4) 日中、ひとりになることの有無

問10 日中、ひとりになることがありますか。(○はひとつ)

日中ひとりになることについては、「よくある」が53.1%で、「たまにある」が33.8%、「ない」が10.4%となっています。(図表7-6)

図表7-6 日中、ひとりになることの有無



## 8. 健康について

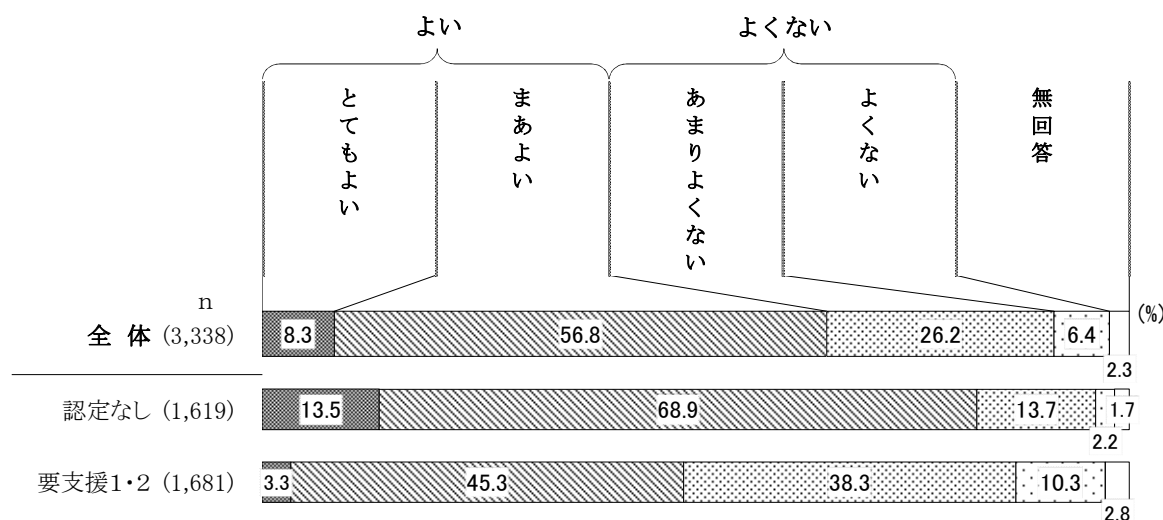
### (1) 現在の健康状態

問11 健康についてお伺いします。

問11 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(〇はひとつ)

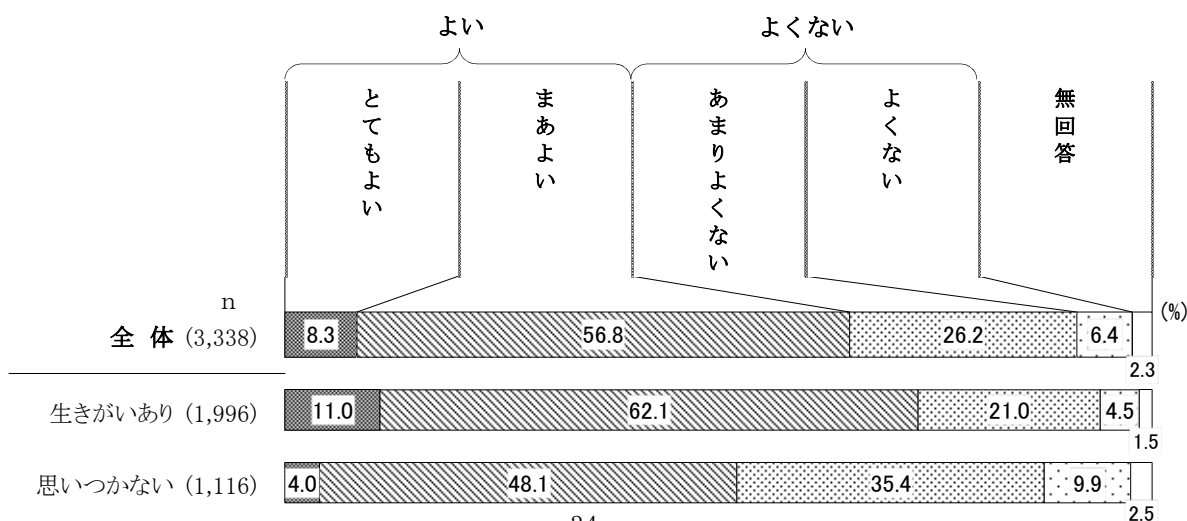
現在の健康状態としては、「とてもよい」(8.3%)と「まあよい」(56.8%)を合わせた『よい』が65.1%に対して、「あまりよくない」(26.2%)と「よくない」(6.4%)を合わせた『よくない』は32.6%となっています。(図表8-1)

図表8-1 現在の健康状態



健康状態と生きがいの有無別でみると、“生きがいあり”で「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『よい』が73.1%と、“思いつかない”で「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『よい』を21.0ポイント上回っています。(図表8-2)

図表8-2 現在の健康状態／生きがいの有無別

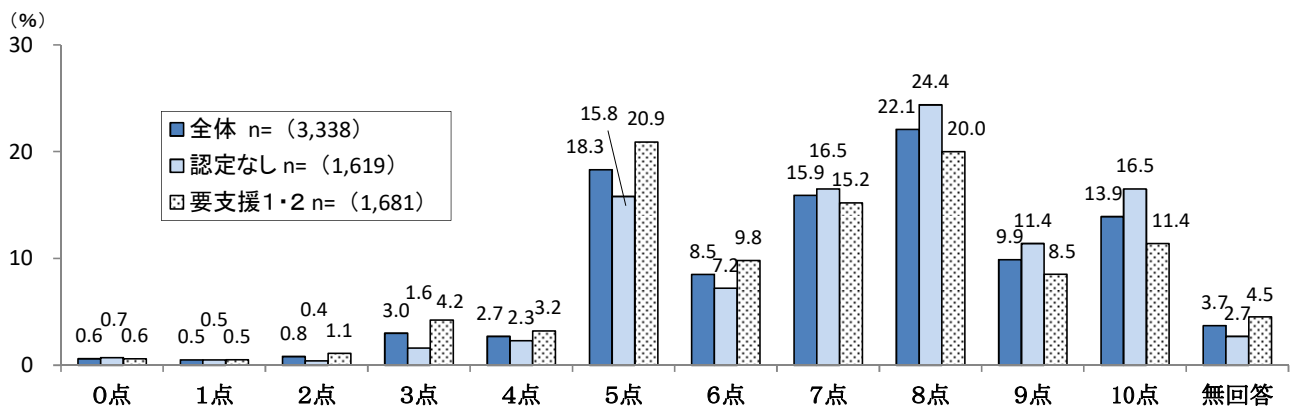


## (2) 幸福度

問11 (2) あなたは、現在どの程度幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点とし、該当する点数に○をつけてください。

現在どの程度幸せかについて10点満点で点数化をしてもらったところ、「8点」が22.1%で最も多く、以下「5点」(18.3%)、「7点」(15.9%)、「10点」(13.9%)の順となっています。(図表8-3)

図表8-3 幸福度



幸福度と問4 (3)「現在の暮らしの状況」をみると、幸福度の平均は“大変苦しい”から“大変ゆとりがある”に向かって高くなっています。(図表8-4)

図表8-4 幸福度／現在の暮らしの状況

		(人)												
	n	(0点 とても不幸)	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 (とても幸せ)	無回答	平均点
全 体	3,338	21	18	26	99	91	611	285	530	738	330	464	125	7.1
大変苦しい	238	10	7	7	28	20	70	16	22	23	8	11	16	5.2
やや苦しい	580	4	9	10	31	32	157	62	92	97	30	39	17	6.2
ふつう	1,909	5	1	5	35	32	329	163	329	457	200	290	63	7.3
ややゆとりがある	388	-	-	2	1	4	27	28	67	120	65	67	7	7.9
大変ゆとりがある	86	-	-	1	2	-	3	4	3	19	11	36	7	8.6

## 第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

幸福度と生きがいの有無でみると、“生きがいあり”では「8点」(26.7%)が、“思いつかない”では「5点」(26.4%)が最も多くなっています。(図表8-5)

図表8-5 幸福度／生きがいの有無

		(%)											
	n	0点 (とても不幸)	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 (とても幸せ)	無回答
全 体	3,338	0.6	0.5	0.8	3.0	2.7	18.3	8.5	15.9	22.1	9.9	13.9	3.7
生きがいあり	1,996	0.2	0.1	0.4	1.1	1.2	13.3	7.5	16.2	26.7	12.4	18.3	2.7
思いつかない	1,116	1.6	1.3	1.3	6.3	5.7	26.4	10.9	15.7	15.7	5.3	6.1	3.7



## (3) この1か月の気持ち

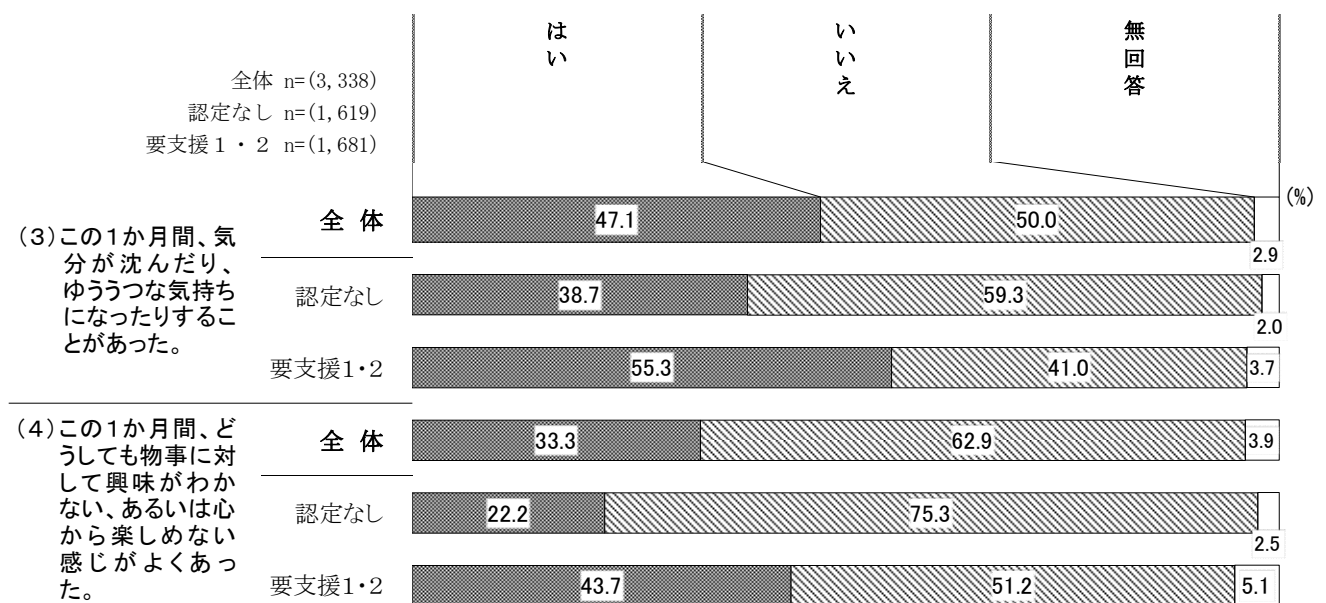
問11 (3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(〇はひとつ)

問11 (4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(〇はひとつ)

まず、この1か月間にゆううつな気持ちになったことの有無についてきいたところ、「はい」が47.1%、「いいえ」が50.0%となっています。

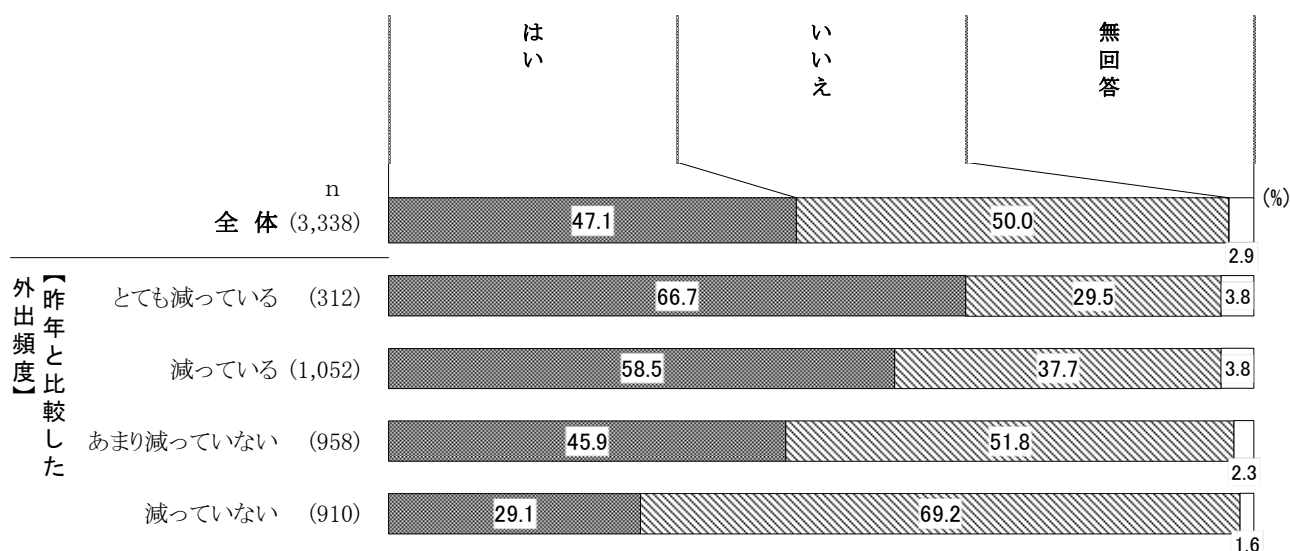
また、この1か月間、物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じの有無については、「はい」が33.3%、「いいえ」が62.9%となっています。(図表8-6)

図表8-6 この1か月間にゆううつな気持ちになったことの有無



この1か月間の気持ちと昨年と比較した外出頻度別でみると、「はい」と答えた人は外出頻度が“とても減っている”(66.7%)、“減っている”(58.5%)で多くなっています。(図表8-7)

図表8-7 この1か月間にゆううつな気持ちになったことの有無／昨年と比較した外出頻度別

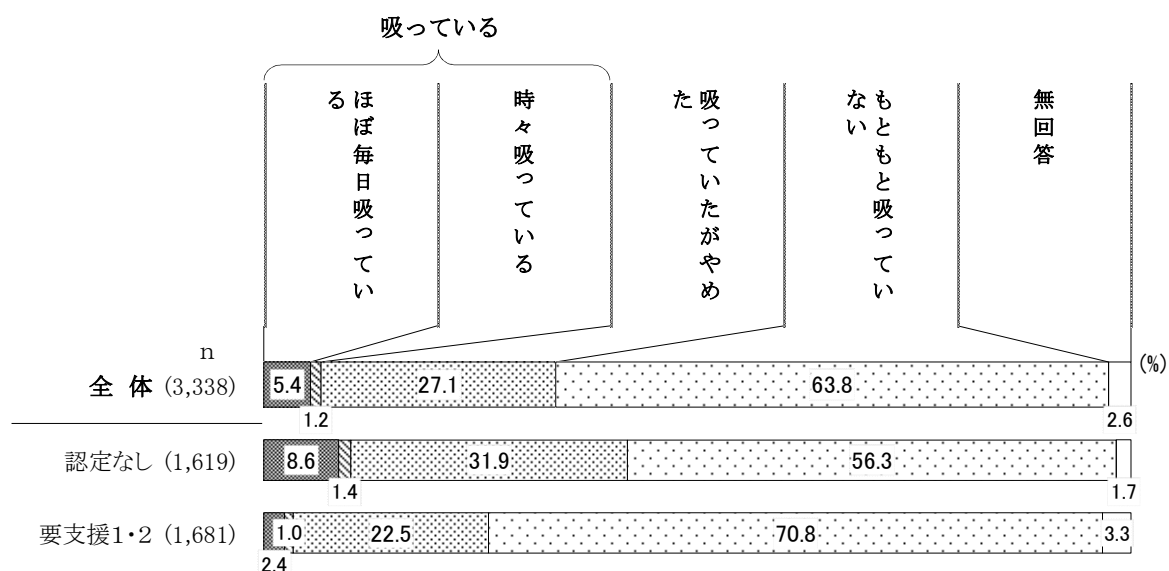


#### (4) 喫煙状況

問11 (5) タバコは吸っていますか。(○はひとつ)

喫煙状況としては「ほぼ毎日吸っている」(5.4%)と「時々吸っている」(1.2%)を合わせた『吸っている』は6.6%となっています。一方、「吸っているがやめた」は27.1%、「もともと吸っていない」は63.8%となっています。(図表8-8)

図表8-8 喫煙状況

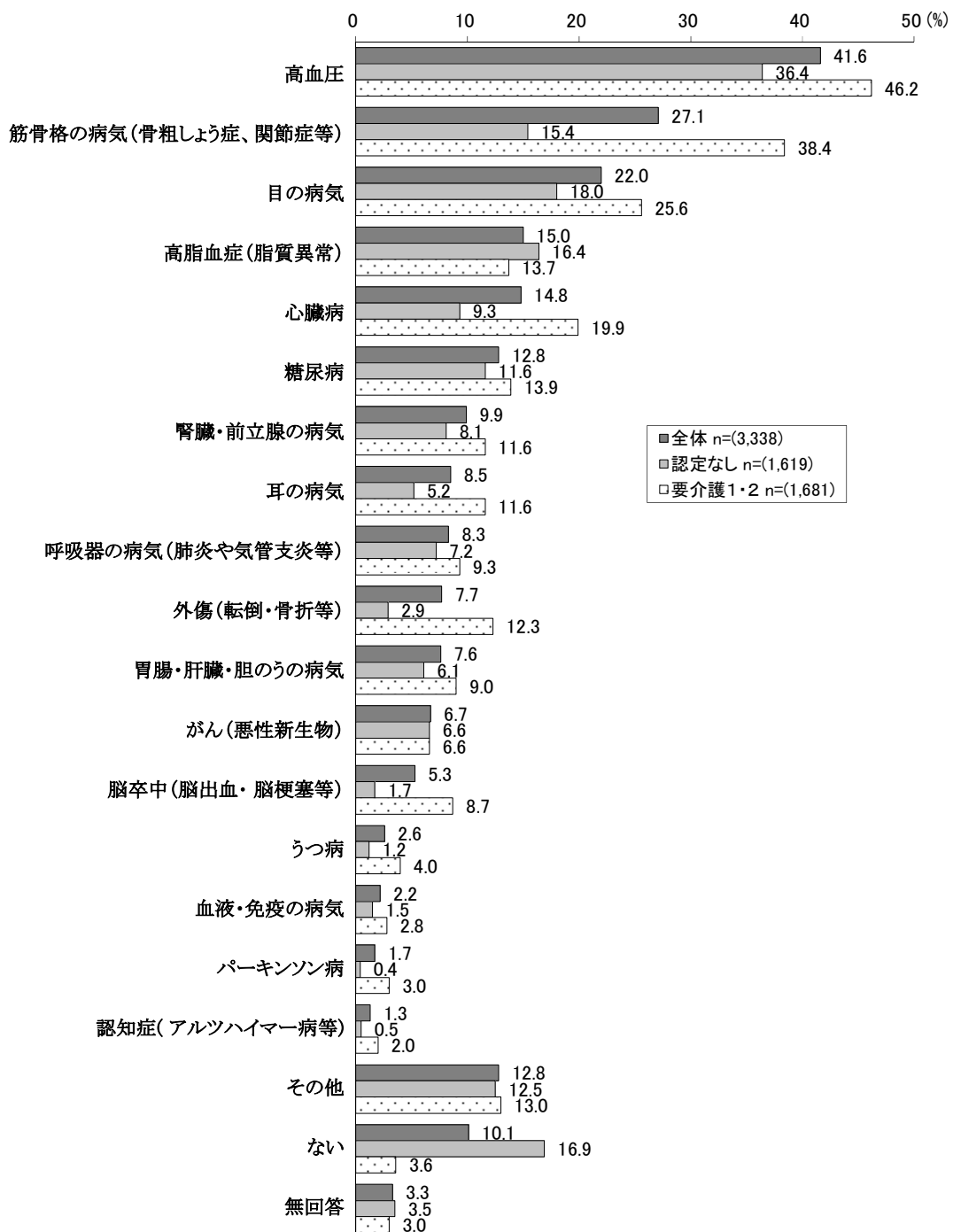


## (5) 現在治療中または後遺症のある病気

問11 (6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

現在治療中または後遺症のある病気としては「高血圧」が41.6%と最も多く、以下「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(27.1%)、「目の病気」(22.0%)の順となっています。(図表8-9)

図表8-9 現在治療中または後遺症のある病気



## (6) 認知症がある人の有無と相談窓口の把握

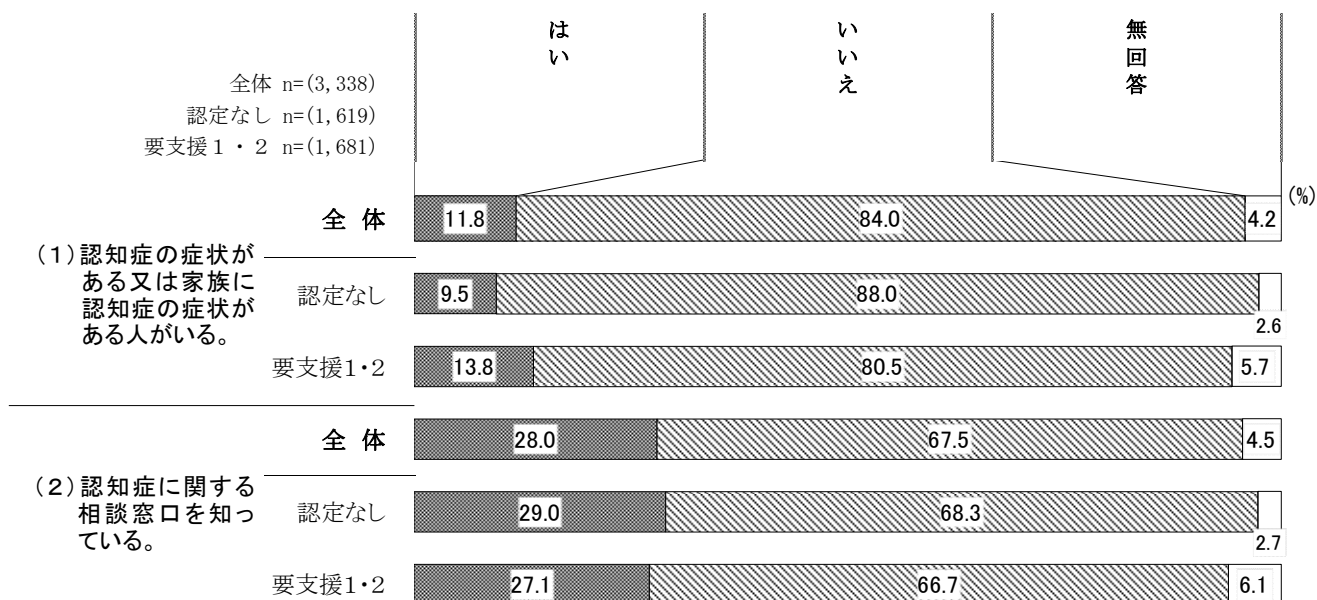
問12 認知症にかかる相談窓口の把握についてお伺いします。

問12 (1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(〇はひとつ)

問12 (2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(〇はひとつ)

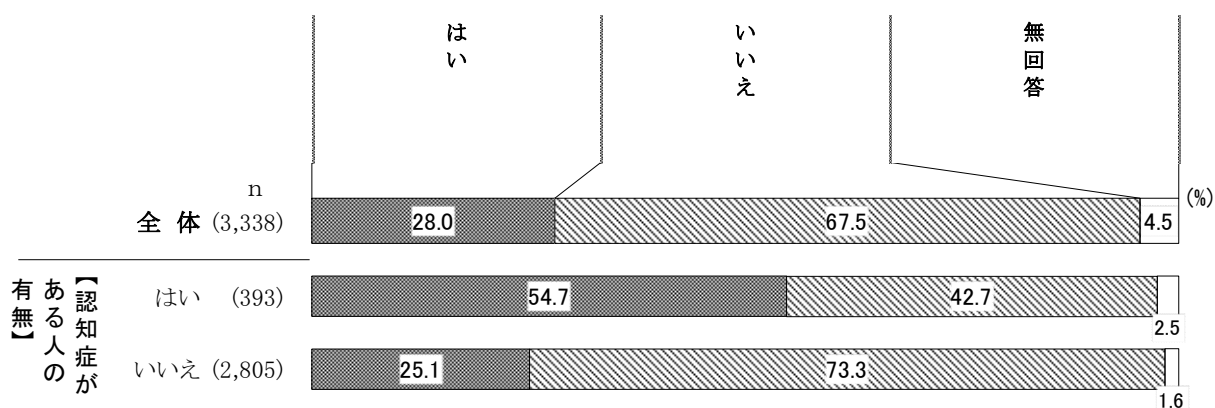
認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかについては、「はい」は全体の11.8%でした。また、認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「はい」は全体の28.0%でした。(図表8-10)

図表8-10 認知症がある人の有無と相談窓口の把握



認知症の症状がある人の有無別で認知症に関する相談窓口を知っているかをみると、認知症の症状のある人で相談窓口を知っている人の割合は54.7%でした。(図表8-11)

図表8-11 相談窓口の把握／認知症がある人の有無別

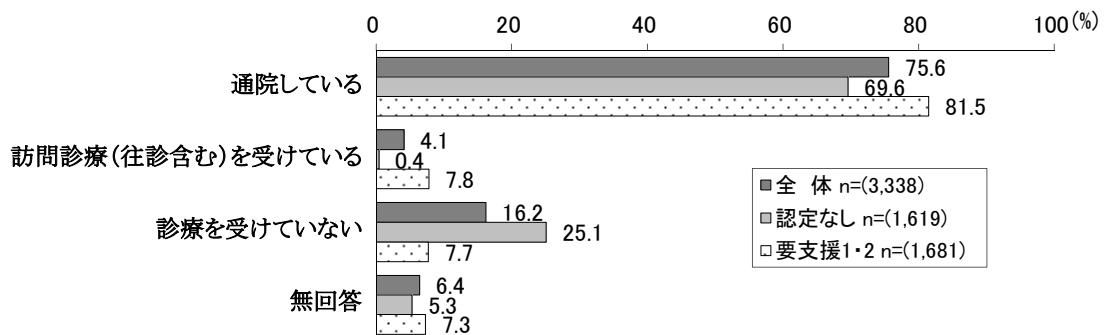


## (7) 通院、訪問診療（往診含む）の状況

問13 現在、通院（病院・医院・診療所）や訪問診療（往診含む）で診療を受けていますか。  
（あてはまるものすべてに○）

通院、訪問診療（往診含む）の状況としては、「通院している」が75.6%で最も多く、「診療を受けていない」（16.2%）、「訪問診療（往診含む）を受けている」（4.1%）となっています。（図表8-12）

図表8-12 通院、訪問診療（往診含む）の状況



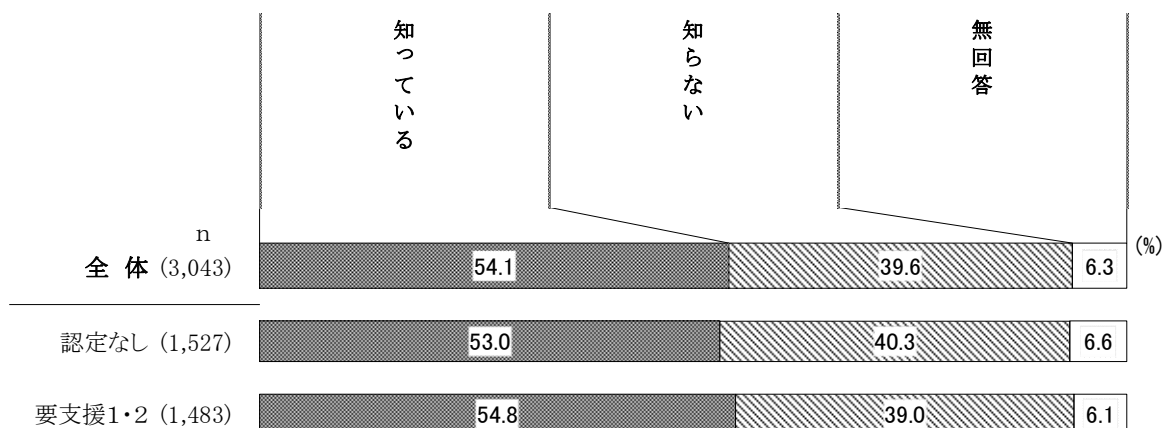
## (8) 訪問診療の認知

【「1 通院している」と「3 診療を受けていない」を選んだ方にお伺いします。】

問13（1）通院が困難な患者さんのお宅に、医師が定期的に診療に伺い、計画的に健康管理を行う「訪問診療」を知っていますか。（○はひとつ）

訪問診療は「知っている」が54.1%で、「知らない」は39.6%となっています。（図表8-13）

図表8-13 訪問診療の認知



## 9. 仕事について

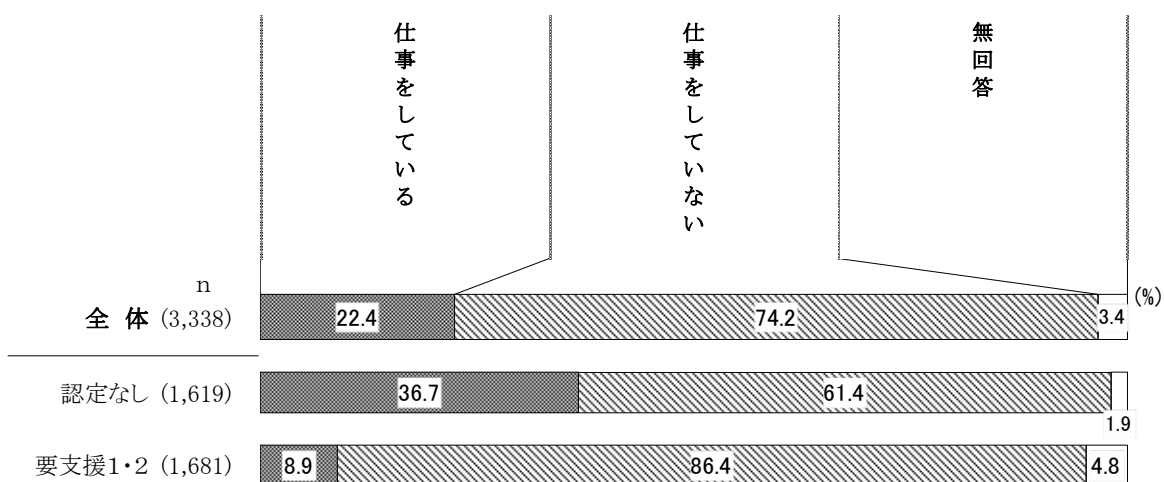
### (1) 就労の有無

問14 仕事についてお伺いします。

問14 (1) あなたは、現在、収入のある仕事をしていますか。(○はひとつ)

就労の有無については、「仕事をしている」が22.4%、「仕事をしていない」が74.2%となっています。(図表9-1)

図表9-1 就労の有無



(人)

	n	仕事をして いる	仕事をし ていない	無回答
全 体	3,338	747	2,476	115
認定なし	1,619	594	994	31
要支援1・2	1,681	149	1,452	80

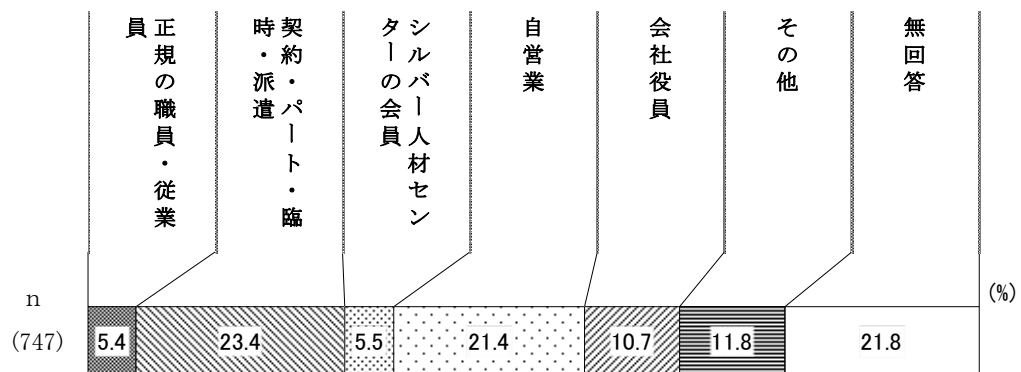
## (2) 勤務形態

【「1 仕事をしている」を選んだ方にお伺いします。】

問14(1)－1 それはどのような仕事ですか。(○はひとつ)

勤務形態としては「契約・パート・臨時・派遣」が23.4%、「自営業」が21.4%の順になっています。(図表9－2)

図表9－2 勤務形態



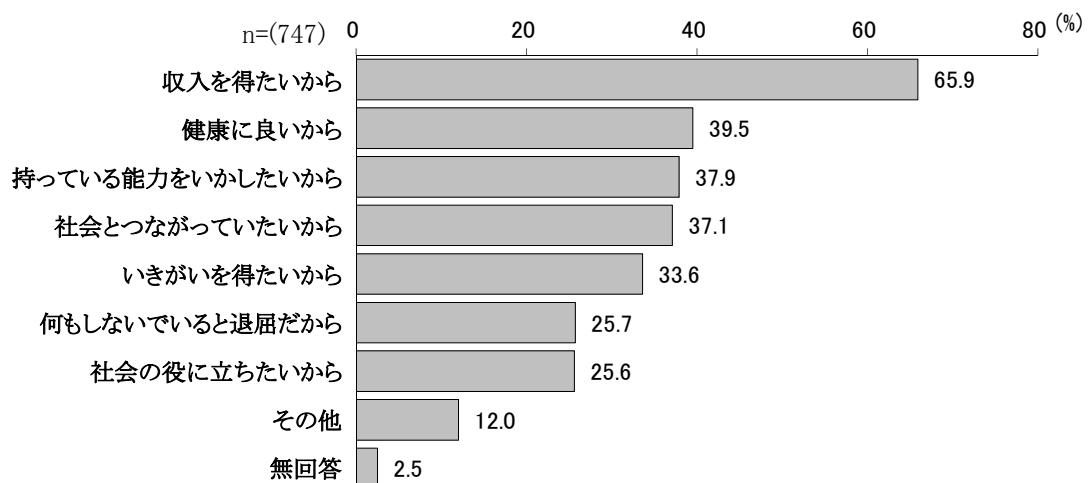
## (3) 仕事をしている理由

【「1 仕事をしている」を選んだ方にお伺いします。】

問14(1)－2 あなたが仕事をしている理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

仕事をしている理由としては「収入を得たいから」が65.9%と最も多く、以下「健康に良いから」(39.5%)、「持っている能力をいかしたいから」(37.9%)、「社会とつながっていたいから」(37.1%)の順となっています。(図表9－3)

図表9－3 仕事をしている理由



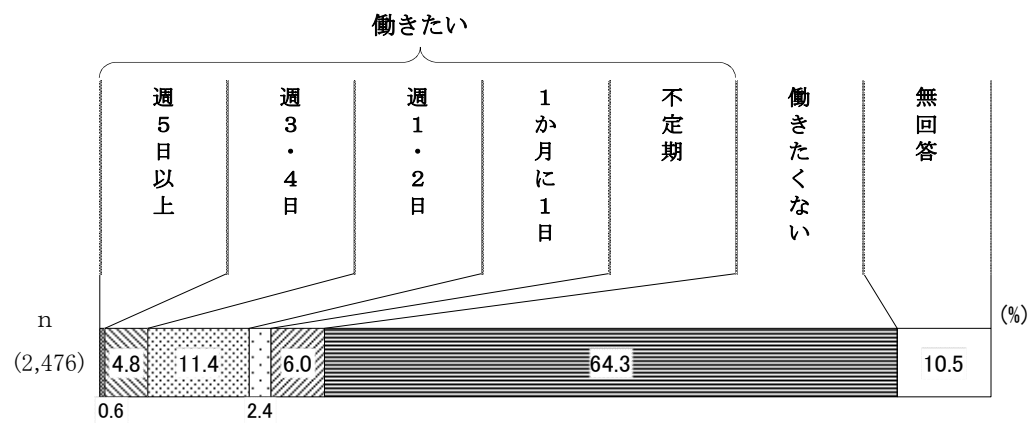
(4) 働きたい日数

【「2 仕事をしていない」を選んだ方にお伺いします。】

問14(1)－3 週に何日程度であれば働きたいですか。(○はひとつ)

仕事をしていない人の中で、『働きたい』人の割合は25.2%でした。(図表9－4)

図表9－4 働きたい日数



“認定なし”では「週1・2日」が17.7%と高くなっています。  
性別でみると、男性で「週1・2日」が14.8%と高くなっています。  
また、年代別でみると、65～74歳で「週3・4日」(10.3%)、「週1・2日」(18.9%)が多く、  
『働きたい』人の割合は42.2%となっています。(図表9－5)

図表9－5 働きたい日数／性別、年代別

		働きたい						(%)
		n	週5日 以上	週3・4 日	週1・2 日	1か月 に1日	不定期	働きたく ない
全 体		2,476	0.6	4.8	11.4	2.4	6.0	64.3
性別	認定なし	994	1.2	7.9	17.7	2.9	7.1	58.2
	要支援1・2	1,452	0.2	2.8	7.2	2.0	4.9	68.5
	男性	776	1.3	9.1	14.8	1.5	7.6	59.8
	女性	1,649	0.2	2.9	9.8	2.9	5.2	66.7
年代別	65～74歳	525	1.5	10.3	18.9	2.7	8.8	53.5
	75～84歳	1,000	0.4	5.3	13.6	2.5	6.4	62.3
	85歳以上	899	0.2	1.3	4.6	2.2	4.0	73.2



## 10. 長寿応援ポイント事業について

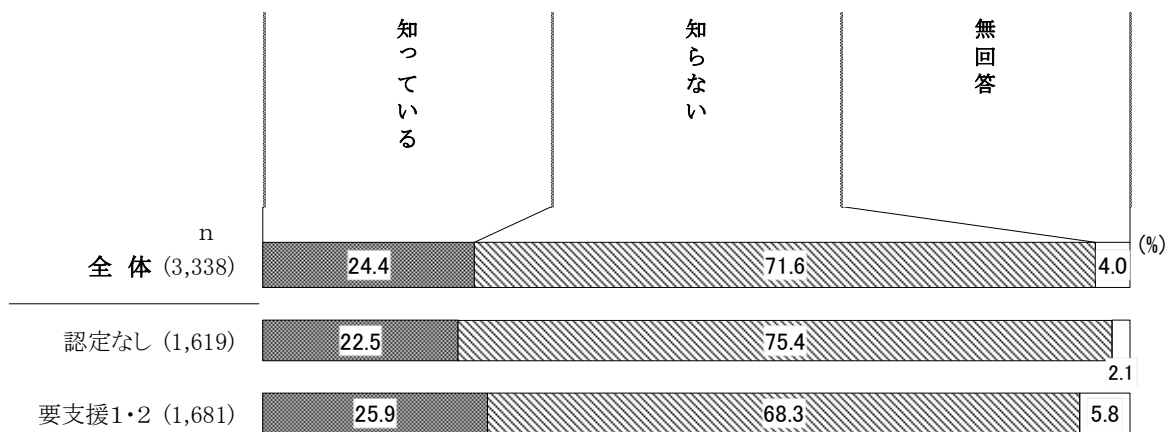
### (1) 長寿応援ポイント事業の認知度

問15 長寿応援ポイント事業についてお伺いします。

問15 (1) 区が実施している長寿応援ポイント事業を知っていますか。(〇はひとつ)

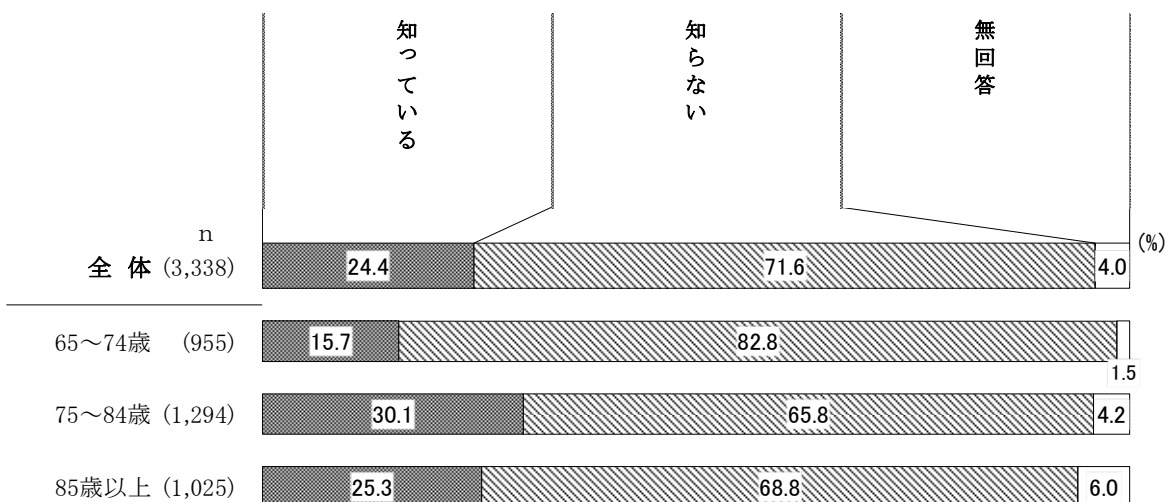
長寿応援ポイント事業の認知度については、「知っている」が24.4%、「知らない」が71.6%となっています。(図表10-1)

図表10-1 長寿応援ポイント事業の認知度



年代別でみると、「知っている」は“65～74歳”で15.7%にとどまっているのに対し、“75～84歳”になると30.1%と、2倍近くになっています。(図表10-2)

図表10-2 長寿応援ポイント事業の認知度／年代別



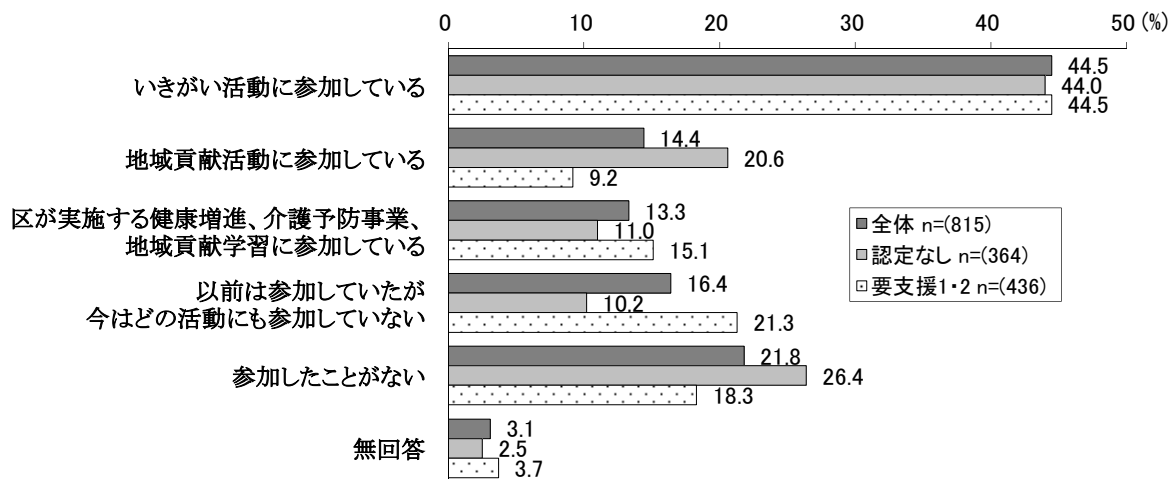
(2) 長寿応援ポイント事業登録団体による活動への参加状況

【「1 知っている」を選んだ方にお伺いします。】

問15(1)－1 長寿応援ポイント事業登録団体による活動への参加状況を教えてください。  
(あてはまるものすべてに○)

長寿応援ポイント事業を知っている人の活動への参加状況としては、「いきがい活動に参加している」が44.5%と最も多く、「地域貢献活動に参加している」は14.4%、「区が実施する健康増進、介護予防事業、地域貢献学習に参加している」は13.3%でした。(図表10－3)

図表10－3 長寿応援ポイント事業登録団体による活動への参加状況



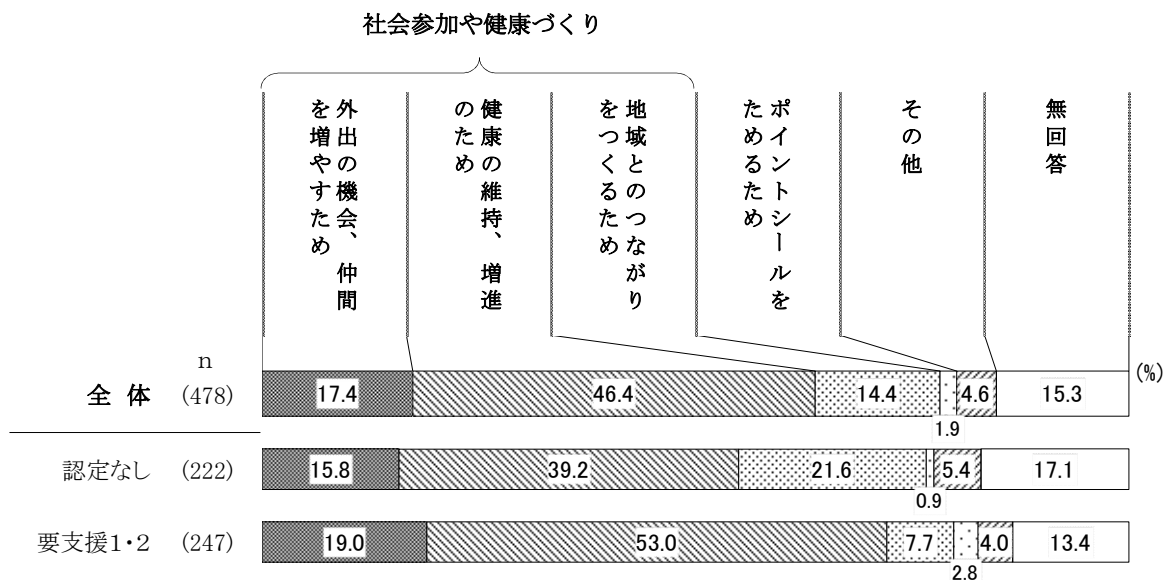
## (3) 参加する主な目的

【「1～3に参加している」を選んだ方にお伺いします。】

問15(1)－1－1 参加の主な目的はなんですか。(〇はひとつ)

何らかの活動に参加している人へ、参加の主な理由をきいたところ、「健康の維持、増進のため」が46.4%、「外出の機会、仲間を増やすため」が17.4%、「地域とのつながりをつくるため」が14.4%と、それらを合わせた『社会参加や健康づくり』が78.2%を占めています。「ポイントシールをためるため」は1.9%です。(図表10－4)

図表10－4 参加する主な目的



## (4) 参加したことがない理由

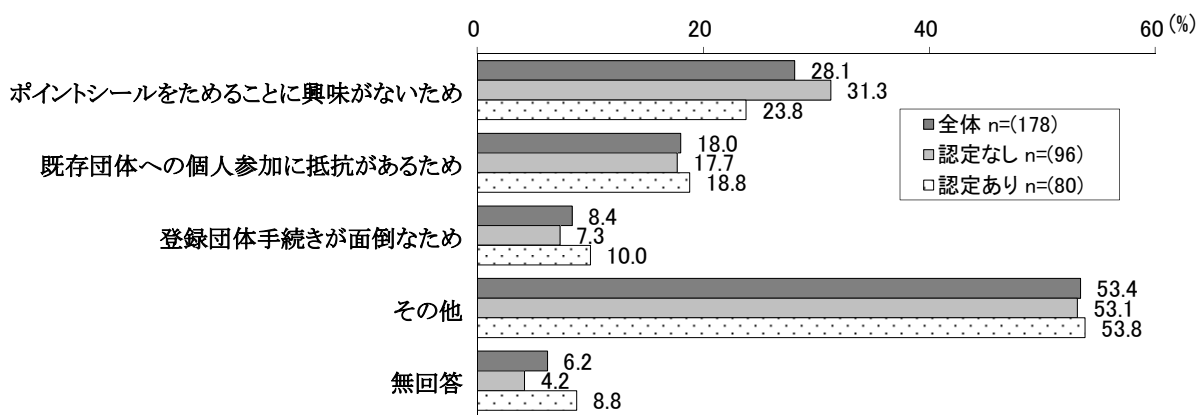
【「5 参加したことがない」を選んだ方にお伺いします。】

問15(1)－1－2 参加したことがない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

長寿応援ポイント事業に参加したことがない理由としては「ポイントシールをためることに興味がないため」が28.1%と最も多く、「既存団体への個人参加に抵抗があるため」は18.0%、「登録団体手続きが面倒なため」は8.4%となっています。(図表10－5)

また、「その他の内訳（複数回答）」としては、「（登録団体等）知らない」「忙しい・時間がない（就労等）」などがある一方、「体力低下」「病気」などの理由により参加したことがない、などがあげられています。

図表10－5 参加したことがない理由



## 〈その他の内訳（複数回答）〉

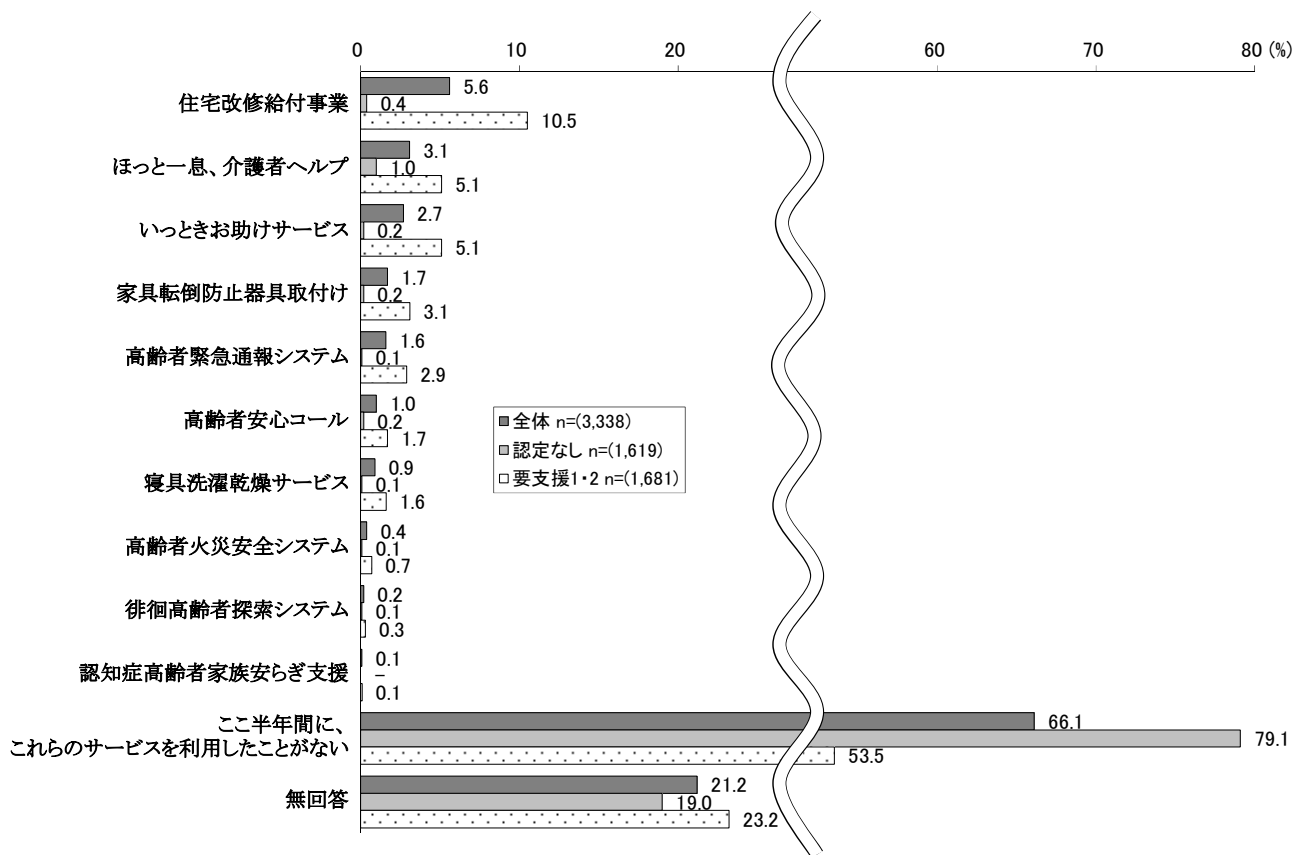
理由	件数
（登録団体等）知らない	110
忙しい・時間がない（就労等）	103
体力低下	58
自身の病気	50
（事業に）関心がない	40
・参加することに関心はない	
・興味なし、現在の状況では日常生活で手いっぱい など	
高齢のため迷惑がかかる	30
（集団が苦手等）参加しづらい	25
参加したいものがない	14
他で活動	14
親族の病気	10
（参加する）機会がない	7
・誘われたことがない	
・接点がないし、なかった など	
その他	12
・ボランティア先が手続をしてくれない	
・年齢に達していない など	

## (5) ここ半年間の高齢者在宅サービスの利用

問16 ここ半年間に、高齢者在宅サービス（区の独自サービス）を利用したことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

全体で、「住宅改修給付事業」（5.6％）が最も多く、次に「ほっと一息、介護者ヘルプ」（3.1％）、「いっときお助けサービス」（2.7％）の順になっています。（図表10－6）

図表10－6 ここ半年間の高齢者在宅サービスの利用



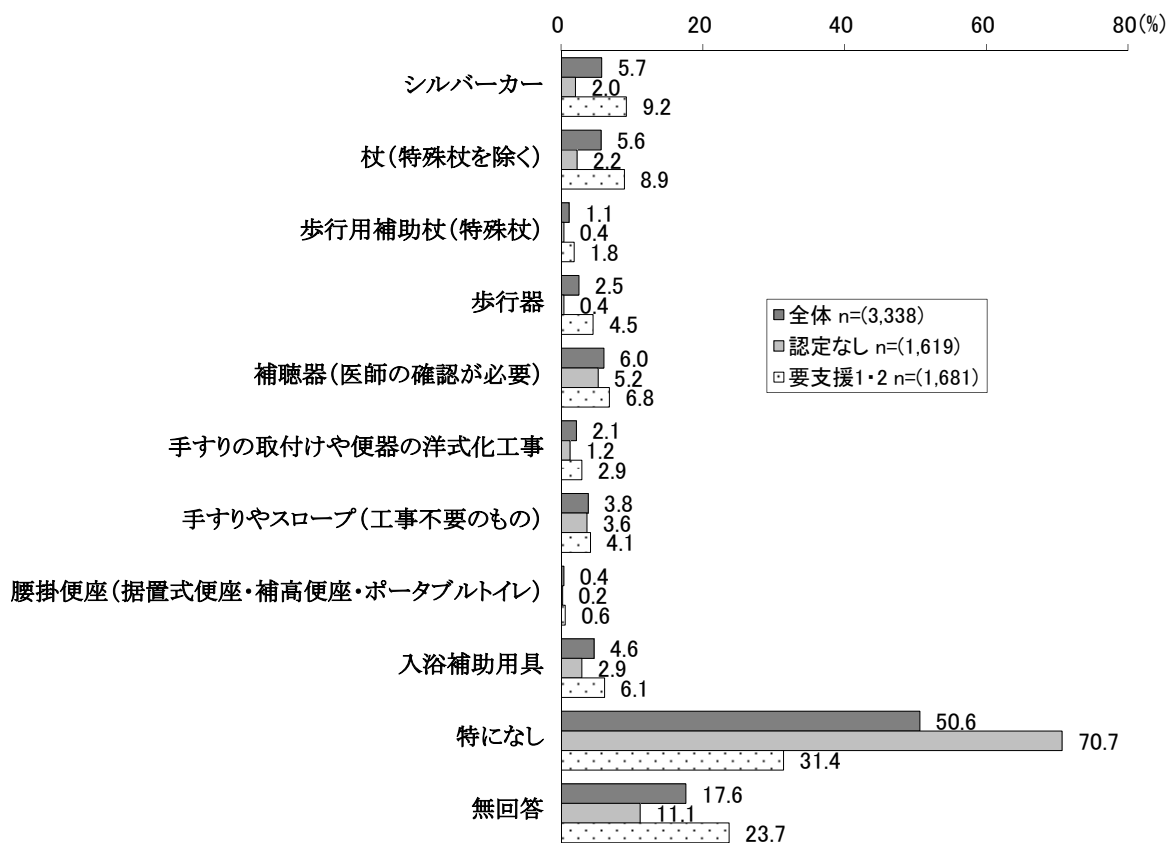
(6) 介護予防のために最も必要だと思う福祉用具等の給付や助成サービス

問17 介護予防のために、あなたにとって最も必要と思われる福祉用具等の給付や助成のサービスはどれですか。(〇はひとつ)

介護予防のために最も必要だと思う福祉用具等の給付や助成サービスとしては、“認定なし”では「特になし」が、70.7%と最も多く、次に「補聴器（医師の確認が必要）」(5.2%)、「手すりやスロープ（工事不要のもの）」(3.6%)、「入浴補助用具」（2.9%）の順になっています。

“要支援1・2”では、「特になし」が、31.4%と最も多く、次に「シルバーカー」（9.2%）、「杖（特殊杖を除く）」(8.9%)、「補聴器（医師の確認が必要）」(6.8%)の順になっています。（図表10－7）

図表10－7 介護予防のために最も必要だと思う福祉用具等の給付や助成サービス



## 1 1. 介護保険サービスの利用や制度について

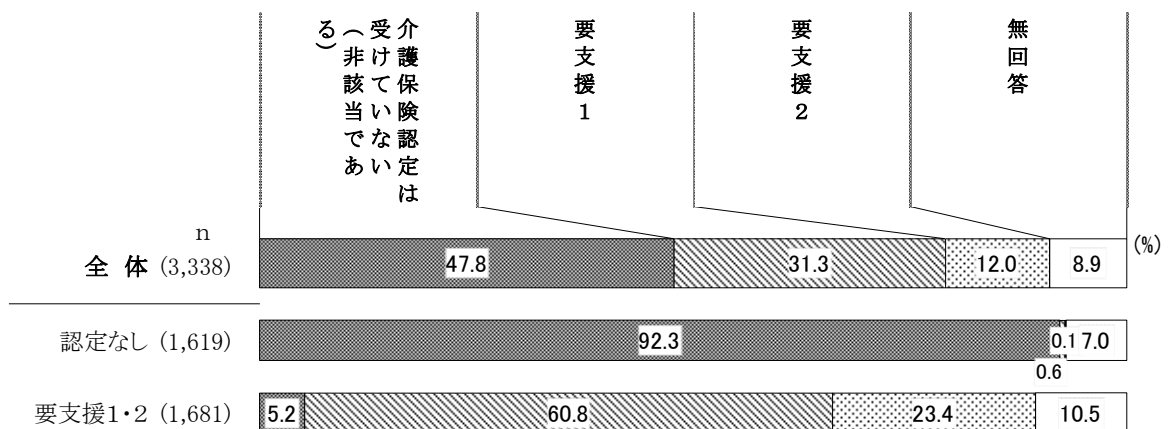
### (1) 現在の認定状況

問18 介護保険サービスの利用や制度についてお伺いします。

問18(1) 現在の認定状況を教えてください。(〇はひとつ)

現在の認定状況としては、全体でみると「介護保険認定は受けていない（非該当である）」が47.8%、「要支援1」が31.3%、「要支援2」が12.0%となっています。(図表11-1)

図表11-1 現在の認定状況



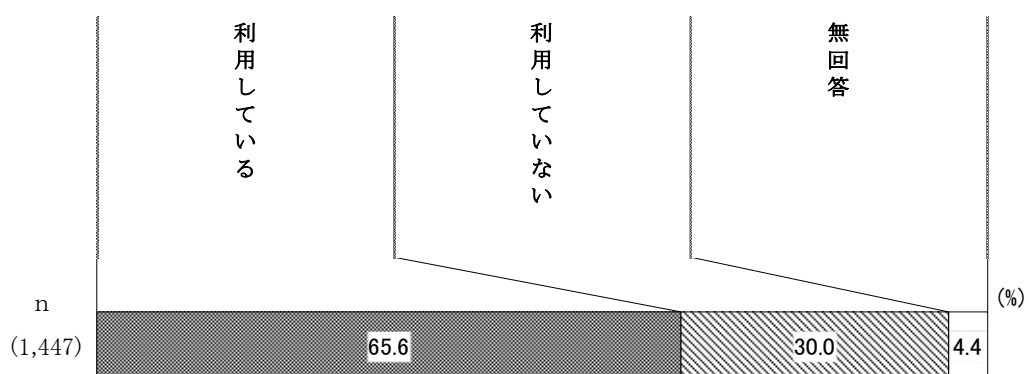
### (2) 介護保険サービスの利用状況

【「2 要支援1」と「3 要支援2」を選んだ方にお伺いします。】

問18(1)-1 介護保険サービスを利用していますか。(〇はひとつ)

介護保険サービスの利用については、「利用している」が65.6%、「利用していない」が30.0%となっています。(図表11-2)

図表11-2 介護保険サービスの利用状況



(3) 介護保険サービスを利用していない理由

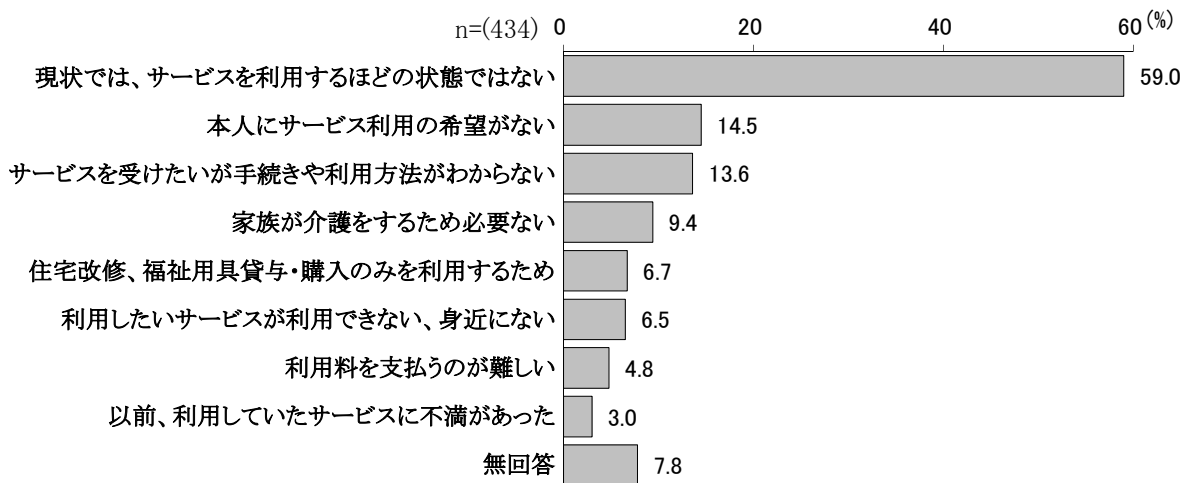
【「2 利用していない」を選んだ方にお伺いします。】

問18(1)－1－1 サービスを利用していない理由を教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

介護保険サービスを利用していない理由としては、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が59.0%と最も多く、以下、「本人にサービス利用の希望がない」(14.5%)、「サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない」(13.6%)の順となっています。(図表11－3)

図表11－3 介護保険サービスを利用していない理由



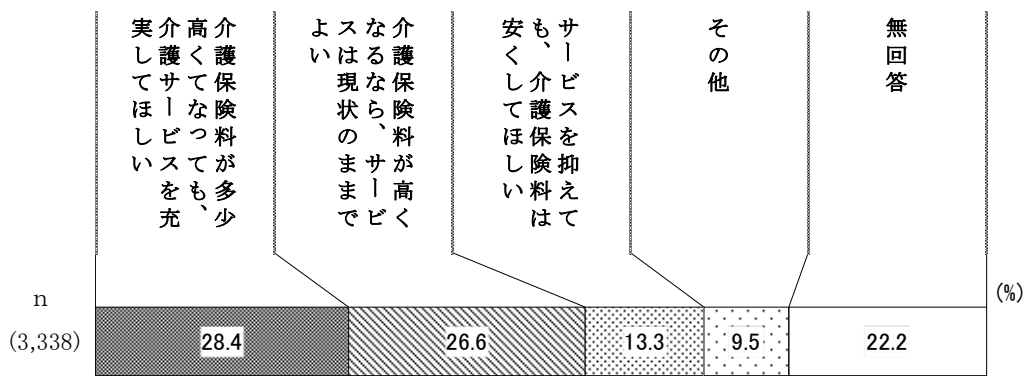


(4) 介護保険サービスと介護保険料のあり方

問18 (2) 介護保険サービスと介護保険料のあり方について、ご本人のお考えにもっとも近いものはどれですか。(〇はひとつ)

介護保険サービスと介護保険料のあり方については、「介護保険料が多少高くなっても、介護サービスを充実してほしい」が28.4%、「介護保険料が高くなるなら、サービスは現状のままでよい」が26.6%、「サービスを抑えても、介護保険料は安くしてほしい」が13.3%となっています。(図表11-4)

図表11-4 介護保険サービスと介護保険料のあり方

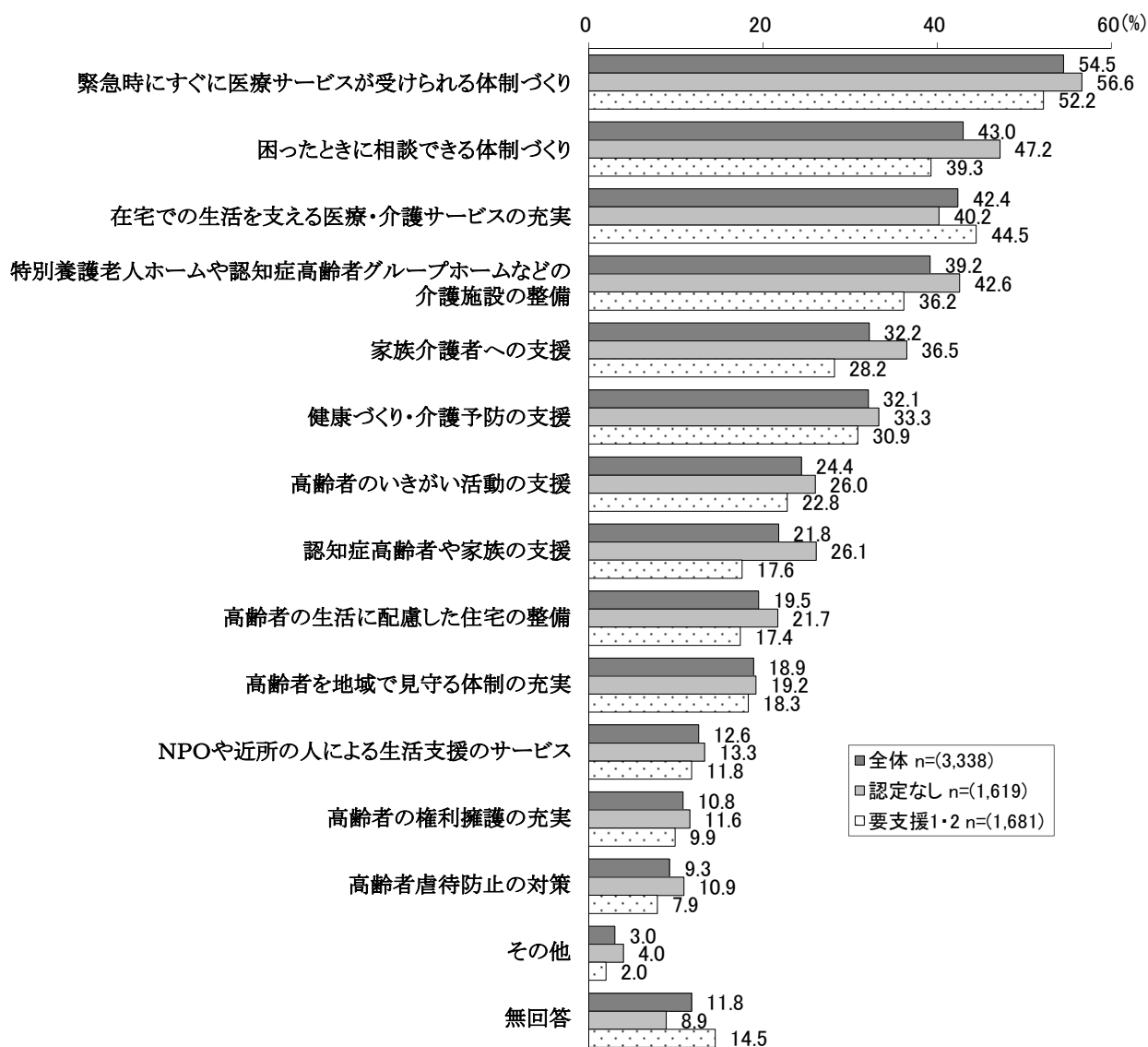


(5) 高齢者のために充実させたいと思う施策

問19 今後、高齢者のためにどのような施策を充実したらよいと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

今後、高齢者のために充実した方がよいと思う施策としては、「緊急時にすぐに医療サービスが受けられる体制づくり」が54.5%と最も多く、以下「困ったときに相談できる体制づくり」(43.0%)、「在宅での生活を支える医療・介護サービスの充実」(42.4%)の順となっています。(図表11-5)

図表11-5 高齢者のために充実させたいと思う施策



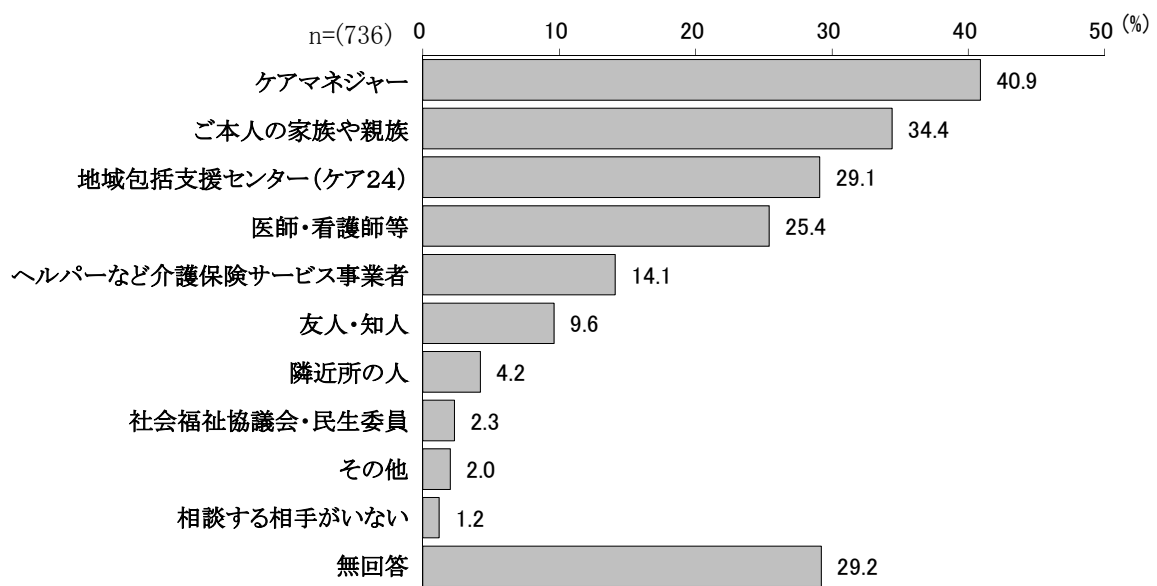
## (6) (介助・介護者が) 介護のことで困ったときの相談相手

封筒のあて名ご本人を介助・介護している方におたずねします。

問20 介護のことで困ったとき、どなたに相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

介助・介護者に対して、介護のことで困ったときの相談相手をきいたところ、「ケアマネジャー」が40.9%と最も多く、以下「ご本人の家族や親族」(34.4%)、「地域包括支援センター(ケア24)」(29.1%)、「医師・看護師等」(25.4%)の順となっています。(図表11-6)

図表11-6 (介助・介護者が) 介護のことで困ったときの相談相手



## 12. 社会的孤立の状況について

問4（1）家族構成を教えてください。

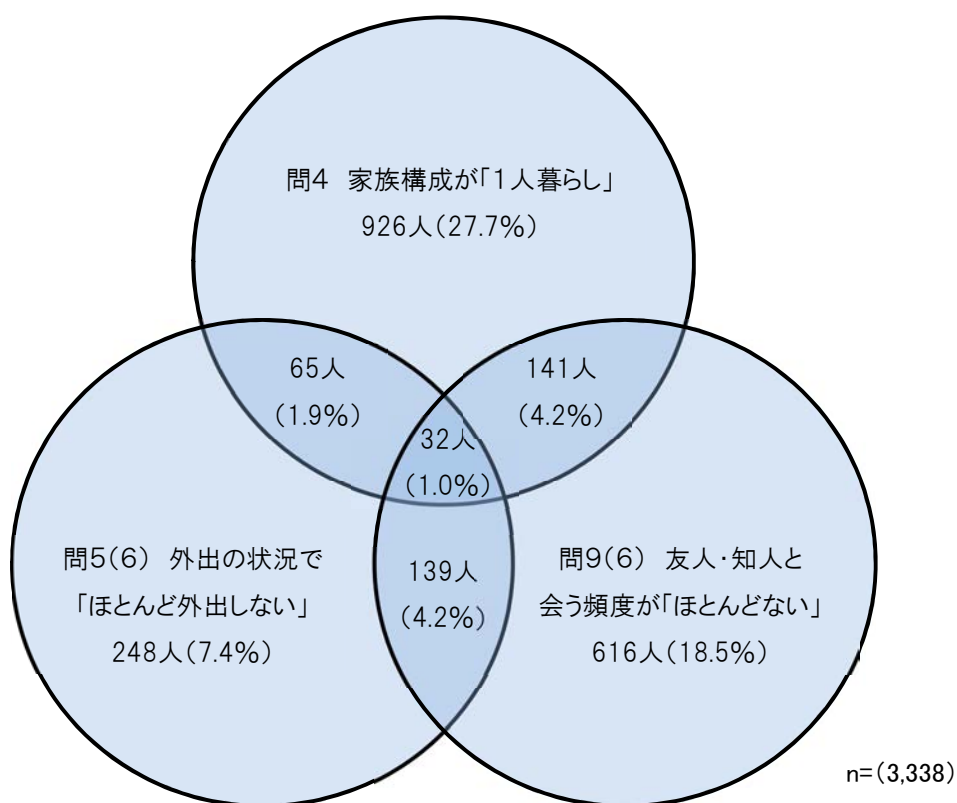
問5（6）週に1回以上は外出していますか。

問9（6）友人・知人と会う頻度はどれくらいか教えてください。

家族構成（問4（1））、外出の状況（問5（6））、友人・知人と会う頻度（問9（6））といった社会的孤立にかかわる3項目を注視し、その有無・頻度がほとんどないと回答された状況を整理しました。

回答者3,338人のうち、家族構成が「1人暮らし」、外出の状況で「ほとんど外出しない」、友人・知人と会う頻度で「ほとんどない」の3項目がすべてあてはまる人は32人で全体の1.0%となっています。（図表12－1）

図表12－1 社会的孤立の状況



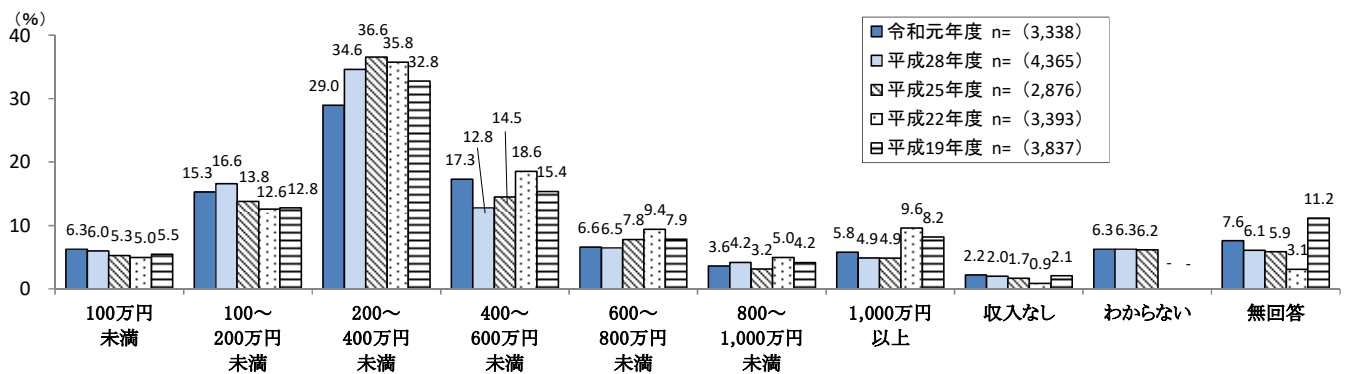
### 13. 経年比較

#### (1) 昨年1年間の世帯収入

問4 (4) 昨年1年間の世帯（同居するご家族すべてを含む）の収入はどのくらいでしたか。  
（〇はひとつ）

平成28年度から大きな差異はみられませんが、「200～400万円未満」でやや少なくなり、「400～600万円未満」がやや多くなっています。（図表13-1）

図表13-1 昨年1年間の世帯収入



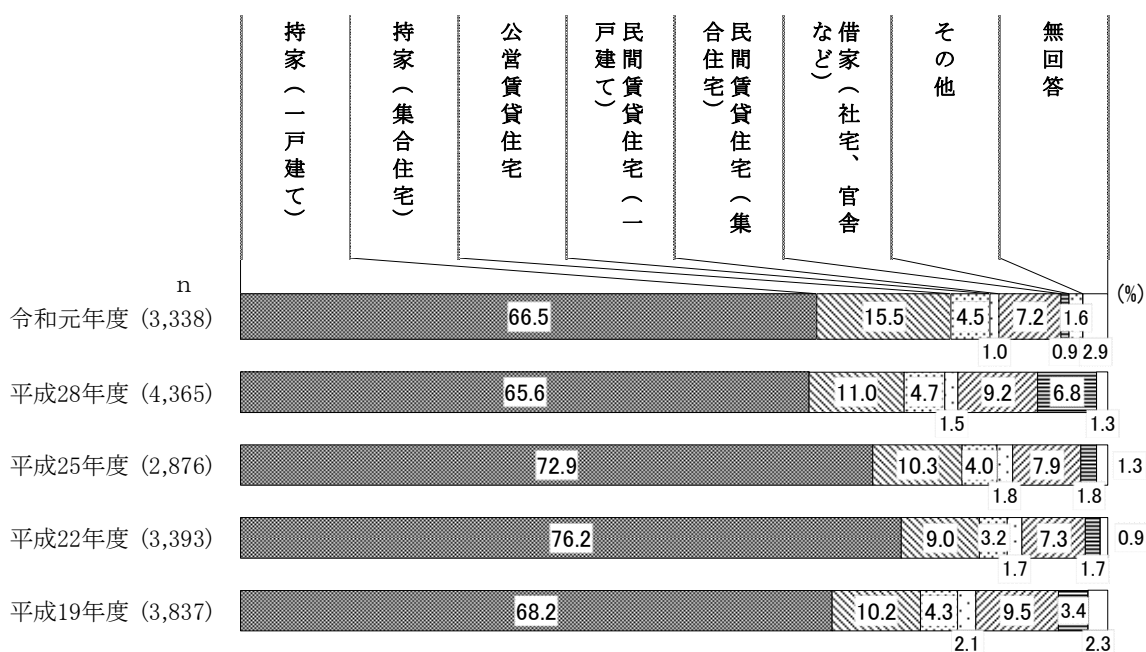
※「わからない」は、平成25年度に新設されました。

## (2) 居住形態

問4 (5) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(〇はひとつ)

「持家（一戸建て）」では、平成22年度、25年度の7割台に対し、平成28年度から6割台半ばとなっています。また、「持家（集合住宅）」は平成22年度以降微増し、今回で15.5%となっています。(図表13-2)

図表13-2 居住形態



※平成28年度から令和元年度への選択肢変更は、「分譲マンション」→「持家（集合住宅）」、「賃貸の公団、公社住宅、都営、区営住宅」→「公営賃貸住宅」、「賃貸マンション、アパート」→「民間賃貸住宅（集合住宅）」、「社宅、官舎、その他」→「借家（社宅、官舎など）」「その他」となります。

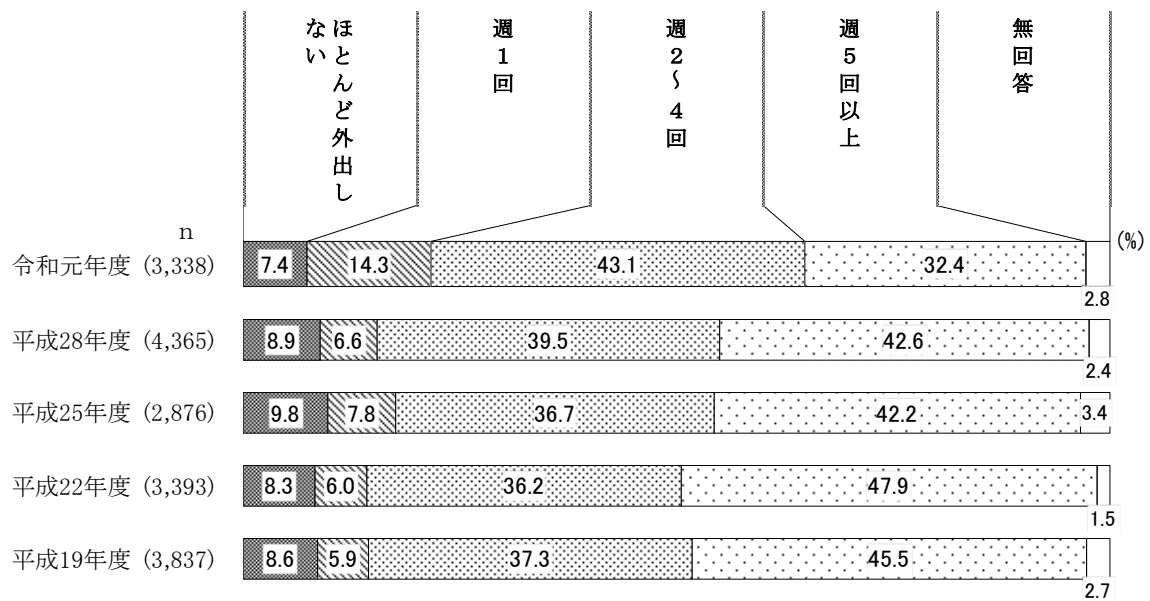
※平成22年度以前における「賃貸マンション」「民間鉄筋・鉄骨アパート」「民間木造アパート」は、合計して「賃貸マンション、アパート」とし、「間借り・住み込み等」は「その他」へ合算して集計しました。

## (3) 外出の頻度

問5 (6) 週に1回以上は外出していますか。(○はひとつ)

外出の頻度については、「週5回以上」が32.4%で、平成28年度から10.2ポイント減となっています。(図表13-3)

図表13-3 外出の頻度



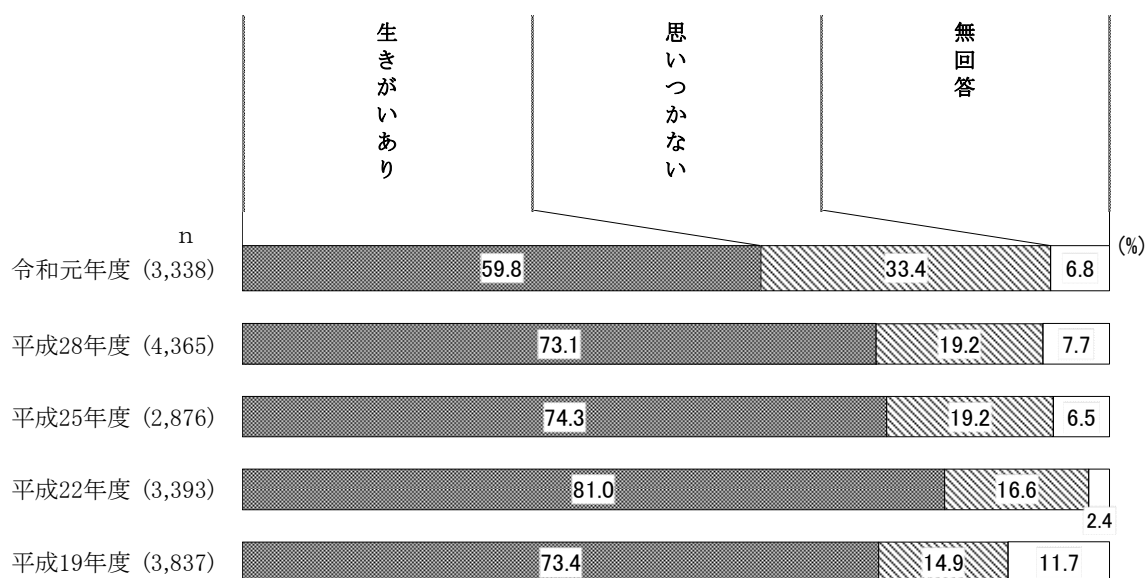
※平成28年度以前から令和元年度への選択肢変更は、「ほとんどない」＋「月に1～2回程度」→「ほとんど外出しない」、「週に2回程度」＋「週に3～4回程度」→「週2～4回」、「ほぼ毎日」→「週5回以上」となります。

#### (4) 生きがいの有無

問7 (10) 生きがいはありますか。(○はひとつ)

「生きがいあり」は平成22年以降減少傾向にあり、今回は59.8%と平成28年度から13.3ポイント減となっています。(図表13-4)

図表13-4 生きがいの有無



※「生きがいあり」「思いつかない」は、平成25・28年度では「はい」「いいえ」、平成19・22年度では「感じている」「感じていない」となっていました。

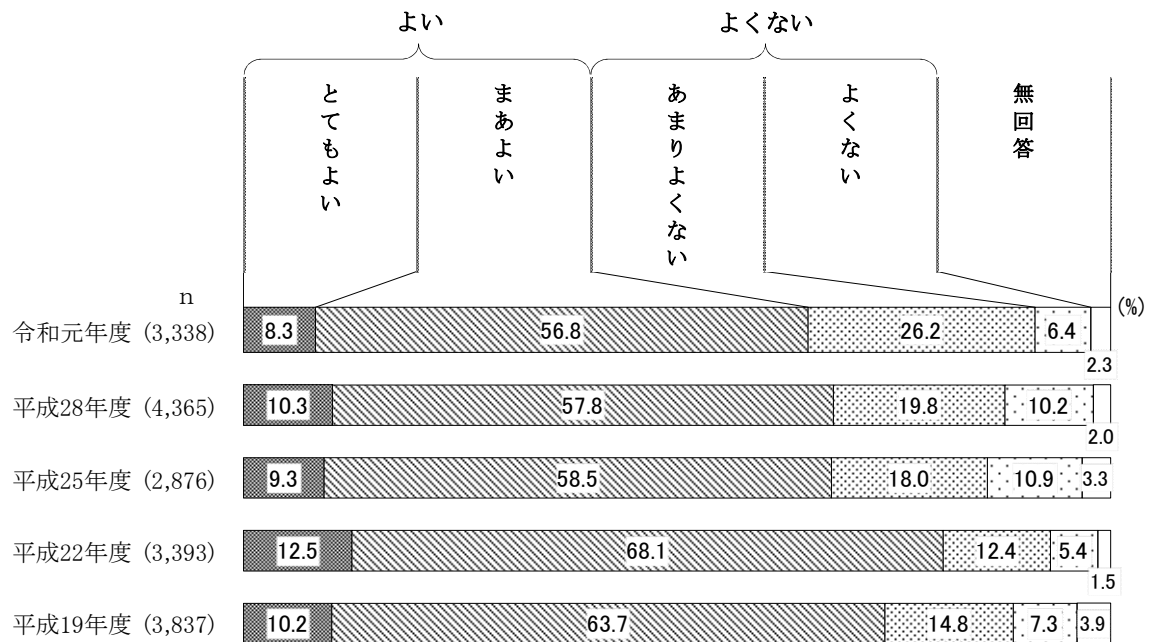


## (5) 主観的な健康観について

問11 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○はひとつ)

平成28年度から「とてもよい」「まあよい」を合わせた『よい』は、約7割で推移しています。  
(図表13-5)

図表13-5 主観的な健康観について



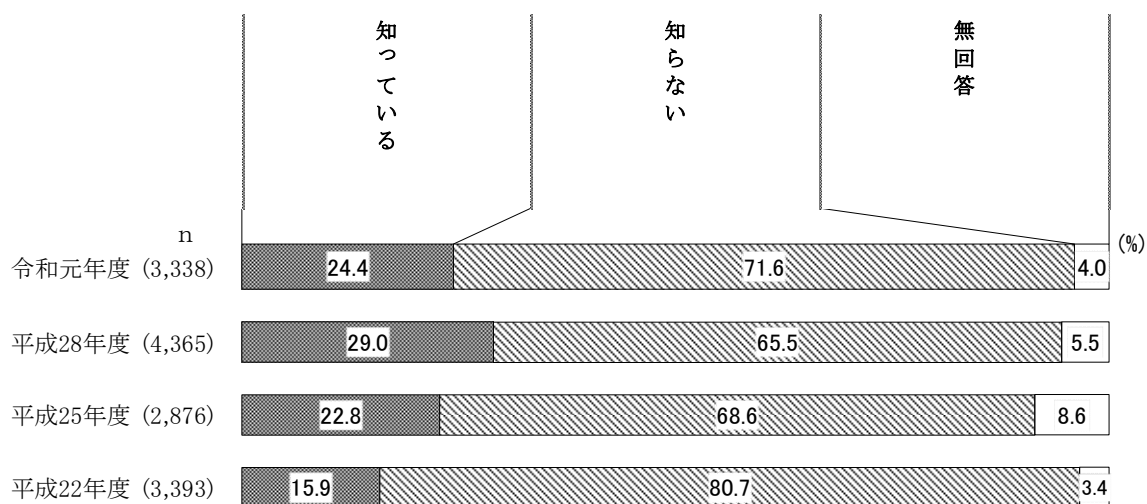
※平成28年度以前から令和元年度への選択肢変更は、「とても健康だと思う」→「よい」、「まあまあ健康だと思う」→「まあよい」、「あまり健康ではない」→「あまりよくない」、「健康ではない」→「よくない」となります。

(6) 長寿応援ポイント事業の認知度

問15 (1) 区が実施している長寿応援ポイント事業を知っていますか。(〇はひとつ)

「知っている」は平成28年度まで増加傾向にありましたが、今回はやや数値を落としています。  
(図表13-6)

図表13-6 長寿応援ポイント事業の認知度



※「長寿応援ポイント事業の認知度」に関する設問は平成22年度より新設されました。

## 14. 自由意見

介護保険制度、保健福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などございましたら、自由にお書きください。

高齢者の福祉について958人からご意見・ご要望をいただきました。分類したうえで、それぞれについて数件ずつ示していきます。

### 1. 認定方法、手続き、サービスに関して

- ・受けられるサービスが要望と合わず、現在は受けられていません。現在は週1時間、同じ曜日、同じ時間、同じサービス内容のサービスを受けています。せめてサービス内容は毎週変えられると利用しやすいです。是非ご検討載きたいです。
- ・急な入院に際し、初めて介護申請を致しました。1ヶ月程かかりましたが要支援1の認定を受けました。ありがたく思っております。退院迄に認定を受ける事が出来ましたが、もう少し早く決定されるともっと安心感が得られるのではと思っております。

### 2. 現状の訴え

- ・私自身は介護を必要としておりませんが、主人が要介護4の認定を受けております。自宅介護をしておりますので、時々、切羽詰まる事があります。精神的に追い詰められないように、出来るだけ外出するよう努めています。
- ・現在夫も妻（私）も要支援2の認定を受けています。何かあったらケアマネジャーに連絡するように言われていますが、出来るだけ（出来る範囲で）今迄どおり暮らしたいです。これ以上どちらかが悪くなった時には、介護サービスをお願いしようと思っております。

### 3. 施設、サービス等の整備・拡充

- ・介護施設の待機者減少対策をすすめて欲しいです。
- ・一人暮らしの中で、月に一度お宅訪問があると助かります。こちらから頼むのは気がひけますが、声かけがあると困っている事が頼みやすく安否も気づかってもらえて安心です。
- ・認知症の人が増えるだけでなく、高齢になるともの忘れが多くなり、自分のお金の管理も出来なくなります。後見人の制度を早く充実させてほしいと思います。
- ・寝たきりにならない為の予防、運動、設備などの充実を希望しています。健康長寿であれば介護される人も減少するので、予防のセミナーなど活発に開催してほしいと思います。元気なお年寄りを講師に招いてもいいと思います。

### 4. 情報提供、相談機関、広報

- ・今後への不安が大きいので、健康である今のうちに、どのような心づもりであればいいのか、情報が欲しいと切に思っています。
- ・介護保険制度がわかりづらく、簡単にわかりやすい資料があるとありがたいです。

- ・急に困りごとが起きた時に、何でも電話やかけ込みで気軽に相談できる区や地域の窓口や施設を分かり易くPRしてもらいたいです。

### 5. 保険料に関して

- ・年金で生活している中で介護保険料の負担が大き過ぎます。
- ・介護保険制度は有難いです。現在介護認定は受けていませんが、いずれお世話になると思います。年金の低い私には、住民税、固定資産税、高齢者保険料（健康保険料）、介護保険料を支払うと生活するだけで精一杯です。介護保険料が値上げしない事を祈っています。

### 6. 満足、感謝

- ・母や義母・叔父など身近な人がお世話になり感謝しています。老健やショートステイの存在に本当に助けられました。
- ・現在、私自身生活上特に問題はありませんが、母が94才で亡くなるまで「要介護4」の判定を受けていたため、介護保険の申請から、サービスを受けるまでの流れは理解しています。幸いなことに、大変良いケアマネジャーさんに巡り会う事ができ、とりたてて不満も不便だなと感じた事はありません。（長期の入院ができないため、転院先を探すのが少し大変でした。）
- ・私は今、介護保険制度を利用させていただいて掃除の一部をお願いしています。体力的な限界を補っていただいている事に本当に感謝しております。ヘルパーさん達がとても気持ちを明るくして下さいます。

### 7. 介護保険制度に関して

- ・保険制度や各種サービスの内容・利用方法など、わかりやすく、平易に理解出来る説明が大事なのではと思います。又関係書類が非常に多く押印カ所も多く、もっと簡素化してサービスする方も利用者も楽になる方法を考える必要があります。又、「介護保険負担割合証」などの証書・認定証などの更新・申請が、非常に煩わしく家族には負担感があります。また毎年のように制度や基準が変わり困惑することがあります。

### 8. 今後のこと、不安

- ・今後高齢者が多くなり介護保険制度、保健福祉サービスが今と同じ様に機能していくのか不安です。直面した時に介護施設等にスムーズに入れるのが心配です。
- ・70代の夫婦2人暮らしです。今の所なんとか動ける状態ですが、認知症、介護の問題など、ご近所の方を見ていてとてもひと事とは思えず、自分達の延長線上の事柄である為、不安な気持ちは日々募っています。まずはいざという時に相談にのって下さる窓口は是非知っておきたいです。

### 9. 福祉政策全般

- ・高齢者にとって一番困るのは、日々の生活に支障を来たすことであり、働けるうちは働いて少ない金額でもよいから、生活費の一部に当てるものが欲しいです。後期高齢者のための仕事の支援を是非やってもらいたいです。

- ・在宅で5年ほど両親の介護や介助をしていました。大変でしたが、自分の今後の生活を学ぶ貴重な時間でした。大変な時でも最後まで両親は介護保険申請を拒否したので、介護サービスを使えるようになったのは、認知症状がかなり悪化した時でした。ダブルで急に介護度が増し、費用がかさみました。介護保険を頑なに拒否して困っている家族の存在も知っていただき、踏みこんだ対応をお願いしたいと思います。

#### 10. 経済的負担

- ・現在の収入では、一生仕事をしなければ生活していけず、頭の痛い現状で、近所の方とおつき合いは、二の次、三の次です。
- ・民間賃貸アパートは家賃が高いので、家賃補助あるいは公共（区、都営住宅のあっせん）の住まいに優先で入居できる様にしてほしいです。生活保護の申請をしようかと思っています。年金だけでは暮らせません。

#### 11. 医療に関して

- ・父が訪問診療を利用していました。とてもありがたかったです。現在、母には私がつきそって近所の医院に通っていますが、もし具合が悪くて動けないときに往診をしていただけたらどれほど助かるでしょうか。

#### 12. ヘルパー等の待遇改善

- ・介護保険に従事する方々の給与等を引き上げて頂きたいと思っています。又、これによって関係職員の方々の増員を図って欲しいです。

#### 13. 介護者の負担軽減

- ・現在90才の母親の在宅介護をしています。介護している側への支援の充実をお願いしたいと思います。

#### 14. その他

- ・社会貢献活動の意志がありながら、その入口でとまどっている高齢者が多いのでは？そういう人達へのきめ細かいアプローチが必要だと思います。
- ・現在66歳だが、高齢者の枠に入れないでほしいです。
- ・これから更に70代以降の世代が増え、老々介護になっていきますが、もし援助が必要になった時、申請からヘルパーの派遣までをスムーズにしてもらえる体制を作って欲しいです。又、介護を受ける時間を出来るだけ短くするため、自分のことは自分で出来る生活をしていきたいです。P. P. K（ピンピンコロリ）が目標です。



### **第3章 要介護認定者に関する実態調査結果**

---





## 1. 対象者の属性

### (1) 居住先及び性別

本調査は、令和元年8月13日現在、杉並区にお住まいの65歳以上の方2,500人（要介護認定1～5を受けている方）を対象に行い、自宅及び区内の親族等の家に居住している方を調査数の基礎としました。

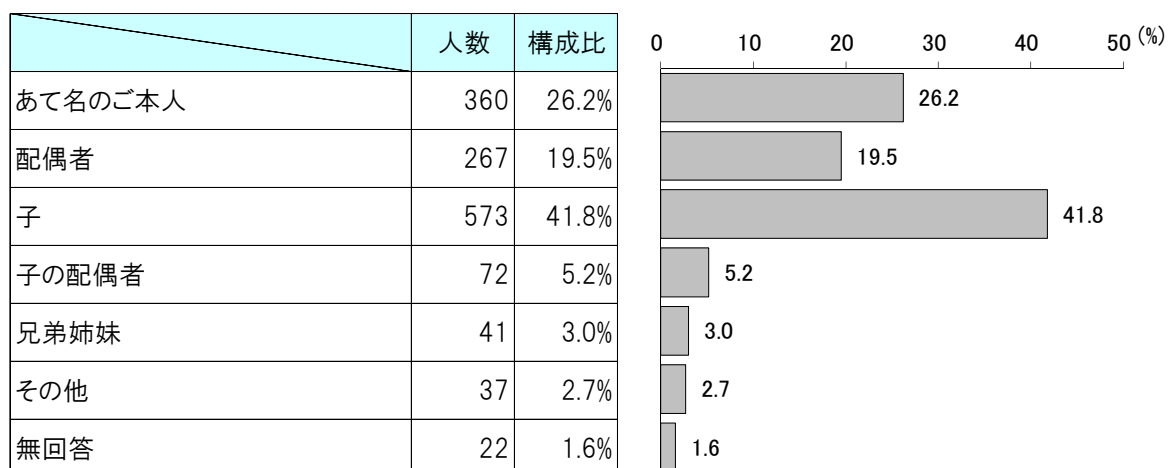
図表1－1 居住先及び性別

			構成		
			男性	女性	性別不明
全体	1,372人	100.0%			
自宅(ショートステイ中含む)	900人	65.6%	331人	564人	5人
区内の親族等の家	14人	1.0%	7人	7人	－
入院中	114人	8.3%			
区外へ転出	1人	0.1%			
介護施設に入所	312人	22.7%			
その他	14人	1.0%			
無回答	17人	1.2%			

### (2) 調査票の記入者

問1 調査票を記入される方は、どなたですか。封筒のあて名のご本人からみた関係でご回答ください。2人以上で記入される場合は主に記入される方をご記入ください。  
(○はひとつ)

図表1－2 調査票の記入者



### (3) 居住先

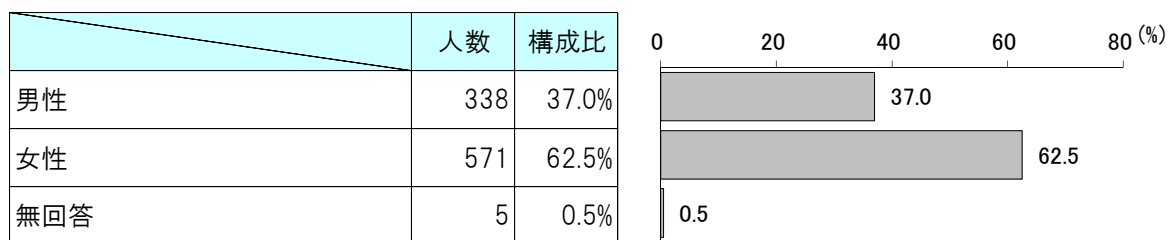
問2 あなたは今どちらにいらっしゃいますか。(〇はひとつ)

図表1-1を参照ください。

### (4) 性別

問3 あなたの性別を教えてください。(〇はひとつ)

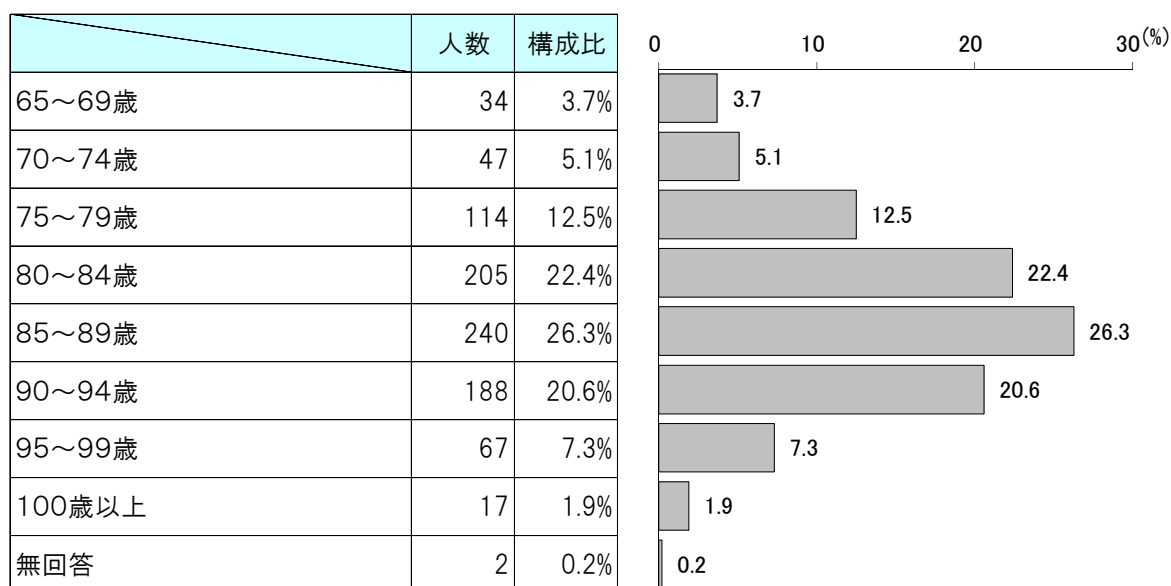
図表1-3 性別



### (5) 年齢

問4 あなたの年齢はおいくつですか。(〇はひとつ)

図表1-4 年齢



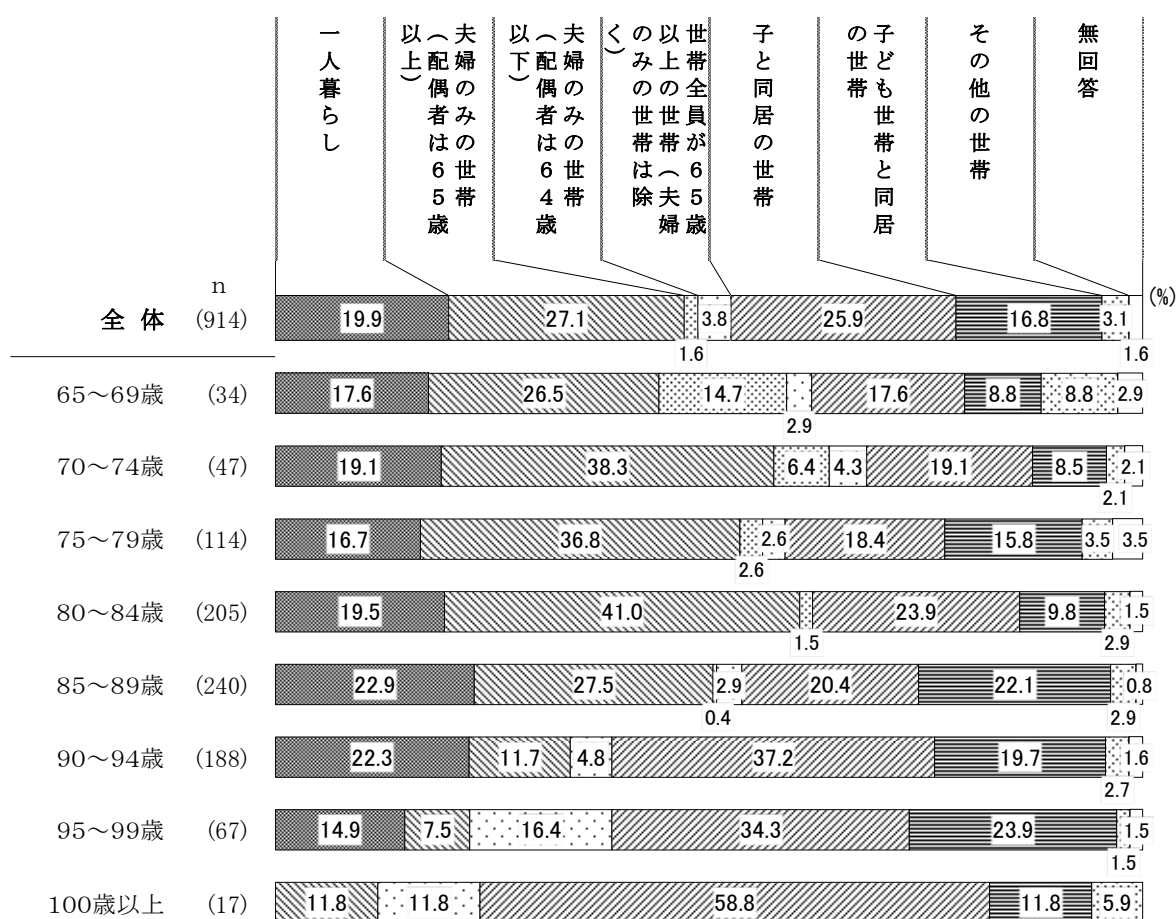
## (6) 家族構成

問5 一緒に暮らしている家族の構成を教えてください。(〇はひとつ)

家族構成としては「夫婦のみの世帯（配偶者は65歳以上）」が27.1%、「子と同居の世帯」が25.9%、「一人暮らし」が19.9%、「子ども世帯と同居の世帯」が16.8%などとなっています。

年齢別でみると、“70歳～84歳”で「夫婦のみの世帯（配偶者は65歳以上）」が3割台後半から4割前後、“90～99歳”で「子と同居の世帯」が3割台と多くなっています。また、“85～94歳”では「一人暮らし」が2割台前半を示し、他層と比較してもやや多くなっています。(図表1-5)

図表1-5 家族構成／年齢別



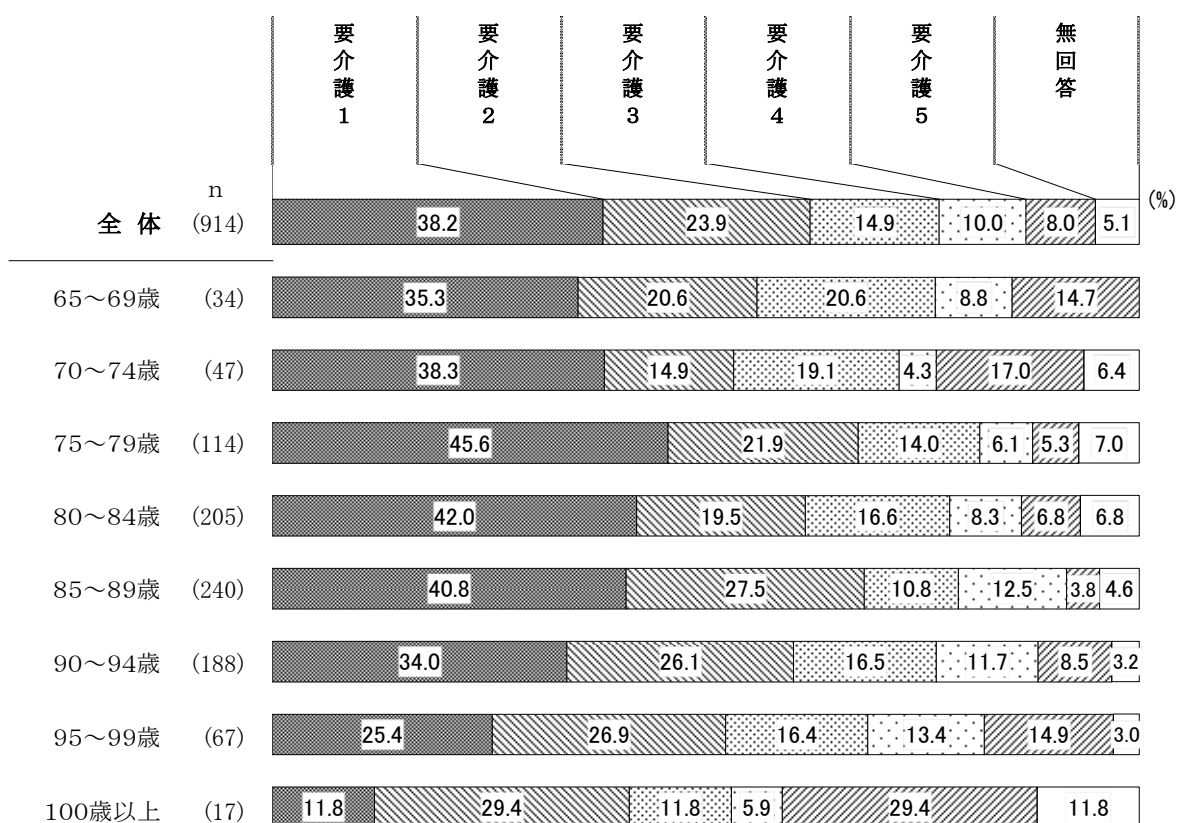
## (7) 要介護度

問6 現在の要介護度を教えてください。(有効期間が切れている場合、切れる前の要介護度を記入してください。)(○はひとつ)

要介護度としては「要介護度1」の38.2%が最も多く、「要介護度2」23.9%、「要介護3」14.9%、「要介護4」10.0%、「要介護5」8.0%となっています。

年齢別でみると、「要介護度1」は“75～79歳”の45.6%を頂点とした山形を示しています。また、「要介護2」は“85歳以上”でやや多くなっています。(図表1－6)

図表1－6 要介護度／年齢別

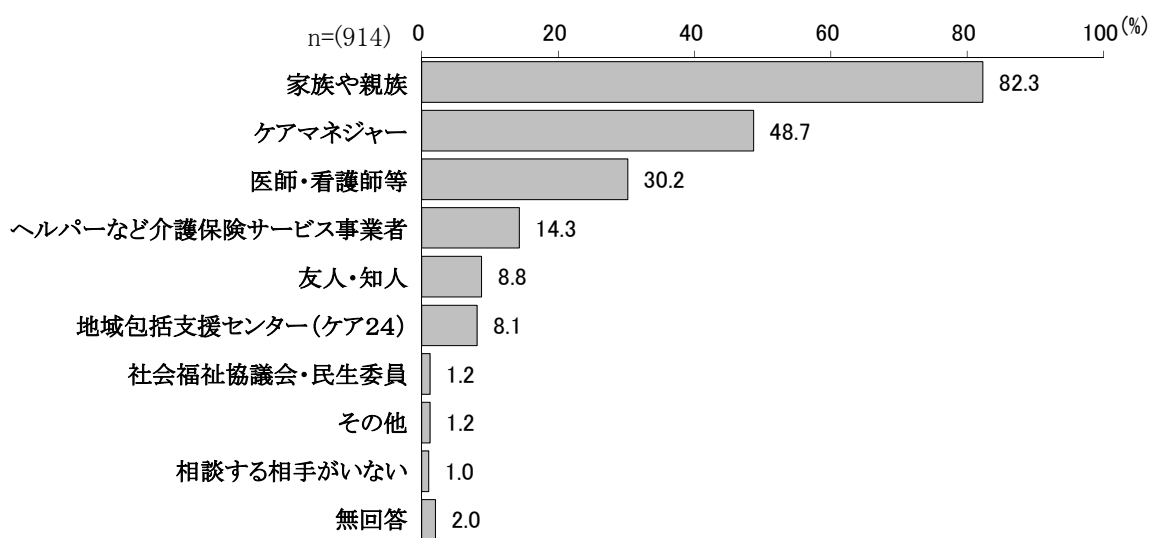


## (8) 相談先

問7 生活の中で不安に思ったとき、どなた（どこ）に相談しますか。  
（あてはまるものすべてに○）

相談先としては「家族や親族」が82.3%を占めており、「ケアマネジャー」が48.7%、「医師・看護師等」が30.2%などとなっています。（図表1－7）

図表1－7 相談先

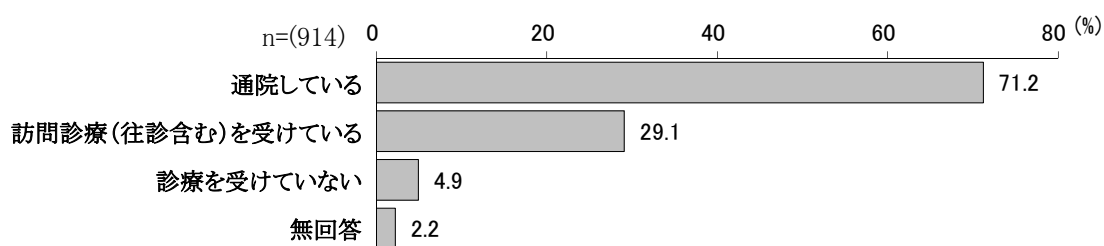


### （9）通院、訪問診療（往診含む）の状況

問8 現在、通院（病院・医院・診療所）や訪問診療（往診含む）で診療を受けていますか。  
（あてはまるものすべてに○）

通院、訪問診療（往診含む）の状況としては、「通院している」が71.2%を占めており、「訪問診療（往診含む）を受けている」が29.1%、「診療を受けていない」が4.9%となっています。（図表1－8）

図表1－8 通院、訪問診療（往診含む）の状況



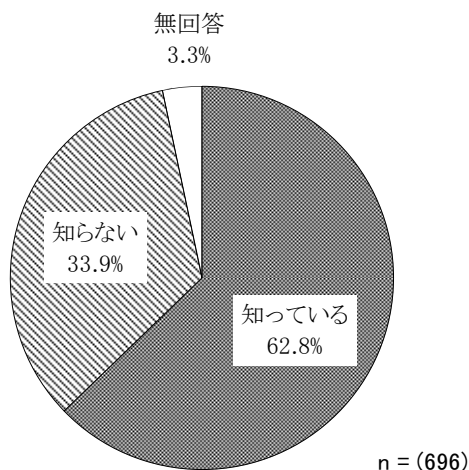
### （10）訪問診療の認知

【問8で「1 通院している」と「3 診療を受けていない」を選んだ方にお伺いします。】

問8-1 通院が困難な患者さんのお宅に、医師が定期的に診療に伺い、計画的に健康管理を行う「訪問診療」を知っていますか。（○はひとつ）

訪問診療は「知っている」が62.8%、「知らない」が33.9%となっています。（図表1－9）

図表1－9 訪問診療の認知



## 2. サービスの利用状況について

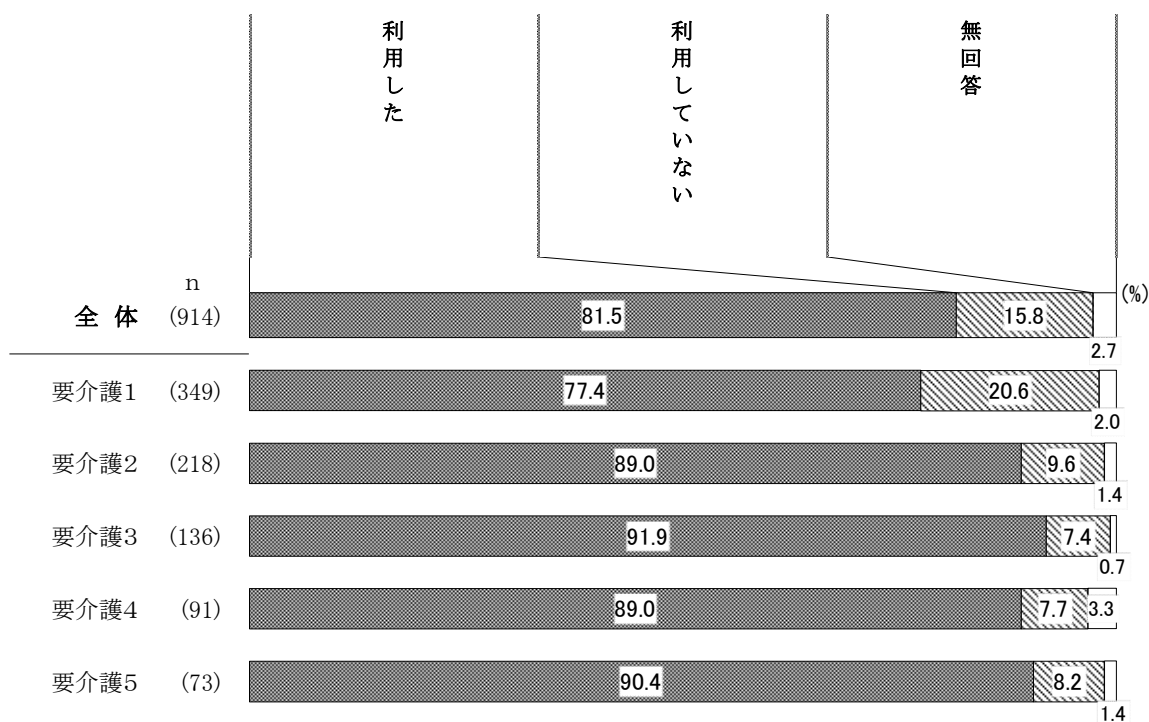
### (1) 介護保険サービスの利用状況

問9 令和元年7月中に、介護保険サービスを利用しましたか。(○はひとつ)

介護保険サービスの利用状況としては「利用した」が81.5%を占めています。

要介護度別でみると、“要介護度2以上”で「利用した」が9割前後を占めています。(図表2-1)

図表2-1 介護保険サービスの利用状況／要介護度別



(2) 介護保険サービスを利用していない理由

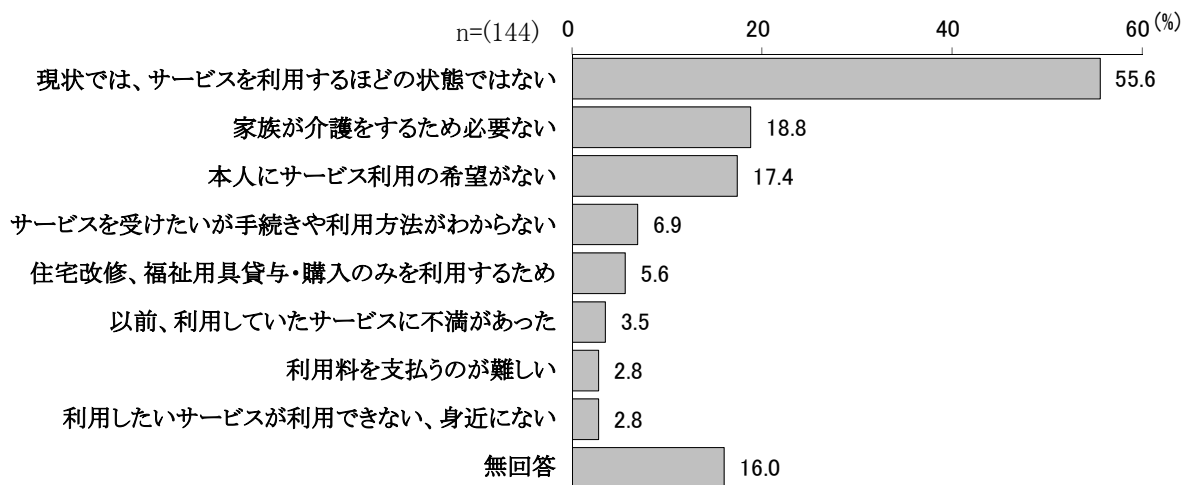
【問9で「2 利用していない」を選んだ方にお伺いします。】

問9-1 7月の時点で、介護保険サービスを利用していない理由で、ご本人のお考えに近いものはどれですか。(〇は2つまで)

介護保険サービスを利用していない理由としては「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が55.6%で最も多く、以下、離れて「家族が介護をするため必要ない」(18.8%)、「本人にサービス利用の希望がない」(17.4%)の順となっており、「利用料を支払うのが難しい」「利用したいサービスが利用できない」はともに2.8%です。

います。(図表2-2)

図表2-2 介護保険サービスを利用していない理由



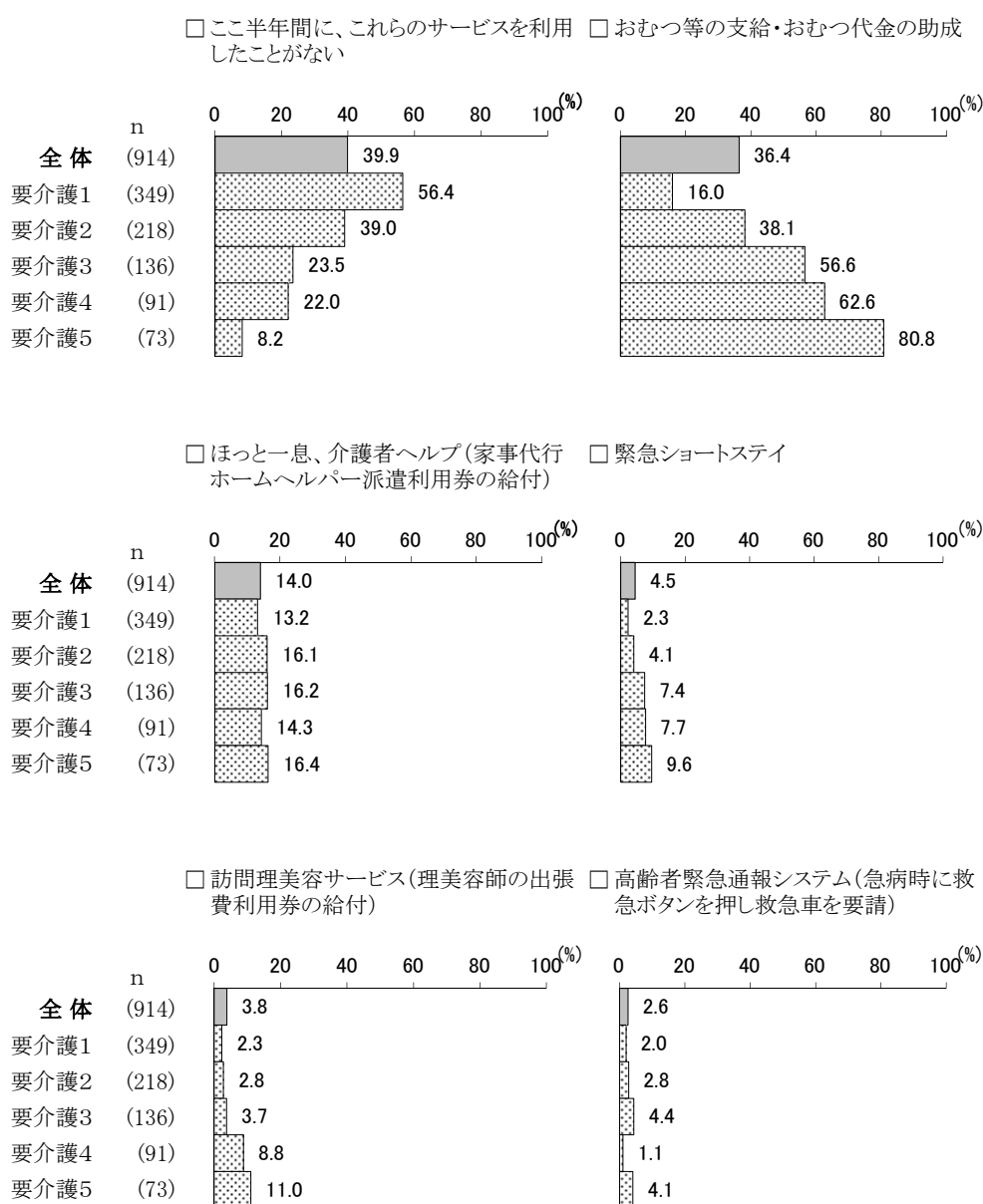


## (3) 高齢者在宅サービスの利用状況

問10 ここ半年間に、高齢者在宅サービス（区の独自サービス）を利用したことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

高齢者在宅サービスの利用状況としては「おむつ等の支給・おむつ代金の助成」が36.4%で最も多く、「ほっと一息、介護者ヘルプ（家事代行ホームヘルパー派遣利用券の給付）」が14.0%で次いでいます。（図表2－3）

図表2－3 高齢者在宅サービスの利用状況／要介護度別（上位6位まで）

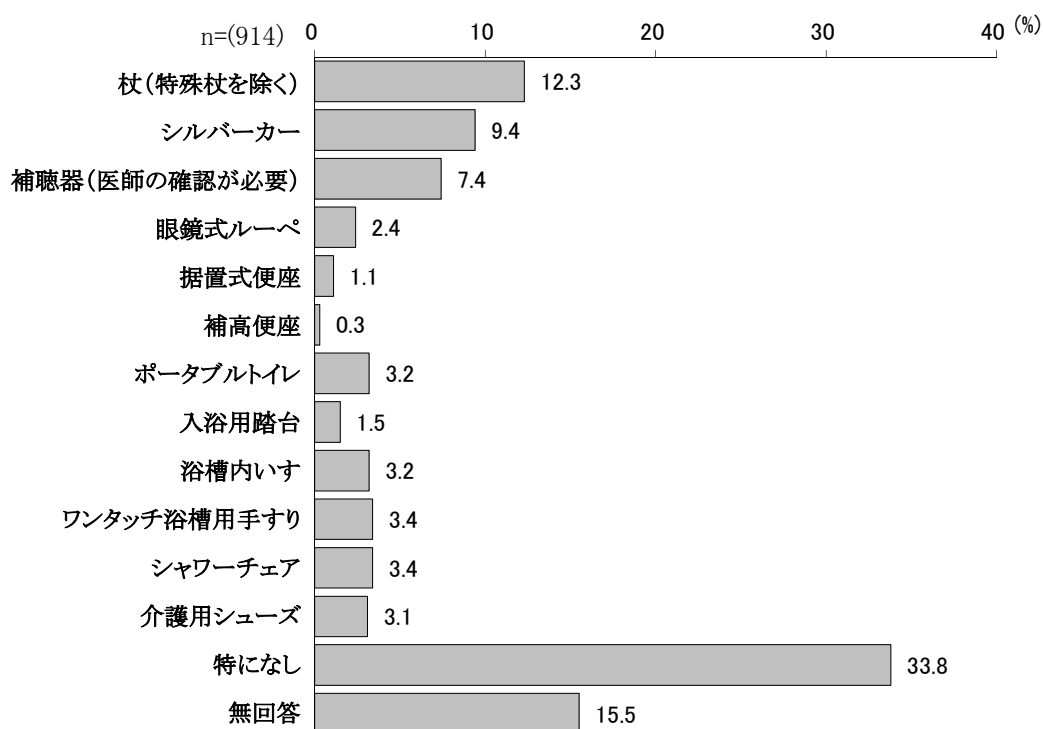


#### (4) 購入助成による最も必要な福祉用具

問11 区では、福祉用具の購入助成を行っています。あなたにとって最も必要と思われる福祉用具はどれですか。(〇はひとつ)

購入助成による最も必要な福祉用具としては「杖（特殊杖を除く）」が12.3%で最も多く、以下「シルバーカー」(9.4%)、「補聴器（医師の確認が必要）」(7.4%)と続いています。なお、「特になし」は33.8%となっています。(図表2-4)

図表2-4 購入助成による最も必要な福祉用具



要介護度別でみても、“要介護5”で「杖（特殊杖を除く）」が少なくなっている以外は、各用具による大きな差異はありません。また、「特になし」は“要介護5”で42.5%と多くなっています。（図表2－5）

図表2－5 購入助成による最も必要な福祉用具／要介護度別

上段:人数、下段:%

	n	杖 （特殊杖を除く）	シル バー カー	補 聴 器 （医 師 の 確 認 が 必 要 ）	眼 鏡 式 ルー ペ	据 置 式 便 座	補 高 便 座	ポ ー タ ブル ト イ レ	入 浴 用 踏 台	浴 槽 内 い す	ワ ン タ ッ チ 浴 槽 用 手 す り	シャ ワー チェ ア	介 護 用 シ ュー ズ	特 に な し	無 回 答
全 体	914 100.0	112 12.3	86 9.4	68 7.4	22 2.4	10 1.1	3 0.3	29 3.2	14 1.5	29 3.2	31 3.4	31 3.4	28 3.1	309 33.8	142 15.5
要介護1	349 100.0	45 12.9	39 11.2	30 8.6	12 3.4	1 0.3	－	6 1.7	6 1.7	9 2.6	10 2.9	11 3.2	6 1.7	131 37.5	43 12.3
要介護2	218 100.0	32 14.7	21 9.6	13 6.0	4 1.8	－	－	9 4.1	2 0.9	9 4.1	7 3.2	7 3.2	6 2.8	71 32.6	37 17.0
要介護3	136 100.0	18 13.2	11 8.1	6 4.4	2 1.5	1 0.7	2 1.5	5 3.7	2 1.5	5 3.7	8 5.9	6 4.4	8 5.9	31 22.8	31 22.8
要介護4	91 100.0	11 12.1	9 9.9	8 8.8	3 3.3	6 6.6	1 1.1	4 4.4	4 4.4	4 4.4	5 5.5	1 1.1	4 4.4	22 24.2	9 9.9
要介護5	73 100.0	2 2.7	5 6.8	7 9.6	－	2 2.7	－	5 6.8	－	1 1.4	－	5 6.8	4 5.5	31 42.5	11 15.1

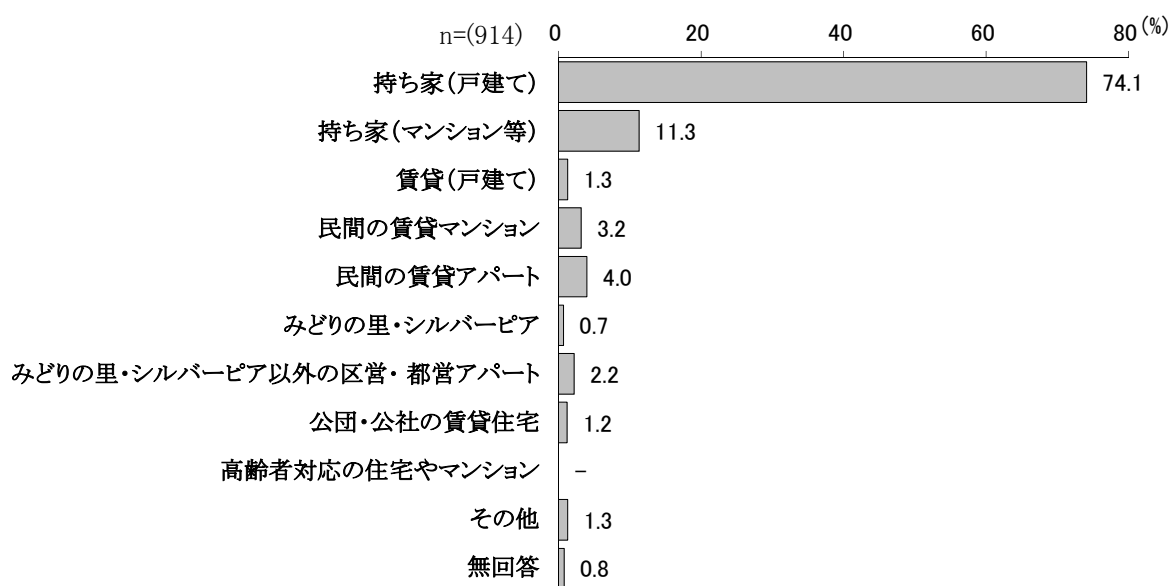
### 3. 住まいについて

#### (1) 居住形態

問12 現在のお住まいは次のうちどれですか。(○はひとつ)

居住形態としては「持ち家（戸建て）」が74.1%を占めています。(図表3－1)

図表3－1 居住形態



## (2) 居住先の介護を受けながらの生活に対する適正の有無

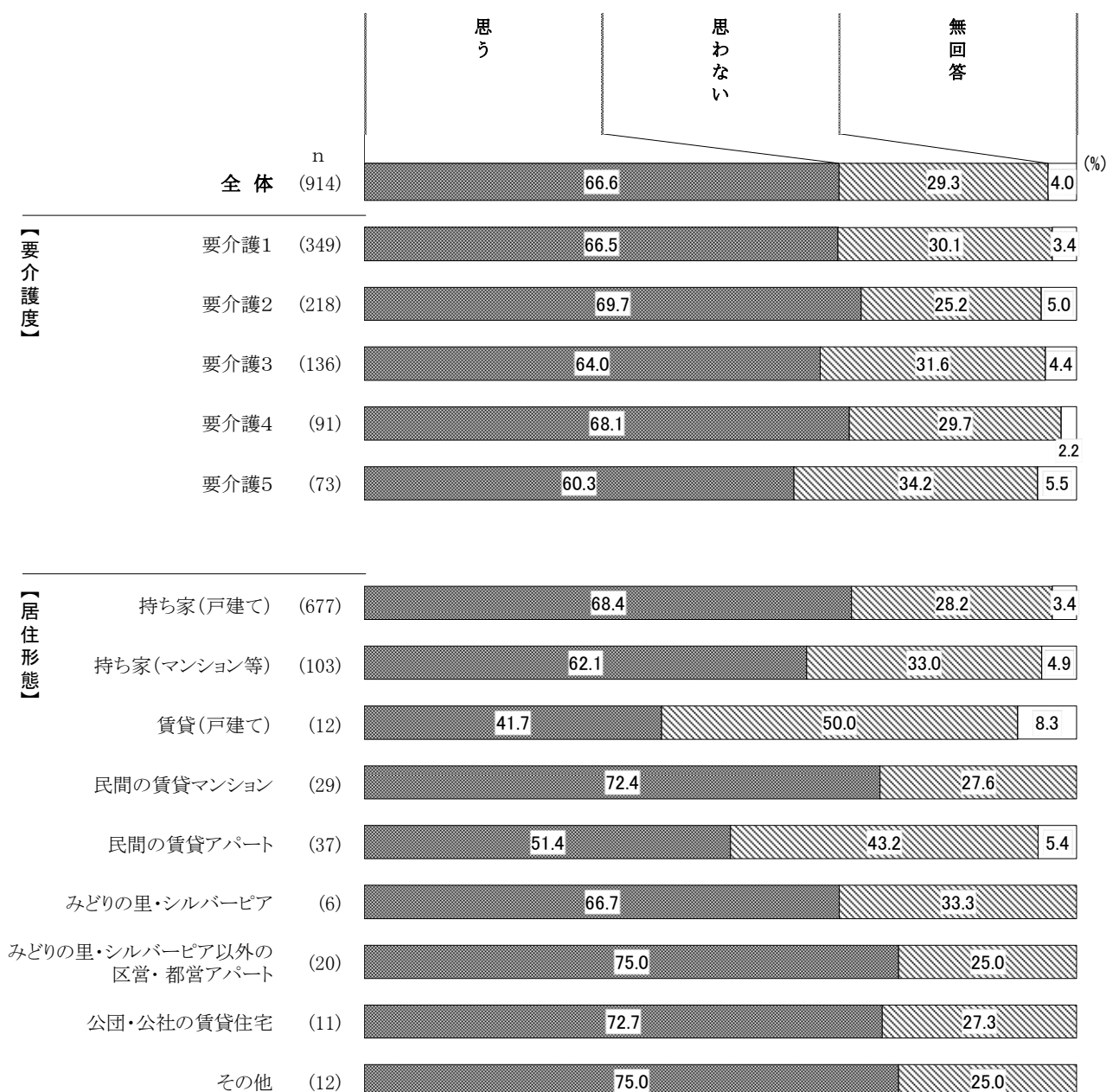
問13 現在のお住まいは、介護を受けながら在宅生活を送るのに適していると思いますか。  
(○はひとつ)

現居住先が介護を受けながらの生活に対して、適していると思うは66.6%、適していると思わないは29.3%となっています。

要介護度別でみると、“要介護度5”では適していると思わないが34.2%と、他層より多くなっています。

居住形態別でみると、“賃貸（戸建て）”や“民間の賃貸アパート”で、適していると思わないが他の居住形態よりも多くなっています。(図表3-2)

図表3-2 居住先の介護を受けながらの生活に対する適正の有無／要介護度別、居住形態別



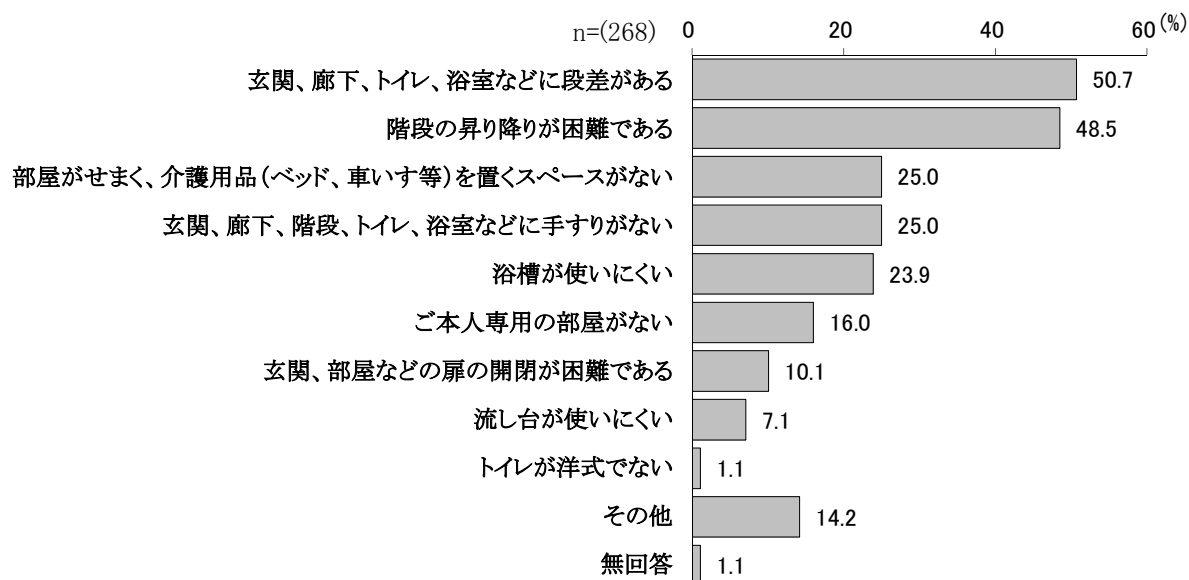
(3) 適していると思わない理由

【問13で「2 思わない」を選んだ方にお伺いします。】

問13-1 在宅生活に適していると思わない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

適していると思わない理由としては「玄関、廊下、トイレ、浴室などに段差がある」(50.7%)と「階段の昇り降りが困難である」(48.5%)が5割前後で多くなっており、「部屋がせまく、介護用品(ベッド、車いす等)を置くスペースがない」「玄関、廊下、階段、トイレ、浴室などに手すりがない」(ともに25.0%)、「浴槽が使いにくい」(23.9%)が2割台が続いています。(図表3-3)

図表3-3 適していると思わない理由



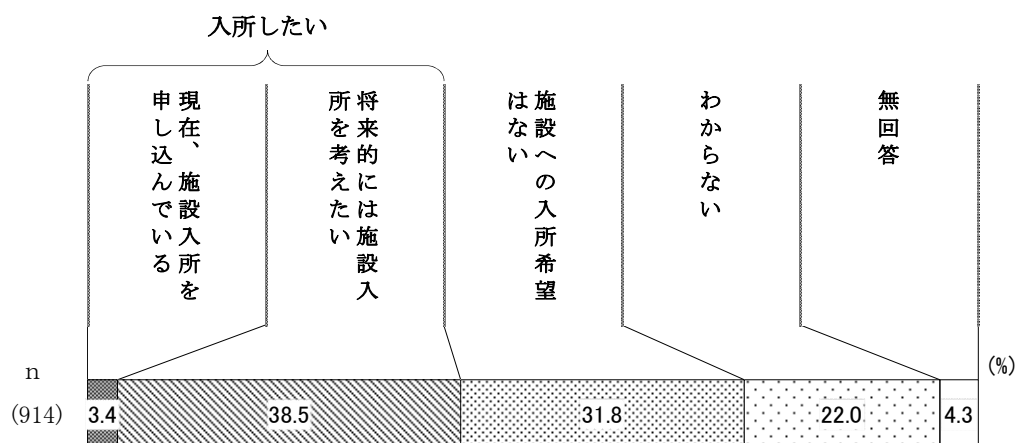
## 4. 施設の入所について

### (1) 特別養護老人ホームなどへの入所（居）希望

問14 特別養護老人ホームや認知症グループホーム、有料老人ホーム等に入所（居）希望がありますか。（○はひとつ）

特別養護老人ホームなどへの入所（居）希望としては、「現在、施設入所を申し込んでいる」（3.4%）と「将来的には施設入所を考えたい」（38.5%）を合わせた『入所したい』の41.9%に対し、「施設への入所希望はない」が31.8%となっています。また、「わからない」も22.0%を示しています。（図表4-1）

図表4-1 特別養護老人ホームなどへの入所（居）希望



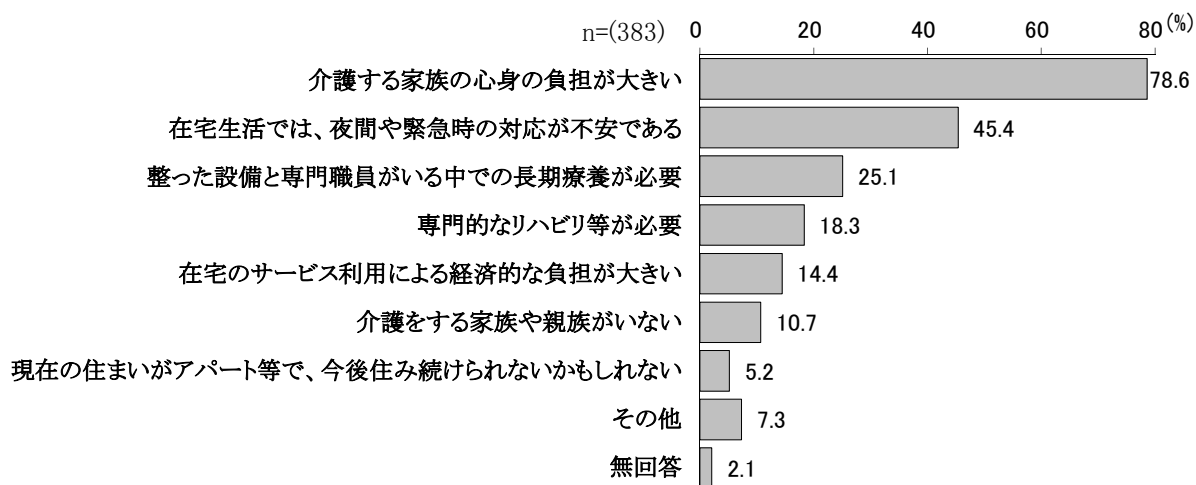
## (2) 入所したい理由

【問14で「1 現在、施設入所を申し込んでいる」と「2 将来的には施設入所を考えたい」を選んだ方にお伺いします。】

問14-1 入所したいとお考えの理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

入所したい理由としては「介護する家族の心身の負担が大きい」が78.6%と最も多く、以下「在宅生活では、夜間や緊急時の対応が不安である」(45.4%)、「整った設備と専門職員がいる中での長期療養が必要」(25.1%)の順となっています。(図表4-2)

図表4-2 入所したい理由





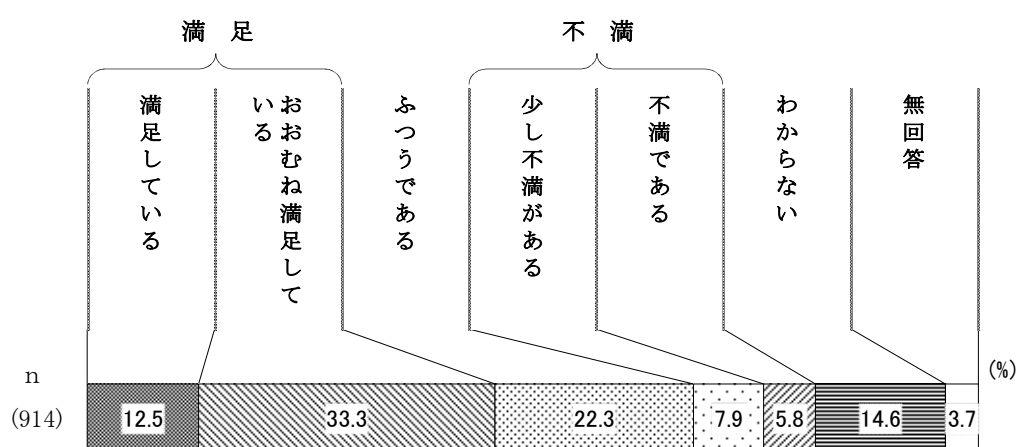
## 5. 介護保険制度について

### (1) 介護保険サービスの満足度

問15 介護保険サービス全般の内容に満足していますか。(○はひとつ)

介護保険サービスの満足度としては、「満足している」(12.5%)と「おおむね満足している」(33.3%)を合わせた『満足』の45.8%に対して、「少し不満がある」(7.9%)と「不満である」(5.8%)を合わせた『不満』は13.7%となっています。(図表5-1)

図表5-1 介護保険サービスの満足度

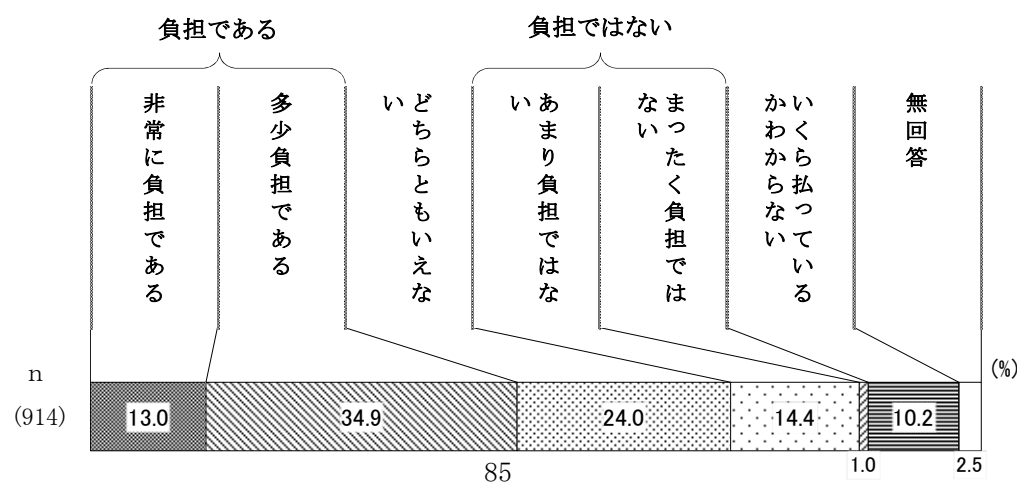


### (2) 介護保険料の負担感

問16 現在の介護保険料をどのように感じていますか。(○はひとつ)

介護保険料の負担感としては、「非常に負担である」(13.0%)と「多少負担である」(34.9%)を合わせた『負担である』の47.9%に対して、「あまり負担ではない」(14.4%)、「まったく負担ではない」(1.0%)を合わせた『負担ではない』は15.4%となっています。(図表5-2)

図表5-2 介護保険料の負担感

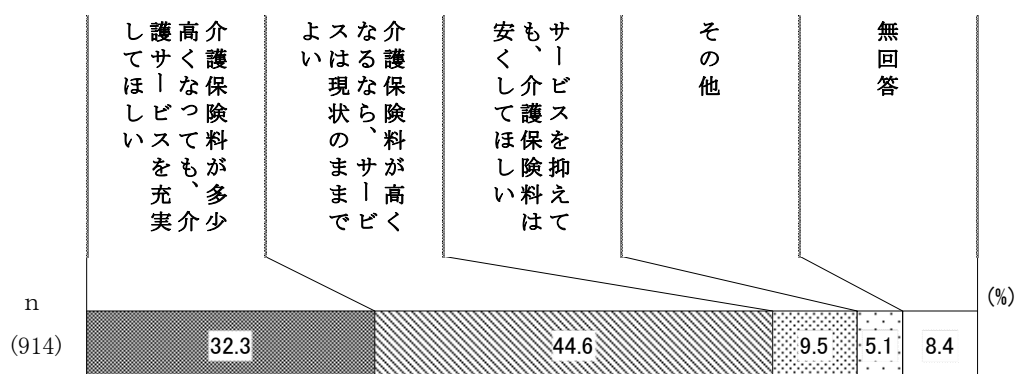


### （3）介護サービスと介護保険料に対する考え

問17 介護サービスと介護保険料のあり方について、ご本人のお考えにもっとも近いものはどれですか。（○はひとつ）

介護サービスと介護保険料に対する考えとしては、「介護保険料が高くなるなら、サービスは現状のままでよい」が44.6%、「介護保険料が多少高くなっても、介護サービスを充実してほしい」が32.3%となっています。一方、「サービスを抑えても、介護保険料は安くしてほしい」は9.5%です。（図表5-3）

図表5-3 介護サービスと介護保険料に対する考え

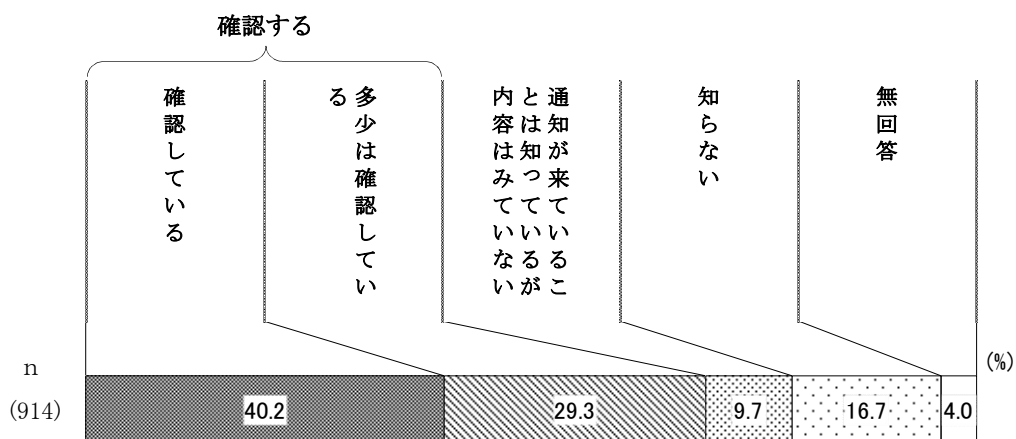


### （4）介護サービス利用費用のお知らせの内容確認状況

問18 介護保険サービス利用の費用について、区から年2回お知らせを送付していますが、内容を確認していますか。（○はひとつ）

介護サービス利用費用のお知らせの内容確認状況としては、「確認している」（40.2%）と「多少は確認している」（29.3%）を合わせた『確認する』が69.5%となっています。（図表5-4）

図表5-4 介護サービス利用費用のお知らせの内容確認状況

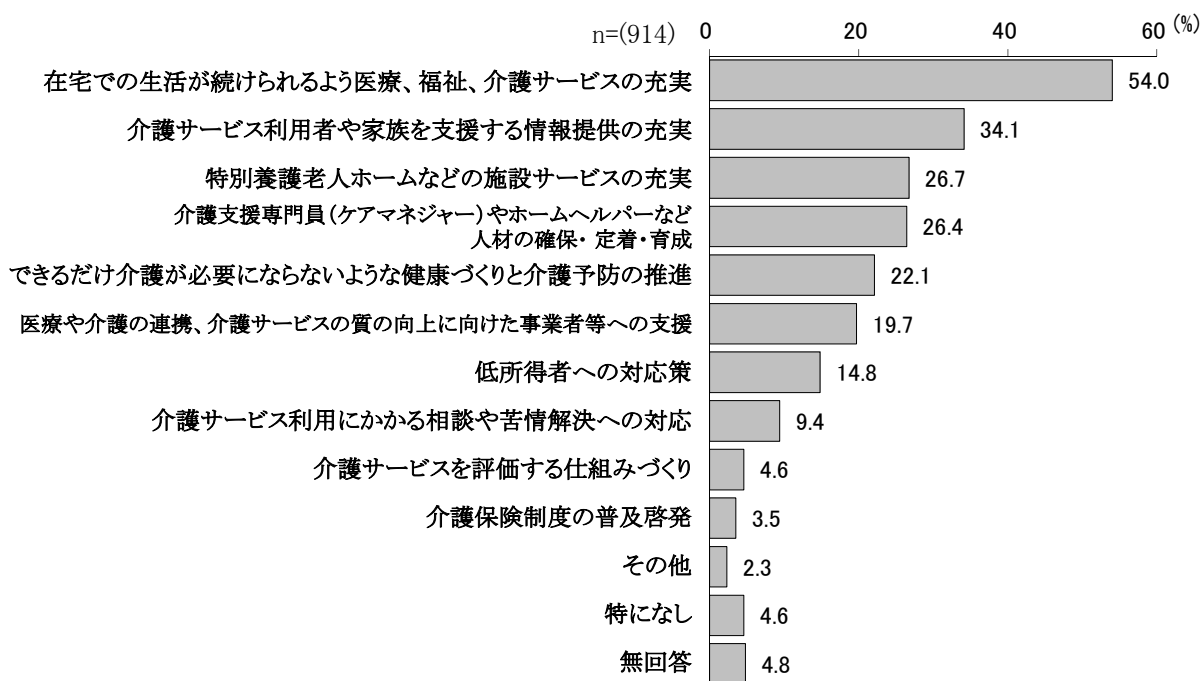


## (5) 区が注力していくべきと思うもの

問19 今後、区が力を入れていくべきと思うものは何ですか。(〇は3つまで)

区が注力していくべきと思うものとしては、「在宅での生活が続けられるよう医療、福祉、介護サービスの充実」が54.0%で最も多く、以下「介護サービス利用者や家族を支援する情報提供の充実」(34.1%)、「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」(26.7%)、「介護支援専門員(ケアマネジャー)やホームヘルパーなど人材の確保・定着・育成」(26.4%)の順となっています。(図表5-5)

図表5-5 区が注力していくべきと思うもの



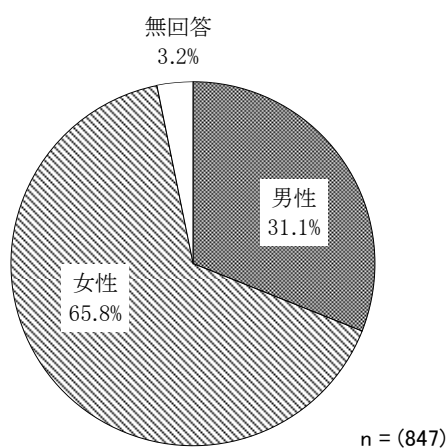
## 6. 主な介護者について

### (1) 主な介護者の性別

問20 あなたの性別をお答えください。(○はひとつ)

主な介護者の性別は、「男性」が31.1%、「女性」が65.8%となっています。(図表6-1)

図表6-1 主な介護者の性別

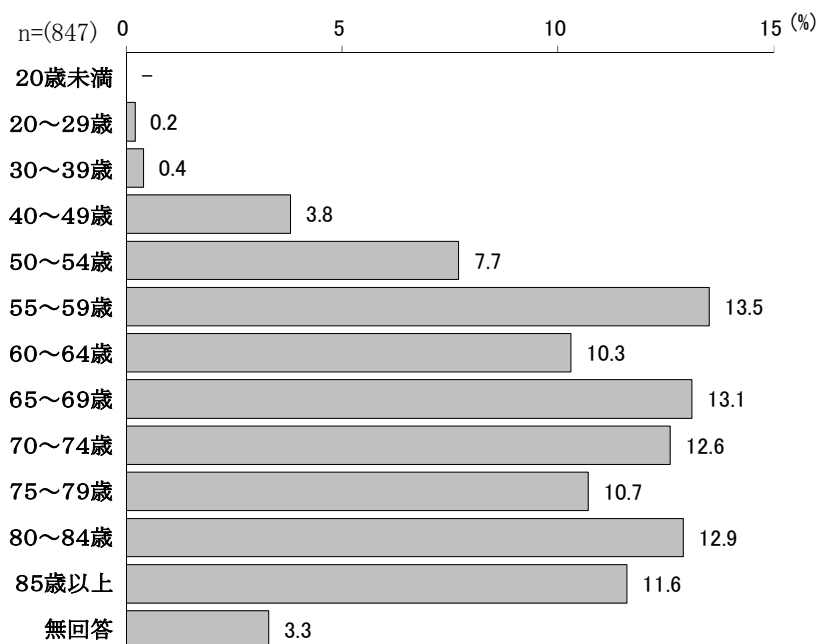


### (2) 主な介護者の年齢

問21 あなたの年齢をお答えください。(○はひとつ)

主な介護者の年齢は、「55～59歳」が13.5%で最も多く、以下「65～69歳」(13.1%)、「80～84歳」(12.9%)、「70～74歳」(12.6%)と続いています。(図表6-2)

図表6-2 主な介護者の年齢

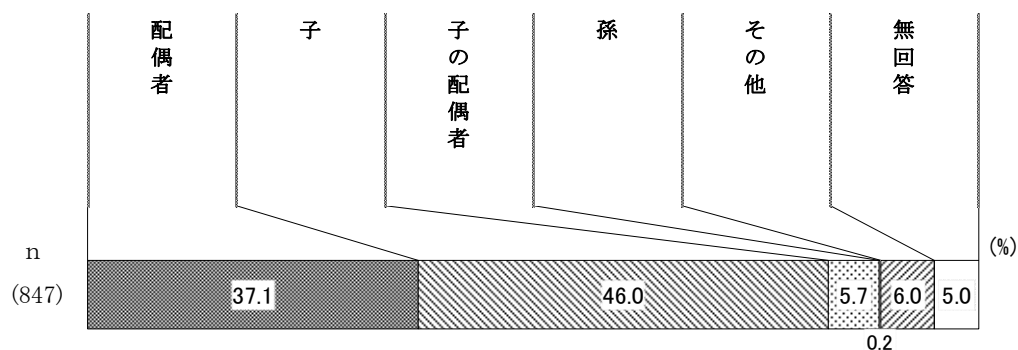


## (3) 対象者との続柄

問22 ご本人からみた続柄をお答えください。(○はひとつ)

対象者との続柄としては、「子」が46.0%、「配偶者」が37.1%となっています。(図表6-3)

図表6-3 対象者との続柄

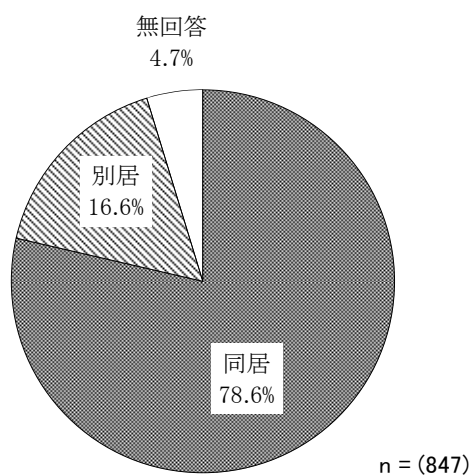


## (4) 同居の状況

問23 ご本人との同居の状況をお答えください。(○はひとつ)

同居の状況としては、「同居」が78.6%、「別居」が16.6%となっています。(図表6-4)

図表6-4 同居の状況

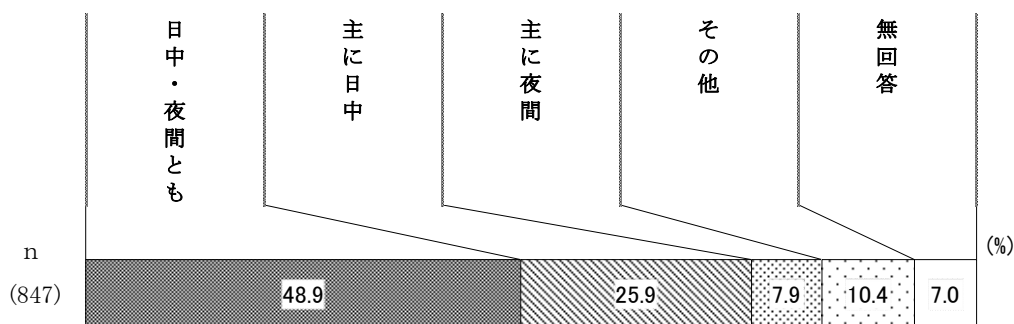


### (5) 介護の時間帯

問24 介護の時間帯をお答えください。(〇はひとつ)

介護の時間帯としては、「日中・夜間とも」が48.9%、「主に日中」が25.9%となっています。  
(図表6-5)

図表6-5 介護の時間帯

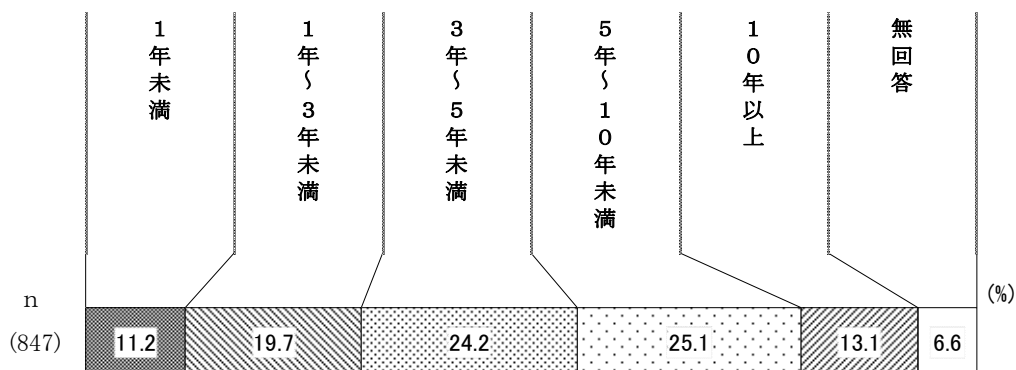


### (6) 介護をしている年数

問25 介護の年数をお答えください。(〇はひとつ)

介護をしている年数としては、「5年～10年未満」が25.1%、「3年～5年未満」が24.2%、「1年～3年未満」が19.7%となっています。(図表6-6)

図表6-6 介護をしている年数

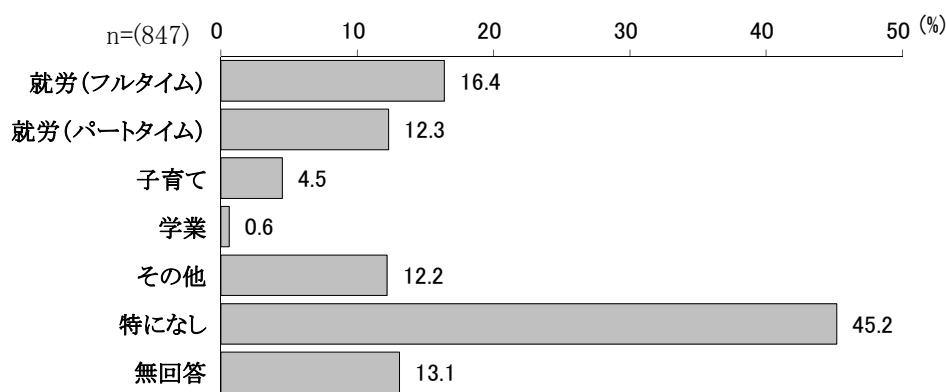


## (7) 介護や家事以外に行っていること

問26 介護や家事以外に行っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

介護や家事以外に行っていることとしては、「就労（フルタイム）」が16.4%、「就労（パートタイム）」が12.3%となっています。一方、「特になし」は45.2%となっています。(図表6-7)

図表6-7 介護や家事以外に行っていること



主な介護者の年齢別でみると、「就労（フルタイム）」は“40～64歳”で多く、なかでも“40～49歳”が46.9%、“55～59歳”が39.5%となっています。また、「就労（パートタイム）」は“50～64歳”で2割台となっています。(図表6-8)

図表6-8 介護や家事以外に行っていること／就労（フルタイム）・就労（パートタイム）／主な介護者の年齢別

		(%)	
	n	就労(フルタイム)	就労(パートタイム)
全 体	847	16.4	12.3
20～29歳	2	50.0	-
30～39歳	3	33.3	33.3
40～49歳	32	46.9	18.8
50～54歳	65	30.8	27.7
55～59歳	114	39.5	21.9
60～64歳	87	28.7	23.0
65～69歳	111	12.6	14.4
70～74歳	107	8.4	8.4
75～79歳	91	-	4.4
80～84歳	109	1.8	3.7
85歳以上	98	5.1	1.0

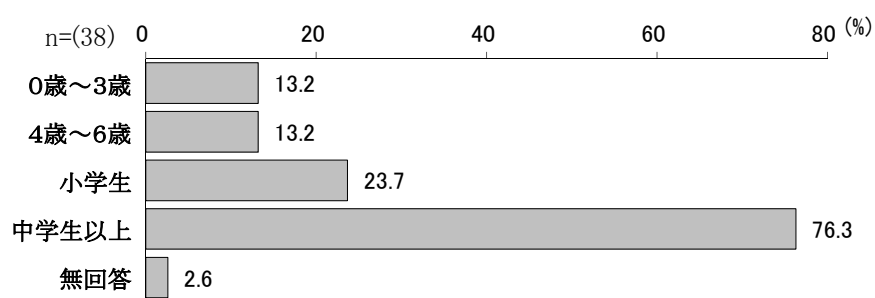
(8) 子どもの年齢

【問26で「1 子育て」を選んだ方にお伺いします。】

問26-1 対象児童、生徒の年齢をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

介護や家事以外に行っていることが「子育て」とした人に、子どもの年齢をきいたところ、「中学生以上」が76.3%を占めています。(図表6-9)

図表6-9 子どもの年齢





## (9) 介護休暇制度などの利用状況

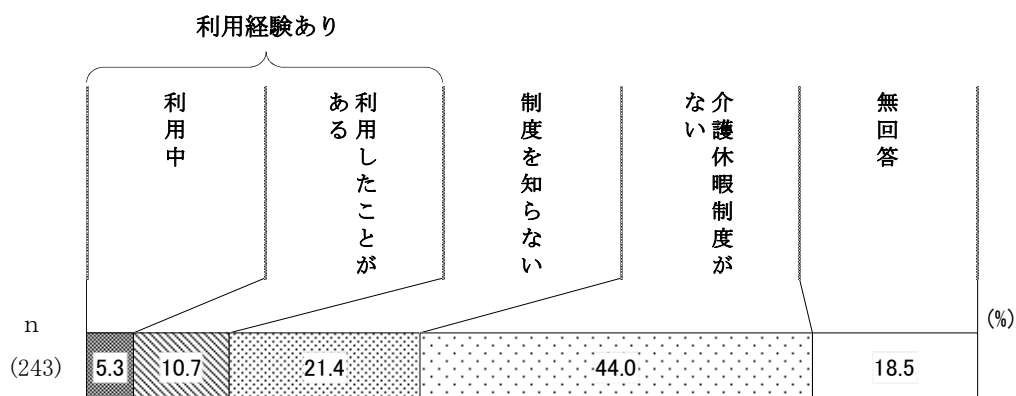
【問26で「2 就労（フルタイム）」と「3 就労（パートタイム）」を選んだ方にお伺いします。】

問26-2 職場で介護休暇制度など※ を利用していますか。（○はひとつ）

※ 介護のための短時間勤務制度、介護休暇、介護休業等

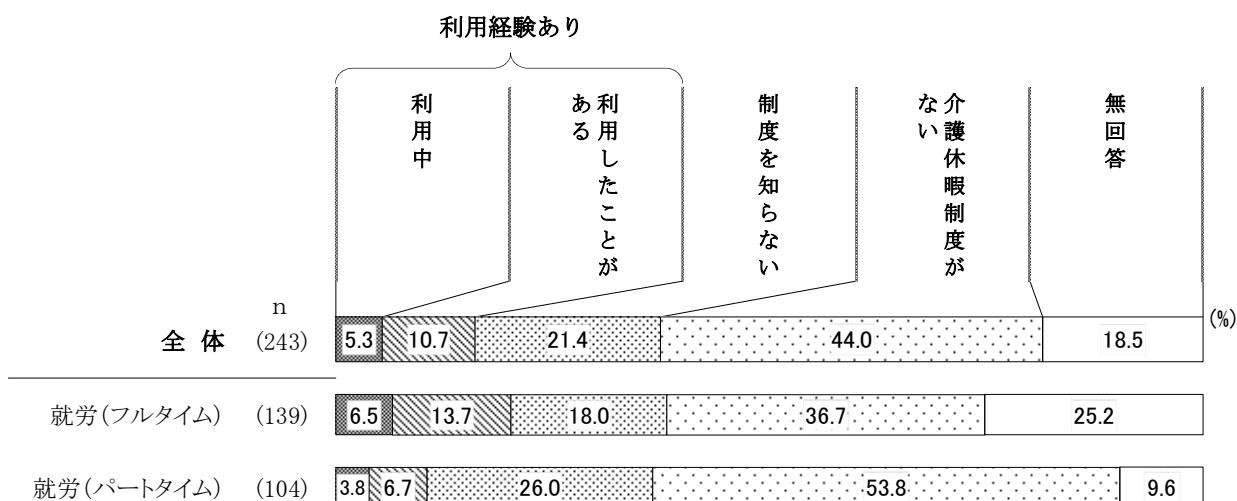
介護休暇制度などの利用状況としては、「利用中」（5.3%）と「利用したことがある」（10.7%）を合わせた『利用経験あり』は16.0%となっています。一方、「制度を知らない」は21.4%、「介護休暇制度がない」は44.0%と多くなっています。（図表6-10）

図表6-10 介護休暇制度などの利用状況



就労状況別でみると、『利用経験あり』は“就労（フルタイム）”の20.2%に対して、“就労（パートタイム）”はほぼ半分の10.5%となっています。それに伴い、“就労（パートタイム）”では「制度を知らない」、「介護休暇制度がない」とも“就労（フルタイム）”を上回り、とくに後者では5割を超えて多くなっています。（図表6-11）

図表6-11 介護休暇制度などの利用状況／就労状況別



(10) 就労と介護の両立

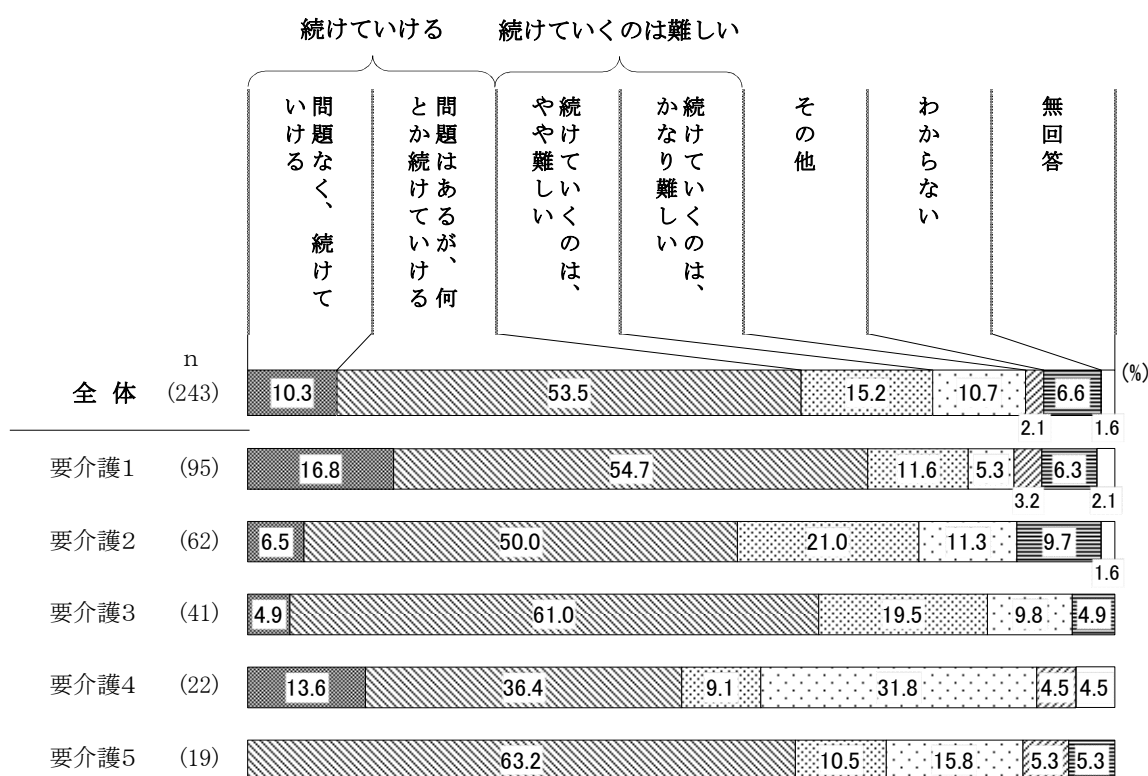
【問26で「2 就労（フルタイム）」と「3 就労（パートタイム）」を選んだ方にお伺いします。】

問26-3 今後も就労をしながら介護を続けていけそうですか。（〇はひとつ）

就労と介護の両立については、「問題はあるが、何とか続けていける」が53.5%を占めて多くなっています。また、「問題なく、続けていける」(10.3%)と合わせた『続けていける』としてみると63.8%となっています。一方、「続けていくのは、やや難しい」(15.2%)と「続けていくのは、かなり難しい」(10.7%)を合わせた『続けていくのは難しい』は25.9%となっています。

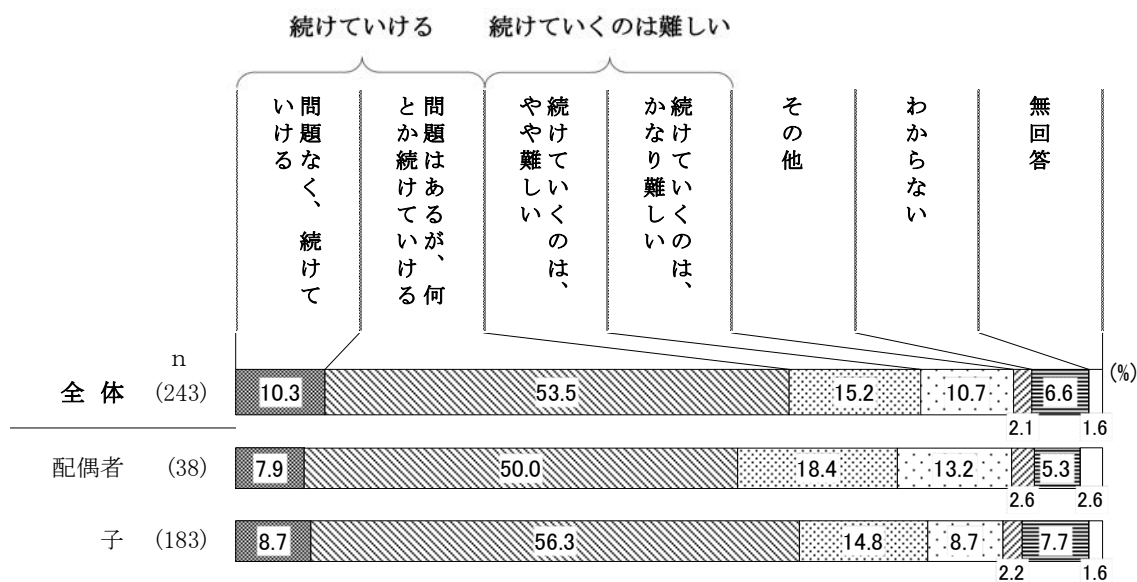
要介護度別でみると、“要介護1”で『続けていける』が71.5%と多くなっています。（図表6-12）

図表6-12 就労と介護の両立／要介護度別



対象者との続柄別で“子”をみても、全体との大きな差異はみられません。(図表6-13)

図表6-13 就労と介護の両立／対象者との続柄別

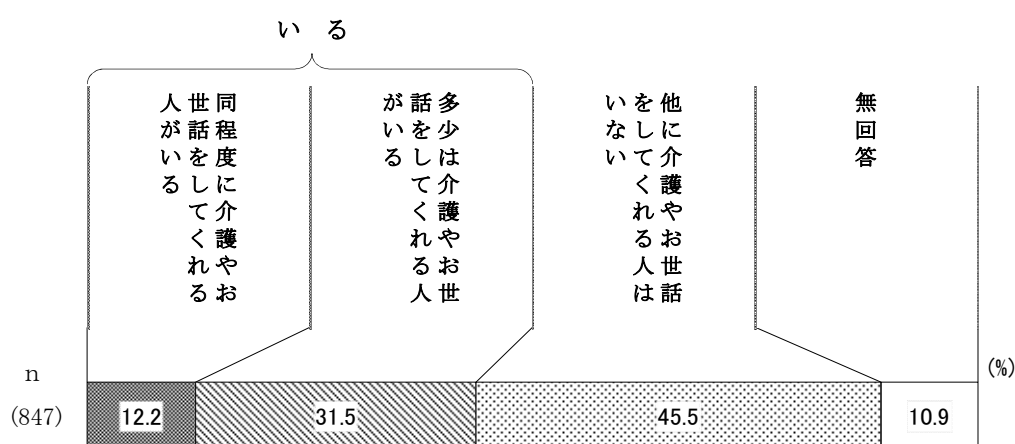


(11) 主な介護者以外の介護者の有無

問27 主に介護をしている方以外に、介護やお世話をする方（ヘルパーを除く）はいますか。  
（○はひとつ）

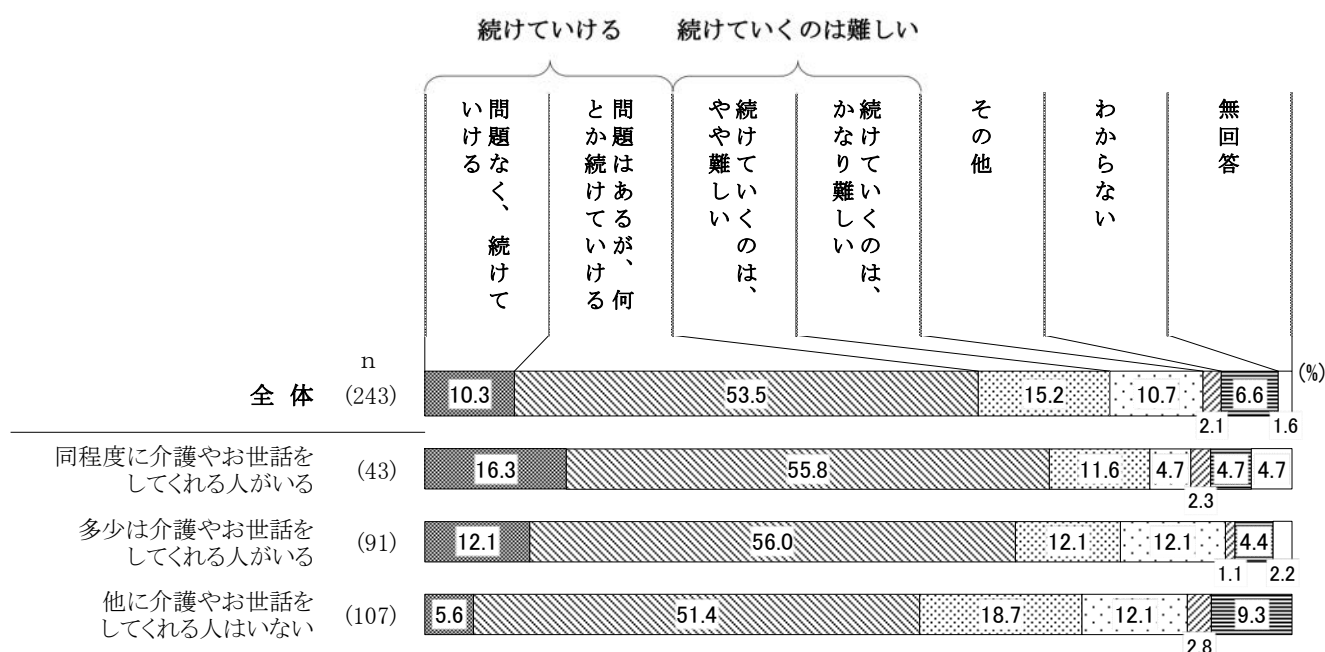
主な介護者以外の介護者の有無としては、「同程度に介護やお世話をしてくれる人がいる」（12.2%）と「多少は介護やお世話をしてくれる人がいる」（31.5%）を合わせた『いる』が43.7%に対し、「他に介護やお世話をしてくれる人はいない」は45.5%と、ほぼ同様の結果となっています。（図表6-14）

図表6-14 主な介護者以外の介護者の有無



主な介護者以外の介護者の有無別でみると、主な介護者と同程度の介護者がいるほど『続けていける』が多くなっているのがわかります。（図表6-15）

図表6-15 就労と介護の両立／主な介護者以外の介護者の有無別



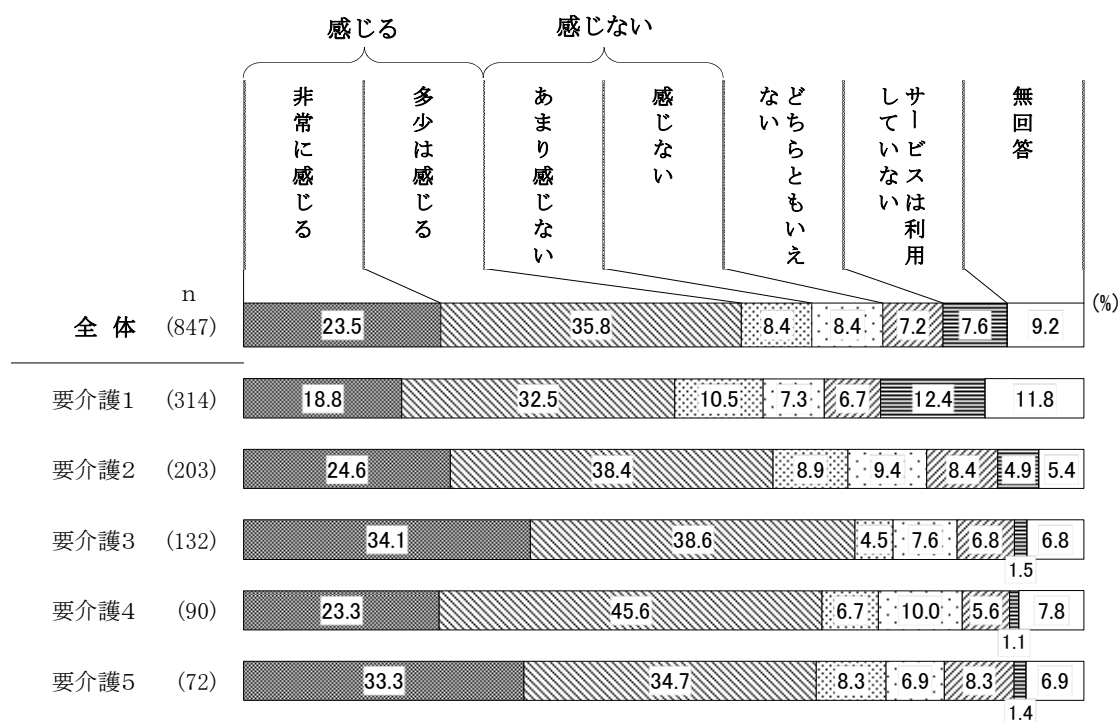
## (12) 介護保険サービスによる介護負担の軽減感

問28 介護保険サービスを利用して、介護にかかる負担が軽減されたと感じることはありますか。(〇はひとつ)

介護保険サービスによる介護負担の軽減感としては、「非常に感じる」(23.5%)と「多少は感じる」(35.8%)を合わせた『感じる』の59.3%に対して、「あまり感じない」「感じない」(ともに8.4%)を合わせた『感じない』は16.8%となっています。

要介護度別でみると、「要介護2以上」で『感じる』が6割を超えており、なかでも“要介護3”で72.7%を占めています。また、“要介護3”“要介護5”で「非常に感じる」が、それぞれ34.1%、33.3%と多くなっています。(図表6-16)

図表6-16 介護保険サービスによる介護負担の軽減感／要介護度別



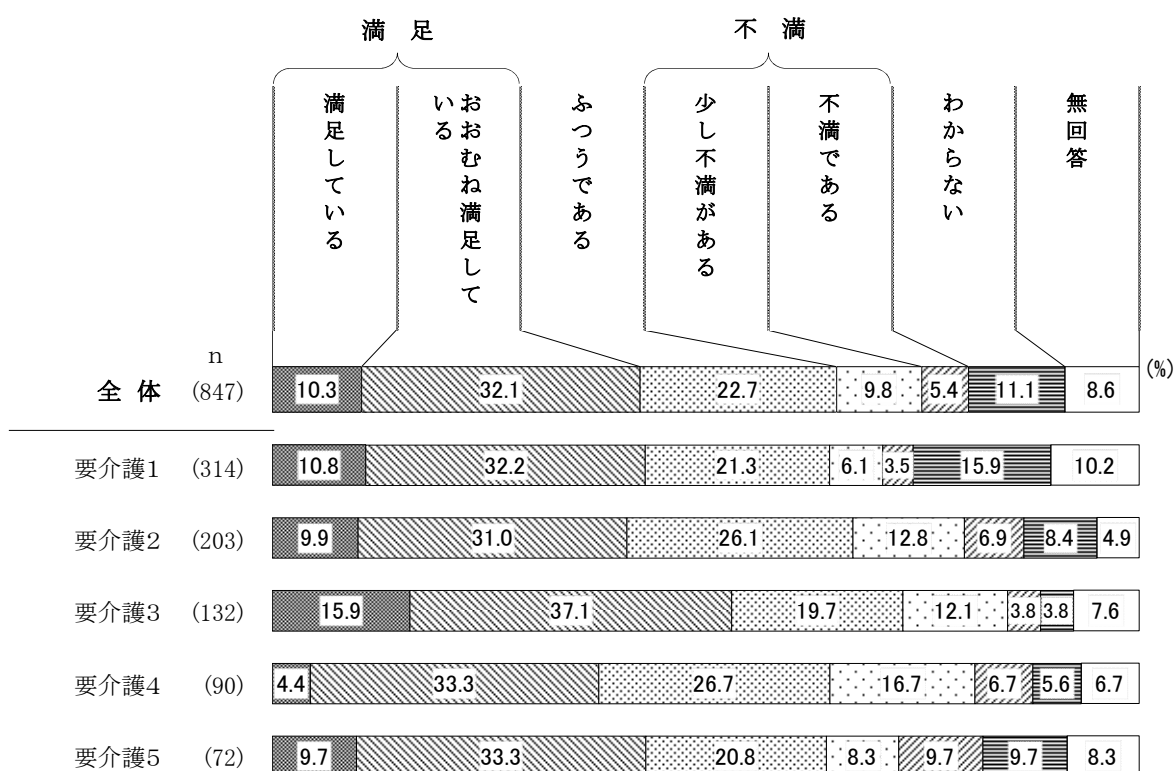
(13) 主な介護者からみる介護保険サービスの満足度

問29 介護保険サービス全般の内容は満足できますか。(〇はひとつ)

主な介護者からみる介護保険サービスの満足度としては、「満足している」(10.3%)と「おおむね満足している」(32.1%)を合わせた『満足』の42.4%に対して、『不満』(「少し不満がある」+「不満である」)は15.2%となっています。

要介護度別でみると、“要介護3”で『満足』が53.0%、「満足している」が15.9%と、ともに最も多くなっています。(図表6-17)

図表6-17 主な介護者からみる介護保険サービスの満足度／要介護度別

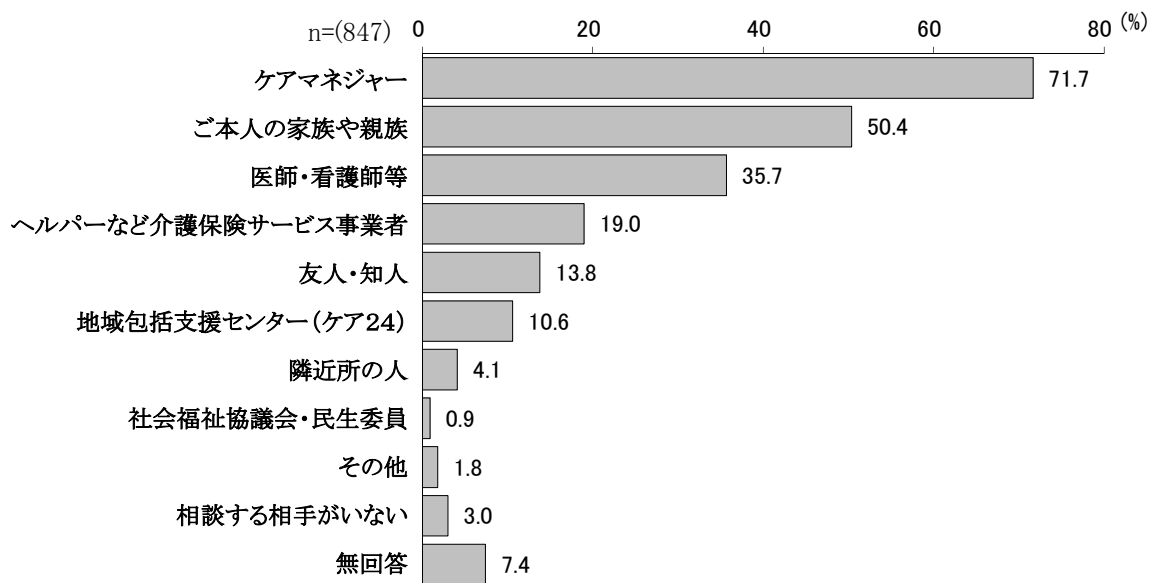


## (14) 主な介護者の相談先

問30 介護のことで困ったとき、どなたに相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

主な介護者の相談先としては「ケアマネジャー」が71.7%と最も多く、以下「ご本人の家族や親族」(50.4%)、「医師・看護師等」(35.7%)の順となっています。(図表6-18)

図表6-18 主な介護者の相談先

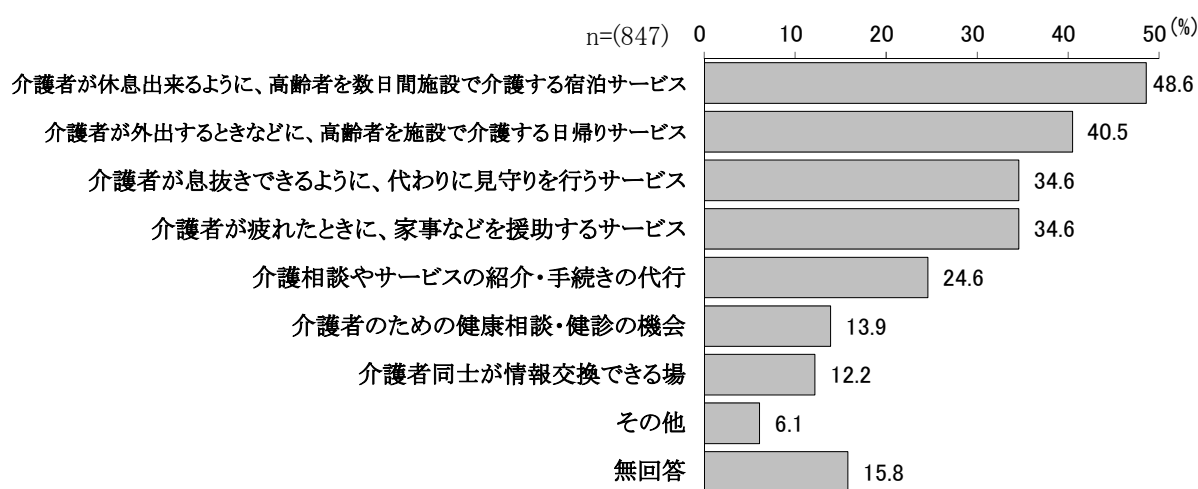


### (15) 主な介護者が必要とするサービス

問31 介護者が必要とするサービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

主な介護者が必要とするサービスとしては「介護者が休息出来るように、高齢者を数日間施設で介護する宿泊サービス」が48.6%と最も多く、以下「介護者が外出するときなどに、高齢者を施設で介護する日帰りサービス」(40.5%)、「介護者が息抜きできるように、代わりに見守りを行うサービス」「介護者が疲れたときに、家事などを援助するサービス」(ともに34.6%)の順となっています。(図表6-19)

図表6-19 主な介護者が必要とするサービス

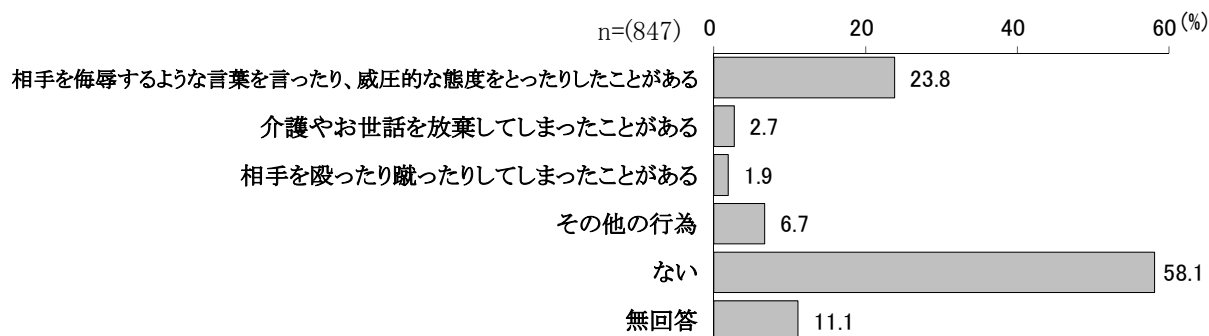


### (16) 最近6か月の間の主な介護者と対象者との衝突

問32 最近6か月の間に、介護が原因でご本人と衝突したことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

最近6か月の間の主な介護者と対象者との衝突としては「相手を侮辱するような言葉を言ったり、威圧的な態度をとったりしたことがある」が23.8%と最も多くなっています。なお、「ない」は58.1%となっています。(図表6-20)

図表6-20 最近6か月の間の主な介護者と対象者との衝突





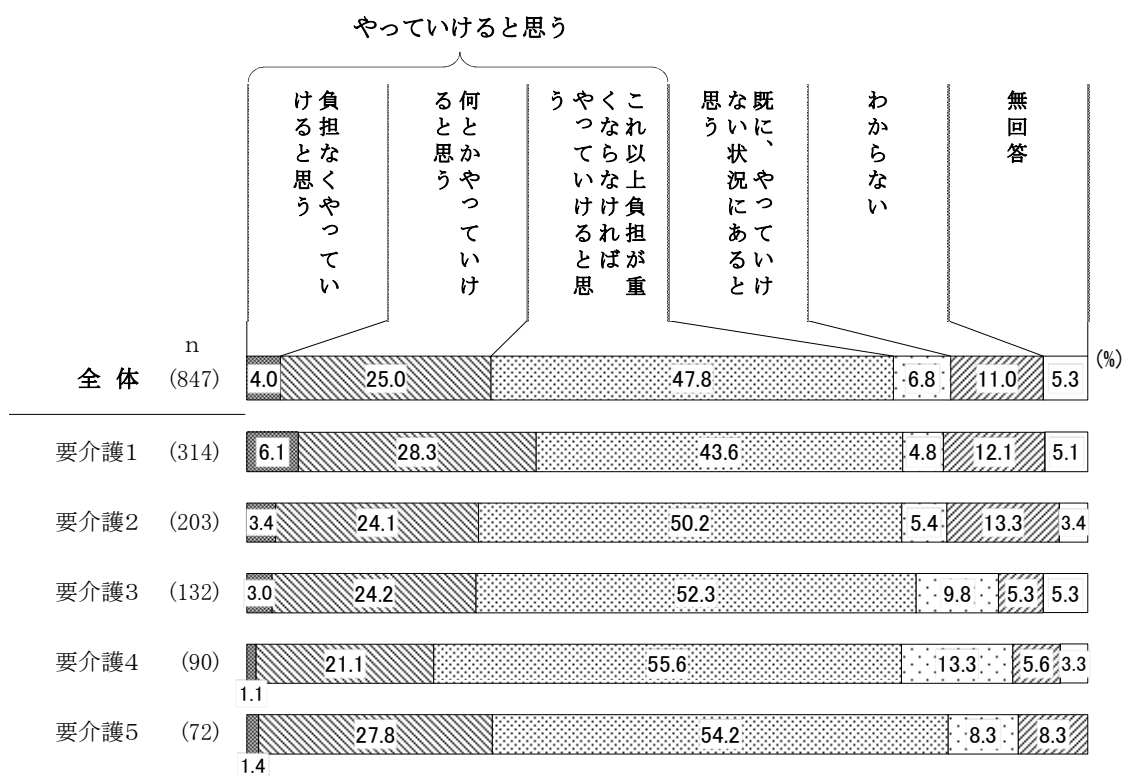
## (17) 在宅介護の継続

問33 これからも在宅で介護を続けていけると思いますか。(○はひとつ)

在宅介護の継続としては「これ以上負担が重くならないでいけると思う」が47.8%、「何とかやっていけると思う」が25.0%、「負担なくやっていけると思う」が4.0%となっており、それらを合わせた『やっていけると思う』は76.8%を占めています。

要介護度別でみると、“要介護2以上”で「これ以上負担が重くならないでいけると思う」が5割を、“要介護5”では『やっていけると思う』が8割を超えています。(図表6-21)

図表6-21 在宅介護の継続／要介護度別



## 7. 社会的孤立の状況について

問5 一緒に暮らしている家族の構成を教えてください。

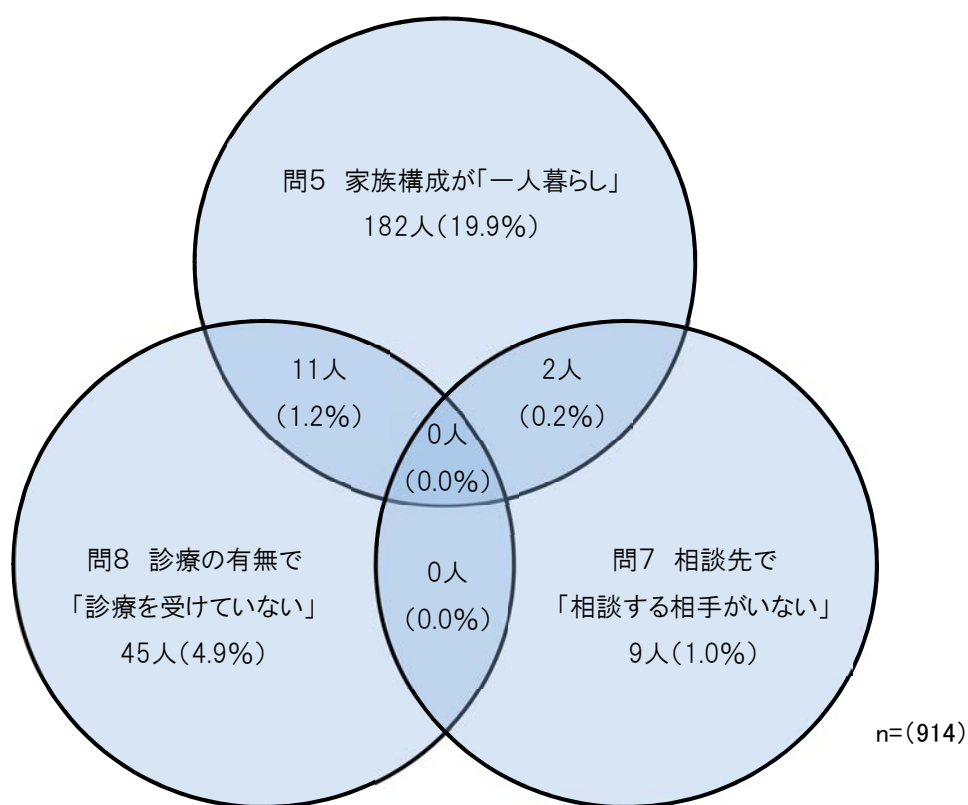
問7 生活の中で不安に思ったとき、どなた（どこ）に相談しますか。

問8 現在、通院（病院・医院・診療所）や訪問診療（往診含む）で診療を受けていますか。

介護者がいない人について、家族構成（問5）、相談先（問7）、通院や訪問診療の有無（問8）といった社会的孤立にかかわる3項目を注視し、その有無・頻度がほとんどないと回答された状況を整理しました。

回答者914人のうち、家族構成が「一人暮らし」、相談先で「相談する相手がない」、診療の有無で「診療を受けていない」の3項目がすべてない人はみられません。（図表7-1）

図表7-1 社会的孤立の状況



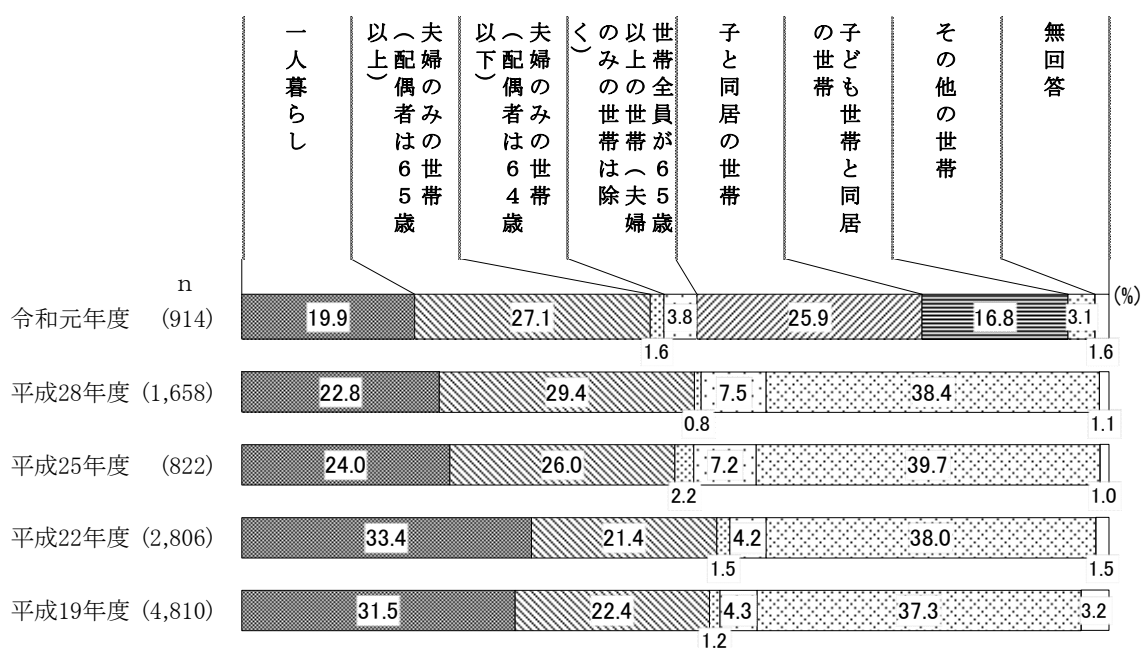
## 8. 経年比較

### (1) 家族構成

問5 一緒に暮らしている家族の構成を教えてください。(○はひとつ)

「夫婦のみの世帯（配偶者は65歳以上）」が平成28年度から2.3ポイント減、「一人暮らし」が同2.9ポイント減となっています。（図表8－1）

図表8－1 家族構成



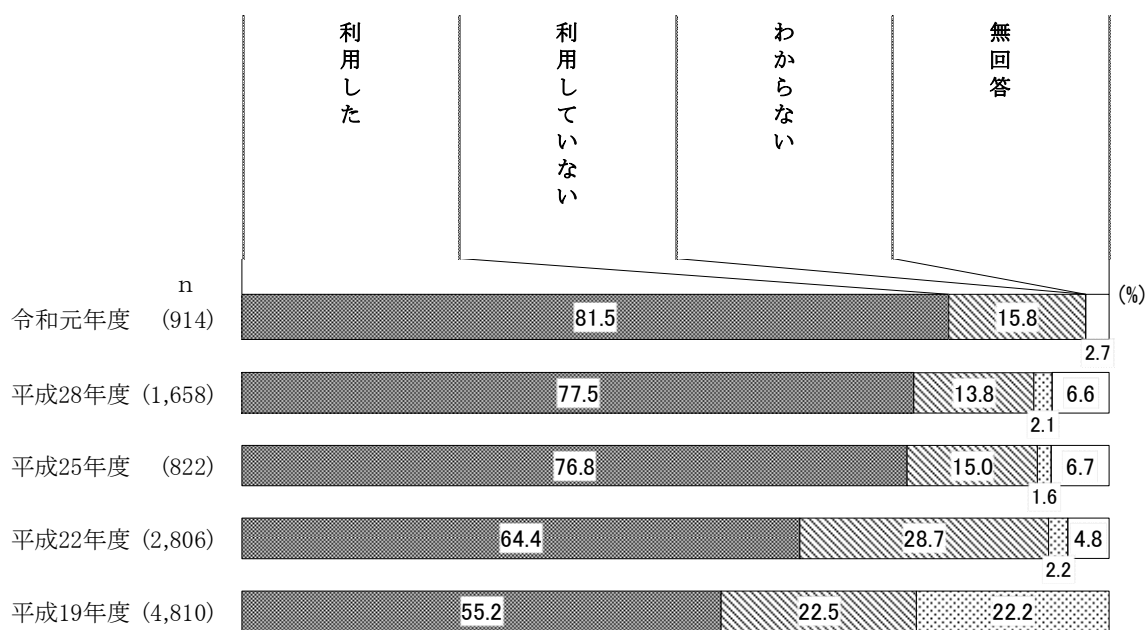
※令和元年度の選択肢「子と同居の世帯」「子ども世帯と同居の世帯」「その他の世帯」は、平成28年度では「その他の世帯」と一括になっています。

(2) 介護保険サービスの利用状況

問9 令和元年7月中に、介護保険サービスを利用しましたか。(○はひとつ)

「利用した」は年度ごとに多くなっており、平成28年度より4.0ポイント増となっています。  
(図表8-2)

図表8-2 介護保険サービスの利用状況



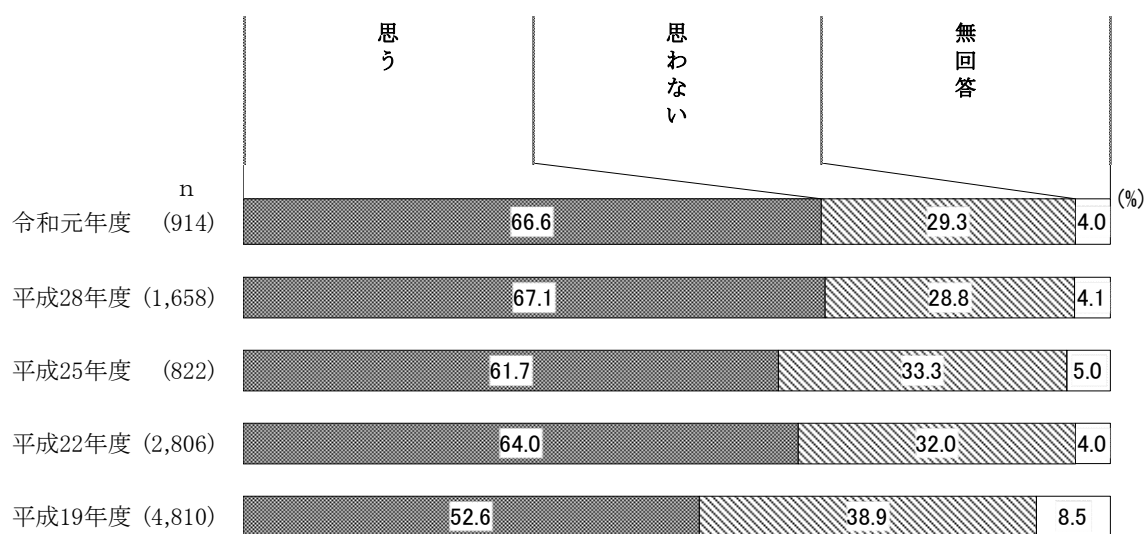
※令和元年度では、「わからない」を削除しました。

## (3) 居住先の介護を受けながらの生活に対する適正の有無

問13 現在のお住まいは、介護を受けながら在宅生活を送るのに適していると思いますか。  
(○はひとつ)

平成28年度から特に大きな変動はありません。(図表8-3)

図表8-3 居住先の介護を受けながらの生活に対する適正の有無

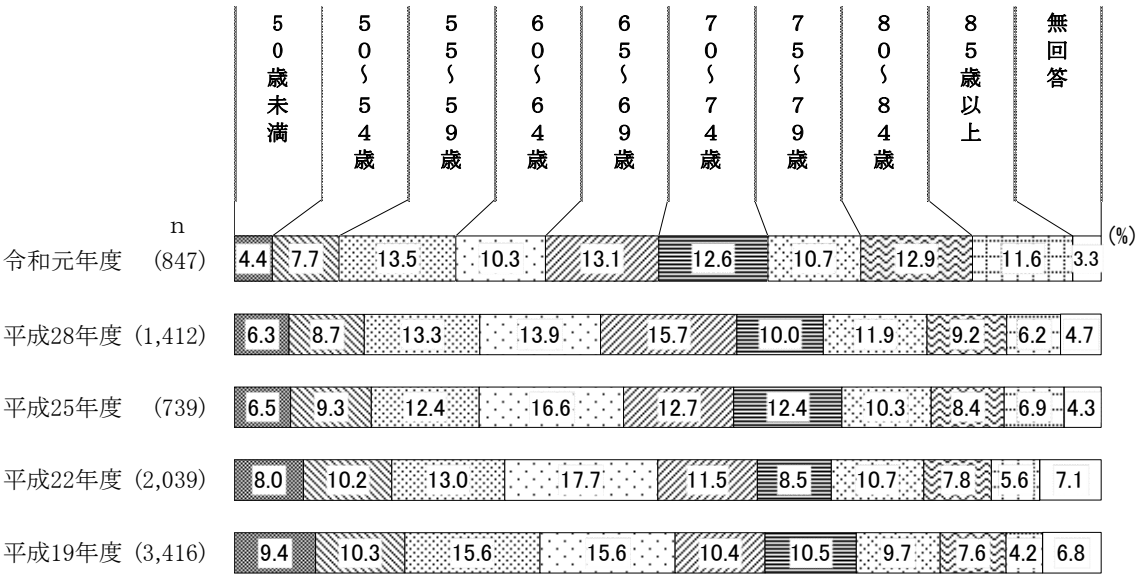


(4) 主な介護者の年齢

問21 あなたの年齢をお答えください。(○はひとつ)

令和元年度は「65歳以上」が多くなっており、なかでも『80歳以上』は今回調査で20%を超え、老老介護が進行していることがうかがえます。(図表8-4)

図表8-4 主な介護者の年齢



(5) 対象者との続柄

問22 ご本人からみた続柄をお答えください。(○はひとつ)

「配偶者」「子 ※」ともに、平成28年度から大きな差異はみられません。(図表8-5)

図表8-5 対象者との続柄

											(%)
	n	配偶者	子			子の配偶者			孫	その他	無回答
				娘	息子		息子の妻	娘の夫			
令和元年度	847	37.1	46.0			5.7			0.2	6.0	5.0
平成28年度	1,412	38.5		32.0	15.0		8.6	0.4	0.4	5.0	－
平成25年度	739	31.4		34.6	12.7		11.1	－	4.3	1.9	3.9
平成22年度	2,039	30.6		31.9	13.6		13.6	0.2	4.2	5.9	－
平成19年度	3,416	30.7		28.6	11.1		14.4	0.2	3.1	3.8	8.1

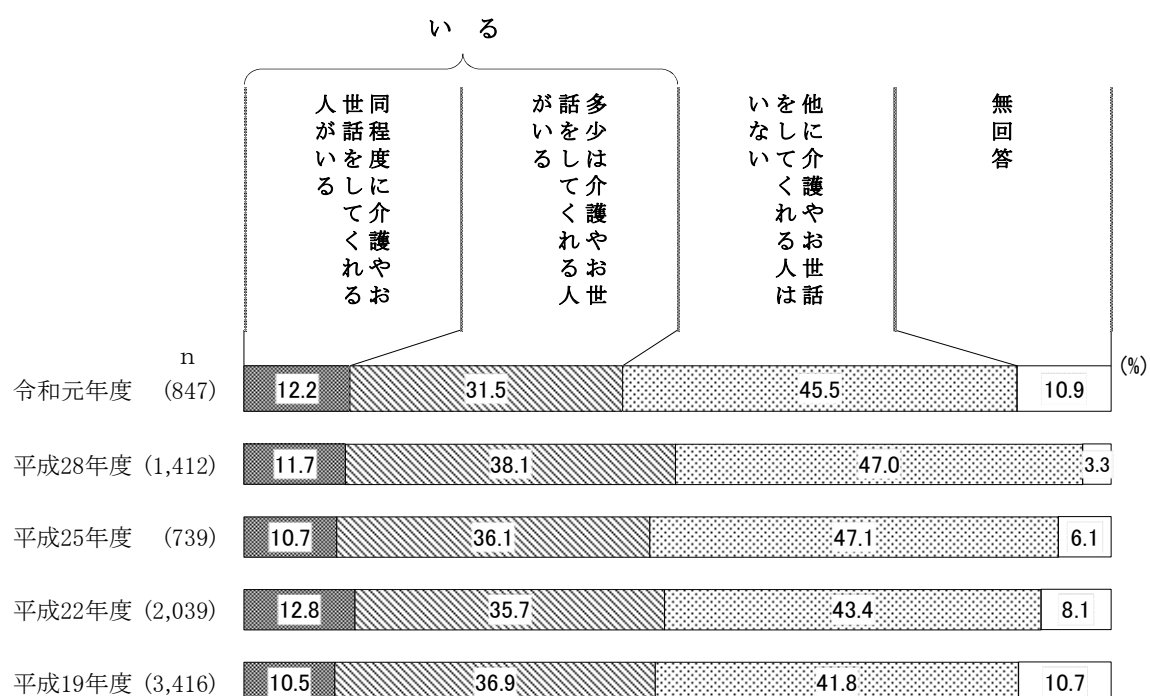
※令和元年度の選択肢「子」は、平成28年度以前では「娘」と「息子」に分かれています。  
※令和元年度の選択肢「子の配偶者」は、平成28年度以前は「息子の妻」と「娘の夫」に分かれています。

## (6) 主な介護者以外の介護者の有無

問27 主に介護をしている方以外に、介護やお世話をする方（ヘルパーを除く）はいますか。  
（○はひとつ）

『いる』をみても年度により多少の前後があり、平成28年度からは6.1ポイント減となっています。（図表8－6）

図表8－6 主な介護者以外の介護者の有無

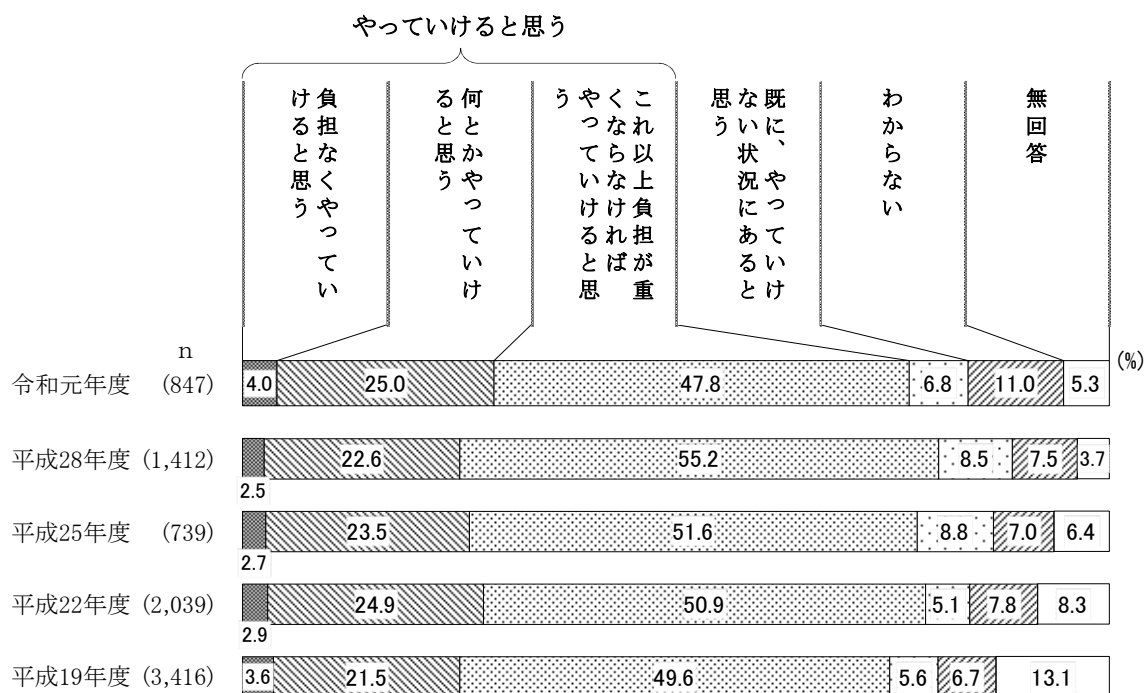


(7) 在宅介護の継続

問33 これからも在宅で介護を続けていけると思いますか。(○はひとつ)

「これ以上負担が重くならないでいけると思う」が平成28年度から7.4ポイント減、  
『やっていけると思う』としても3.5ポイント減となっています。(図表8-7)

図表8-7 在宅介護の継続





## 9. 自由意見

介護保険制度、保健福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などございましたら、自由にお書きください。

高齢者の福祉について290人からご意見・ご要望をいただきました。分類したうえで、それぞれについて数件ずつ示していきます。

### 1. 介護保険制度に関して

- ・サービスを受けるのに色々な手続きを取らなければいけないのは面倒です。すぐに事が運ばないので時間が掛かり、諦めることがあります。
- ・介護保険料を払っているのに、それに見合うだけのサービスが無いと思います。家族と同居ということで、家族に甘えすぎていると思います。
- ・訪問医の診療時間（訪問時間）等が短く、厚い対応が欲しいです。
- ・介護認定について、実際の身体の不自由さと認定結果との差異がある場合が多いので、実態を正確に把握し、認定して欲しいです。
- ・デイサービス等は、事業所によってサービスの質に差があるように思います。現場の実態をチェックする体制があると良いと思います。

### 2. スタッフ(介護人材)

- ・ケアマネジャーさん、ホームヘルパーさんの対応が早くて、とても助かっています。
- ・ケアマネジャーが、制度と家族（本人も）を繋ぐ大きな役割だと思いますが、担当が長くても数年（2～3年）で変わるため、関係を築くことが難しく、困ります。
- ・大変感謝しています。ケアマネジャーのアドバイス等もあり助かっています。これからも宜しくお願いします。
- ・ケアマネジャーは介護保険のサービスしか手配してくれません。区のサービスなどもこちらから言わないと紹介されません。
- ・ケアマネジャーやヘルパーから積極的にサービス紹介をして欲しいです。
- ・ケアマネジャーやヘルパーに大変助けられています。今後、ますます高齢化が進むと考えられるので、介護人材を確保できるような、制度、法律、体制充実等に注力するようにしていてもらいたいです。
- ・ケアマネジャー、ヘルパー、理学療法士等々、介護を担う方々の待遇がより良くなることを願っています。
- ・介護士の方も一生懸命お仕事されていますが、人手不足を感じます。

### 3. 経済的負担

- ・金額負担と介護サービスのバランスがとれていて、よろしいと感じます。
- ・介護保険料の上昇がよく言われているが、これ以上の高騰はその負担に耐えがたいです。
- ・サービスは介護度によって限度があるし、サービスを受ければ受けただけ費用もかかるため、もっと高齢になった時、とても不安です。
- ・収入が夫婦の年金のみで、サービスは受けたいたですが、出費が厳しいです。
- ・（介護サービスを受けずに）親の介護をしている場合は、介護保険料を軽減して欲しいです。本来は自分の親は子供がみて当然です。

### 4. 在宅サービス

- ・介護者自身が病院に通っているので、介護者の体の調子の悪い時に使えるサービスが欲しいです。
- ・介護度によって、おむつの支給を変えて欲しいです。
- ・お弁当代の補助があると助かります。
- ・不定期的に利用できる外出サービスなど、様々なスタイルに合ったサービスがあれば助かります。

### 5. その他

- ・自宅介護3年の後、リハビリ型介護付有料老人ホームへ入所の運びとなりました。介護のこと、看護のこと、施設に関すること（虐待や誤投薬など）、相談する窓口があると大変助かります。
- ・子供達（40代～50代の3人）の介護休暇が取りづらいらしいです。
- ・本人達の強い拒否で施設のみならず、デイサービスやショートステイも利用できず、病気になっても入院さえできない現状です。
- ・現在はケアマネジャー、ショートステイ、デイサービスとの連携で何とか介護をこなしているが、我々夫婦も65歳以上となり、将来がやや不安です。
- ・皆が施設に預けられる訳ではないので、家族が仕事をしながら介護を続けていける制度を整備して欲しいです。
- ・介護者のためのフォローを充実させて頂きたいです。
- ・熱中症で入院しましたが、訪問診療で自宅で点滴を受けられれば、入院しなくて済んだと思われます。訪問診療の充実を宜しく願います。

## 第4章 在宅介護実態調査結果

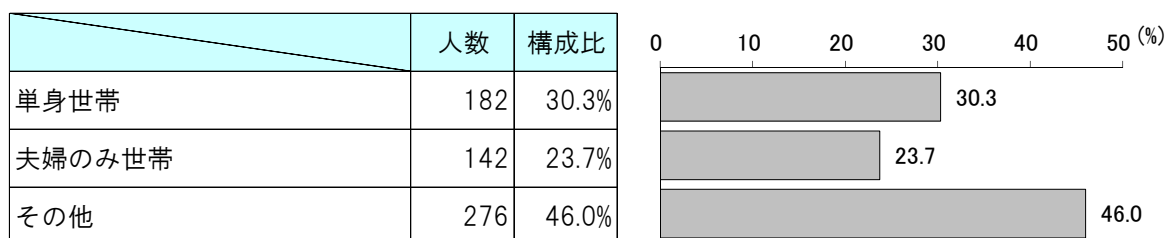
---



## (1) 世帯類型

A問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

図表1 世帯類型



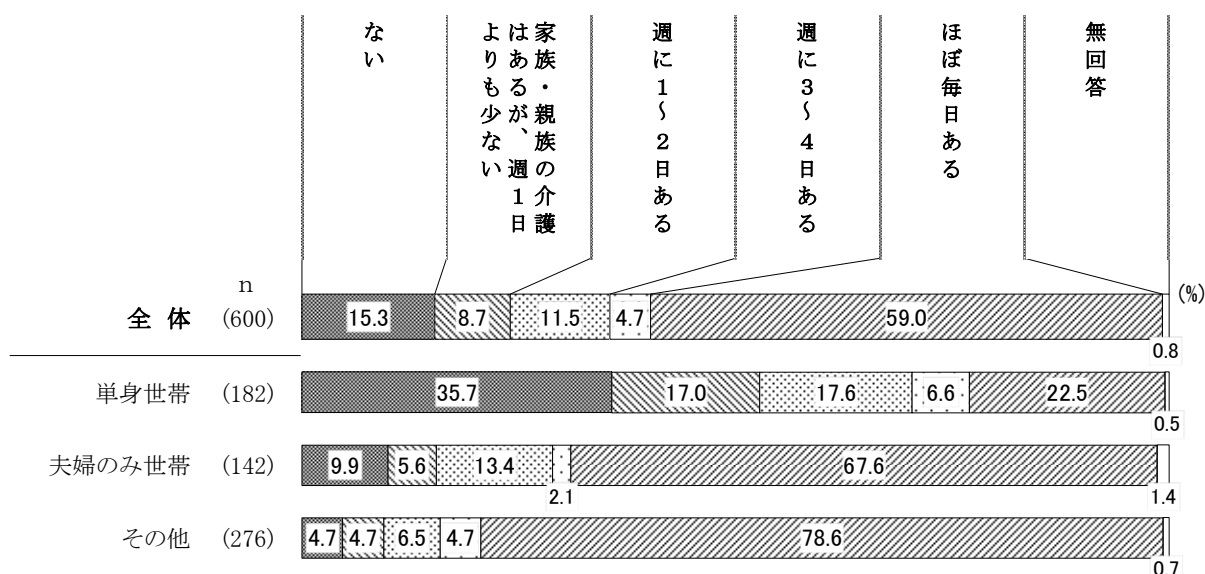
## (2) 介護の頻度

A問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

介護の頻度としては「ほぼ毎日ある」が59.0%と最も多く、「週に1～2日ある」は11.5%、「週に3～4日ある」は4.7%となっています。一方、「ない」は15.3%となっています。

世帯類型でみると、“夫婦のみ世帯”で「ほぼ毎日ある」が67.6%となっています。一方、“単身世帯”では「ない」が35.7%と最も多くなっています。（図表2）

図表2 介護の頻度／世帯類型別

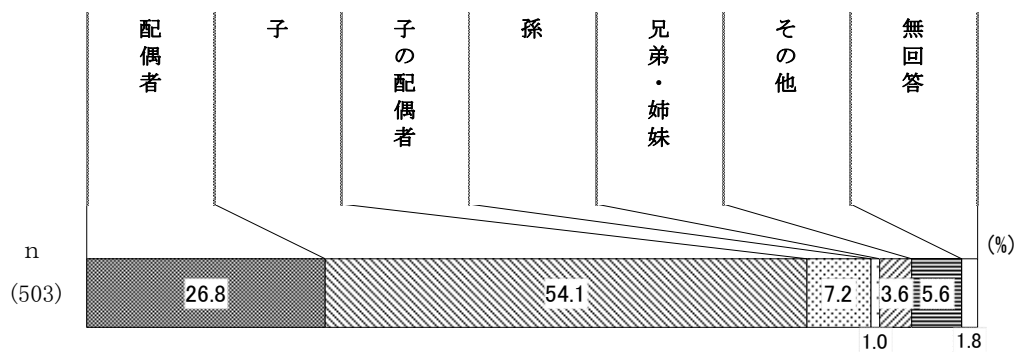


### (3) 主な介護者

A問3 主な介護者の方は、どなたですか。(1つを選択)

主な介護者としては「子」が54.1%と最も多く、「配偶者」が26.8%で次いでいます。(図表3)

図表3 主な介護者

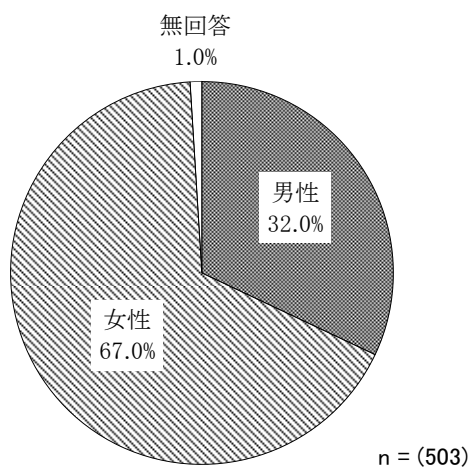


### (4) 主な介護者の性別

A問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください(1つを選択)

主な介護者の性別は「男性」が32.0%、「女性」67.0%となっています。(図表4)

図表4 主な介護者の性別



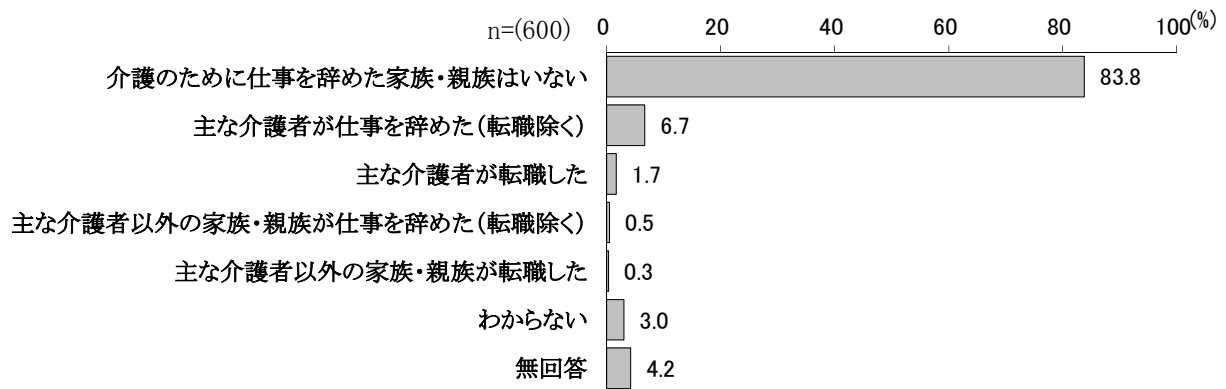
## (5) 介護を理由とした退職状況

A問5 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数回答可）

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

介護を理由とした退職状況としては「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が83.8%を占めています。一方、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」は6.7%となっています。（図表5）

図表5 介護を理由とした退職状況



## (6) 施設等への入所・入居の検討状況

A問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください

(1つを選択)

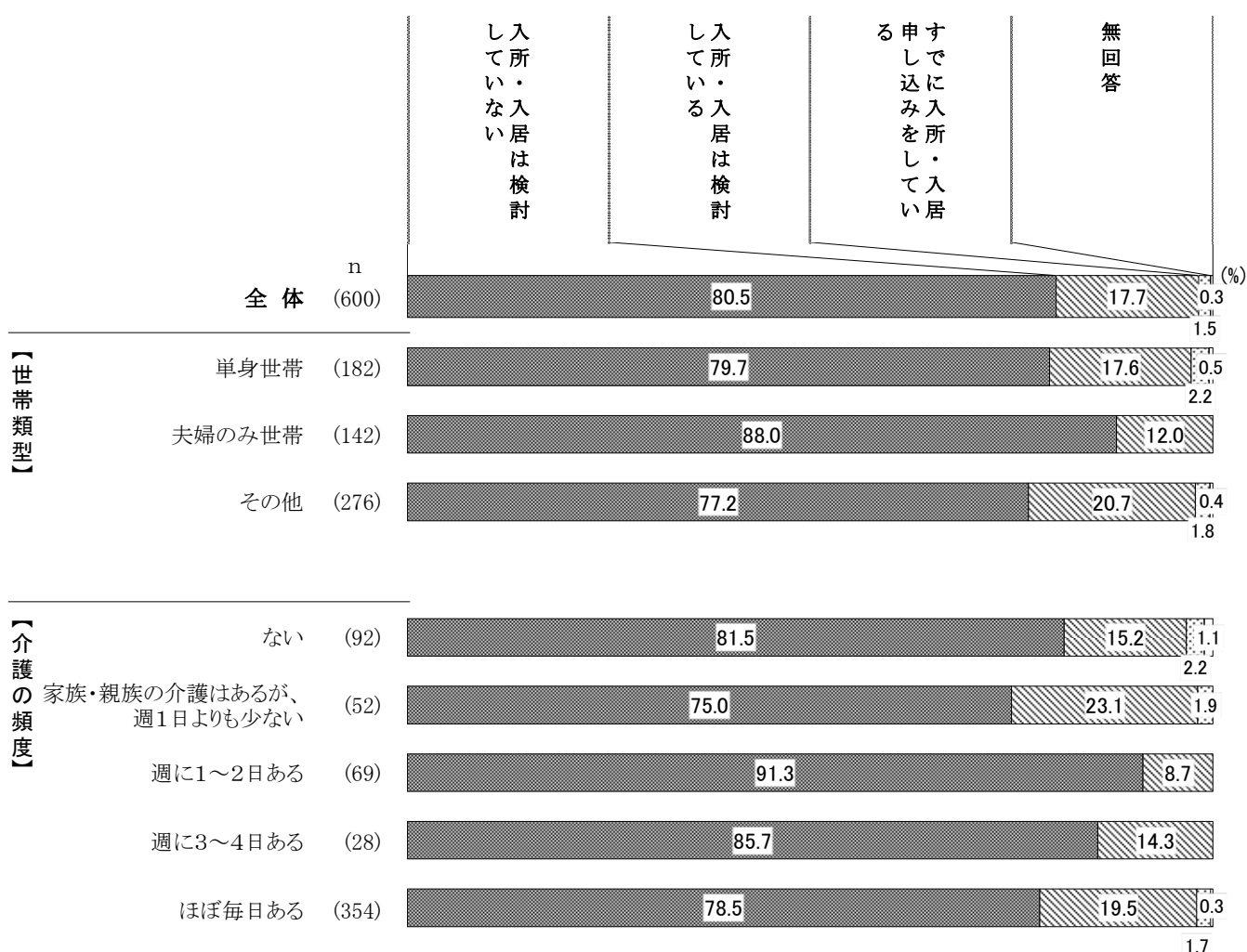
※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

施設等への入所・入居の検討状況としては、「入所・入居は検討していない」が80.5%、「入所・入居は検討している」が17.7%となっています。

世帯類型別でみると、“夫婦のみ世帯”で「入所・入居は検討していない」が88.0%と多くなっています。

介護の頻度別でみると、“家族・親族の介護はあるが、週1日よりも少ない”と“ほぼ毎日”で「入所・入居は検討している」が、それぞれ23.1%、19.5%と、他層より多くなっています。(図表6)

図表6 施設等への入所・入居の検討状況／世帯類型別、介護の頻度別





## (7) 主な介護者の勤務形態

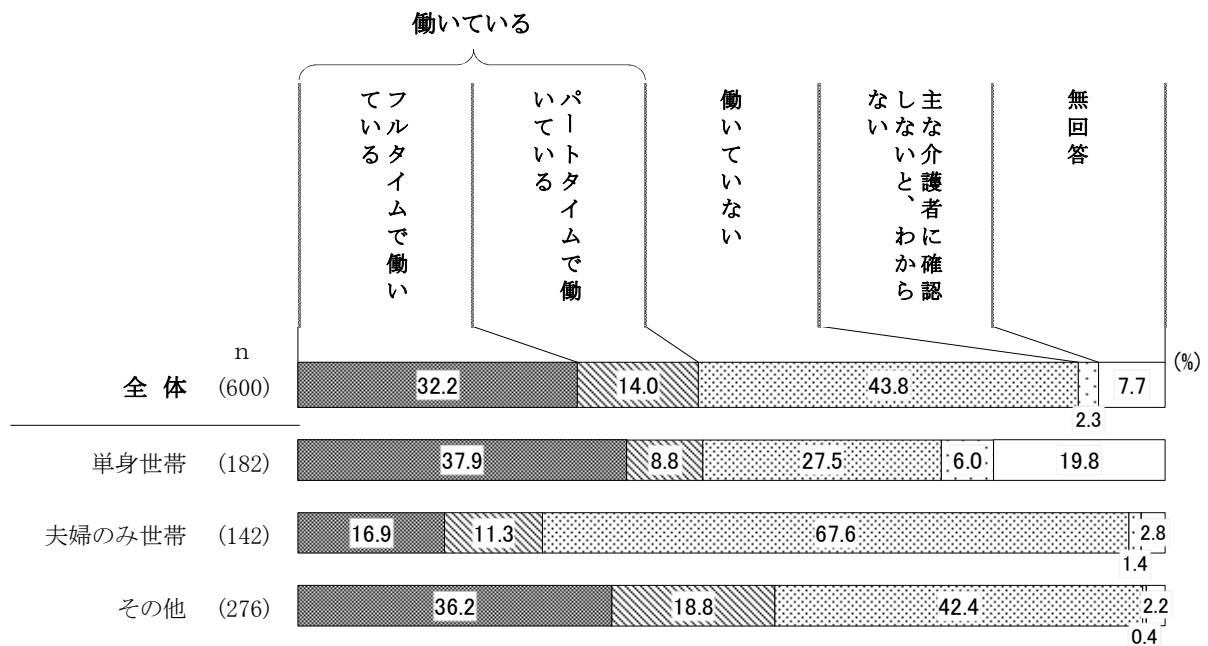
B問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」「嘱託」「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかを選択してください。

主な介護者の勤務形態としては、「フルタイムで働いている」（32.2%）と「パートタイムで働いている」（14.0%）を合わせた『働いている』が46.2%に対して、「働いていない」は43.8%となっています。

世帯類型別みると、“単身世帯”の『働いている』が46.7%に対して、“夫婦のみ世帯”では28.2%となっています。（図表7）

図表7 主な介護者の勤務形態／世帯類型別



#### 第4章 在宅介護実態調査結果

主な介護者の勤務形態別で介護の頻度をみると、どの形態でも「ほぼ毎日ある」が最も多くなっていますが、“パートタイムで働いている”“働いていない”で7割を超えているなか、“フルタイムで働いている”は約5割と、差異がみられます。(図表8)

図表8 介護の頻度／主な介護者の勤務形態別

		上段:人数、下段:%					
	n	ない	家族・親 族の介 護はある が、週1 日より 少ない	週に1～ 2日ある	週に3～ 4日ある	ほぼ毎日 ある	無回答
全 体	600 100.0	92 15.3	52 8.7	69 11.5	28 4.7	354 59	5 0.8
フルタイムで働いている	193 100.0	11 5.7	25 13.0	45 23.3	13 6.7	98 50.8	1 0.5
パートタイムで働いている	84 100.0	1 1.2	5 6.0	7 8.3	3 3.6	66 78.6	2 2.4
働いていない	263 100.0	28 10.6	18 6.8	15 5.7	11 4.2	189 71.9	2 0.8
主な介護者に確認しないと、わからない	14 100.0	7 50.0	4 28.6	2 14.3	1 7.1	— —	— —

## (8) 介護と就労の両立

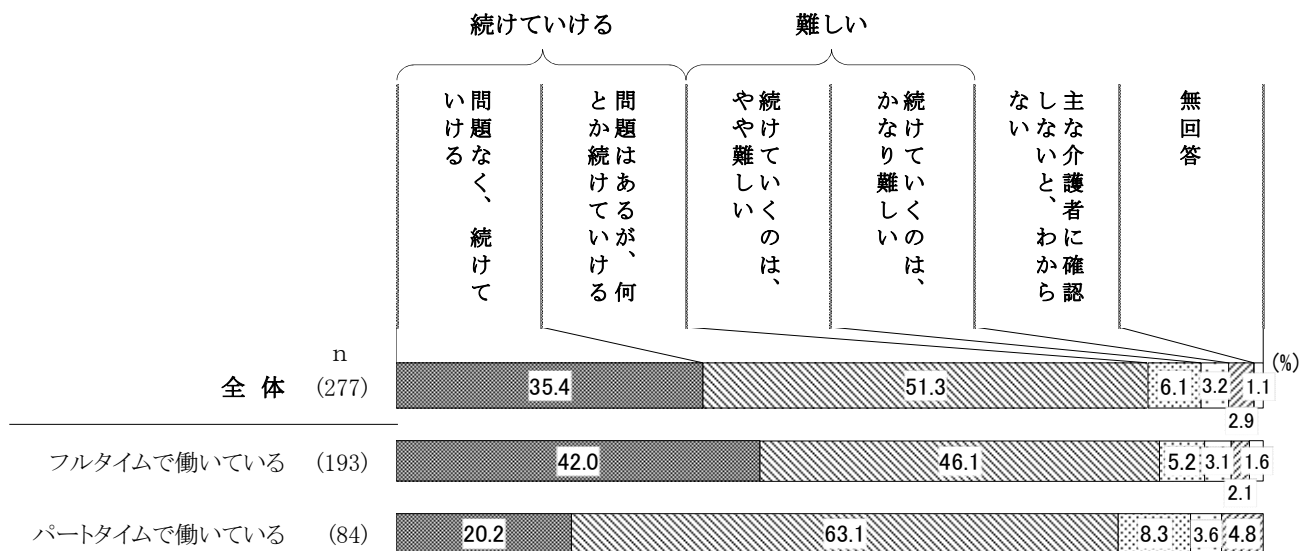
B問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。

B問2 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つを選択)

介護と就労の両立としては、「問題なく、続けていける」(35.4%)と「問題はあるが、続けていける」(51.3%)を合わせた『続けていける』が86.7%を占めています。一方、「続けていくのは、かなり難しい」(3.2%)と「続けていくのは、やや難しい」(6.1%)を合わせた『難しい』は9.3%となっています。

主な介護者の勤務形態別でみると、『続けていける』は“フルタイムで働いている”が88.1%、“パートタイムで働いている”が83.3%でともに多くなっているものの、「問題なく、続けていける」では、“フルタイム”の42.0%に対して“パートタイム”が20.2%と、差異がみられます。(図表9)

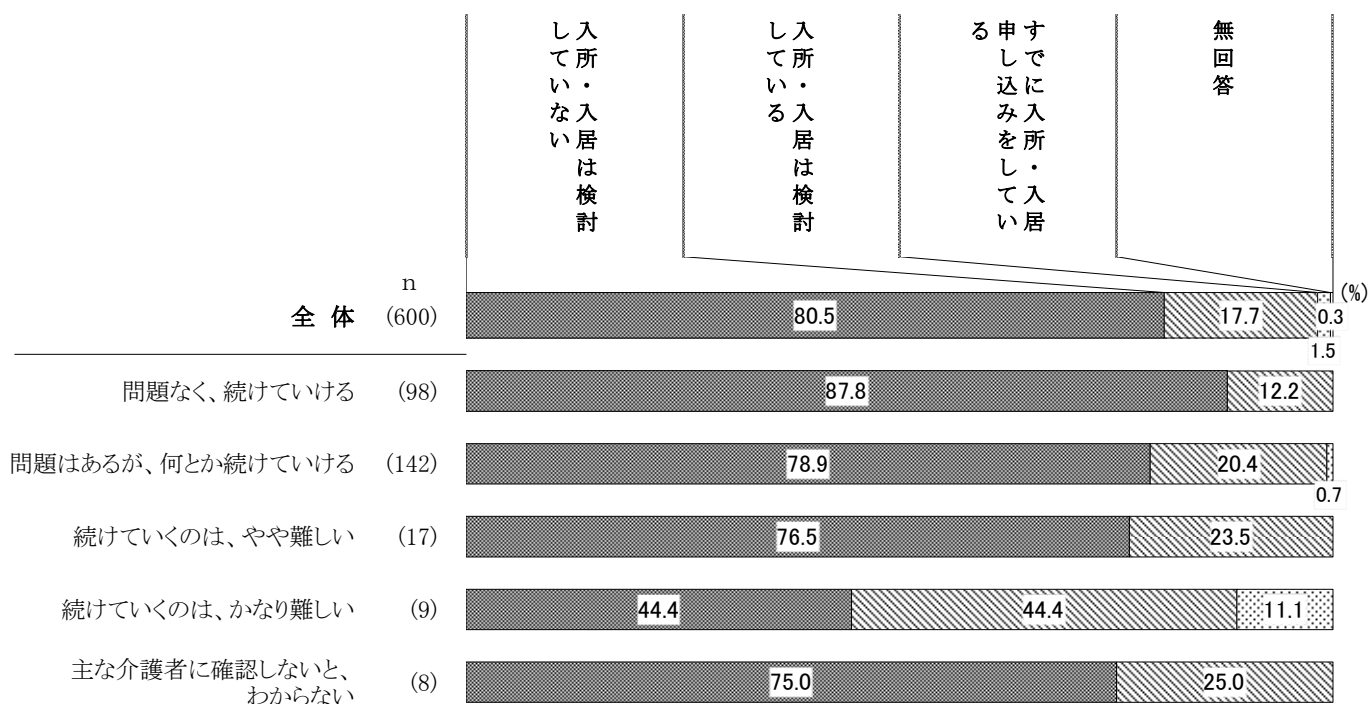
図表9 介護と就労の両立／主な介護者の勤務形態別



## 第4章 在宅介護実態調査結果

介護と就労の両立別で施設等への入所・入居の検討状況をみると、「入所・入居は検討していない」は、“問題なく、続けていける”で87.8%、“問題はあるが、何とか続けていける”で78.9%となっています。（図表10）

図表10 施設等への入所・入居の検討状況／介護と就労の両立別



## 第5章 特別養護老人ホーム入所希望者 実態調査結果

---

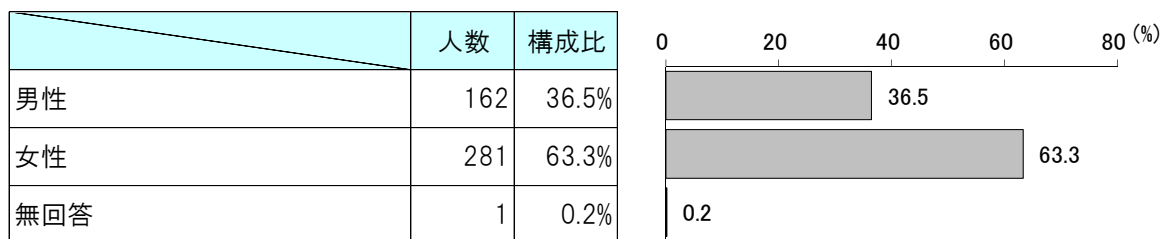


## 1. 対象者の属性

### (1) 性別

問1 あなたの性別をお答えください。(○はひとつ)

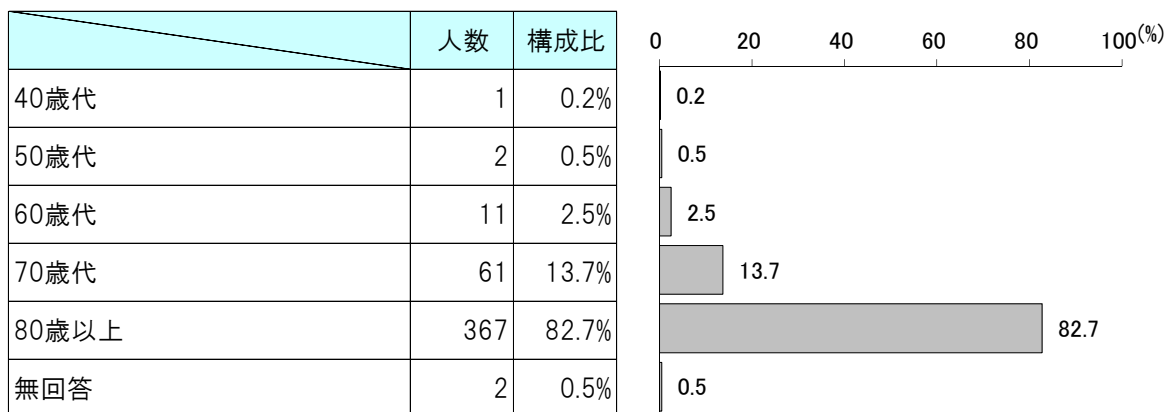
図表1-1 性別



### (2) 年齢

問2 あなたの年齢をお答えください。(○はひとつ)

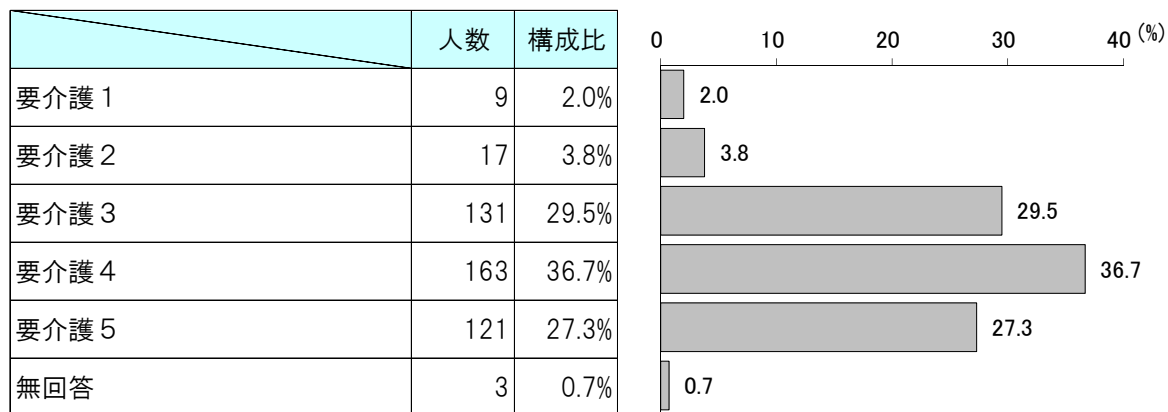
図表1-2 年齢



### (3) 要介護度

問3 あなたの要介護度をお答えください。(〇はひとつ)

図表1-3 要介護度

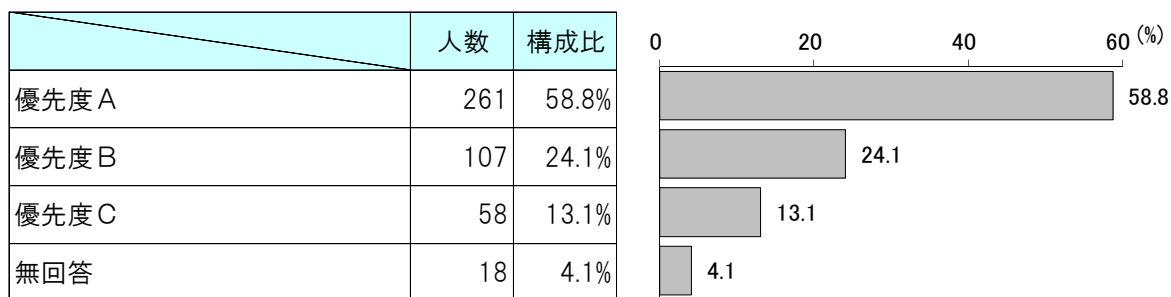


※特別養護老人ホームは、原則要介護3以上の方が入所できる施設ですが、要介護1・2の方も「やむを得ない事情により特別養護老人ホーム以外での生活が著しく困難と認められる方」は申し込みができます。

### (4) 区の第一次評価

問4 あなたが、特別養護老人ホームへ申込した際の、区の第一次評価は次のどれでしたか。(〇はひとつ)

図表1-4 区の第一次評価



※区では第一次評価を行い、入所の優先度（緊急度）を判定しております。

優先度A：優先度が高い、優先度B：優先度が中程度、優先度C：優先度が低い

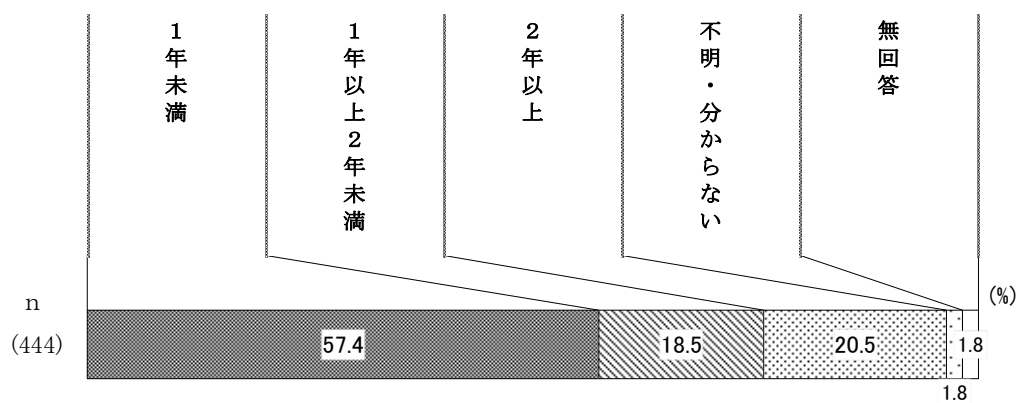


## (5) 入所申込をしてからの期間

問5 あなたが、特別養護老人ホームへ入所申込をしてから、現在までの期間はどれにあてはまりますか。(〇はひとつ)

入所申込をしてからの期間をみると、「1年未満」が57.4%と最も多く、「1年以上2年未満」は18.5%、「2年以上」は20.5%となっています。(図表1-5)

図表1-5 入所申込をしてからの期間

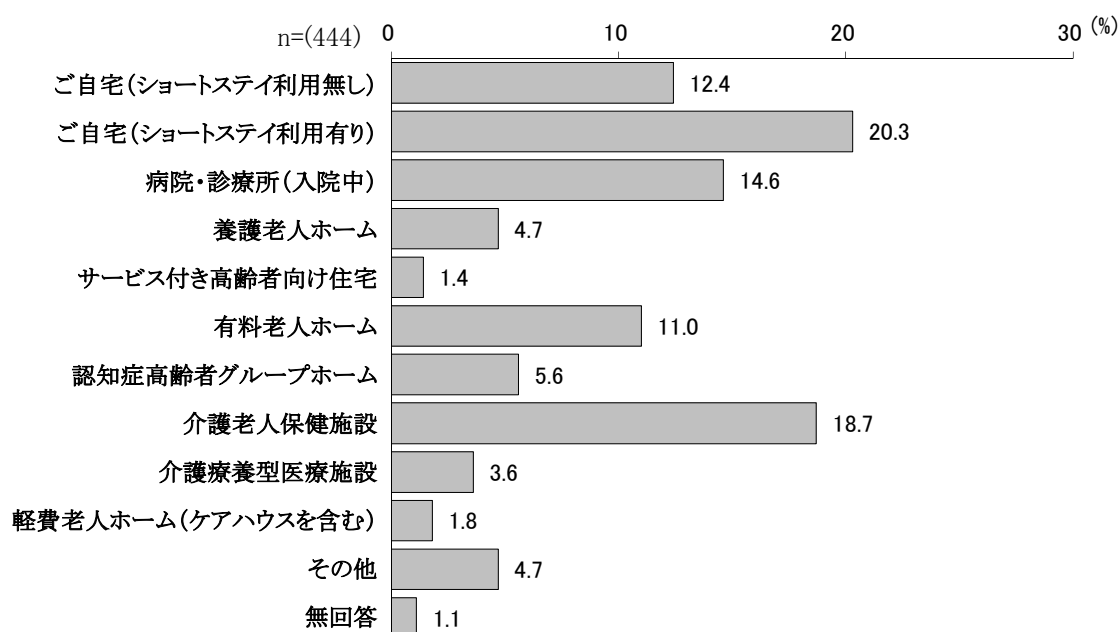


## (6) 居住先

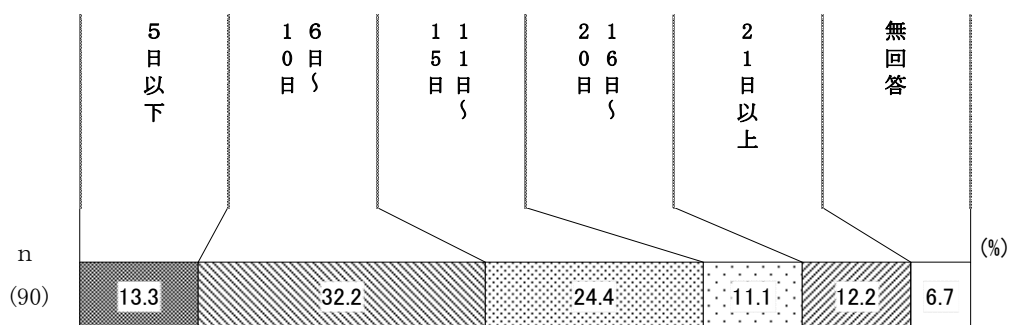
問6 あなたは、現在、どちらにお住まいですか。(〇はひとつ)

居住先は「ご自宅（ショートステイ利用有り）」が20.3%で最も多く、以下「介護老人保健施設」（18.7%）、「病院・診療所（入院中）」（14.6%）、「ご自宅（ショートステイ利用無し）」（12.4%）の順となっています。なお、「ご自宅（ショートステイ利用有り）」回答者の、ひと月あたりのショートステイ利用回数は、「6日～10日」が32.2%、「11日～15日」が24.4%と多くなっています。（図表1-6、7）

図表1-6 居住先



図表1-7 ショートステイのひと月あたりの利用日数

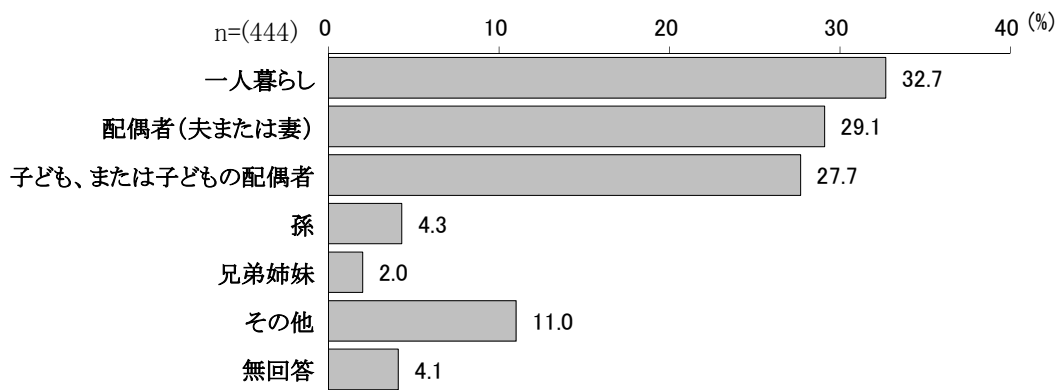


## (7) 同居形態

問7 あなたは、どなたと一緒に住まいですか。あなたからみた関係でお答えください。  
(あてはまるものすべてに○)

同居形態としては「一人暮らし」が32.7%と最も多く、以下「配偶者（夫または妻）」(29.1%)、「子ども、または子どもの配偶者」(27.7%)の順となっています。(図表1-8)

図表1-8 同居形態

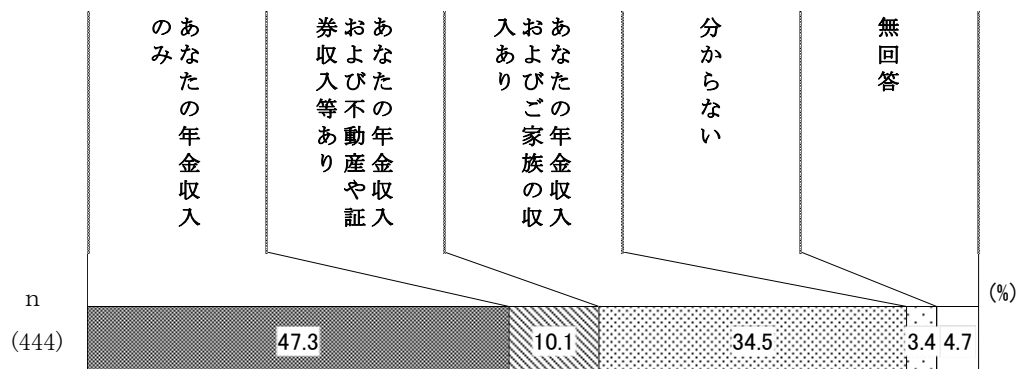


## (8) 世帯年収

問8 昨年1年間の、あなたとご家族の年間収入はどれにあてはまりますか。(○はひとつ)

世帯年収では「あなたの年金収入のみ」が47.3%、「あなたの年金収入およびご家族の収入あり」が34.5%となっています。(図表1-9)

図表1-9 世帯年収



## 2. 入所に関わる意識・状態について

### (1) 入所希望時期

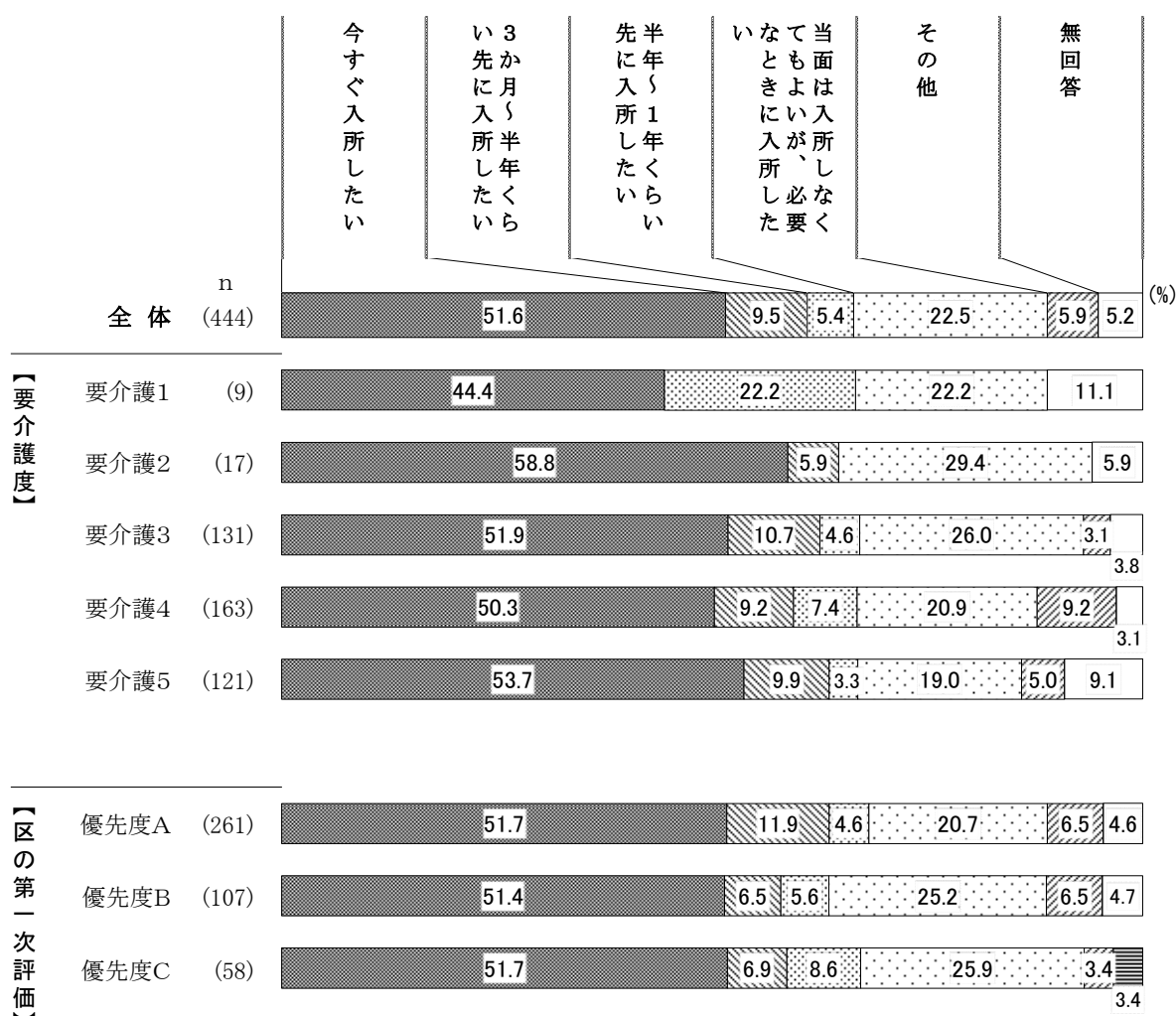
問9 あなたが、特別養護老人ホームに入所したい時期はいつ頃ですか。(○はひとつ)

入所希望時期では「今すぐ入所したい」が51.6%です。一方で、「当面は入所しなくてもよいが、必要な時に入所したい」が22.5%あります。

要介護度別でみると、“要介護3から5”では「今すぐ入所したい」が5割を超えています。また“要介護3”では「当面は入所しなくてもよいが、必要なときに入所したい」は26.0%に対して“要介護5”では19.0%となり、介護度が高くなるにつれて少なくなっています。

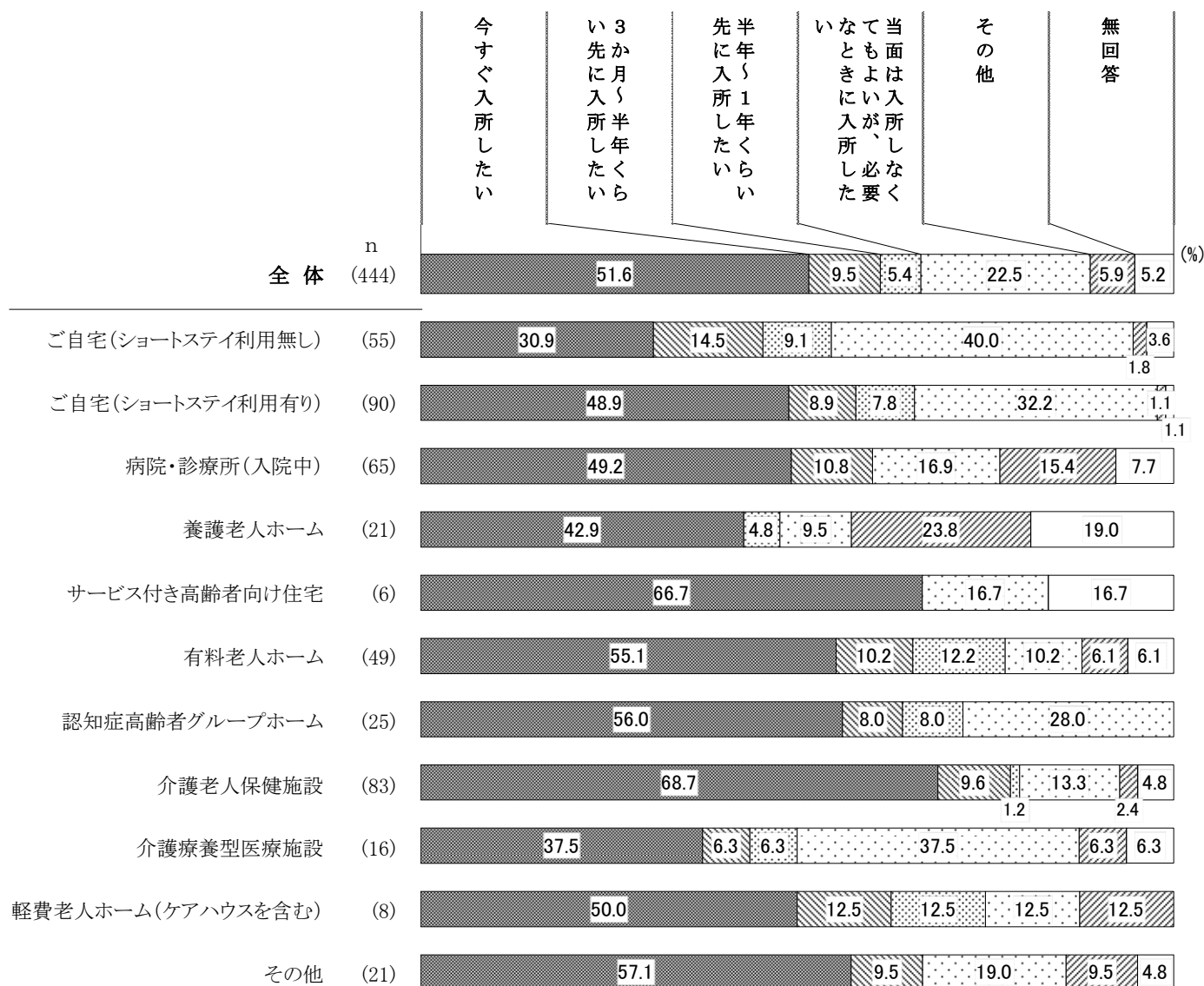
区の第一次評価別でみると、どの優先度でも「今すぐ入所したい」が5割を超えています。一方で、「当面は入所しなくてもよいが、必要なときに入所したい」も、どの優先度でも2割台を示しています。(図表2-1)

図表2-1 入所希望時期／要介護度別、区の第一次評価別



居住先別でみると、“介護老人保健施設”で「今すぐ入所したい」が68.7%となっています。また、「当面は入所しなくてもよいが、必要なときに入所したい」では、“自宅のショートステイ利用無し”で4割、“自宅のショートステイ利用有り”で3割台と多くなっています。（図表2－2）

図表2－2 入所希望時期／居住先別



## 第5章 特別養護老人ホーム入所希望者実態調査結果

入所希望時期別で同居形態をみると、“今すぐ入所したい”という層で「一人暮らし」が39.3%と多くなっています。(図表2-3)

図表2-3 同居形態／入所希望時期別

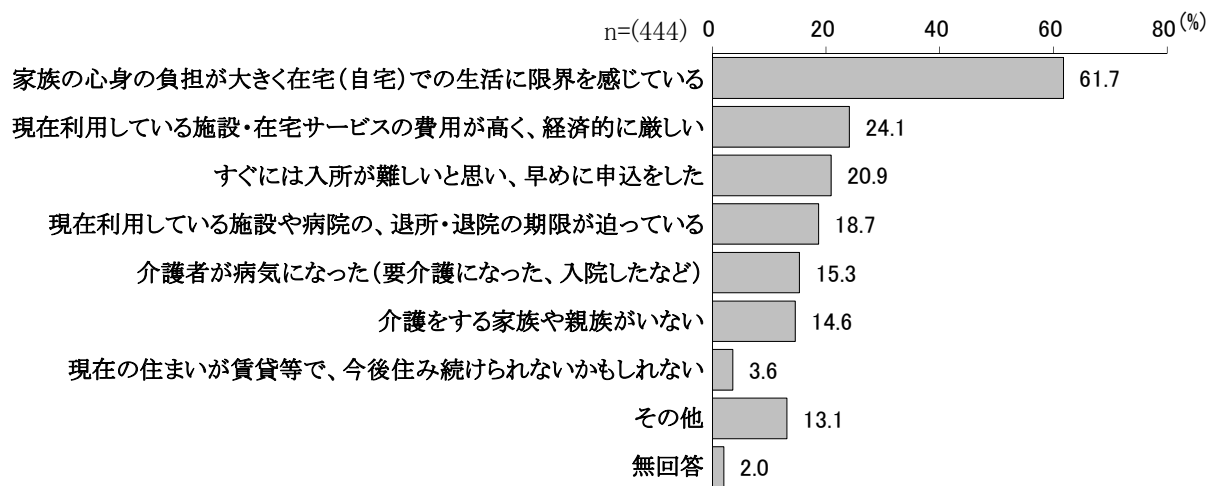
	n	上段:人数、下段:%						
		一人暮らし	配偶者 (夫または妻)	子ども、 または子 どもの配 偶者	孫	兄弟姉 妹	その他	無回答
全 体	444 100.0	145 32.7	129 29.1	123 27.7	19 4.3	9 2.0	49 11.0	18 4.1
今すぐ入所したい	229 100.0	90 39.3	63 27.5	61 26.6	8 3.5	5 2.2	21 9.2	9 3.9
3か月～半年くらい先に入所したい	42 100.0	12 28.6	13 31.0	14 33.3	2 4.8	2 4.8	1 2.4	- -
半年～1年くらい先に入所したい	24 100.0	8 33.3	5 20.8	9 37.5	- -	- -	3 12.5	2 8.3
当面は入所しなくてもよいが、 必要なときに入所したい	100 100.0	24 24.0	32 32.0	28 28.0	9 9.0	1 1.0	18 18.0	3 3.0
その他	26 100.0	7 26.9	6 23.1	8 30.8	- -	- -	5 19.2	- -

## (2) 入所申込をした理由

問10 あなたが、特別養護老人ホームに入所の申込をした理由は何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

入所申込をした理由としては「家族の心身の負担が大きく在宅（自宅）での生活に限界を感じている」が61.7%と多くなっており、以下「現在利用している施設・在宅サービスの費用が高く、経済的に厳しい」(24.1%)、「すぐには入所が難しいと思い、早めに申込をした」(20.9%)、「現在利用している施設や病院の、退所・退院の期限が迫っている」(18.7%)の順となっています。  
(図表2-4)

図表2-4 入所申込をした理由



区の第一次評価別でみると、「優先度A」では「家族の心身の負担が大きく在宅（自宅）での生活に限界を感じている今すぐ入所したい」が69.7%と多くなっています。また、「現在利用している施設・在宅サービスの費用が高く、経済的に厳しい」と「すぐには入所が難しいと思い、早めに申込をした」は、優先度が高いほど少なくなっていることがわかります。(図表2-5)

図表2-5 入所申込をした理由／区の第一次評価別

		上段:人数、下段:%								
	n	家族の心身の負担が大きく在宅(自宅)での生活に限界を感じている	現在利用している施設・在宅サービスの費用が高く、経済的に厳しい	すぐには入所が難しいと思い、早めに申込をした	現在利用している施設や病院の、退所・退院の期限が迫っている	介護者が病気になった(要介護になった、入院したなど)	介護をする家族や親族がいない	現在の住まいが賃貸等で、今後住み続けられないかもしれない	その他	無回答
全 体	444 100.0	274 61.7	107 24.1	93 20.9	83 18.7	68 15.3	65 14.6	16 3.6	58 13.1	9 2.0
優先度A	261 100.0	182 69.7	53 20.3	50 19.2	50 19.2	43 16.5	35 13.4	7 2.7	36 13.8	3 1.1
優先度B	107 100.0	54 50.5	32 29.9	23 21.5	20 18.7	19 17.8	19 17.8	4 3.7	16 15.0	1 0.9
優先度C	58 100.0	28 48.3	20 34.5	17 29.3	8 13.8	4 6.9	10 17.2	4 6.9	4 6.9	2 3.4

## 第5章 特別養護老人ホーム入所希望者実態調査結果

入所希望時期別でみると、どの項目でも「家族の心身の負担が大きく在宅（自宅）での生活に限界を感じている」が多くなっており、特に“3か月～半年くらい先”で73.8%と多くなっています。また、“今すぐ入所したい”では「現在利用している施設・在宅サービスの費用が高く、経済的に厳しい」（35.8%）が、“必要なときに入所したい”では「すぐには入所が難しいと思い、早めに申込をした」（44.0%）が多くなっています。（図表2－6）

図表2－6 入所申込をした理由／入所希望時期別

上段:人数、下段:%										
	n	家族の心身の負担が大きく在宅(自宅)での生活に限界を感じている	現在利用している施設・在宅サービスの費用が高く、経済的に厳しい	すぐには入所が難しいと思い、早めに申込をした	現在利用している施設や病院の、退所・退院の期限が迫っている	介護者が病気に なった(要介護になった、入院したなど)	介護をする家族や親族がいない	現在の住まいが賃貸等で、今後住み続けられないかもしれない	その他	無回答
全 体	444 100.0	274 61.7	107 24.1	93 20.9	83 18.7	68 15.3	65 14.6	16 3.6	58 13.1	9 2.0
今すぐ入所したい	229 100.0	145 63.3	82 35.8	26 11.4	56 24.5	38 16.6	45 19.7	10 4.4	33 14.4	2 0.9
3か月～半年くらい先に入所したい	42 100.0	31 73.8	8 19.0	6 14.3	7 16.7	2 4.8	4 9.5	3 7.1	3 7.1	1 2.4
半年～1年くらい先に入所したい	24 100.0	12 50.0	5 20.8	12 50.0	3 12.5	5 20.8	3 12.5	－	5 20.8	－
当面は入所しなくてもよいが、必要なときに入所したい	100 100.0	59 59.0	7 7.0	44 44.0	6 6.0	14 14.0	8 8.0	1 1.0	12 12.0	4 4.0
その他	26 100.0	16 61.5	2 7.7	2 7.7	5 19.2	7 26.9	2 7.7	2 7.7	5 19.2	－

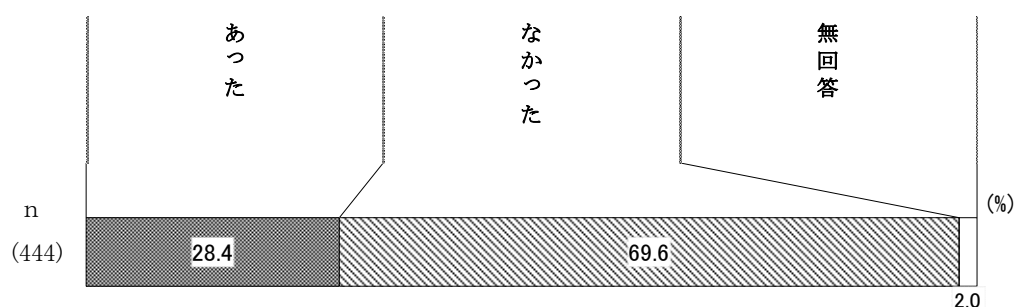


## (3) 入所可能連絡の有無

問11 あなたは、特別養護老人ホームから入所できるという連絡を受けたことがありましたか。(〇はひとつ)

入所可能連絡が「あった」(辞退したが、再申込みをした)は28.4%、「なかった」は69.6%となっています。(図表2-7)

図表2-7 入所可能連絡の有無



入所希望時期別でみると、「今すぐ入所したい」において、入所可能連絡が「あった」(辞退したが、再申込みをした)は19.7% (45人) ありました。(図表2-8)

図表2-8 入所可能連絡の有無／入所希望時期別

	n	上段: 人数、下段: %		
		あった	なかった	無回答
全 体	444 100.0	126 28.4	309 69.6	9 2.0
今すぐ入所したい	229 100.0	45 19.7	181 79.0	3 1.3
3か月～半年くらい先に入所したい	42 100.0	12 28.6	29 69.0	1 2.4
半年～1年くらい先に入所したい	24 100.0	6 25.0	18 75.0	-
当面は入所しなくてもよいが、 必要なときに入所したい	100 100.0	37 37.0	59 59.0	4 4.0
その他	26 100.0	13 50.0	13 50.0	-

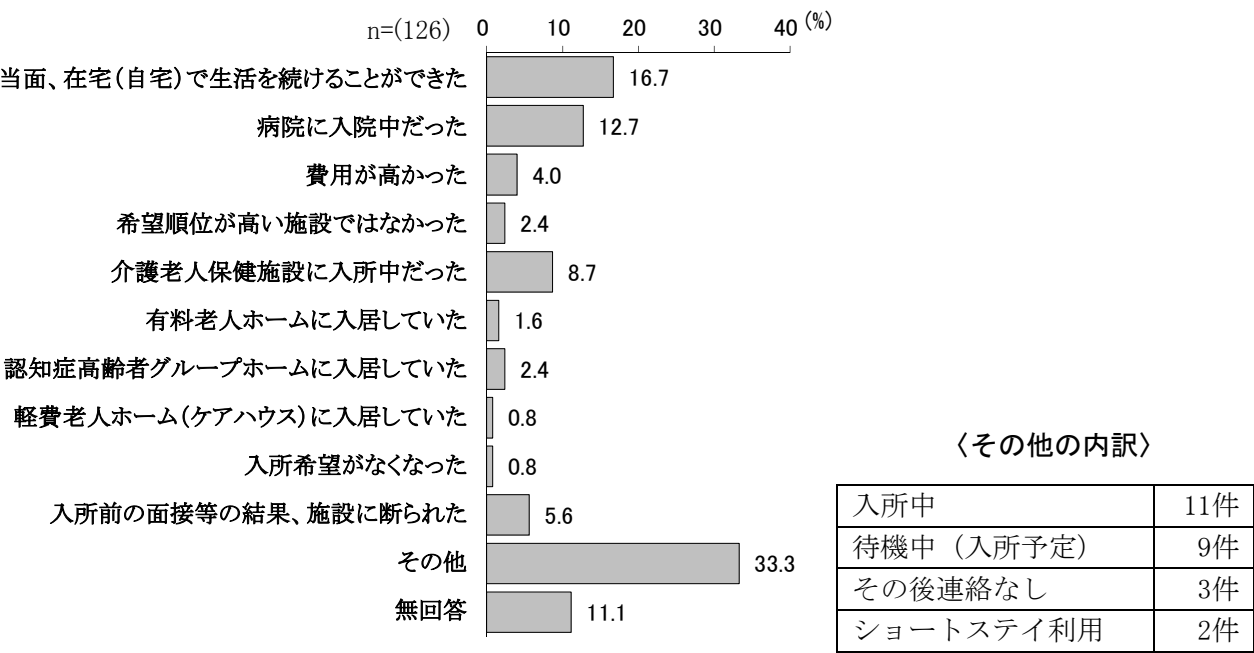
(4) 入所できなかった理由

【問11で「1 あった」を選んだ方にお伺いします。】

問11-1 あった場合、一番最近で入所ができなかった理由は何ですか。(○はひとつ)

入所できなかった理由としては「当面、在宅（自宅）で生活が続けることができた」が16.7%、「病院に入院中だった」が12.7%、「介護老人保健施設に入所中だった」が8.7%などとなっています。(図表 2－9)

図表 2－9 入所できなかった理由



区の第一次評価別については、“優先度 B・C”の人数が少ないため、参考とします。(図表 2－10)

図表 2－10 入所できなかった理由／区の第一次評価別

上段:人数、下段:%													
	n	当面、在宅(自宅)で生活が続けることができた	病院に入院中だった	費用が高かった	希望順位が高い施設ではなかった	介護老人保健施設に入所中だった	有料老人ホームに入居していた	認知症高齢者グループホームに入居していた	軽費老人ホーム(ケアハウス)に入居していた	入所希望がなくなった	入所前の面接等の結果、施設に断られた	その他	無回答
全 体	126 100.0	21 16.7	16 12.7	5 4.0	3 2.4	11 8.7	2 1.6	3 2.4	1 0.8	1 0.8	7 5.6	42 33.3	14 11.1
優先度A	80 100.0	15 18.8	12 15.0	2 2.5	1 1.3	5 6.3	1 1.3	1 1.3	- -	1 1.3	6 7.5	26 32.5	10 12.5
優先度B	29 100.0	4 13.8	3 10.3	2 6.9	1 3.4	1 3.4	- -	2 6.9	- -	- -	- -	13 44.8	3 10.3
優先度C	10 100.0	- -	- -	1 10.0	- -	4 40.0	- -	- -	1 10.0	- -	1 10.0	2 20.0	1 10.0

(5) 希望する施設形態

問12 区内の特別養護老人ホームには、4人部屋中心の多床室の施設と、ユニット型個室の施設があります。あなたは、入所申込の際にどちらを希望されましたか。(○はひとつ)

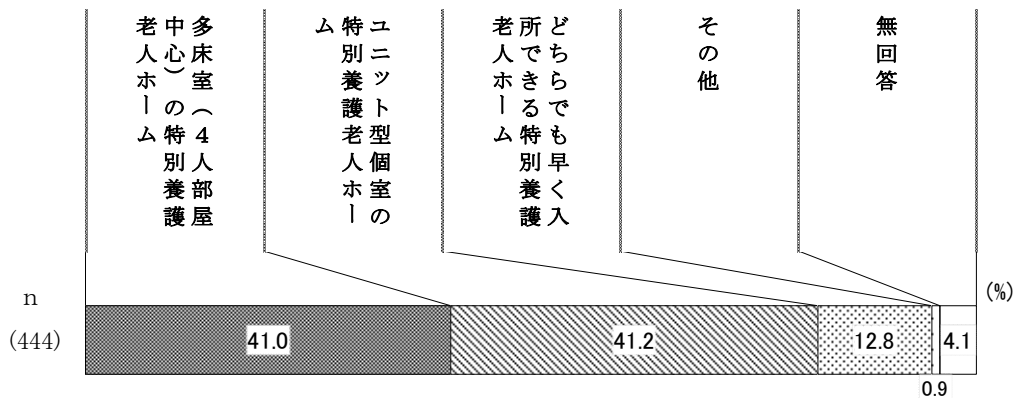
【参考】1割負担・要介護5の場合の料金目安(月額)

多床室…………… 約83,000円～110,000円

ユニット型個室… 約126,000円～183,000円

希望する施設形態としては「ユニット型個室の特別養護老人ホーム」が41.2%、「多床室(4人部屋中心)の特別養護老人ホーム」が41.0%と二分しています。なお、「どちらでも早く入所できる特別養護老人ホーム」は12.8%となっています。(図表2-11)

図表2-11 希望する施設形態



第5章 特別養護老人ホーム入所希望者実態調査結果

希望する施設形態別で入所申込をした理由をみると、どの項目でも「家族の心身の負担が大きく在宅（自宅）での生活に限界を感じている」が多くなっています。“多床室（4人部屋中心）”（65.9%）と“ユニット型個室”（61.7%）は6割台となっています。一方、“どちらでも早く入所できる特別養護老人ホーム”では「現在利用している施設・在宅サービスの費用が高く、経済的に厳しい」（33.3%）と「現在利用している施設や病院の、退所・退院の期限が迫っている」（29.8%）が、他層よりやや多くなっています。（図表2－12）

図表2－12 入所申込をした理由／希望する施設形態別

		上段:人数、下段:%								
	n	家族の心身の負担が大きく在宅(自宅)での生活に限界を感じている	現在利用している施設・在宅サービスの費用が高く、経済的に厳しい	すぐには入所が難しいと思い、早めに申込をした	現在利用している施設や病院の、退所・退院の期限が迫っている	介護者が病気になった(要介護になった、入院したなど)	介護をする家族や親族がいない	現在の住まいが賃貸等で、今後住み続けられないかもしれない	その他	無回答
全 体	444 100.0	274 61.7	107 24.1	93 20.9	83 18.7	68 15.3	65 14.6	16 3.6	58 13.1	9 2.0
多床室(4人部屋中心)の特別養護老人ホーム	182 100.0	120 65.9	29 15.9	46 25.3	35 19.2	33 18.1	31 17.0	9 4.9	20 11.0	4 2.2
ユニット型個室の特別養護老人ホーム	183 100.0	113 61.7	53 29.0	35 19.1	26 14.2	27 14.8	23 12.6	4 2.2	26 14.2	2 1.1
どちらでも早く入所できる特別養護老人ホーム	57 100.0	29 50.9	19 33.3	4 7.0	17 29.8	7 12.3	10 17.5	2 3.5	8 14.0	-
その他	4 100.0	2 50.0	-	3 75.0	1 25.0	-	-	1 25.0	1 25.0	-

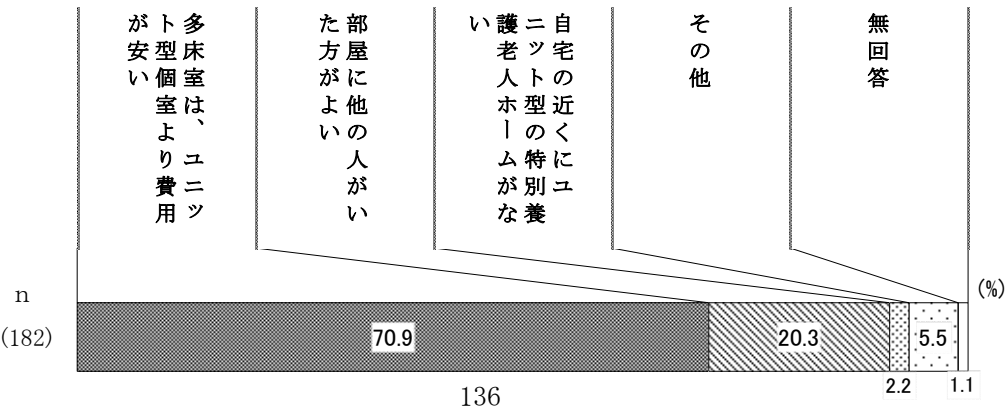
(6) 多床室を選んだ理由

【問12で「1 多床室（4人部屋中心）の特別養護老人ホーム」を選んだ方にお伺いします。】

問12-1 多床室を選んだ最も近い理由は何ですか。（○はひとつ）

多床室を選んだ理由としては「多床室は、ユニット型個室より費用が安い」が70.9%と多くなっています。「部屋に他の人がいた方がよい」は20.3%となっています。（図表2－13）

図表2－13 多床室を選んだ理由



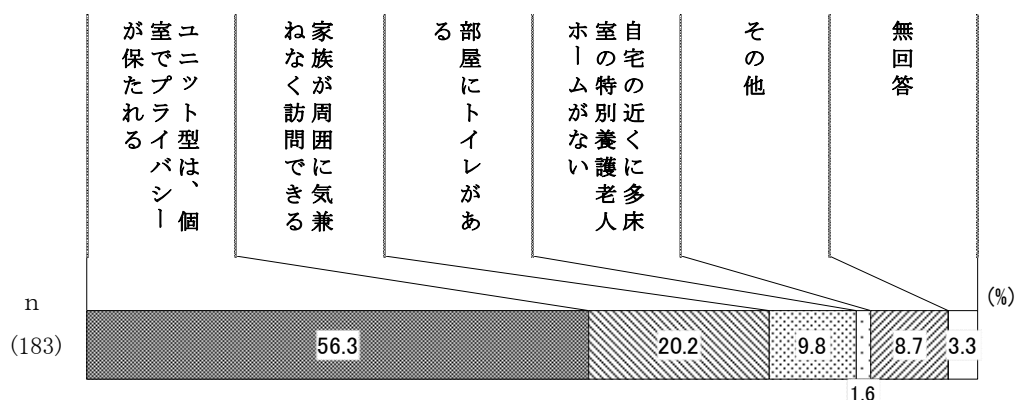
## (7) ユニット型個室を選んだ理由

【問12で「2 ユニット型個室の特別養護老人ホーム」を選んだ方にお伺いします。】

問12-2 ユニット型個室を選んだ最も近い理由は何ですか。(○はひとつ)

ユニット型個室を選んだ理由としては「ユニット型は、個室でプライバシーが保たれる」が56.3%、「家族が周囲に気兼ねなく訪問できる」が20.2%、「部屋にトイレがある」が9.8%となっています。(図表2-14)

図表2-14 ユニット型個室を選んだ理由

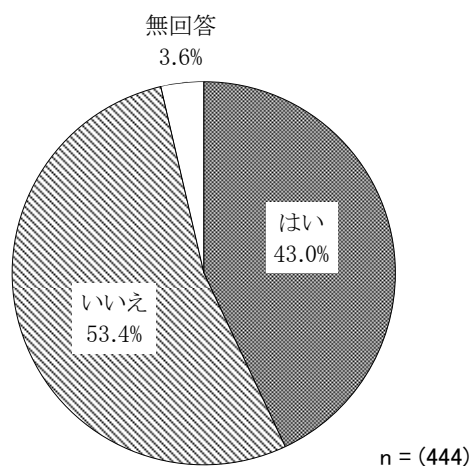


## (8) 医療的処置の有無

問13 あなたは、現在、医療的な処置を受けていますか。(○はひとつ)

医療的処置の有無としては「はい」が43.0%、「いいえ」が53.4%となっています。(図表2-15)

図表2-15 医療的処置の有無



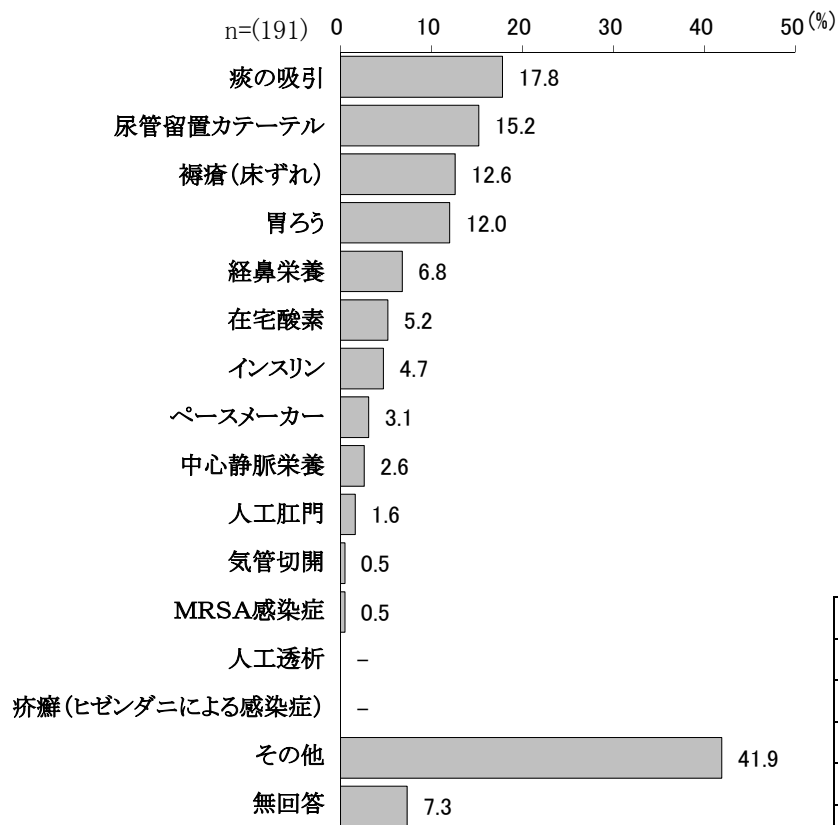
(9) 具体的な医療処置

【問13で「1 はい」を選んだ方にお伺いします。】

問13-1 次の中から受けている医療をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

具体的な医療処置としては「痰の吸引」が17.8%で最も多く、以下「尿管留置カテーテル」(15.2%)、「褥瘡(床ずれ)」(12.6%)、「胃ろう」(12.0%)が1割以上で続いています。また、「その他」(41.9%)の内容としては、“循環器系”“認知症”などが挙げられています。(図表2-16)

図表2-16 具体的な医療処置



〈その他の内訳〉

循環器系	15件
認知症	11件
投薬	7件
癌	6件
骨関節疾患	6件
パーキンソン病	5件
検査、往診、通院	5件
脳疾患	4件
糖尿病	4件
難病	3件
口腔疾患	3件
肺疾患	3件
点滴	2件
感染症	2件
眼疾患	2件
皮膚疾患	2件

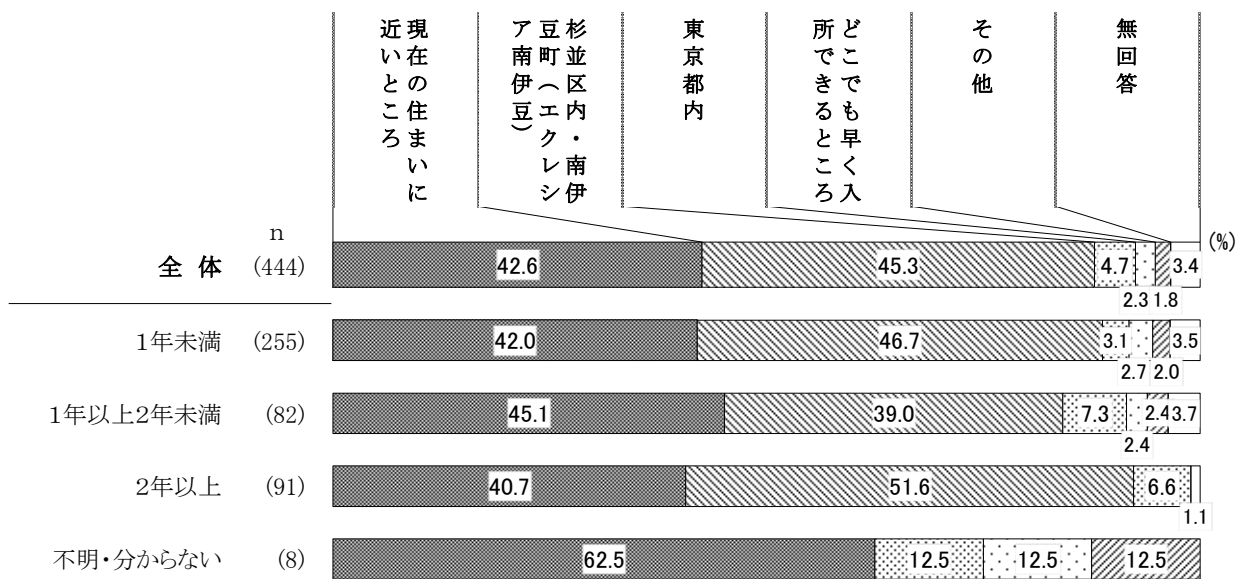
## (10) 希望する入所場所

問14 あなたは、どこの場所にある特別養護老人ホームを希望しますか。(〇はひとつ)

希望する入所場所としては「杉並区内・南伊豆町（エクレシア南伊豆）」が45.3%、「現在の住まいに近いところ」が42.6%と多くなっています。

入所申込をしてからの期間別でみると、“2年以上”で「杉並区内・南伊豆町（エクレシア南伊豆）」が51.6%と多くなっています。(図表2-17)

図表2-17 希望する入所場所／入所申込をしてからの期間別

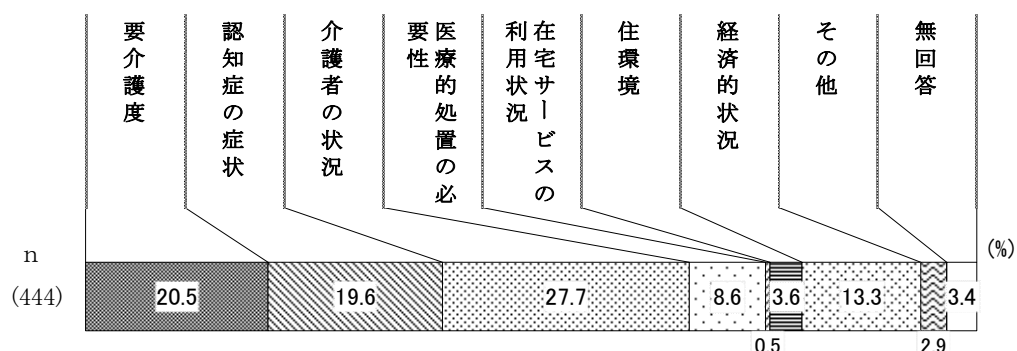


## (11) 入所判断を行う上で重視してほしい点

問15 あなたが、特別養護老人ホームへの入所の必要性を判断する上で、最も重視してほしい点はどのようなことですか。(〇はひとつ)

入所判断を行う上で重視してほしい点としては「介護者の状況」が27.7%で最も多く、「要介護度」(20.5%)、「認知症の症状」(19.6%)、「経済的状況」(13.3%)までが1割を超えています。(図表2-18)

図表2-18 入所判断を行う上で重視してほしい点



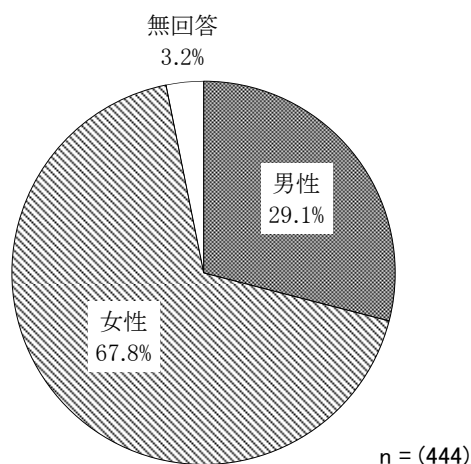
### 3. 主な介護者について

#### (1) 主な介護者の性別

問16 あなたの性別をお答えください。(〇はひとつ)

主な介護者の性別は「女性」が67.8%、「男性」が29.1%となっています。(図表3-1)

図表3-1 主な介護者の性別

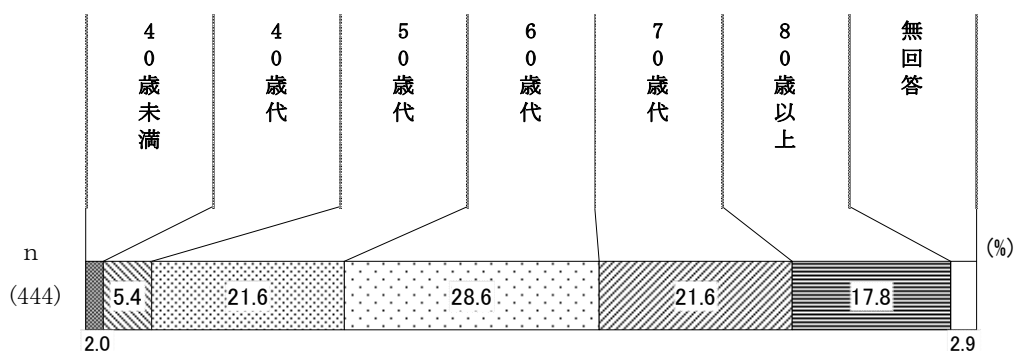


#### (2) 主な介護者の年齢

問17 あなたの年齢をお答えください。(〇はひとつ)

主な介護者の年齢は「60歳代」が28.6%、「50歳代」「70歳代」が、ともに21.6%となっています。(図表3-2)

図表3-2 主な介護者の年齢



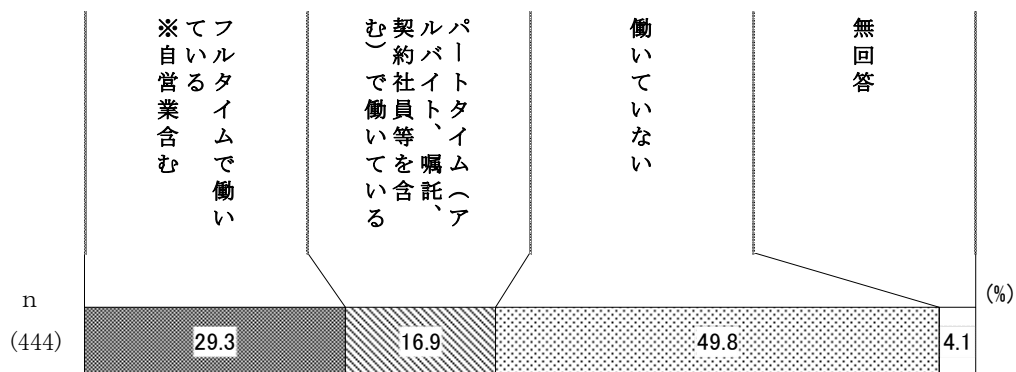


## (3) 主な介護者の就労状況

問18 あなたは、現在、働いていますか。(○はひとつ)

主な介護者の就労状況は「フルタイムで働いている ※自営業含む」が29.3%、「パートタイム（アルバイト、嘱託、契約社員等を含む）で働いている」が16.9%となっています。一方、「働いていない」が49.8%となっています。（図表3-3）

図表3-3 主な介護者の就労状況



主な介護者の就労状況別で同居形態をみると、“フルタイムで働いている”、“パートタイムで働いている”では「一人暮らし」（ご本人と介護者は別居）が、それぞれ44.6%、40.0%と多くなっています。また、“働いていない”では「配偶者（夫または妻）」が43.0%と多くなっています。（図表3-4）

図表3-4 同居形態／主な介護者の就労状況別

		上段：人数、下段：%						
	n	一人暮らし	配偶者 (夫または妻)	子ども、 または子 どもの配 偶者	孫	兄弟姉 妹	その他	無回答
全 体	444 100.0	145 32.7	129 29.1	123 27.7	19 4.3	9 2.0	49 11.0	18 4.1
フルタイムで働いている ※自営業含む	130 100.0	58 44.6	21 16.2	39 30.0	1 0.8	3 2.3	12 9.2	3 2.3
パートタイム（アルバイト、嘱託、契約社員等を含む） で働いている	75 100.0	30 40.0	11 14.7	25 33.3	4 5.3	-	7 9.3	5 6.7
働いていない	221 100.0	47 21.3	95 43.0	56 25.3	14 6.3	6 2.7	27 12.2	10 4.5

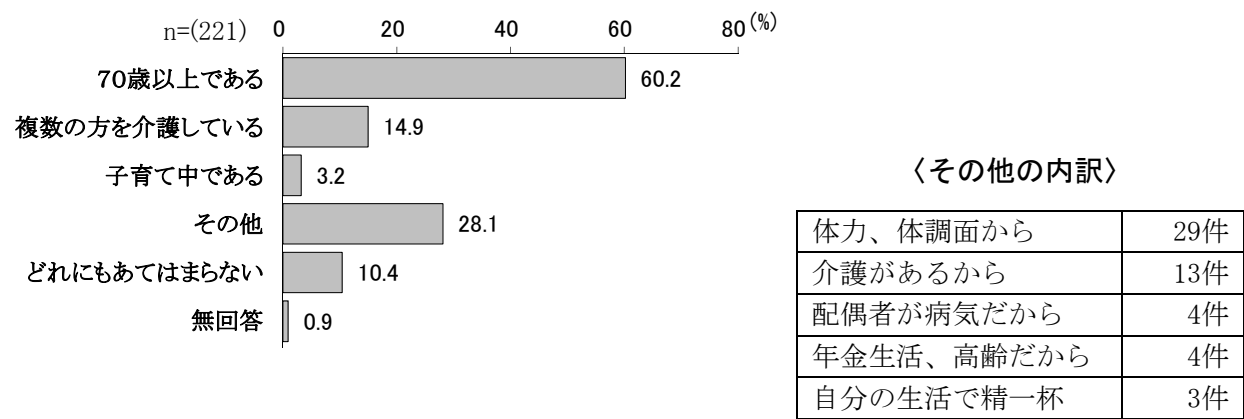
(4) 働いていない理由

【問18で「3 働いていない」を選んだ方にお伺いします。】

問18-1 次の中から、あなたにあてはまるものをお答えください。  
(あてはまるものすべてに○)

働いていない理由としては「70歳以上である」が60.2%で最も高くなっています。なお、「複数の方を介護している」という、いわゆる、ダブルケア等と考える人が14.9%となっています。また、「その他」(28.1%)の内容としては、「体力、体調面から」が多く挙げられています。(図表 3-5)

図表 3-5 働いていない理由



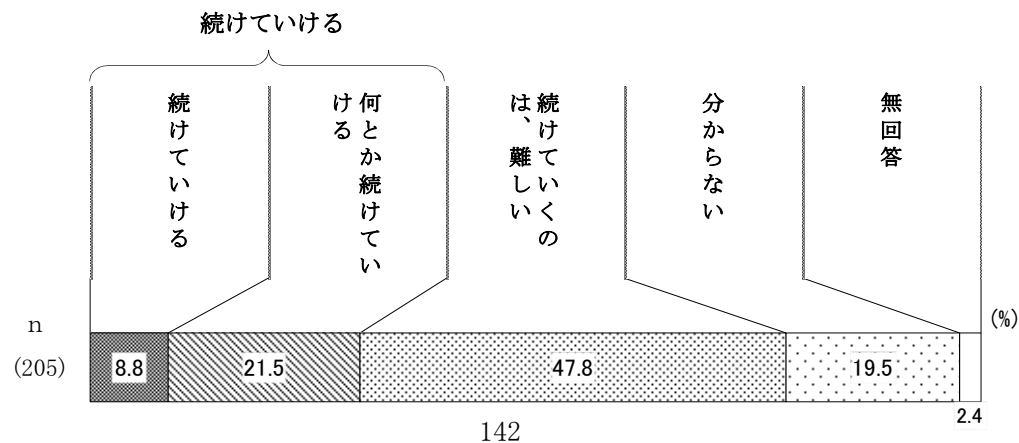
(5) 就労と介護の両立

【問18で「1」と「2」を選んだ方にお伺いします。】

問18-2 今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(○はひとつ)

就労と介護の両立としては、「続けていくのは、難しい」の47.8%に対して、「続けていける」(8.8%)と「何とか続けていける」(21.5%)を合わせた『続けていける』が30.3%となっています。(図表 3-6)

図表 3-6 就労と介護の両立



## **第6章 居宅介護支援事業所実態調査結果**

---



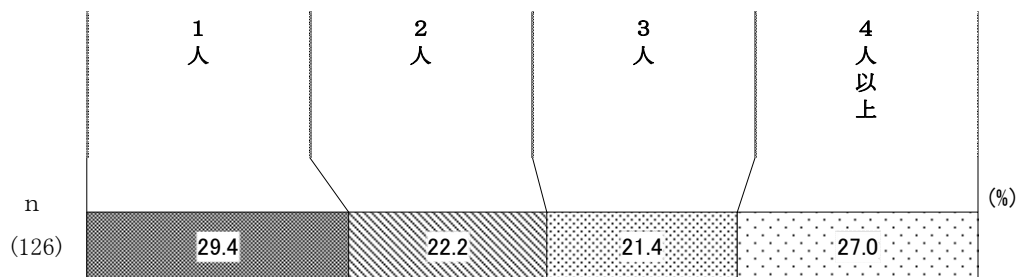
## 1. 事業所に関するデータ

### (1) 介護支援専門員の人数

問1 所属している介護支援専門員の人数を教えてください。(回答は1つ)  
※非常勤の方も含め、令和元年10月1日現在で記入してください。

所属している介護支援専門員は「1人」29.4%、「2人」22.2%、「3人」21.4%、「4人以上」27.0%となっており、「1人」「4人以上」がやや多い結果となっています。(図表1-1)

図表1-1 介護支援専門員の人数

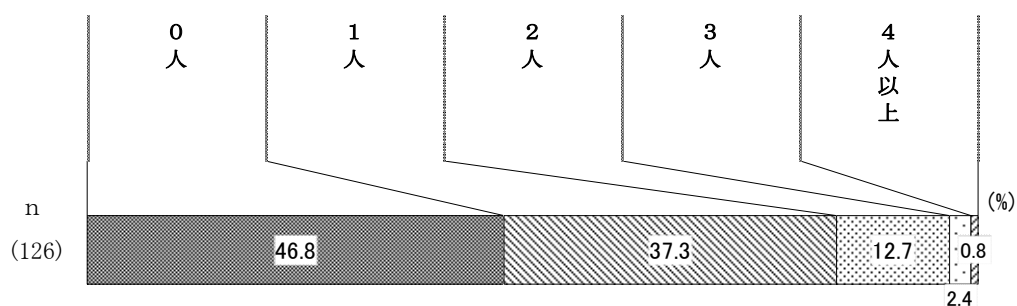


### (2) 主任介護支援専門員の人数

問1-1 問1でご回答いただいた人数のうち、主任介護支援専門員の人数を教えてください。

所属している介護支援専門員のうち、主任介護支援専門員は「0人」が46.8%、「1人」が37.3%などとなっています。半数近くの事業所がまだ主任介護支援専門員を配置していない状況となっています。(図表1-2)

図表1-2 主任介護支援専門員の人数



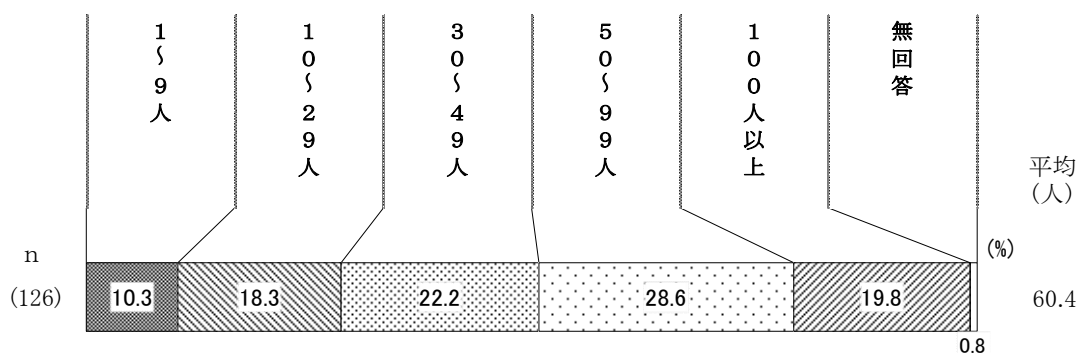
## 2. 利用者に関するデータ

### (1) 利用人数

問2 貴事業所全体のご利用者様の人数（保険者が杉並区の方のみ）を教えてください。  
（要支援の方の人数は含みません）

事業所全体での保険者の利用人数は、令和元年9月分給付実績者として「50～99人」が28.6%、「30～49人」が22.2%などとなっており、平均で60.4人となっています。（図表2－1）

図表2－1 令和元年9月分給付実績者の人数

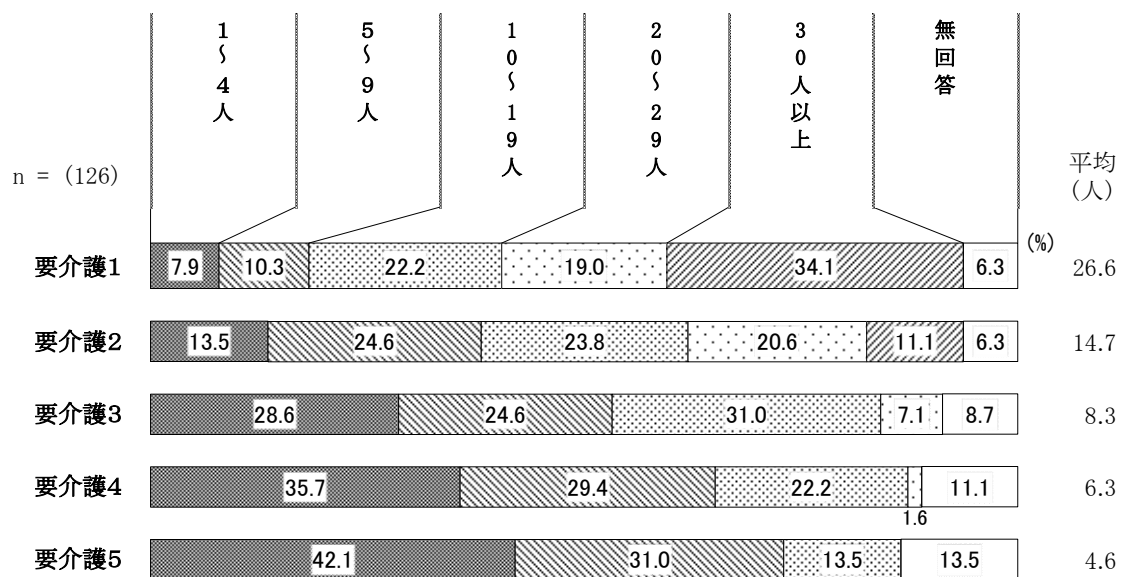


## (2) 介護度別の利用者人数

問2-1 問2で「令和元年9月分給付実績者の人数」で回答いただいた人数のうち、介護度別の人数を教えてください。(令和元年9月給付実績者)

令和元年9月分給付実績者数で1事業者あたりの介護度別の内訳は、“要介護1”では「30人以上」が34.1%となっていますが、要介護度が上がるにつれ、利用者人数が減り“要介護5”では「1～4人」が42.1%となっています。(図表2-2)

図表2-2 介護度別の利用者人数

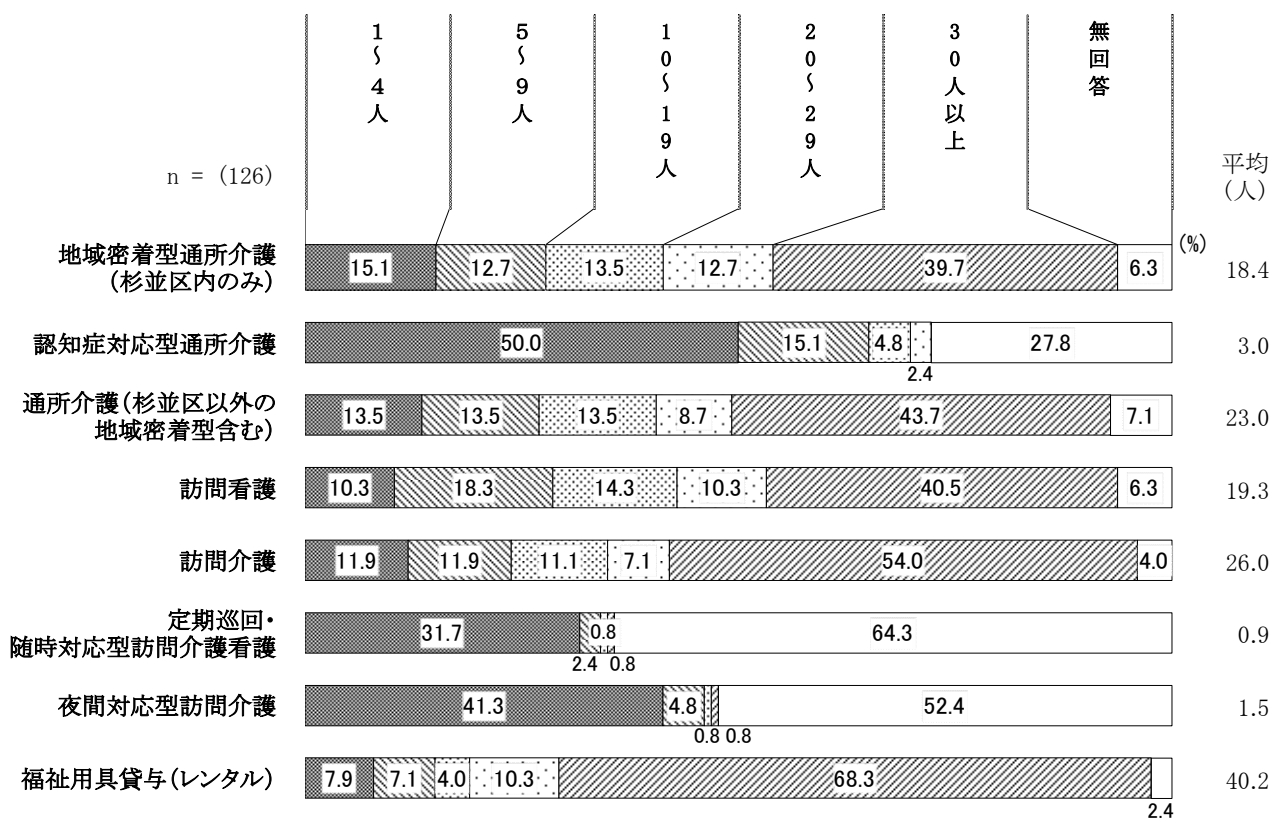


## (3) 利用している介護保険サービスの種類

問2-2 現在、ご利用者が利用されている介護保険サービスの種類を教えてください。  
 (複数のサービスを利用されている方については利用しているサービスすべてが対象となります) (令和元年9月給付実績分)

利用されているサービス種別で最も多いのが“福祉用具貸与(レンタル)”(68.3%)、次いで“訪問介護”(54.0%)、“通所介護(杉並区以外の地域密着型含む)”(43.7%)の順となっています。(図表2-3)

図表2-3 利用している介護保険サービスの種類





### 3. 地域密着型サービスに関するデータ

#### (1) 地域密着型サービスを勧めた経験

介護保険サービスの中で、地域密着型サービスに係る事について教えてください。

問3 平成30年度以降（過去1年程度）に下記の枠内（ア～カ）の地域密着型サービスを勧めた事がありますか。

※事業所において、どちらにも該当する場合は、両方に○をつけてください。

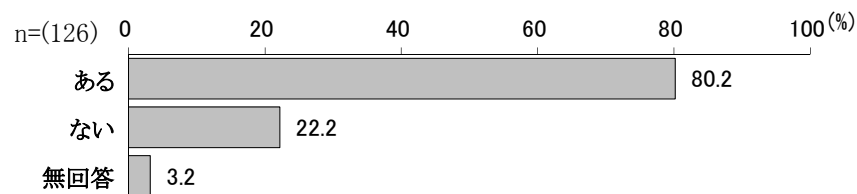
ア 定期巡回・随時対応型訪問介護看護  
イ 夜間対応型訪問介護  
ウ 認知症対応型通所介護

エ 小規模多機能型居宅介護  
オ 看護小規模多機能型居宅介護  
カ 認知症対応型共同生活介護

平成30年度以降（過去1年程度）で地域密着型サービスを勧めた経験の有無をきいたところ、「ある」が80.2%、「ない」が22.2%となっています。（図表3-1）

また、「ない」と回答した理由としては、どのサービスも「ご利用者の状況から必要なプランでない」が多くなっています。

図表3-1 地域密着型サービスを勧めた経験



## (2) サービスに繋がった人数と繋がらなかった理由

問3-1 「1 ある」と回答した方はサービスに繋がった人数と、繋がらなかった人数およびその理由を教えてください。

サービスに繋がった地域密着型サービスで最も多いのが「認知症対応型通所介護」で71事業所、続いて「夜間対応型訪問介護」52事業所、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」44事業所となっています。(図表3-2)

図表3-2 サービスに繋がった事業所数とサービスに繋がった人数

	n	1人	2人	3人	4人	5～9人	10人以上 (事業所)
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	44	18	9	6	3	6	2
夜間対応型 訪問介護	52	30	11	9	1	1	-
認知症対応型 通所介護	71	33	15	10	2	9	2
小規模多機能型 居宅介護	28	17	6	2	2	1	-
看護小規模多機能型 居宅介護	8	7	1	-	-	-	-
認知症対応型 共同生活介護	34	15	13	3	-	3	-

サービスに繋がらなかった理由としては、「本人・家族が断った」が多くなっていますが、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「看護小規模多機能型居宅介護」では、「定員に空きがなく断られた」も多くなっています。(図表3-3)

図表3-3 サービスに繋がらなかった理由(延べ人数)

	n	定員に空 きがなく 断られた	サービス 内容と本 人のニーズが合っ ていなか った	本人・家 族が断っ た	必要がな くなった (死亡・ 入院等)
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	33	8	11	22	10
夜間対応型 訪問介護	26	3	9	22	3
認知症対応型 通所介護	28	1	12	26	-
小規模多機能型 居宅介護	29	1	15	22	1
看護小規模多機能型 居宅介護	20	4	7	12	2
認知症対応型 共同生活介護	24	1	4	21	5

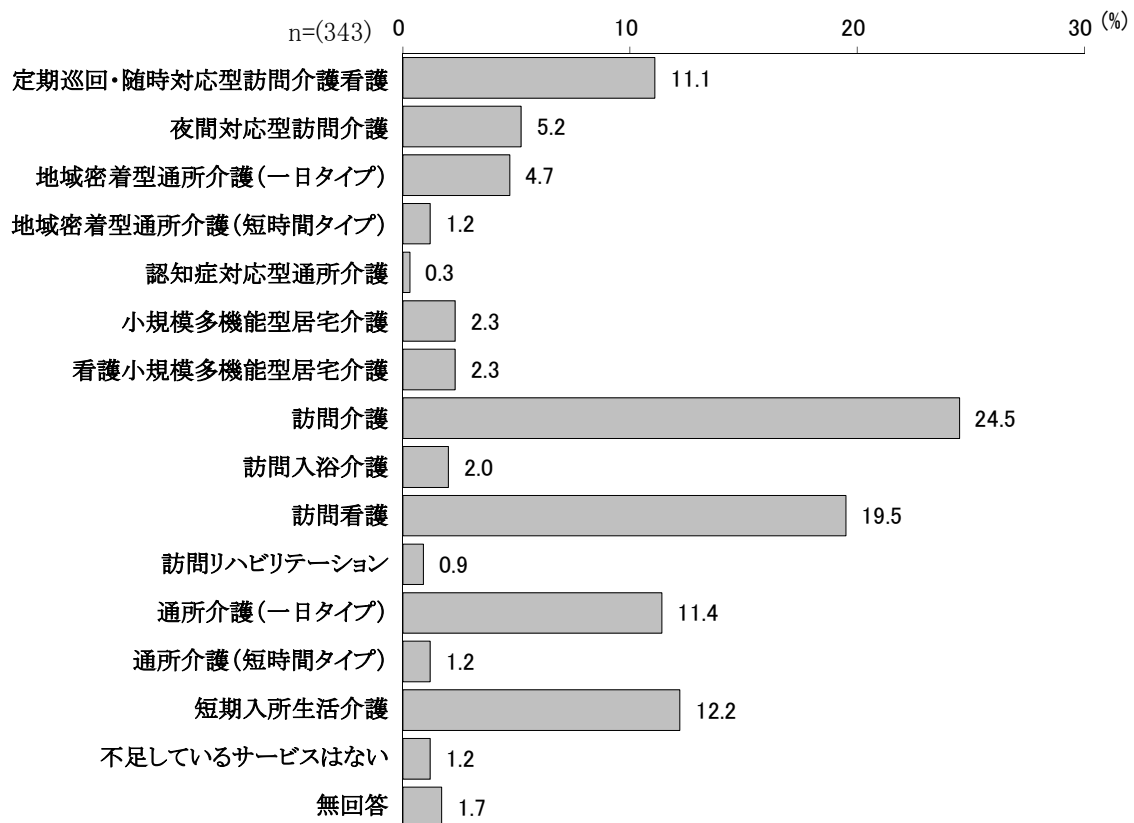
## 4. 在宅生活に関するデータ

### (1) 在宅生活を続けていくうえで必要だと思うサービス

問4 在宅生活（病院・施設等に入院・入所しない）を続けていくうえで、必要と思われるサービス（事業所）を教えてください。（複数回答可 3つまで）

在宅生活を続けていくうえで必要だと思うサービスとしては、「訪問介護」が24.5%で最も多く、以下「訪問看護」（19.5%）、「短期入所生活介護」（12.2%）、「通所介護（一日タイプ）」（11.4%）、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」（11.1%）の順となっています。（図表4-1）

図表4-1 在宅生活を続けていくうえで必要だと思うサービス



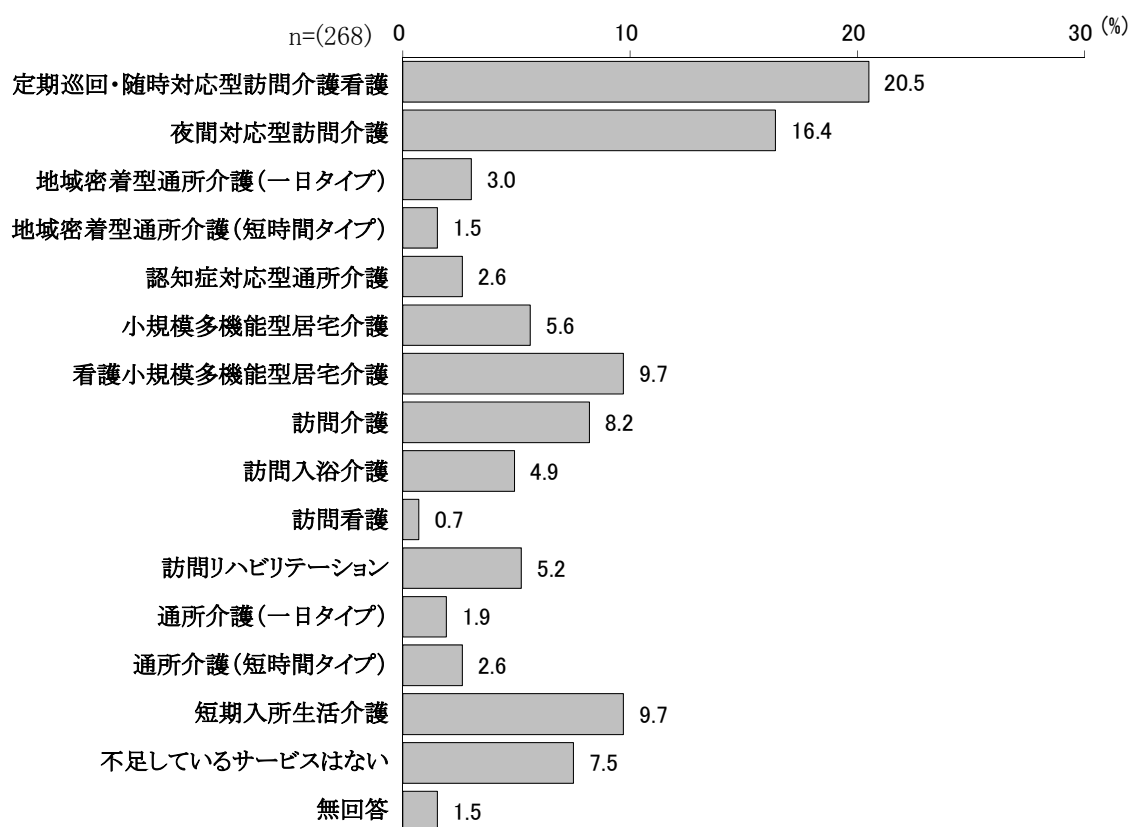
(2) 在宅生活を続けていくうえで、区内全域で不足していると思うサービス

問5 在宅生活（病院・施設等に入院・入所しない）を続けていくうえで、区内全域で不足していると思われるサービス（事業所）を教えてください。（複数回答可 3つまで）

在宅生活を続けていくうえで不足していると思うサービスを、区内全域と利用者のサービス利用範囲内との両面からききました。

区内全域では、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が20.5%で最も多く、以下「夜間対応型訪問介護」（16.4%）、「看護小規模多機能型居宅介護」「短期入所生活介護」（ともに9.7%）の順となっています。（図表4-2）

図表4-2 在宅生活を続けていくうえで不足していると思うサービス（区内全域）

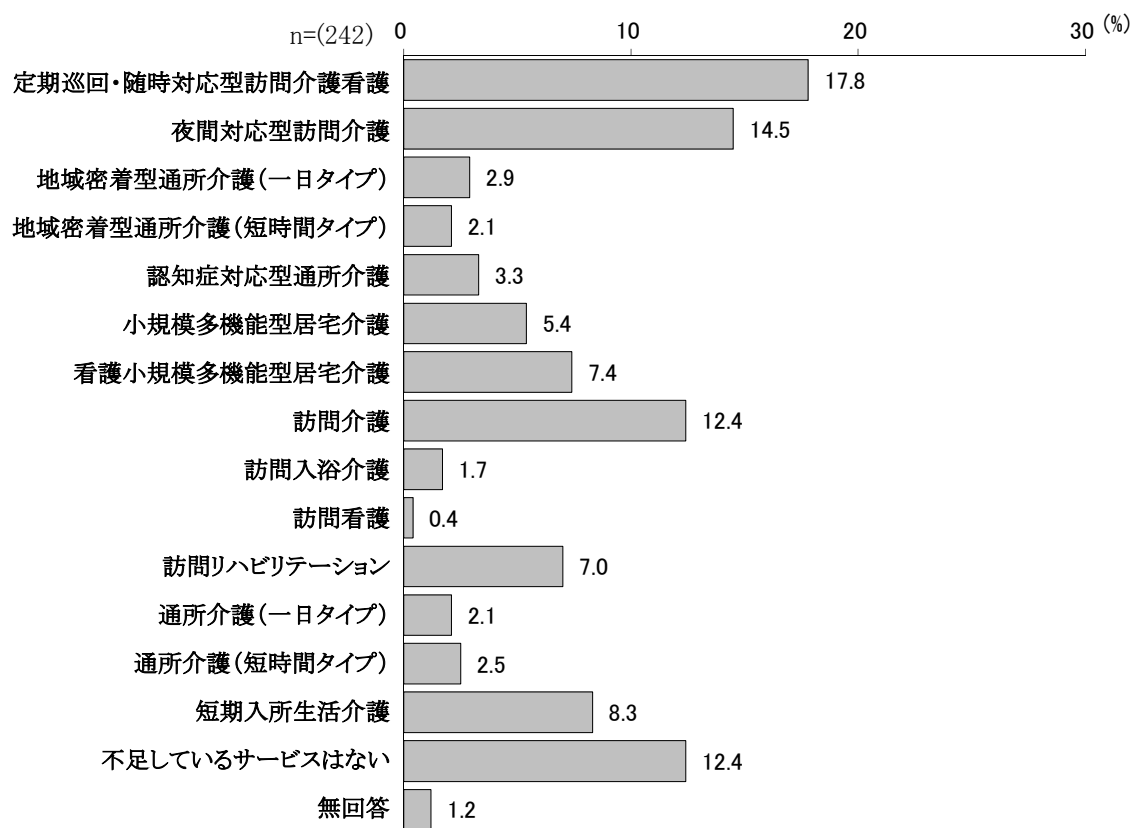


## (3) 在宅生活を続けていくうえで、サービス利用範囲内で不足していると思うサービス

問6 在宅生活（病院・施設等に入院・入所しない）を続けていくうえで、特に、ご利用者様のサービス利用範囲内で不足していると思われるサービス（事業所）を教えてください。  
（複数回答可 3つまで）

サービス利用範囲内では、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が17.8%で最も多く、以下「夜間対応型訪問介護」（14.5%）、「訪問介護」（12.4%）の順となっています。（図表4-3）

図表4-3 在宅生活を続けていくうえで不足していると思うサービス



## 第6章 居宅介護支援事業所実態調査結果

区内全域では、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」、日常生活圏域別では、井草、荻窪地域で「訪問介護」、高円寺地域で「短期入所生活介護」が不足しているとの回答が多くなっています。  
(図表4-4)

図表4-4 在宅生活を続けていくうえで不足していると思うサービス／日常生活圏域別

上段:区内全域、中段:利用者のサービス利用範囲内(%)、下段:エリア別施設数(所)(令和元年10月1日現在)

	n	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	地域密着型通所介護(一日タイプ)	地域密着型通所介護(短時間タイプ)	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護
全 体	268 242	20.5 17.8	16.4 14.5	3.0 2.9	1.5 2.1	2.6 3.3	5.6 5.4	9.7 7.4
井 草	28 22	17.9 13.6	14.3 13.6	- -	3.6 9.1	3.6 9.1	3.6 4.5	7.1 -
		1	0	8		3	2	1
西 荻	38 31	31.6 19.4	15.8 16.1	7.9 6.5	- -	5.3 3.2	5.3 9.7	13.2 12.9
		1	0	16		3	0	0
荻 窪	38 34	15.8 14.7	15.8 11.8	- -	- -	5.3 2.9	2.6 5.9	10.5 -
		1	1	15		2	2	1
阿 佐 谷	48 43	25.0 18.6	18.8 16.3	4.2 4.7	- -	- -	6.3 2.3	8.3 9.3
		1	1	17		5	0	0
高 円 寺	34 30	14.7 13.3	23.5 13.3	2.9 3.3	2.9 -	- -	8.8 10.0	8.8 13.3
		1	0	14		2	0	0
高 井 戸	42 46	21.4 23.9	16.7 17.4	4.8 4.3	2.4 4.3	4.8 4.3	4.8 2.2	4.8 4.3
		1	1	14		2	3	1
方 南・和 泉	40 36	15.0 16.7	10.0 11.1	- -	2.5 2.8	- 5.6	7.5 5.6	15.0 11.1
		1	0	11		1	1	0

※地域密着型通所介護と通所介護の施設数は、一日タイプと短時間タイプの合計です。

	n	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所介護(一日タイプ)	通所介護(短時間タイプ)	短期入所生活介護	不足しているサービスはない	無回答
全 体	268 242	8.2 12.4	4.9 1.7	0.7 0.4	5.2 7.0	1.9 2.1	2.6 2.5	9.7 8.3	7.5 12.4	1.5 1.2
井 草	28 22	14.3 22.7	7.1 -	- -	7.1 9.1	3.6 -	- -	14.3 13.6	3.6 4.5	- -
		15	1	4	1	9		2		
西 荻	38 31	5.3 9.7	- -	- -	- -	2.6 3.2	- -	2.6 -	10.5 19.4	- -
		13	0	4	2	7		3		
荻 窪	38 34	10.5 20.6	10.5 5.9	- -	5.3 11.8	- -	2.6 2.9	13.2 8.8	7.9 14.7	2.6 2.9
		24	1	9	0	11		5		
阿 佐 谷	48 43	6.3 11.6	4.2 2.3	- -	4.2 4.7	- -	2.1 2.3	12.5 9.3	8.3 18.6	2.1 2.3
		28	0	7	2	4		1		
高 円 寺	34 30	2.9 -	5.9 3.3	- -	- -	2.9 3.3	5.9 3.3	11.8 23.3	8.8 13.3	2.9 3.3
		24	2	9	1	10		5		
高 井 戸	42 46	9.5 8.7	2.4 -	- -	11.9 15.2	2.4 4.3	2.4 2.2	4.8 2.2	7.1 6.5	2.4 -
		22	0	8	0	9		5		
方 南・和 泉	40 36	10.0 16.7	5.0 -	5.0 2.8	7.5 5.6	2.5 2.8	5.0 5.6	10.0 5.6	5.0 8.3	- -
		19	1	3	1	10		4		

## 5. 介護保険サービスに関するデータ

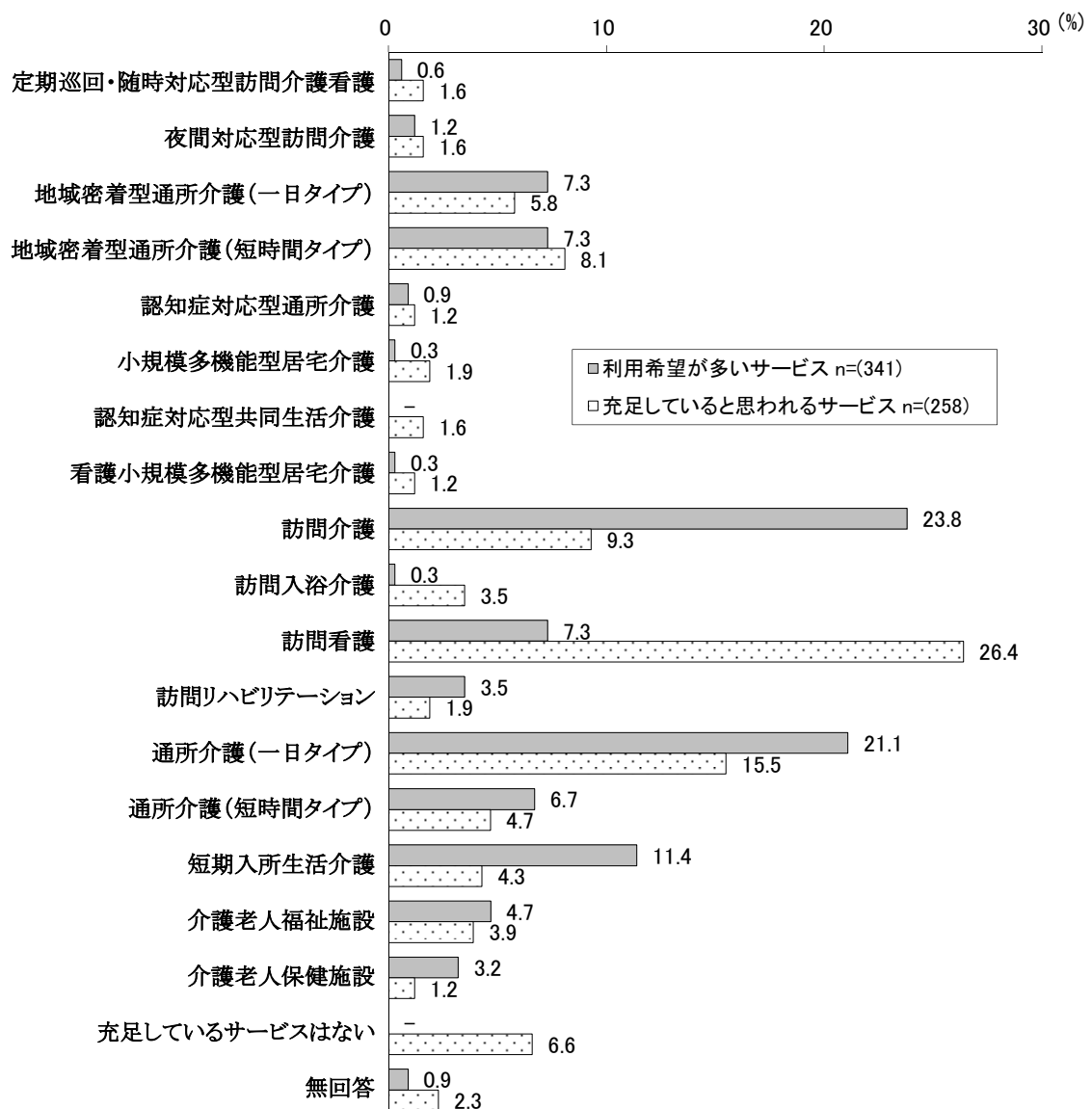
### (1) 相談や利用希望が多いサービスと充足しているサービス

問7 区民から相談されたり、利用希望が多いサービス（事業所数）を教えてください。  
（複数回答可 3つまで）

問8 区内全域の介護サービスにおいて充足していると思われるサービス（事業所）を教えてください。（複数回答可 3つまで）

相談や利用希望が多いサービスでは、「訪問介護」が23.8%で最も多く、以下「通所介護（一日タイプ）」（21.1%）、「短期入所生活介護」（11.4%）の順となっています。また、充足していると思うサービスでは、「訪問看護」が26.4%で最も多く、「通所介護（一日タイプ）」（15.5%）が次いでいます。（図表5-1）

図表5-1 利用希望が多いサービスと充足していると思われるサービス



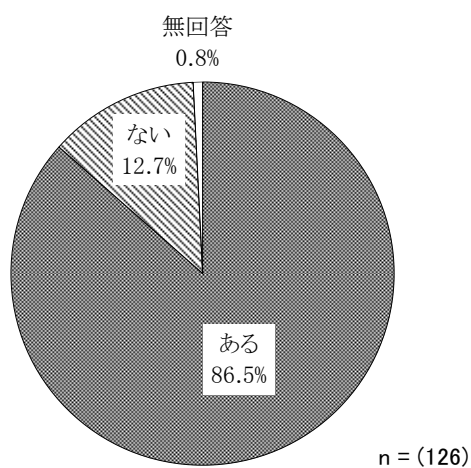
## 6. 特別養護老人ホームに関するデータ

### (1) 特別養護老人ホームの入所を勧めたことの有無

問9 平成30年度以降（過去1年程度）に特別養護老人ホーム（以下、「特養」と略）の入所を勧めたことがありますか。（回答は1つ）

特別養護老人ホームの入所を勧めたことの有無については、「ある」が86.5%、「ない」が12.7%となっています。（図表6-1）

図表6-1 特別養護老人ホームの入所を勧めたことの有無



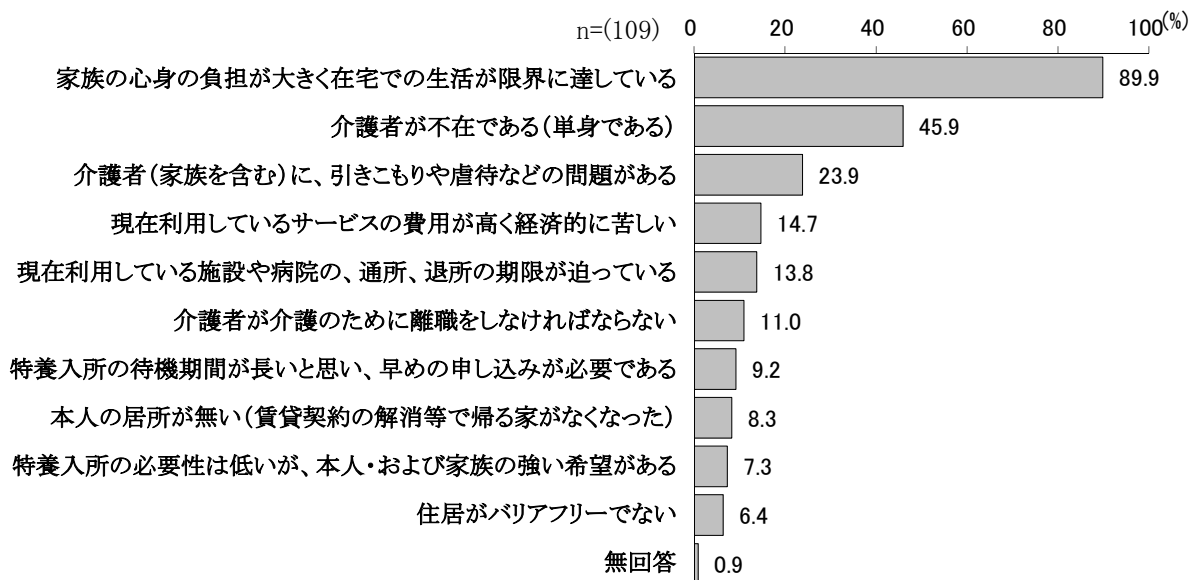


## (2) 特養を勧めた理由

問9-1 問9で「1 ある」と回答した方に、特養を勧めた理由を教えてください。  
(複数回答可 3つまで)

特養を勧めた理由としては「家族の心身の負担が大きく在宅での生活が限界に達している」が89.9%と最も多く、以下「介護者が不在である(単身である)」(45.9%)、「介護者(家族を含む)に、引きこもりや虐待などの問題がある」(23.9%)の順となっています。一方で、「特養入所の待機期間が長いと思い、早めの申し込みが必要である」が(9.2%)、「特養入所の必要性は低い、本人・および家族の強い希望がある」(7.3%)がありました。(図表6-2)

図表6-2 特養を勧めた理由





## 資料 調査票

---



杉並区高齢者に関する実態調査

●介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

令和元年 11 月

【調査ご協力をお願い】

日頃から杉並区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
このたび、杉並区では、「杉並区高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画（令和二年度策定予定）」の基礎資料とすることを目的として、高齢者の方の生活実態と意向を把握する調査を実施することといたしました。

この調査は令和元年11月11日現在、杉並区にお住まいの65歳以上の方（約5,000人）を対象に、お願いするものです。

調査票にはお名前をご記入いただく必要はありません。ご回答いただいた内容は、効果的な介護予防政策の立案と事業評価等のみに使用いたします。また、個人情報保護については適切に管理し、個人が特定される形での公表や、他の目的での使用はいたしません。ただし、介護保険事業計画策定時および評価時に、本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベースに情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

ご回答いただいた調査票は、**12月13日（金）まで**に同封の返信用封筒（切手は不要です）にてご返送ください。

【調査実施主体】 杉並区 高齢者施策課 管理係

調査委託先  
問合せ先

（株）サーベイリサーチセンター

高齢者に関する実態調査事務局

電話：0120-965-812

受付時間：月曜日～金曜日（平日）9:00～17:00

【調査票の記入にあたってのお願い】

- 1 ボールペンまたは鉛筆でご記入ください。
- 2 封筒のあて名ご本人についてお答えください。ご家族等がご本人と一緒に、またはご本人の代わりにご記入いただいてもかまいません。
- 3 質問文に記載のある「○はひとつ」「あてはまるものすべてに○」などの説明にしたがって、番号に○をつけてご回答ください。また、「その他」にあてはまる場合は、（ ）内になるべく具体的に内容をご記入ください。
- 4 問 20 の設問は、ご本人ではなく、主に介護をしている方（ヘルパーやケアマネジャーを除く）がご記入ください。

調査票の記入者とご本人についておたずねします。

問 1 調査票を記入される方は、どなたですか。封筒のあて名のご本人から  
みた関係でご回答ください。2人以上で記入される場合は主に記入され  
る方をご記入ください。(○はひとつ)

1	あて名のご本人	3	子	5	兄弟姉妹
2	配偶者	4	子の配偶者	6	その他 ( )

※ 以下、質問中の「あなた」は封筒のあて名の方になります。

問 2 あなた（封筒のあて名ご本人）の性別を教えてください。(○はひとつ)

1	男性	2	女性
---	----	---	----

問 3 あなたの年齢を教えてください。(○はひとつ)

1	65～69歳	3	75～79歳	5	85～89歳	7	95歳以上
2	70～74歳	4	80～84歳	6	90～94歳		

問 4 あなたのご家族や生活状況についてお伺いします。

(1) 家族構成を教えてください。(○はひとつ)

1	1人暮らし	4	息子・娘との2世帯
2	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	5	その他 ( )
3	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)		

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。  
(○はひとつ)

1	介護・介助は必要ない
2	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3	現在、何らかの介護・介助を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

→【3 現在、何らかの介護・介助を受けている」を選んだ方にお伺いします。】  
(2)-1 主にどなたの介護・介助を受けていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1	配偶者(夫・妻)	4	子の配偶者	7	介護サービスへのヘルパー
2	息子	5	孫	8	その他
3	娘	6	兄弟・姉妹	(	)

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。  
(○はひとつ)

1	大変苦しい	3	ふつう	5	大変ゆとりがある
2	やや苦しい	4	ややゆとりがある		

(4) 昨年1年間の世帯(同居するご家族すべてを含む)の収入はどのくら  
いでしたか。(○はひとつ)

1	100万円未満	4	400～600万円未満	7	1,000万円以上
2	100～200万円未満	5	600～800万円未満	8	収入なし
3	200～400万円未満	6	800～1,000万円未満	9	わからない

(5) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○はひとつ)

1	持家(一戸建て)	5	民間賃貸住宅(集合住宅)
2	持家(集合住宅)	6	借家(社宅、官舎など)
3	公営賃貸住宅	7	その他
4	民間賃貸住宅(一戸建て)	(	)

問 5 からだを動かすことについてお伺いします。  
次の（１）～（７）の全ての項目について、あてはまるものにそれぞれ１つずつ○をつけてください。

	いずれかに必ず○をつける
（１）階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない
（２）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない
（３）15分位続けて歩いていますか。	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない
（４）過去１年間に転んだ経験がありますか。	1 何度もある 2 1度ある 3 ない
（５）転倒に対する不安は大きいですか。	1 とても不安である 2 やや不安である 3 あまり不安でない 4 不安でない
（６）週に１回以上は外出していますか。	1 ほとんど外出しない 2 週１回 3 週２～４回 4 週５回以上
（７）昨年と比べて外出の回数が減っていますか。	1 とても減っている 2 減っている 3 あまり減っていない 4 減っていない

（８）外出を控えていますか。（○はひとつ）

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

→【「１ はい」を選んだ方にお伺いします。】

（８）-１ 外出を控えている理由は、次のどれですか。（あてはまるものすべてに○）

1	病気	6	目の障害
2	障害（脳卒中の後遺症など）	7	外での楽しみがない
3	足腰などの痛み	8	経済的に出られない
4	トイレの心配（失禁など）	9	交通手段がない
5	耳の障害（聞こえの問題など）	10	その他（                      ）

（９）外出する際の移動手段は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1	徒歩	8	病院や施設のバス
2	自転車	9	車いす
3	バイク	10	電動車いす（カート）
4	自動車（自分で運転）	11	歩行器・シルバーカー
5	自動車（人に乗せてもらう）	12	タクシー
6	電車	13	その他（                      ）
7	路線バス		

問 6 食べることにについてお伺いします。

（１）身長・体重をご記入ください。（整数でお答えください）

身長	<input type="text"/>	<input type="text"/>	c m	体重	<input type="text"/>	<input type="text"/>	k g
----	----------------------	----------------------	-----	----	----------------------	----------------------	-----

（２）半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。（○はひとつ）

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

（３）歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）（○はひとつ）

1	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
2	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
4	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

（４）どなたかと食事をもににする機会はありますか。（○はひとつ）

1	毎日ある	3	月に何度かある	5	ほとんどない
2	週に何度かある	4	年に何度かある		

問7 毎日の生活についてお伺いします。  
次の(1)～(8)の全ての項目について、あてはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

いずれかに必ず○をつける	
(1) 物忘れが多いと感じますか。	1 はい 2 いいえ
(2) 今日が何月何日かわからない時がありますか。	1 はい 2 いいえ
(3) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない
(4) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない
(5) 自分で食事の用意をしていますか。	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない
(6) 自分で請求書の支払いをしていますか。	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない
(7) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない
(8) 年金などの書類(役所や病院など)に出す書類)が書けますか。	1 はい 2 いいえ

(9) 趣味はありますか。(○はひとつ)

1 趣味あり	→ ( )
2 思いつかない	

(10) 生きがいがありますか。(○はひとつ)

1 生きがいあり	→ ( )
2 思いつかない	

問8 地域での活動についてお伺いします。  
(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。  
※ア～ク、それぞれに1つずつ回答してください。

	週 4 回 以上	週 2 3 回	週 1 回	月 1 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い
ア ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
イ スポーツ関係のグループ	1	2	3	4	5	6
ウ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
エ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
オ 介護予防のための活動 (通いの場)	1	2	3	4	5	6
カ いきいきクラブ	1	2	3	4	5	6
キ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
ク 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○はひとつ)

1 是非参加したい	3 参加したくない
2 参加してもよい	4 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。  
(○はひとつ)

1 是非参加したい	3 参加したくない
2 参加してもよい	4 既に参加している



問9 たすけあいについてお伺いします。(あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします。)

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人を教えてください。  
(あてはまるものすべてに○)

1 配偶者	5 近隣
2 同居の子ども	6 友人
3 別居の子ども	7 その他( )
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	8 そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人を教えてください。  
(あてはまるものすべてに○)

1 配偶者	5 近隣
2 同居の子ども	6 友人
3 別居の子ども	7 その他( )
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	8 そのような人はいない

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1 配偶者	5 近隣
2 同居の子ども	6 友人
3 別居の子ども	7 その他( )
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	8 そのような人はいない

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人を教えてください。  
(あてはまるものすべてに○)

1 配偶者	5 近隣
2 同居の子ども	6 友人
3 別居の子ども	7 その他( )
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	8 そのような人はいない

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1 自治会・町内会・いきいきクラブ	5 地域包括支援センター・区役所
2 社会福祉協議会・民生委員	6 その他( )
3 ケアマネジャー	
4 医師・歯科医師・看護師	7 そのような人はいない

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいか教えてください。(○はひとつ)

1 毎日ある	3 月に何度かある	5 ほとんどない
2 週に何度かある	4 年に何度かある	

(7) よく会う友人・知人はどんな関係の人が教えてください。  
(あてはまるものすべてに○)

1 近所・同じ地域の人	5 趣味や関心が同じ友人
2 幼なじみ	6 ボランティア等の活動での友人
3 学生時代の友人	7 その他( )
4 仕事での同僚・元同僚	8 いない

問10 日中、ひとりになることがありますか。(○はひとつ)

1 よくある	2 たまにある	3 ない
--------	---------	------

問11 健康についてお伺いします。

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○はひとつ)

1 とてもよい	2 まあよい	3 あまりよくない	4 よくない
---------	--------	-----------	--------

(2) あなたは、現在のどの程度幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点とし、該当する点数に○をつけてください。

とても不幸	とても幸せ
0点	10点
1点	9点
2点	8点
3点	7点
4点	6点
5点	5点
6点	4点
7点	3点
8点	2点
9点	1点

問12 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○はひとつ)

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

問13 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○はひとつ)

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

問14 タバコは吸っていますか。(○はひとつ)

1	ほぼ毎日吸っている	3	吸っていたがやめた
2	時々吸っている	4	もともと吸っていない

問15 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1	ない	11	外傷 (転倒・骨折等)
2	高血圧	12	がん (悪性新生物)
3	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	13	血液・免疫の病気
4	心臓病	14	うつ病
5	糖尿病	15	認知症 (アルツハイマー病等)
6	高脂血症 (脂質異常)	16	パーキンソン病
7	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	17	目の病気
8	胃腸・肝臓・胆のうの病気	18	耳の病気
9	腎臓・前立腺の病気	19	その他
10	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)		( )

問16 認知症にかかる相談窓口の把握についてお伺いします。

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。  
(○はひとつ)

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○はひとつ)

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

問17 現在、通院 (病院・診療所) や訪問診療 (往診含む) で診療を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

1	通院している
2	訪問診療 (往診含む) を受けている
3	診療を受けていない

→【1 通院している】と【3 診療を受けていない】を選んだ方にお伺いします。  
(1) 通院が困難な患者さんのお宅に、医師が定期的に診療に伺い、計画的に健康管理を行う「訪問診療」を知っていますか。(○はひとつ)

1	知っている	2	知らない
---	-------	---	------



問14 仕事についてお伺いします。

(1) あなたは、現在、収入のある仕事をしていきますか。(○はひとつ)

1 仕事をしている

2 仕事をしていない

→【「1 仕事をしている」を選んだ方にお伺いします。】  
(1)-1 それはどのような仕事ですか。(○はひとつ)

1 正規の職員・従業員

2 契約・パート・臨時・派遣

3 シルバー人材センターの会員

4 自営業

5 会社役員

6 その他 ( )

→【「1 仕事をしている」を選んだ方にお伺いします。】  
(1)-2 あなたが仕事をしている理由はなんですか。  
(あてはまるものすべてに○)

1 収入を得たいから

2 健康に良いから

3 いきがいを得たいから

4 社会とつながっていたいから

5 持っている能力をいかしたいから

6 何もしないでいると退屈だから

7 社会の役に立ちたいから

8 その他 ( )

→【「2 仕事をしていない」を選んだ方にお伺いします。】  
(1)-3 週に何日程度であれば働きたいですか。(○はひとつ)

1 週5日以上

2 週3・4日

3 週1・2日

4 1か月に1日

5 不定期

6 働きたくない

問15 長寿応援ポイント事業についてお伺いします。

(1) 区が実施している長寿応援ポイント事業を知っていますか。

(○はひとつ)

1 知っている

2 知らない

→【「1 知っている」を選んだ方にお伺いします。】  
(1)-1 長寿応援ポイント事業登録団体による活動への参加状況を教えてください。  
(あてはまるものすべてに○)

1 地域貢献活動 (防犯、環境、消通などのボランティア活動) に参加している

2 いきがい活動 (趣味、教養、スポーツ、健康増進などのグループ活動) に参加している

3 区が実施する健康増進、介護予防事業、地域貢献学習に参加している

4 以前は参加していたが今はどの活動にも参加していない

5 参加したことがない

→【「1～3に参加している」を選んだ方にお伺いします。】  
(1)-1-1 参加の主な目的はなんですか。(○はひとつ)

1 外出の機会、仲間を増やすため

2 健康の維持、増進のため

3 地域とのつながりをつくるため

4 ポイントシールをためるため

5 その他 ( )

→【「5 参加したことがない」を選んだ方にお伺いします。】  
(1)-1-2 参加したことがない理由は何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

1 登録団体手続きが面倒なため

2 既存団体への個人参加に抵抗があるため

3 ポイントシールをためることに興味がなかったため

4 その他 ( )

問16 こ半年間に、高齢者在宅サービス（区の独自サービス）を利用した  
ことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

1	いつときのお助けサービス（一時的に家事援助が必要な場合にホームヘルパーを派遣）
2	寝具洗濯乾燥サービス
3	住宅改修給付事業（手すりの取付けや便器の洋式化等の給付）
4	家具転倒防止器具取付け（無料）
5	ほっと一息、介護者ヘルプ（家事代行ホームヘルパー派遣利用券の給付）
6	徘徊高齢者探索システム（GPS通信を使って高齢者の居場所を探索）
7	認知症高齢者家族安らぎ支援（ボランティアによる傾聴サービス）
8	高齢者緊急通報システム（急病時に救急ボタンを押し救急車を要請）
9	高齢者安心コール（電話訪問による安否確認、健康相談）
10	高齢者火災安全システム（電磁調理器等の給付）
11	こ半年間に、これらのサービスを利用したことがない

問17 介護予防のために、あなたにとって最も必要と思われる福祉用具等の  
給付や助成のサービスはどれですか。（○はひとつ）

1	シルバーカー
2	杖（特殊杖を除く）
3	歩行用補助杖（特殊杖）
4	歩行器
5	補聴器（医師の確認が必要）
6	手すりの取付けや便器の洋式化工事
7	手すりやスロープ（工事不要のもの）
8	腰掛便座（据置式便座・補助便座・ポータブルトイレ）
9	入浴補助用具（入浴用いす・浴槽用手すり・浴槽用いす・入浴台・浴室内すのこ・浴槽内すのこ）
10	特になし



問18 介護保険サービスの利用や制度についてお伺いします。  
(1) 現在の認定状況を教えてください。（○はひとつ）

1	介護保険認定は受けていない（非該当である）
2	要支援 1
3	要支援 2

→【2 要支援 1】と「3 要支援 2」を選んだ方にお伺いします。】  
(1)-1 介護保険サービスを利用していますか。（○はひとつ）

1	利用している
2	利用していない

→【2 利用していない】を選んだ方にお伺いします。】  
(1)-1-1 サービスを利用していない理由を教えてください。（○はひとつ）  
（あてはまるものすべてに○）

1	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2	本人にサービス利用の希望がない
3	家族が介護をするため必要ない
4	以前、利用していたサービスに不満があった
5	利用料を支払うのが難しい
6	利用したいサービスが利用できない、身近にない
7	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8	サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない

(2) 介護サービスと介護保険料のあり方について、ご本人のお考えにもつ  
とも近いものはどれですか。（○はひとつ）

1	介護保険料が多少高くなっても、介護サービスを充実してほしい
2	介護保険料が高くなるなら、サービスは現状のままでよい
3	サービスを抑えても、介護保険料は安くしてほしい
4	その他（ ）

問19 今後、高齢者のためにどのような施策を充実したらいと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1	高齢者のいきがい活動の支援
2	健康づくり・介護予防の支援
3	緊急時にすぐに医療サービスが受けられる体制づくり
4	困ったときに相談できる体制づくり
5	在宅での生活を支える医療・介護サービスの充実
6	高齢者を地域で見守る体制の充実
7	認知症高齢者や家族の支援
8	家族介護者への支援
9	高齢者虐待防止の対策
10	高齢者の権利擁護の充実
11	特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホームなどの介護施設の整備
12	高齢者の生活に配慮した住宅の整備
13	NPOや近所の人による生活支援のサービス
14	その他 ( )

以下の問20は、封筒のあて名ご本人を介助・介護している方におたずね  
します。介助・介護を受けられていない方は16頁のご意見・ご要望の記入  
欄へお進みください。

問20 介護のことで困ったとき、どなたに相談していますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1	ご本人の家族や親族
2	隣近所の人
3	友人・知人
4	医師・看護師等
5	社会福祉協議会・民生委員
6	地域包括支援センター(ケア24)
7	ケアマネジャー
8	ヘルパーなど介護保険サービス事業者
9	その他 ( )
10	相談する相手がいない

その他

介護保険制度、保健福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などござ  
いましたら、自由にお書きください。


ご協力いただき、ありがとうございました。  
ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手は不要です)にて  
三つ折りにして12月13日(金)まで にご返送ください。なお、この調査票  
および返信用封筒へのお名前のご記入は不要です。





杉並区高齢者に関する実態調査

要介護認定者に関する実態調査

令和元年 8 月

【調査ご協力をお願い】

日頃から杉並区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
このたび、杉並区では「杉並区高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画  
(令和二年度策定予定)」の基礎資料とすることを目的として、高齢者の方の生  
活実態と意向を把握する調査を実施することといたしました。

この調査は、令和元年8月13日現在、杉並区にお住まいの要介護認定を受け  
ている方(約2,500人)を対象に、お願いするものです。

調査票にはお名前をご記入いただく必要はありません。また、個人情報保護に  
は万全を期すとともに、ご回答いただいた内容は統計情報の作成のみに使用いた  
します。個人が特定される形での公表や、他の目的での使用はいたしません。

ご回答いただいた調査票は、9月18日(水)までに同封の返信用封  
筒(切手は不要です)にてご返送ください。

【調査実施主体】 杉並区 保健福祉部介護保険課 管理係

調査委託先  
問合せ先

(株)サーベリサーチセンター  
高齢者に関する実態調査事務局  
電話：0120-965-812  
受付時間：月曜日～金曜日(平日)9:00～17:00

【調査票の記入にあたってのお願い】

- 1 ボールペンまたは鉛筆で記入ください。
- 2 封筒のあて名ご本人についてお答えください。ご家族等がご本人と  
一緒に、またはご本人の代わりにご記入いただいてもかまいません。
- 3 質問文に記載のある「○はひとつ」「あてはまるものすべてに○」  
などの説明にしたがって、番号に○をつけてご回答ください。また、  
「その他」にあてはまる場合は、( ) 内になるべく具体的に内容を  
ご記入ください。
- 4 問20から問33の設問は、ご本人ではなく、主に介護をしている方  
(ヘルパーやケアマネジャーを除く)がご記入ください。

調査票の記入者とご本人についておたずねします。

問 1 調査票を記入される方は、どなたですか。封筒のあて名のご本人からみた関係でご回答ください。2人以上で記入される場合は主に記入される方をご記入ください。(○はひとつ)

1	あて名のご本人	3	子	5	兄弟姉妹
2	配偶者	4	子の配偶者	6	その他 ( )

※ 以下、質問の中の「あなた」は封筒のあて名の方になります。

問 2 あなたは今どちらにいらっしゃいますか。(○はひとつ)

1	自宅 (ショートステイを含む)	3	入院中
2	区内の親族等の家	4	区外へ転出
		5	介護施設に入所
		6	その他 (具体的に: )

3～6にお答の方は、これで調査は終了です。  
ありがとうございます。調査票をご返送ください。  
なお、ご意見・ご要望などございましたら、  
10頁「その他」にご記入ください。

問 3 あなたの性別を教えてください。(○はひとつ)

1	男性	2	女性
---	----	---	----

問 4 あなたの年齢はいくつですか。(○はひとつ)

1	65～69歳	4	80～84歳	7	95～99歳
2	70～74歳	5	85～89歳	8	100歳以上
3	75～79歳	6	90～94歳		

問 5 一緒に暮らしている家族の構成を教えてください。(○はひとつ)

1	一人暮らし
2	夫婦のみの世帯 (配偶者は65歳以上)
3	夫婦のみの世帯 (配偶者は64歳以下)
4	世帯全員が65歳以上の世帯 (夫婦のみの世帯は除く)
5	子と同居の世帯
6	子ども世帯と同居の世帯
7	その他の世帯

問 6 現在の要介護度を教えてください。(有効期間が切れている場合、切れる前の要介護度を記入してください。)(○はひとつ)

1	要介護 1	3	要介護 3	5	要介護 5
2	要介護 2	4	要介護 4		

問 7 生活の中で不安に思ったとき、どなた (どこ) に相談しますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1	家族や親族	6	地域包括支援センター (ケア24)
2	友人・知人	7	ヘルパーなど介護保険サービス事業者
3	ケアマネジャー	8	その他
4	社会福祉協議会・民生委員		(具体的に: )
5	医師・看護師等	9	相談する相手がいない

問 8 現在、通院 (病院・医院・診療所) や訪問診療 (往診含む) で診療を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

1	通院している
2	訪問診療 (往診含む) を受けている
3	診療を受けていない

→【問 8 で「1 通院している」と「3 診療を受けていない」を選んだ方にお伺いします。】

問 8-1 通院が困難な患者さんのお宅に、医師が定期的に診療に伺い、計画的に健康管理を行う「訪問診療」を知っていますか。(○はひとつ)

1	知っている	2	知らない
---	-------	---	------



サービスの利用状況についておたずねします。

問9 令和元年7月中に、介護保険サービスを利用しましたか。(○はひとつ)

1 利用した	2 利用していない
--------	-----------

【問9で「2 利用していない」を選んだ方にお伺いします。】

問9-1 7月の時点で、介護保険サービスを利用していない理由で、ご本人のお考えに近いものはどれですか。(○は2つまで)

1 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2 本人にサービス利用の希望がない
3 家族が介護をするため必要ない
4 以前、利用していたサービスに不満があった
5 利用料を支払うのが難しい
6 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8 サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない

問10 ここ半年間に、高齢者在宅サービス(区の独自サービス)を利用したことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 おむつ等の支給・おむつ代金の助成
2 訪問美容サービス(理美容師の出張利用券の給付)
3 高齢者緊急通報システム(急病時に救急ボタンを押し救急車を要請)
4 ほっと一息、介護者ヘルプ(家事代行ホームヘルパー派遣利用券の給付)
5 寝具洗たく乾燥サービス
6 緊急ショートステイ
7 家具転倒防止器具取付け(無料)
8 認知症高齢者家族安らぎ支援(ボランティアによる傾聴サービス)
9 高齢者安心コール(電話訪問による安否確認、健康相談)
10 高齢者火災安全システム(電磁調理器等の給付)
11 徘徊高齢者探索システム(GPS通信を使って高齢者の居場所を探索)
12 高齢者24時間安心ヘルプサービス助成事業
13 ここ半年間に、これらのサービスを利用したことがない

問11 区では、福祉用具の購入助成を行っています。あなたにとって最も必要と思われる福祉用具はどれですか。(○はひとつ)

1 杖(特殊杖を除く)	8 入浴踏台
2 シルバーカー	9 浴槽内いす
3 補聴器(医師の確認が必要)	10 ワンタッチ浴槽用手すり
4 眼鏡式ルーペ	11 シャワーチェア
5 据置式便座	12 介護用シューズ
6 補高便座	13 特になし
7 ポータブルトイレ	

お住まいについておたずねします。

問12 現在のお住まいは次のうちどれですか。(○はひとつ)

1 持ち家(戸建て)	6 みどりの里・シルバーピア
2 持ち家(マンション等)	7 6以外の区営・都営アパート
3 賃貸(戸建て)	8 公団・公社の賃貸住宅
4 民間の賃貸マンション	9 高齢者対応の住宅やマンション
5 民間の賃貸アパート	10 その他(具体的に: )

問13 現在のお住まいは、介護を受けながら在宅生活を送るのに適していると思いますか。(○はひとつ)

1 思う	2 思わない
------	--------

【問13で「2 思わない」を選んだ方にお伺いします。】  
問13-1 在宅生活に適していると思わない理由は何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

1 ご本人専用の部屋がない
2 階段の昇り降りが困難である
3 部屋がせまく、介護用品(ベッド、車いす等)を置くスペースがない
4 玄関、廊下、階段、トイレ、浴室などに手すりが無い
5 玄関、廊下、トイレ、浴室などに段差がある
6 玄関、部屋などの扉の開閉が困難である
7 トイレが洋式でない
8 流し台が使いにくい
9 浴槽が使いにくい
10 その他(具体的に: )

施設の入所についておたずねします。

問14 特別養護老人ホームや認知症グループホーム、有料老人ホーム等に入所(居)希望がありますか。(○はひとつ)

1 現在、施設入所を申し込んでいる	3 施設への入所希望はない
2 将来的には施設入所を考えたい	4 わからない

→【問14で「1 現在、施設入所を申し込んでいる」と「2 将来的には施設入所を考えたい」を選んだ方にお伺いします。】

問14-1 入所したいとお考えの理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 介護する家族の心身の負担が大きい
2 介護をする家族や親族がいない
3 専門的なリハビリ等が必要
4 整った設備と専門職員がいる中での長期療養が必要
5 在宅のサービス利用による経済的な負担が大きい
6 在宅生活では、夜間や緊急時の対応が不安である
7 現在の住まいがアパート等で、今後住み続けられないかもしれない
8 その他 (具体的に： )

介護保険制度についておたずねします。

問15 介護保険サービス全般の内容に満足していますか。(○はひとつ)

1 満足している	4 少し不満がある
2 おおむね満足している	5 不満である
3 ふつうである	6 わからない

問16 現在の介護保険料をどのように感じていますか。(○はひとつ)

1 非常に負担である	4 あまり負担ではない
2 多少負担である	5 まったく負担ではない
3 どちらともいえない	6 いくら払っているかわからない

問17 介護サービスと介護保険料のあり方について、ご本人のお考えにもっとも近いものはどれですか。(○はひとつ)

1 介護保険料が多少高くなっても、介護サービスを充実してほしい
2 介護保険料が高くなるなら、サービスは現状のままでよい
3 サービスを抑えても、介護保険料は安くしてほしい
4 その他 (具体的に： )

問18 介護保険サービス利用の費用について、区から年2回お知らせを送付していますが、内容を確認していますか。(○はひとつ)

1 確認している
2 多少は確認している
3 通知が来ていることは知っているが内容はみていない
4 知らない

問19 今後、区が力を入れていくべきと思うものは何ですか。(○は3つまで)

1 介護サービス利用者や家族を支援する情報提供の充実
2 介護サービス利用にかかる相談や苦情解決への対応
3 介護サービスの評価する仕組みづくり
4 在宅での生活が続けられるよう医療、福祉、介護サービスの充実
5 特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実
6 介護支援専門員 (ケアマネジャー) やホームヘルパーなど人材の確保・定着・育成
7 低所得者への対応策
8 介護保険制度の普及啓発
9 医療や介護の連携、介護サービスの質の向上に向けた事業者等への支援
10 できるだけ介護が必要にならないような健康づくりと介護予防の推進
11 その他 (具体的に： )
12 特になし

以下の問20～問33までは、主に介護をしている方についておたずねします。  
(ヘルパーやケアマネジャーを除く)

問20 あなたの性別をお答えください。(○はひとつ)

1 男性	2 女性
------	------

問21 あなたの年齢をお答えください。(○はひとつ)

1 20歳未満	⇒ ( 歳)	7 60～64歳
2 20～29歳	8 65～69歳	
3 30～39歳	9 70～74歳	
4 40～49歳	10 75～79歳	
5 50～54歳	11 80～84歳	
6 55～59歳	12 85歳以上	

問22 ご本人からみた続柄をお答えください。(○はひとつ)

1 配偶者	3 子の配偶者	5 その他
2 子	4 孫	(具体的に: )

問23 ご本人との同居の状況をお答えください。(○はひとつ)

1 同居	2 別居
------	------

問24 介護の時間帯をお答えください。(○はひとつ)

1 日中・夜間とも	3 主に夜間
2 主に日中	4 その他 (具体的に: )

問25 介護の年数をお答えください。(○はひとつ)

1 1年未満	3 3年～5年未満	5 10年以上
2 1年～3年未満	4 5年～10年未満	

問26 介護や家事以外に行っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 子育て	4 学業
2 就労 (フルタイム)	5 その他
3 就労 (パートタイム)	(具体的に: )
	6 特になし

→【問26で「1 子育て」を選んだ方にお伺いします。】

問26-1 対象児童、生徒の年齢をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1 0歳～3歳	2 4歳～6歳	3 小学生	4 中学生以上
---------	---------	-------	---------

→【問26で「2 就労 (フルタイム)」と「3 就労 (パートタイム)」を選んだ方にお伺いします。】

問26-2 職場で介護休暇制度など※ を利用していますか。(○はひとつ)

※ 介護のための短時間勤務制度、介護休暇、介護休業等

1 利用中	3 制度を知らない
2 利用したことがある	4 介護休暇制度がない

【同様に、問26で「2 就労 (フルタイム)」と「3 就労 (パートタイム)」を選んだ方にお伺いします。】

問26-3 今後も就労をしながら介護を続けていけそうですか。(○はひとつ)

1 問題なく、続けていける
2 問題はあるが、何とか続けていける
3 続けていくのは、やや難しい
4 続けていくのは、かなり難しい
5 その他 (具体的に: )
6 わからない

問27 主に介護をしている方以外に、介護やお世話をする方 (ヘルパーを除く) いますか。(○はひとつ)

1 同程度に介護やお世話をしてくれる人がいる
2 多少は介護やお世話をしてくれる人がいる
3 他に介護やお世話をしてくれる人はいない

問28 介護保険サービスを利用して、介護にかかる負担が軽減されたと感じることはありますか。(○はひとつ)

1 非常に感じる	4 感じない
2 多少は感じる	5 どちらともいえない
3 あまり感じない	6 サービスは利用していない

問29 介護保険サービス全般の内容は満足できますか。(○はひとつ)

1 満足している	4 少し不満がある
2 おおむね満足している	5 不満である
3 ぶつうである	6 わからない

問30 介護のことで困ったとき、どなたに相談していますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1 ご本人の家族や親族
2 隣近所の人
3 友人・知人
4 医師・看護師等
5 社会福祉協議会・民生委員
6 地域包括支援センター (ケア24)
7 ケアマネジャー
8 ヘルパーなど介護保険サービス事業者
9 その他 (具体的に： )
10 相談する相手がいない

問31 介護者が必要とするサービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 介護者が休息出来るように、高齢者を数日間施設で介護する宿泊サービス
2 介護者が外出するときなどに、高齢者を施設で介護する日帰りサービス
3 介護者が息抜きできるように、代わりに見守りを行うサービス
4 介護者が疲れたときに、家事などを援助するサービス
5 介護相談やサービスの紹介・手続きの代行
6 介護者のための健康相談・健診の機会
7 介護者同士が情報交換できる場
8 その他 (具体的に： )

問32 最近6か月の間に、介護が原因でご本人と衝突したことはありませんか。  
(あてはまるものすべてに○)

1 相手を侮辱するような言葉を言ったり、威圧的な態度をとったりしたこと がある
2 介護やお世話を放棄してしまったりしたことがある
3 相手を殴ったり蹴ったりしてしまったりしたことがある
4 その他の行為 (具体的に： )
5 ない

問33 これからも在宅で介護を続けていけると思いますか。(○はひとつ)

1 負担なくやっていけると思う
2 何とかやっていけると思う
3 これ以上負担が重くならなければやっていけると思う
4 既に、やっていけない状況にあると思う
5 わからない

その他

介護保険制度、保健福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などございましたら、自由にお書きください。


ご協力いただき、ありがとうございました。  
ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手は不要です)にて  
**9月18日(水)まで** にご返送ください。なお、この調査票および返信用  
封筒へのお名前のご記入は不要です。

在宅介護実態調査 調査票

【A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】（複数選択可）

1. 調査対象者本人
2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族
4. 調査対象者のケアマネジャー
5. その他

**A 票** 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

1. 単身世帯  
2. 夫婦のみ世帯  
3. その他

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

1. ない
2. 家族・親族の介護はあるが、週1日より少ない
3. 週に1～2日ある
4. 週に3～4日ある
5. ほぼ毎日ある

問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

- 1. 配偶者
- 2. 子
- 3. 子の配偶者
- 4. 孫
- 5. 兄弟・姉妹
- 6. その他

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

1. 男性

問5 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいですか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数回答可）

1. 主な介護者が仕事を辞めた (記載除く)
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた (記載除く)
3. 主な介護者が転居した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転居した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

質問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つを選擇）

2. 入所・入居を検討している

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、地域密着型特別養護老人ホーム、グループホーム、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

**B票** 主な介護者、もしくはご本人様に聞き取ってご回答頂く項目

※主な介護者様、もしくはご本人様に聞き取ってご回答（調査票の該当する番号に○）をお願い致します。

問 1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

1. フルタイムで働いている
2. パートタイムで働いている
3. 働いていない
4. 主な介護者に確認しないと、わからない

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に対して短い方が該当します。いわゆる「フルパイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（1つを選択）

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない



杉並区高齢者に関する実態調査

特別養護老人ホーム入所希望者実態調査

令和元年 6 月

【調査ご協力をお願い】

日頃から杉並区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
このたび、杉並区では「杉並区高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画（令和二年度策定予定）」及び「杉並区特別養護老人ホーム整備方針」の基礎資料とすることを目的として、高齢者の方の生活実態と意向を把握する調査を実施することといたしました。

この調査は、令和元年5月29日までに特別養護老人ホーム入所申込書を提出された方全員（約900人）を対象に、お願いするものです。

この調査は入所申込書及び入所申込者状況票ではありません。また、この調査により第一次評価の結果が変わるものではありません。

調査票にはお名前をご記入いただく必要はありません。また、個人情報保護には万全を期すとともに、ご回答いただいた内容は統計情報の作成のみに使用いたします。個人が特定される形での公表や、他の目的での使用はいたしません。

ご回答いただいた調査票は、7月23日（火）までに同封の返信用封筒（切手は不要です）にてご返送ください。

※ご記入方法が分からない時は、ケアマネジャーにご相談ください。

【調査実施主体】 杉並区 保健福祉部高齢者在宅支援課 施設入所係

(株)サーベリサーチセンター

調査委託先 高齢者に関する実態調査事務局

問合せ先 電話：0120-965-812

受付時間：月曜日～金曜日（平日）9:00～17:00

【調査票の記入にあたってのお願い】

- 1 ボールペンまたは鉛筆で記入ください。
- 2 封筒のあて名ご本人についてお答えください。ご家族やケアマネジャー等がご本人と一緒に、またはご本人の代わりにご記入いただいてもかまいません。
- 3 質問文に記載のある「○はひとつ」「あてはまるものすべてに○」などの説明にしたがって、番号に○をつけてご回答ください。また、「その他」にあてはまる場合は、（ ）内になるべく具体的に内容をご記入ください。
- 4 問16からの設問は、ご本人ではなく家族等主な介護者の方がご記入ください。

本調査では、あて名の方ご本人を「あなた」としています。  
回答は、封筒のあて名の方ご本人について記入してください。

問 1 あなたの性別をお答えください。(○はひとつ)

1 男性	2 女性
------	------

問 2 あなたの年齢をお答えください。(○はひとつ)

1 40歳代	2 50歳代	3 60歳代
4 70歳代	5 80歳以上	

問 3 あなたの要介護度をお答えください。(○はひとつ)

1 要介護 1	2 要介護 2	3 要介護 3
4 要介護 4	5 要介護 5	

問 4 あなたが、特別養護老人ホームへ申込した際の、区の第一次評価は次のどれでしたか。(○はひとつ)

1 優先度 A	2 優先度 B	3 優先度 C
---------	---------	---------

問 5 あなたが、特別養護老人ホームへ入所申込をしてから、現在までの期間はどれにあてはまりますか。(○はひとつ)

1 1年未満
2 1年以上2年未満
3 2年以上
4 不明・分からない

問 6 あなたは、現在、どちらにお住まいですか。(○はひとつ)

1 ご自宅 (ショートステイ利用無し)	ひと月あたり約	日
2 ご自宅 (ショートステイ利用有り) →		
3 病院・診療所 (入院中)		
4 養護老人ホーム		
5 サービス付き高齢者向け住宅		
6 有料老人ホーム		
7 認知症高齢者グループホーム		
8 介護老人保健施設		
9 介護療養型医療施設		
10 軽費老人ホーム (ケアハウスを含む)		
11 その他 (具体的に:		)

問 7 あなたは、どなたと一緒ににお住まいですか。あなたからみた関係でお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1 一人暮らし	4 孫
2 配偶者 (夫または妻)	5 兄弟姉妹
3 子ども、または子どもの配偶者	6 その他 ( )

問 8 昨年 1 年間の、あなたとご家族の年間収入はどれにあてはまりますか。(○はひとつ)

1 あなたの年金収入のみ
2 あなたの年金収入および不動産や証券収入等あり
3 あなたの年金収入およびご家族の収入あり
4 分からない

※よろしければ年収額をご記入ください ( 円)

問 9 あなたが、特別養護老人ホームに入所したい時期はいつ頃ですか。(○はひとつ)

1 今すぐ入所したい
2 3か月～半年くらい先に入所したい
3 半年～1年くらい先に入所したい
4 当面は入所しなくてもよいが、必要ときに入所したい
5 その他 (具体的に: )



問10 あなたが、特別養護老人ホームに入所の申込をした理由は何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)

1 家族の心身の負担が大きく在宅（自宅）での生活に限界を感じている

2 介護者が病気になる（要介護になった、入院したなど）

3 介護をする家族や親族がいない

4 現在利用している施設や病院の、退所・退院の期限が迫っている

5 現在利用している施設・在宅サービスの費用が高く、経済的に厳しい

6 現在の住まいが賃貸等で、今後住み続けられないかもしれない

7 すぐには入所が難しいと思う、早めに申込をした

8 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

問11 あなたは、特別養護老人ホームから入所できるという連絡を受けたこと  
とがありましたか。(○はひとつ)

1 あった → \_\_\_\_\_ 回

2 なかった

【問11で「1 あった」を選んだ方にお伺いします。】

問11-1 あった場合、一番最近で入所ができなかった理由は何ですか。  
(○はひとつ)

1 当面、在宅（自宅）で生活を続けることができた

2 病院に入院中だった  
→ 入院期間に○をつけてください。(ア. 6か月未満 イ. 6か月以上)

3 費用が高かった

4 希望順位が高い施設ではなかった

5 介護老人保健施設に入所中だった

6 有料老人ホームに入居していた

7 認知症高齢者グループホームに入居していた

8 軽費老人ホーム（ケアハウス）に入居していた

9 入所希望がなくなった

10 入所前の面接等の結果、施設に断られた  
(理由： \_\_\_\_\_)

11 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

3

問12 区内の特別養護老人ホームには、4人部屋中心の多床室の施設と、  
ユニット型個室の施設があります。  
あなたは、入所申込の際にどちらを希望されましたか。(○はひとつ)

【参考】1 割負担・要介護5の場合の料金目安（月額）  
多床室…………… 約83,000円～110,000円  
ユニット型個室…約126,000円～183,000円

1 多床室（4人部屋中心）の特別養護老人ホーム

2 ユニット型個室の特別養護老人ホーム

3 どちらでも早く入所できる特別養護老人ホーム

4 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

→【問12で「1 多床室（4人部屋中心）の特別養護老人ホーム」を選んだ方  
にお伺いします。】

問12-1 多床室を選んだ最も近い理由は何ですか。(○はひとつ)

1 多床室は、ユニット型個室より費用が安い

2 部屋に他の人がいた方がよい

3 自宅の近くにユニット型の特別養護老人ホームがない

4 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

→【問12で「2 ユニット型個室の特別養護老人ホーム」を選んだ方にお伺い  
します。】

問12-2 ユニット型個室を選んだ最も近い理由は何ですか。(○はひとつ)

1 ユニット型は、個室でプライバシーが保たれる

2 家族が周囲に気兼ねなく訪問できる

3 部屋にトイレがある

4 自宅の近くに多床室の特別養護老人ホームがない

5 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

4

181

問13 あなたは、現在、医療的な処置を受けていますか。(○はひとつ)

1 はい

2 いいえ

【問13で「1 はい」を選んだ方にお伺いします。】

問13-1 次の中から受けている医療をお答えください。  
(あてはまるものすべてに○)

1 経鼻栄養

2 胃ろう

3 在宅酸素

4 インスリン

5 痰の吸引

6 気管切開

7 人工肛門

8 人工透析

9 尿管留置カテーテル

10 ペースメーカー

11 中心静脈栄養

12 褥瘡(床ずれ)

13 疥癬(ヒゼンダニによる感染症)

14 MRSA感染症

15 その他(具体的に：)

問14 あなたは、どここの場所にある特別養護老人ホームを希望しますか。  
(○はひとつ)

1 現在の住まいに近いところ

2 杉並区内

3 東京都内

4 南伊豆町(エクレシア南伊豆)

5 どこでも早く入所できるところ

6 その他(具体的に：)

問15 あなたが、特別養護老人ホームへの入所の必要性を判断する上で、最も重視してほしい点はどのようですか。(○はひとつ)

1 要介護度

2 認知症の症状

3 介護者の状況

4 医療的処置の必要性

5 在宅サービスの利用状況

6 住環境

7 経済的状況

8 その他(具体的に：)

ここからの質問は、家族等主な介護者の方にお伺いします。

問16 あなたの性別をお答えください。(○はひとつ)

1 男性

2 女性

問17 あなたの年齢をお答えください。(○はひとつ)

1 40歳未満

2 40歳代

3 50歳代

4 60歳代

5 70歳代

6 80歳以上

問18 あなたは、現在、働いていますか。(○はひとつ)

1 フルタイムで働いている ※自営業含む

2 パートタイム(アルバイト、嘱託、契約社員等を含む)で働いている

3 働いていない

【問18で「3 働いていない」を選んだ方にお伺いします。】

問18-1 次の中から、あなたにあてはまるものをお答えください。  
(あてはまるものすべてに○)

1 70歳以上である

2 複数の方を介護している

3 子育て中である

4 その他(具体的に：)

5 どれにもあてはまらない

【問18で「1」と「2」を選んだ方にお伺いします。】

問18-2 今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(○はひとつ)

1 続けていける

2 何とか続けていける

3 続けていくのは、難しい

4 分からない

ご協力いただき、ありがとうございました。  
ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手は不要です)にて  
**7月23日(火)**までにご返送ください。なお、この調査票および返信用封筒への  
お名前のご記入は不要です。

182

5

6

居宅介護支援事業所実態調査

事業所番号

事業所名称

【Ⅰ 事業所に関するデータ】

問1 所属している介護支援専門員の人数を教えてください。(回答は1つ)  
※非常勤の方も含め、令和元年10月1日現在で記入してください。

1 1人 2 2人 3 3人 4 4人以上

問1-1 問1でご回答いただいた人数のうち、主任介護支援専門員の人数を教えてください。

1 0人 2 1人 3 2人 4 3人 5 4人以上

【Ⅱ ご利用者様に関するデータ】

問2 貴事業所全体のご利用者様の人数（保険者が杉並区の方のみ）を教えてください。  
（要支援の方の人数は含みません）

1 令和元年9月給付実績者の人数 ⇒ 

人

2 1以外（区分変更中・相談段階・入院中等） ⇒ 

人

問2-1 問2で「令和元年9月給付実績者の人数」で回答いただいた人数のうち、介護度別  
の人数を教えてください。(令和元年9月給付実績者)

1 要介護1 ⇒ 

人

 4 要介護4 ⇒ 

人

2 要介護2 ⇒ 

人

 5 要介護5 ⇒ 

人

3 要介護3 ⇒ 

人

問2-2 現在、ご利用者様が利用されている介護保険サービスの種類を教えてください。  
(複数のサービスを利用されている方については利用しているサービスすべてが対象と  
なります)  
(令和元年9月給付実績分)

1 地域密着型通所介護（杉並区内のみ） ⇒ 

人

2 認知症対応型通所 ⇒ 

人

3 通所介護（杉並区以外の地域密着型含む） ⇒ 

人

4 訪問看護 ⇒ 

人

5 訪問介護 ⇒ 

人

6 定期巡回・夜間対応型訪問介護 ⇒ 

人

7 夜間対応型訪問介護 ⇒ 

人

8 福祉用具貸与（レンタル） ⇒ 

人

【Ⅲ 地域密着型サービスに関するデータ】

介護保険サービスの中で、地域密着型サービスに係る事について教えてください。

問3 平成30年度以降（過去1年程度）に下記の枠内（ア～カ）の地域密着型サービスを勧めた事  
がありますか。 ※事業所において、どちらにも該当する場合は、両方に○をつけてください。

1 ある 2 ない

「地域密着型サービスとは」

ア 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス

イ 夜間対応型訪問介護サービス

ウ 認知症対応型通所介護サービス

エ 小規模多機能型居宅介護サービス

オ 看護小規模多機能型居宅介護サービス

カ 認知症対応型共同生活介護サービス

問3-1 「1 ある」と回答した方はサービスに繋がった人数と、繋がらなかった人数およびそ  
の理由を教えてください。

	繋がった 人数	繋がら なかった 人数	繋がらなかった理由（内訳）		
			サービス内 定員に空き がなく断ら れた	サービス内 のニーズが合 っていないか った	本人・家族 が必要がな くなった（死 亡・入院等）
ア 定期巡回・随時対応型 訪問介護看護サービス	人	人	人	人	人
イ 夜間対応型 訪問介護サービス	人	人	人	人	人
ウ 認知症対応型 通所介護サービス	人	人	人	人	人
エ 小規模多機能型 居宅介護サービス	人	人	人	人	人
オ 看護小規模多機能型 居宅介護サービス	人	人	人	人	人
カ 認知症対応型 共同生活介護サービス	人	人	人	人	人

問3-2 「2 ない」と回答した方は、勧めなかった理由を教えてください。(○はいくつでも)

	ご利用者様の 地域に、サービ ス事業所（提供 範囲）が無い	サービス内容 と、ご利用者様 のニーズがあ っていないか分 かりにくい	サービス事業 所の場所や担 当者などの情 報が不足して いる	提供するサー ビスの費用が 高く利用でき ない	ご利用者様の 状況から必要 なプランでな い
ア 定期巡回・随時対応型 訪問介護看護サービス	1	2	3	4	5
イ 夜間対応型 訪問介護サービス	1	2	3	4	5
ウ 認知症対応型 通所介護サービス	1	2	3	4	5
エ 小規模多機能型 居宅介護サービス	1	2	3	4	5
オ 看護小規模多機能型 居宅介護サービス	1	2	3	4	5
カ 認知症対応型 共同生活介護サービス	1	2	3	4	5

【裏面もご記入ください】

【 IV 在宅生活に関するデータ 】

問 4 在宅生活（病院・施設等）に入院・入所しない）を続けていくうえで、**必要と思われるサービス（事業所）**を教えてください。（複数回答可 3つまで）

- 1 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- 2 夜間対応型訪問介護
- 3 地域密着型通所介護（一日タイプ）
- 4 地域密着型通所介護（短時間タイプ）
- 5 認知症対応型通所介護
- 6 小規模多機能型居宅介護
- 7 看護小規模多機能型居宅介護
- 8 訪問介護
- 9 訪問入浴介護
- 10 訪問看護
- 11 訪問リハビリテーション
- 12 通所介護（一日タイプ）
- 13 通所介護（短時間タイプ）
- 14 短期入所生活介護
- 15 不足しているサービスはない

問 5 在宅生活（病院・施設等）に入院・入所しない）を続けていくうえで、**区内全域で不足していると思われるサービス（事業所）**を教えてください。（複数回答可 3つまで）

- 1 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- 2 夜間対応型訪問介護
- 3 地域密着型通所介護（一日タイプ）
- 4 地域密着型通所介護（短時間タイプ）
- 5 認知症対応型通所介護
- 6 小規模多機能型居宅介護
- 7 看護小規模多機能型居宅介護
- 8 訪問介護
- 9 訪問入浴介護
- 10 訪問看護
- 11 訪問リハビリテーション
- 12 通所介護（一日タイプ）
- 13 通所介護（短時間タイプ）
- 14 短期入所生活介護
- 15 不足しているサービスはない

問 6 在宅生活（病院・施設等）に入院・入所しない）を続けていくうえで、特に、**ご利用者様のサービス利用範囲内で不足していると思われるサービス（事業所）**を教えてください。（複数回答可 3つまで）

- 1 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- 2 夜間対応型訪問介護
- 3 地域密着型通所介護（一日タイプ）
- 4 地域密着型通所介護（短時間タイプ）
- 5 認知症対応型通所介護
- 6 小規模多機能型居宅介護
- 7 看護小規模多機能型居宅介護
- 8 訪問介護
- 9 訪問入浴介護
- 10 訪問看護
- 11 訪問リハビリテーション
- 12 通所介護（一日タイプ）
- 13 通所介護（短時間タイプ）
- 14 短期入所生活介護
- 15 不足しているサービスはない

【 V 介護保険サービスに関するデータ 】

問 7 区民から相談されたり、利用希望が多いサービス（事業所数）を教えてください。（複数回答可 3つまで）

- 1 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- 2 夜間対応型訪問介護
- 3 地域密着型通所介護（一日タイプ）
- 4 地域密着型通所介護（短時間タイプ）
- 5 認知症対応型通所介護
- 6 小規模多機能型居宅介護
- 7 認知症対応型共同生活介護
- 8 看護小規模多機能型居宅介護
- 9 訪問介護
- 10 訪問入浴介護
- 11 訪問看護
- 12 訪問リハビリテーション
- 13 通所介護（一日タイプ）
- 14 通所介護（短時間タイプ）
- 15 短期入所生活介護
- 16 介護老人福祉施設
- 17 介護老人保健施設

問 8 **区内全域の介護サービスにおいて充足していると思われるサービス（事業所）**を教えてください。（複数回答可 3つまで）

- 1 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- 2 夜間対応型訪問介護
- 3 地域密着型通所介護（一日タイプ）
- 4 地域密着型通所介護（短時間タイプ）
- 5 認知症対応型通所介護
- 6 小規模多機能型居宅介護
- 7 認知症対応型共同生活介護
- 8 看護小規模多機能型居宅介護
- 9 訪問介護
- 10 訪問入浴介護
- 11 訪問看護
- 12 訪問リハビリテーション
- 13 通所介護（一日タイプ）
- 14 通所介護（短時間タイプ）
- 15 短期入所生活介護
- 16 介護老人福祉施設
- 17 介護老人保健施設
- 18 充足しているサービスはない

【 VI 特別養護老人ホームに関するデータ 】

問 9 平成30年度以降（過去1年程度）に特別養護老人ホーム（以下、「特養」と略）の入所を勧めたことがありますか。（回答は1つ）

1 ある 2 ない

問 9-1 問 9 で「1 ある」と回答した方に、**特養を勧めた理由**を教えてください。（複数回答可 3つまで）

※数回を現在形にしておりありますが、過去形で解釈頂いても結構です。

- 1 家族の心身の負担が大きく在宅での生活が限界に達している
- 2 現在利用しているサービスの費用が高く経済的に苦しい
- 3 現在利用している施設や病院の、通所、退所の期限が迫っている
- 4 特養入所の必要性は低い、本人・および家族の強い希望がある
- 5 特養入所の待機期間が長いと思い、早めの申し込みが必要である
- 6 介護者が不在である（単身である）
- 7 介護者が介護のために離職をしなければならぬ
- 8 介護者（家族を含む）に、引きこもりや虐待などの問題がある。
- 9 本人の居所が無い（賃貸契約の解消等で帰る家が無くなった）
- 10 住居がバリアフリーでない

## 杉並区高齢者実態調査報告書

令和２年３月発行

登録印刷物番号
---------

31-0116
---------

編集・発行 杉並区保健福祉部高齢者施策課  
杉並区阿佐谷南一丁目15番1号  
TEL (03) 3312-2111 (代)

集計・分析 (株) サーベイリサーチセンター  
荒川区西日暮里二丁目40番10号  
TEL (03) 3802-6711 (代)

☆杉並区のホームページでご覧になれます。 <https://www.city.suginami.tokyo.jp>